

令和6年度
南魚沼市まちづくりに関するアンケート調査
報 告 書

2024年10月
南 魚 沼 市

目 次

I 調査結果の概要.....	1
II 調査概要.....	4
1. 調査の実施概要.....	4
2. 回答者の属性.....	6
III 調査結果.....	11
1. まちづくりの現状評価.....	11
2. 今後特に力を入れて取り組むべきこと.....	21
3. 市民サービスの評価.....	35
4. デジタル化が進んでほしい市民サービス.....	39
5. 市政への関心.....	45
6. 市政情報の入手方法.....	48
7. 「市報みなみ魚沼」を読んでいるか.....	52
8. 「市報みなみ魚沼」について.....	54
9. 地域づくり協議会の認知度.....	65
10. 地域づくり活動への関心度.....	68
11. 住むようになった理由・きっかけ.....	71
12. 暮らしやすいか.....	73
13. 暮らしにくさや不安.....	76
14. 働く環境としての魅力・理由.....	80
15. 将来も住み続けたいか・理由.....	88
16. 現在の婚姻状況.....	96
17. 結婚への意向.....	97
18. 結婚を考えたとき気になること.....	98
19. 理想的な子ども数.....	101
20. 理想的な子ども数の実現への妨げ.....	102
21. 南魚沼市の魅力や誇り(自由記述).....	105
南魚沼市への意見等(自由記述).....	107
IV 資料.....	129
調査票.....	129
集計結果.....	138

I 調査結果の概要

1. まちづくりの現状評価

- 「こころとからだの健康づくりの推進」の評価が最も高く、「総合的な人口減少対策の推進」の評価が最も低い
- 現状評価は 33 項目中 17 項目が前回から向上、15 項目が低下
- 加重平均値では 33 項目中 7 項目が前回から向上、25 項目が低下し、「総合的な人口減少対策の推進」のみマイナス値
- 政策分野別（加重平均値）では「保健・医療・福祉」が最も高く、「行財政改革・市民参画」が最も低い

2. 今後特に力を入れて取り組むべきこと

- 「総合的な人口減少対策の推進」「子育て環境の充実」の 2 項目が高い
- 要望は 33 項目中 17 項目が前回から向上、16 項目が低下
- 政策分野別では、過去 2 回と同様に「保健・医療・福祉」が最も高く、「教育・文化」が最も低い

3. 市民サービスの評価

- 「窓口や電話での対応などが適切で親切」の評価が最も高く、「市民の意見や考えが伝わりやすい」の評価が最も低い
- 「窓口や電話での対応などが適切で親切」「市役所の窓口は利用しやすい」の上位 2 項目は評価が高くなる傾向

4. デジタル化が進んでほしい市民サービス【新規設問】

- 「SNS を活用した緊急情報の迅速・正確な発信」が約 5 割で最も高く、次いで「マイナンバーカードによる行政手続きの簡素化」「行政窓口の円滑化」「若い世代に向けた移住定住につながる情報発信」の 3 項目がそれぞれ約 4 割

5. 市政への関心

- 合計値『関心がある』が約 7 割で高いが、関心度は低下傾向
- 属性別では 10・20 歳代の関心度が特に低い

6. 市政情報の入手方法

- 「市報みなみ魚沼」が 8 割以上で特に高いが、若干低下傾向
- 次いで「市公式ウェブサイト」が約 3 割で、向上傾向

7. 「市報みなみ魚沼」を読んでいるか

- 「いつも読んでいる」が6割以上、次いで「ときどき読んでいる」が3割以上、合計値『読んでいる』は9割以上で、過去2回の調査と同様の傾向

8. 「市報みなみ魚沼」について

- 読んでいる媒体は、「紙の冊子」が9割以上【新規設問】
- 読みやすさは、「読みやすい」が5割以上、次いで「どちらともいえない」が4割以上
- 必要な情報量は、「得ることができる」が6割以上、次いで「どちらともいえない」が3割以上
- 情報量は、「ちょうどよい」が8割以上、次いで「多い」「少ない」がいずれも約1割
- 総合的な満足度は、「やや満足している」が5割以上、次いで「どちらともいえない」が2割以上。合計値『満足』は約7割で前回と同程度

9. 地域づくり協議会の認知度

- 「あまり知らない」が3割以上、次いで「知っている（事業に参加したことはない）」「全く知らない」がいずれも2割以上で前回と同様の傾向
- 認知度は若い年代ほど低く、居住年数20年未満も低い

10. 地域づくり活動への関心度

- 「少しは関心がある」が約5割、次いで「あまり関心がない」が3割以上、合計値『関心がある』は6割以上で、前回より若干低い

11. 住むようになった理由・きっかけ

- 「親の代（またはそれ以前）から住んでいる」が約7割で前回と同様の傾向
- 居住年数3年未満は「仕事・通学の都合」、3～10年未満は「結婚・独立」が最も高い

12. 暮らしやすいか

- 「どちらかといえば暮らしやすい」が4割以上、次いで「どちらともいえない」が2割以上、合計値『暮らしやすい』は5割以上で前回と同程度

13. 暮らしにくさや不安

- 「医療・介護」「少子高齢化」の2項目がそれぞれ約2割で比較的高い
- 「雇用・収入」「大きな不安はない」は低下傾向、「人口の減少」「自然災害・気候変動」は高くなる傾向

14. 働く環境としての魅力・理由

- 「魅力を感じない」が4割以上、次いで「どちらともいえない」が約4割
- 「魅力を感じる」は約1割で低いが、高くなる傾向

- 「魅力を感じる」理由は、「やりたい仕事や職種がある」「仕事と子育ての両立がしやすい」「雇用の場が多い」の3項目がそれぞれ約2割で比較的高く、前回と同様の傾向
- 「魅力を感じない」理由は、「給与水準が低い」が4割以上、次いで「雇用の場が少ない」が2割以上で前回と同様の傾向

15. 将来も住み続けたいか・理由

- 「住み続けたい」が5割以上、「将来は市外に移りたい」が約2割で前回と同様の傾向
- 居住年数3年未満は「どちらともいえない」、3年以上5年未満は「将来は市外に移りたい」が最も高い
- 「住み続けたい」理由は、「住み慣れて愛着がある」が約6割、次いで「自然環境がよい」が約2割で過去2回と同様の傾向
- 「将来は市外に移りたい」理由は、「自然環境が厳しい」が3割以上、次いで「医療機関や福祉が不足している」が約2割で、「自然環境が厳しい」は過去2回でも最も高いが、低下傾向

16. 現在の婚姻状況【新規設問】

- 「現在、結婚している」が6割以上、次いで「現在は結婚していないし、これまで結婚したこともない」が3割以上

17. 結婚への意向【新規設問】

- 「出会うタイミングがあれば、結婚を考えたい」が約6割、次いで「結婚するつもりはない」「結婚したい」がそれぞれ約2割、合計値『結婚したい・考えたい』は7割以上

18. 結婚を考えたとき気になること【新規設問】

- 「自分の生活リズムや生活スタイルを保てるか」が4割以上、次いで「お金を自由に使えるか」が約4割
- 男性は「自分の生活リズムや生活スタイルを保てるか」「余暇や遊びの時間を自由に取れるか」「お金を自由に使えるか」の3項目がそれぞれ3割以上で同程度に高く、女性は「自分の生活リズムや生活スタイルを保てるか」が5割以上で最も高い

19. 理想的な子ども数【新規設問】

- 「2人」「3人」がそれぞれ4割以上で同程度に高い

20. 理想的な子ども数の実現への妨げ【新規設問】

- 「子育てや教育にお金がかかりすぎる」が7割以上、次いで「自分の仕事への影響」が4割以上

21. 南魚沼市の魅力や誇り（自由記述）

- 「自然（環境）」「四季」「雪」「水」「米（コシヒカリ）」「酒」「人」などが比較的多い

Ⅱ 調査概要

1. 調査の実施概要

(1) 調査目的

本市のまちづくりの最上位計画である「第2次南魚沼市総合計画」は、計画期間を平成28（2016）年度から令和7（2025）年度までの10年間としており、令和7年度に計画期間が終了することから、次期（第3次）総合計画策定にあたり、これまでのまちづくりの取組への評価や、市政への意見などを市民に聞き、今後のまちづくりを進める上での基礎資料とすることを目的として本調査を実施しました。

(2) 調査方法

調査地域	南魚沼市全域
調査対象	満18歳以上の市民2,800人
抽出方法	令和6（2024）年6月1日現在の住民基本台帳から無作為抽出
調査票法	配布は郵送 回収は郵送またはインターネット専用フォームによる回答
調査期間	令和6（2024）年7月1日（月）～7月31日（水）

(3) 調査項目

「第2次南魚沼市総合計画 後期基本計画」に基づくまちづくりの取組に関するものを中心に、前回調査（令和元年度実施）からの継続設問に加えて、新たな設問として以下を設定しました。

- デジタル化が進んでほしい南魚沼市の市民サービス〈問4〉
- 「市報みなみ魚沼」を読んでいる媒体〈問8（1）〉
- 結婚・出産・育児について〈問16～20〉※50歳未満に限定した設問

(4) 配布・回収結果

配布数	2,800 通
回収数	980 通 うち紙調査票による回答 766 件（回収数の 78.2%） インターネットによる回答 214 件（同 21.8%）
回収率	35.0%

(5) 集計結果の見方

- 各設問について、全体集計と、回答者の性別、年代別、居住地域別（大和、六日町、塩沢）、職業別の4項目を中心とするクロス集計による分析を行います。
- これまでの調査から継続する設問について、全体集計結果の比較を行います。なお、本文や図表中で「2024 年度」は本調査、「2019 年度」「2014 年度」はそれぞれ以下を示します。

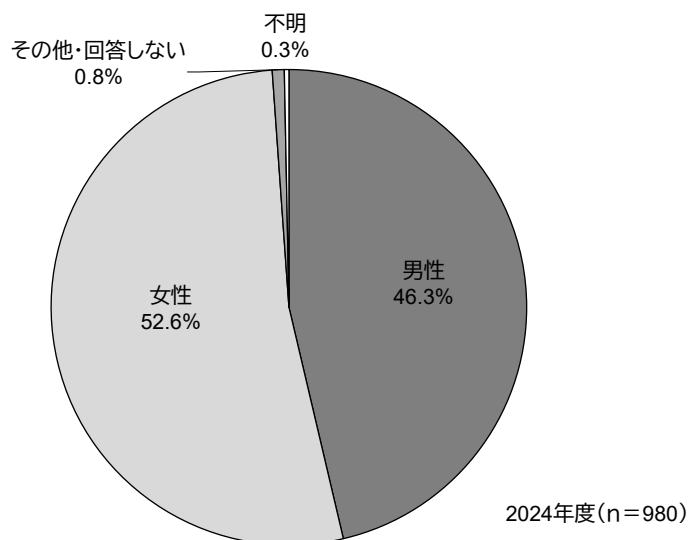
調査年度	2024 年度 (本調査)	2019 年度 (前回調査)	2014 年度 (前々回調査)
調査対象	満 18 歳以上の市民	満 20 歳以上の市民	満 20 歳以上の市民
配布・回収数	2,800 通配布 980 通回収 (回収率 35.0%)	2,500 通配布 1,197 通回収 (回収率 47.9%)	2,500 通 1,029 通 (回収率 41.2%)

- 集計結果は、構成比率（%）での表示を主とし、一部で加重平均値を用います。点数化にあたっての重みづけの内容は、それぞれの該当図表の下に表示します。
- 集計結果における構成比率（%）の数値は、小数点第二位を四捨五入し、小数点第一位までを表示します。そのため、表示する数値の合計が 100.0%にならない場合があります。また、加重平均値は、小数点第三位を四捨五入し、小数点第二位までを表示します。
- 図表中で「n＝」で示される数値は、各設問への回答者数を示し、構成比率（%）を求めるための分母となります。
- 各設問の集計結果について、職業別の「学生」（n＝12 全体の 1.2%）、家族構成別の「兄弟姉妹と同居」（n＝11 全体の 1.1%）は該当者が少数のため、それぞれの属性別では図表中への表示及び分析は行いません。

2. 回答者の属性

(1) 性別

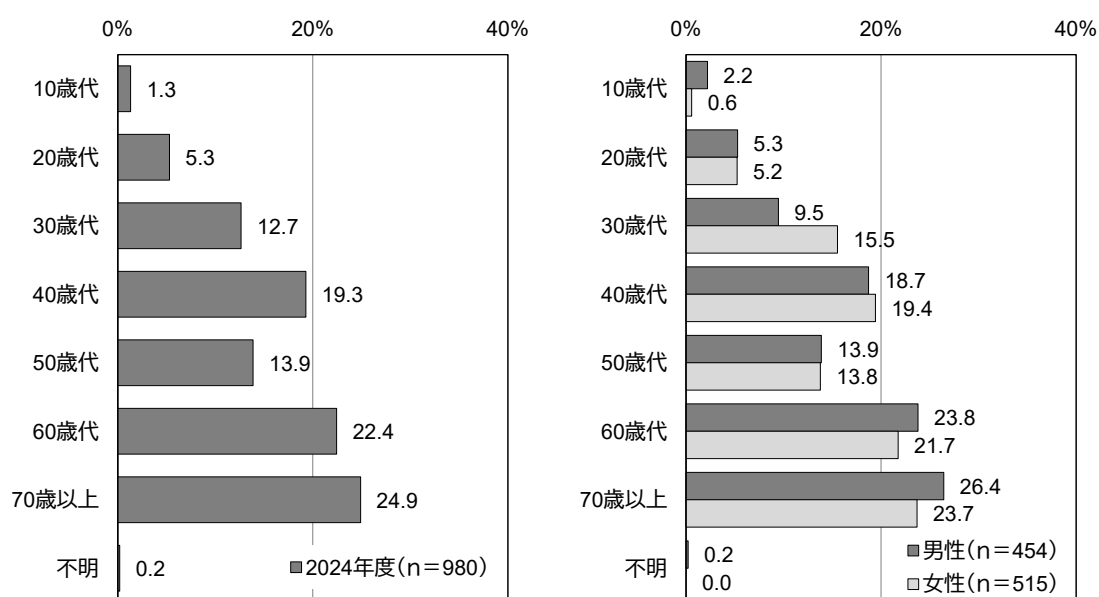
女性（52.6％）が男性（46.3％）より 6.3 ポイント高くなっています。



(2) 年代

70 歳以上（24.9％）、60 歳代（22.4％）が 2 割以上、次いで 40 歳代（19.3％）が約 2 割となっています。

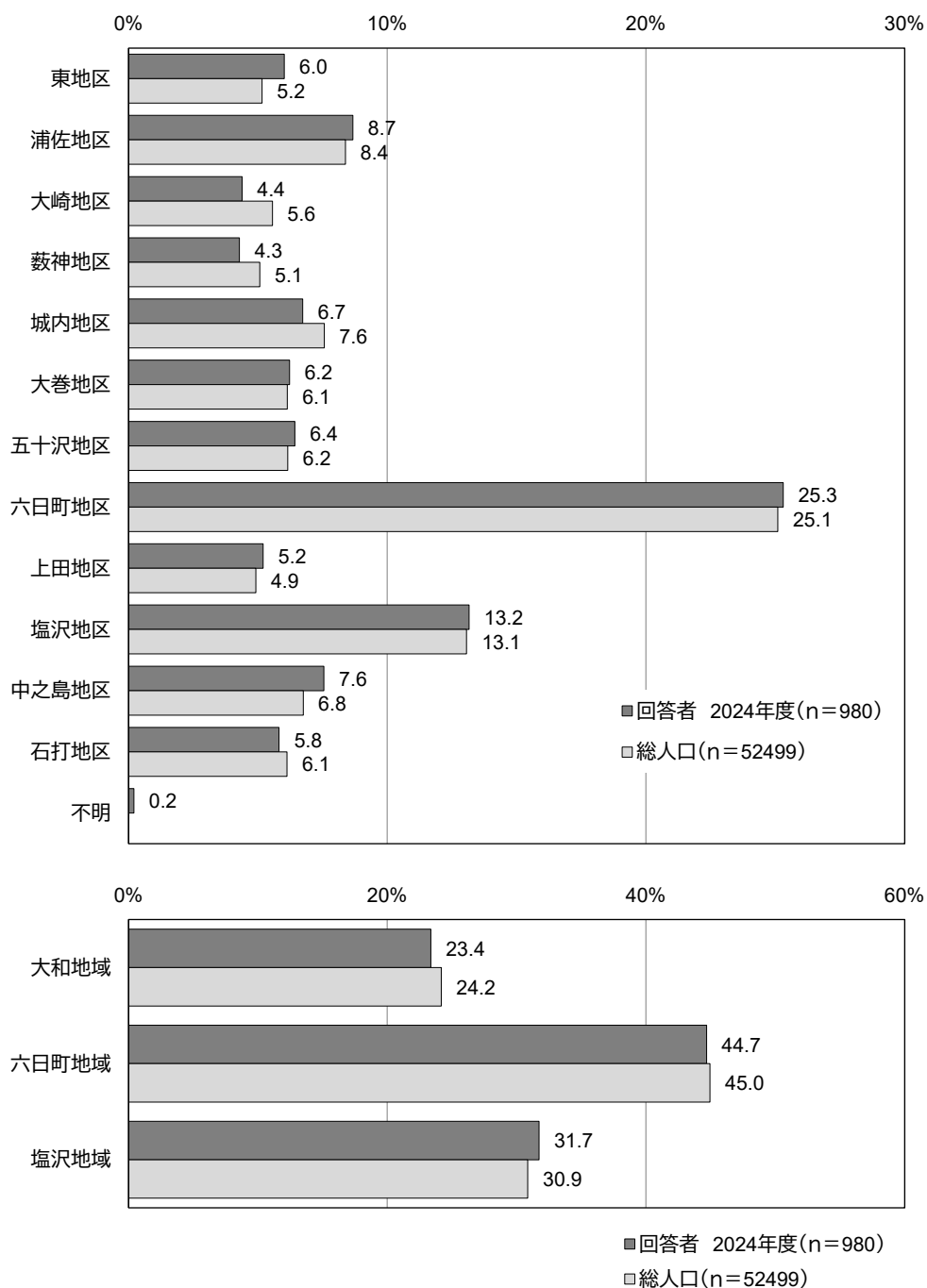
性別で見ると、男女とも同様の傾向となっていますが、その中で 30 歳代は女性（15.5％）が男性（9.5％）より若干高くなっています。



(3) 居住地

六日町地区（25.3%）が2割以上で最も高く、次いで塩沢地区（13.2%）が1割以上となっています。

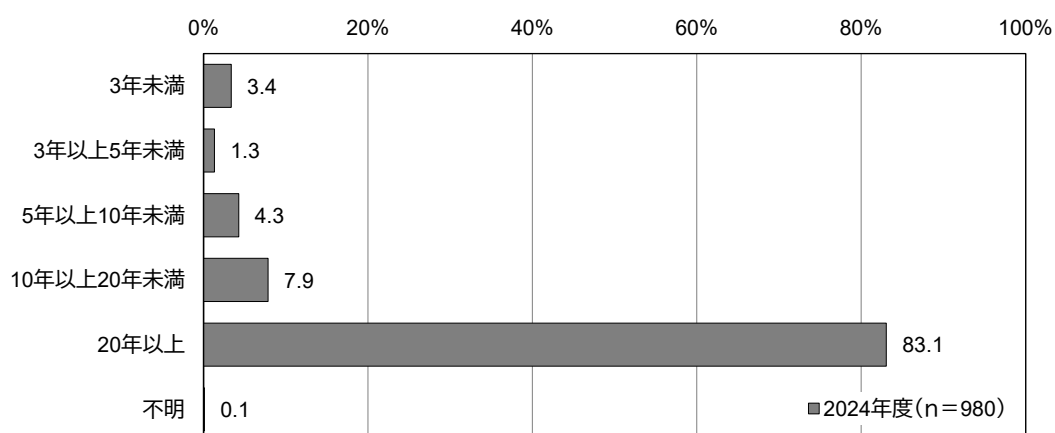
12地区別及び大和、六日町、塩沢の3地域別の割合は、行政区別人口（令和6年7月末現在）と同様の傾向となっており、回答者の居住地割合は、市民の居住地割合とおおむね一致しています。



※総人口は「南魚沼市行政区別人口集計表（外国人住民を含む）令和6年7月末」より

(4) 居住年数

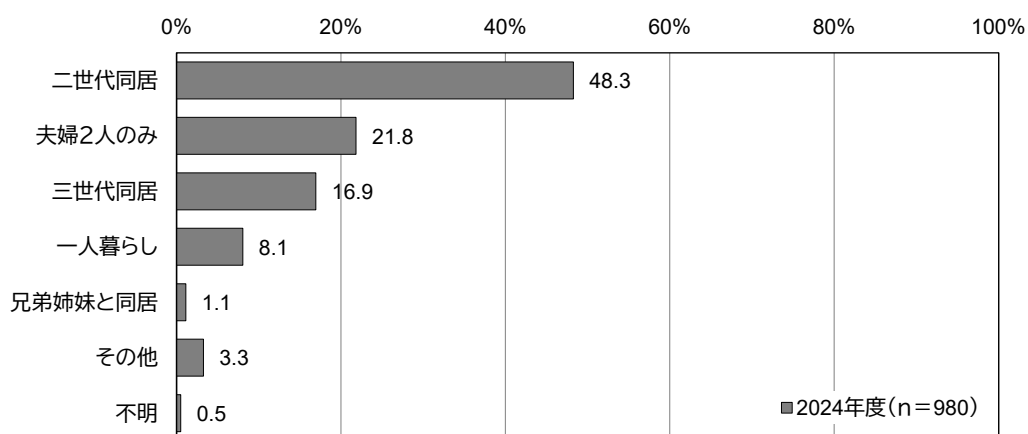
20 年以上（83.1%）が8割以上で特に高くなっています。



(5) 家族構成

二世世代同居（48.3%）が約5割で最も高く、次いで夫婦2人のみ（21.8%）が2割以上となっています。

その他（3.3%）の記述には、「四世代」（同居）、「3人」などが複数見られます。

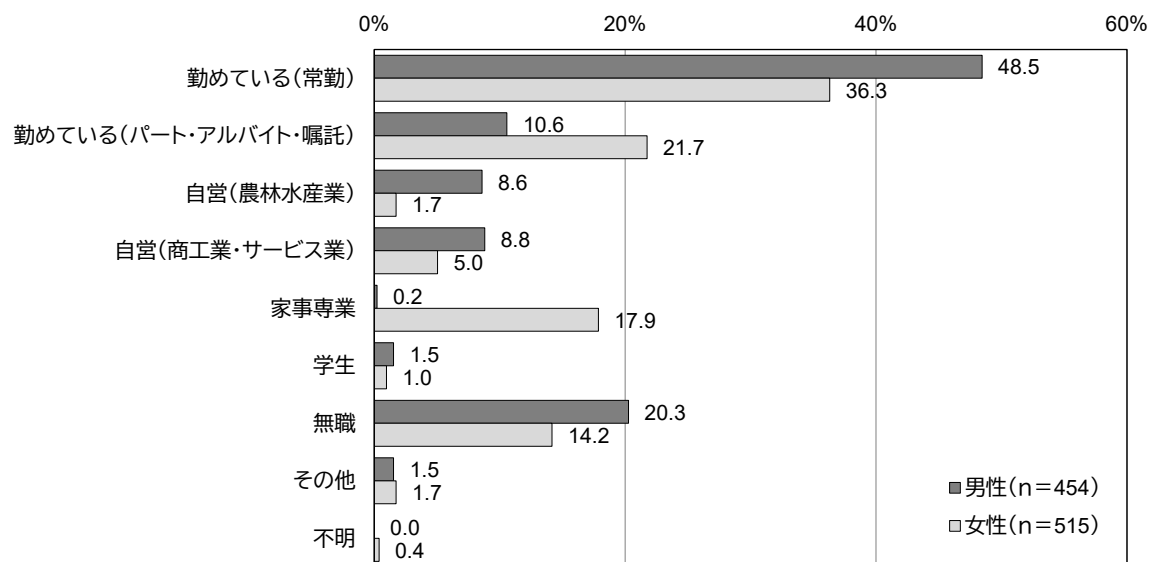
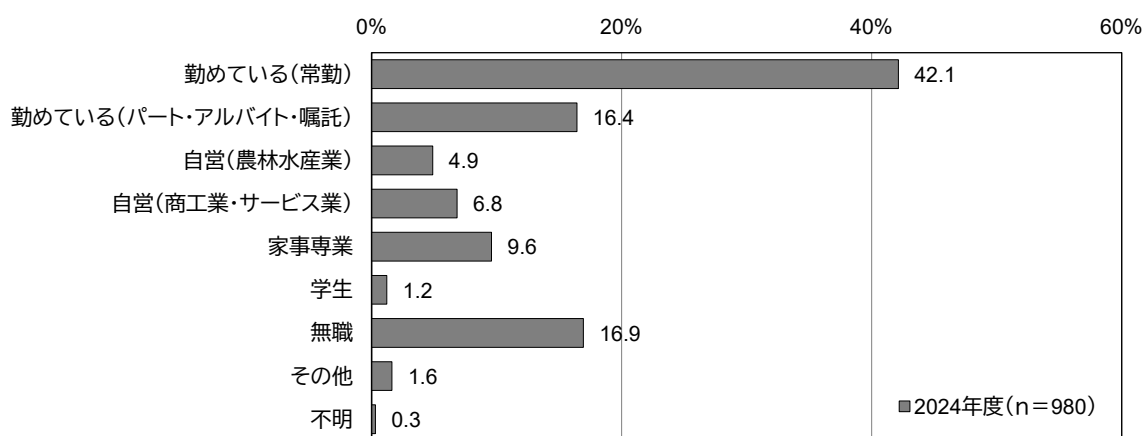


(6) 職業

勤めている（常勤）（以下、「常勤」）（42.1％）が4割以上で最も高くなっています。次いで無職（16.9％）、勤めている（パート・アルバイト・嘱託）（以下、「非常勤」）（16.4％）がそれぞれ1割以上で同程度となっています。

性別で見ると、男女とも常勤（男性48.5％、女性36.3％）が最も高く、男性は約5割、女性は3割以上となっています。次いで男性は無職（20.3％）、女性は非常勤（21.7％）がそれぞれ2割以上となっています。

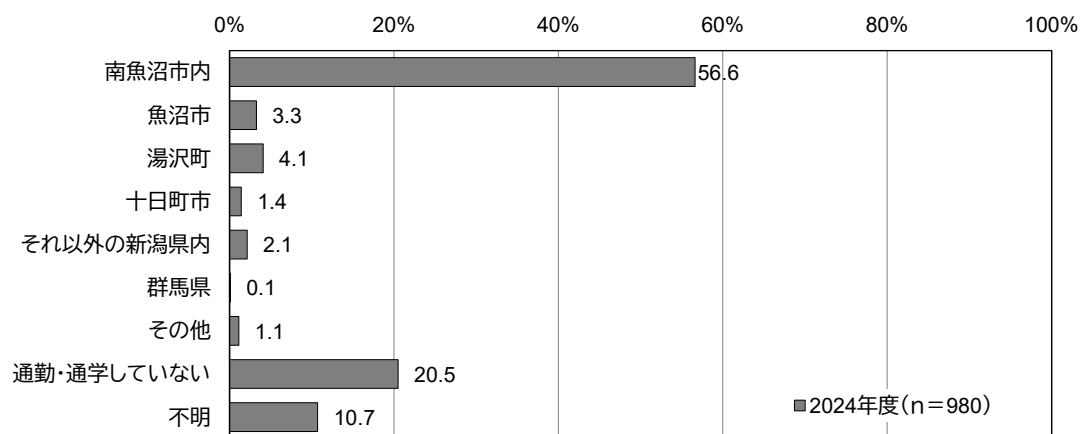
常勤と非常勤の合計値『勤めている』（男性59.1％、女性58.0％）は男女とも約6割で同程度となっています。



※以下、「勤めている（常勤）」は「常勤」、「勤めている（パート・アルバイト・嘱託）」は「非常勤」、「自営（農林水産業）」は「農林自営」、「自営（商工業・サービス業）」は「商工自営」と表示

(7) 通勤・通学先

南魚沼市内（56.6%）が約6割で特に高く、次いで「通勤・通学していない」（20.5%）が2割以上となっています。



Ⅲ 調査結果

1. まちづくりの現状評価

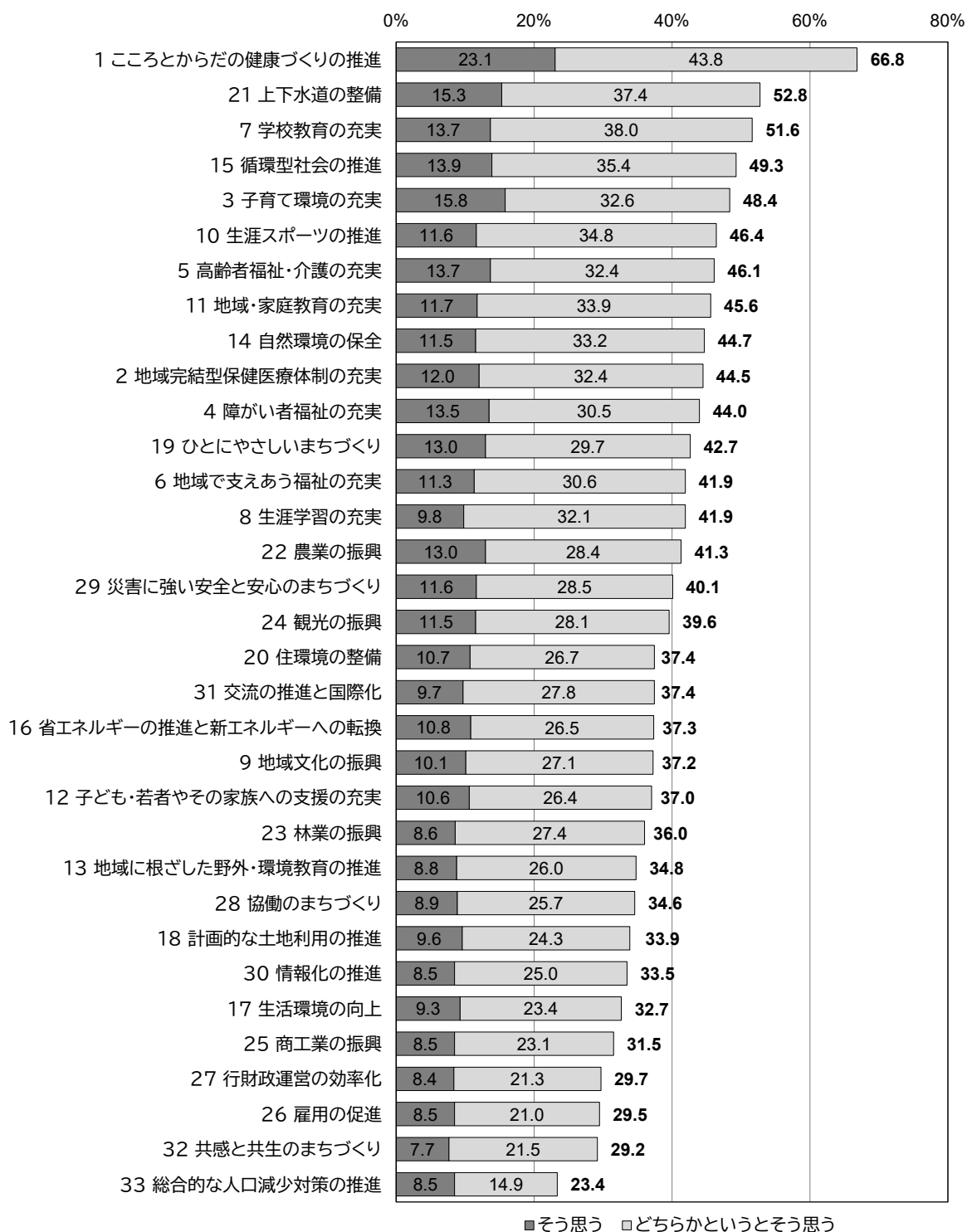
問1 南魚沼市では「第2次南魚沼市総合計画」により6つの政策分野ごとに以下のようなまちづくりを進めています。あなたは、次の1～33の項目について、十分に取組が進められていると思いますか。（1つずつ選択）

●「**こころとからだの健康づくりの推進**」の評価が最も高く、「**総合的な人口減少対策の推進**」の評価が最も低い

「そう思う」は「1 こころとからだの健康づくりの推進」（23.1％）が2割以上で最も高く、次いで「3 子育て環境の充実」（15.8％）など複数の項目が1割以上となっています。

「そう思う」「どちらかというと思う」の合計値『思う』は、「1 こころとからだの健康づくりの推進」（66.9％）が約7割で最も高く、次いで「21 上下水道の整備」（52.8％）、「7 学校教育の充実」（51.6％）の2項目が5割以上となっています。

一方、「33 総合的な人口減少対策の推進」（23.4％）が2割程度で最も低くなっています。

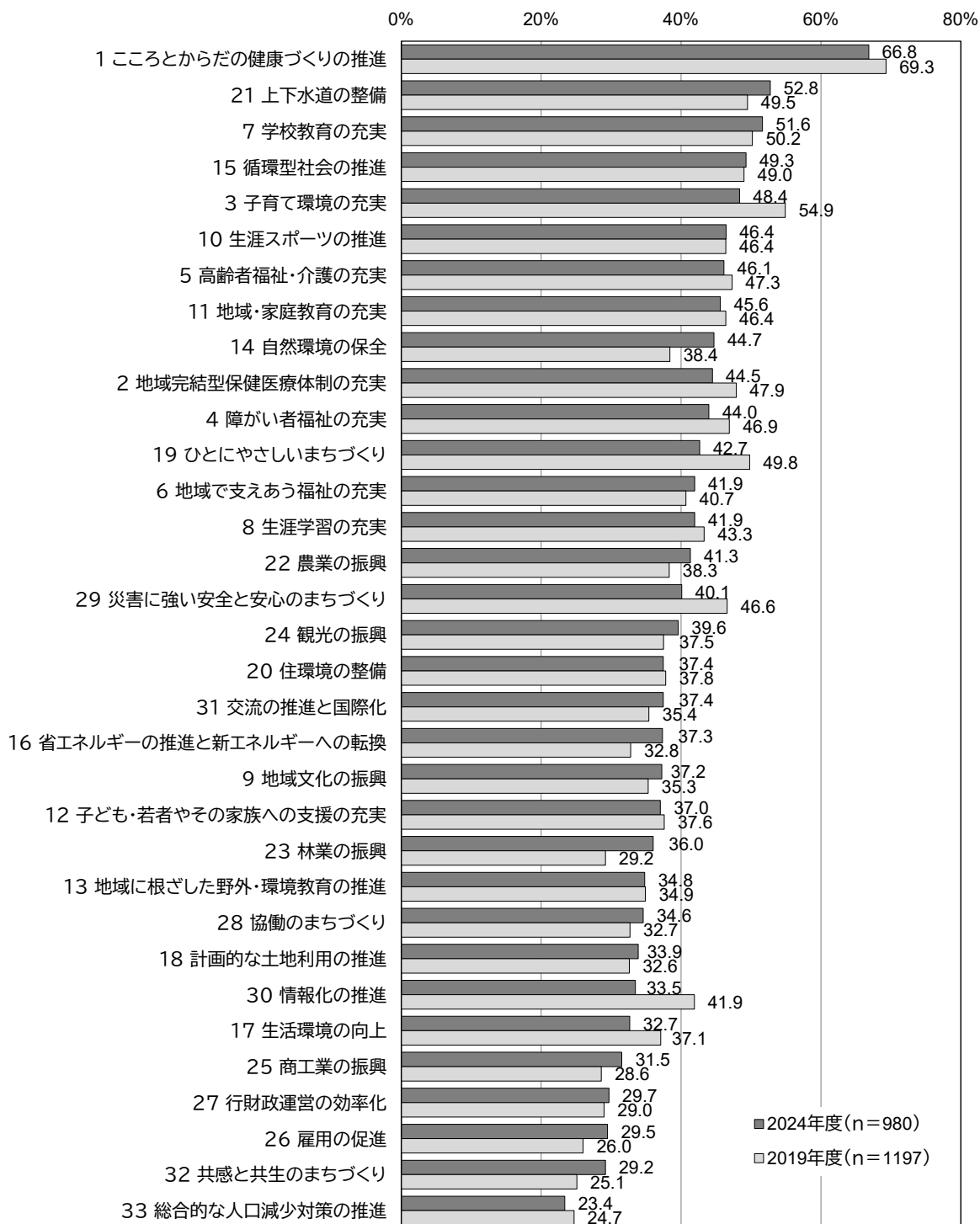


まちづくりの現状評価 取組が進められていると思うか（1つずつ選択）

※全体値が高い順に表示。太字は「そう思う」「どちらかというと思う」の合計値。項目名冒頭の番号は調査時の項目番号

●現状評価は 33 項目中 17 項目が前回から向上、15 項目が低下

合計値『思う』について、項目設定が同様の前回調査と比較すると、大きな変化は見られませんが、「23 林業の振興」（本調査 36.0%、前回 29.2%、6.8 ポイント増）など 17 項目が前回より高くなる一方、「30 情報化の推進」（本調査 33.5%、前回 41.9%、8.4 ポイント減）など 15 項目が前回より低くなっています。また、「10 生涯スポーツの推進」（46.4%）は前回と同値となっています。



まちづくりの現状評価 取組が進められていると思うか（経年比較）

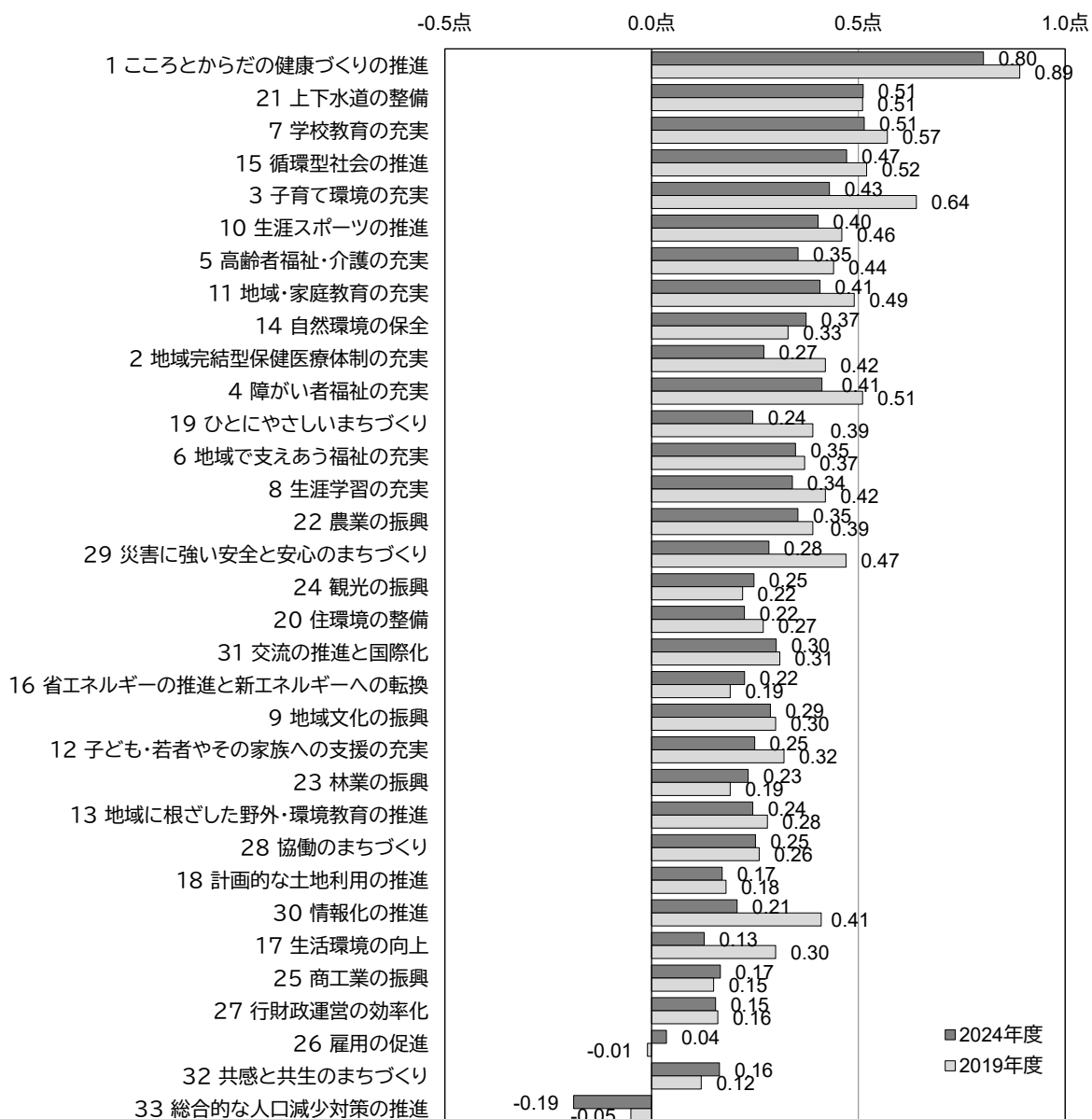
※全体値（「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計値）が高い順に表示。項目名冒頭の番号は調査時の項目番号

●加重平均値では「総合的な人口減少対策の推進」のみマイナス値

●33 項目中 7 項目が前回から向上、25 項目が低下

各項目の加重平均値*を見ると、「1 ところとからだの健康づくりの推進」(0.80 点)が特に高く、次いで「21 上下水道の整備」「7 学校教育の充実」(0.51 点で同値)などが高くなっています。一方、「33 総合的な人口減少対策の推進」(-0.19 点)が最も低く、33 項目中で唯一マイナス点となっています。

前回調査と比較すると、「26 雇用の促進」(本調査 0.04 点、前回-0.01 点、0.05 ポイント増)など 7 項目が前回より若干高くなる一方、「3 子育て環境の充実」(本調査 0.43 点、前回 0.64 点、0.21 点減)など 25 項目が前回より低くなっています。また、「21 上下水道の整備」は前回と同値となっています。



まちづくりの現状評価 取組が進められていると思うか (加重平均値・経年比較)

*加重平均値:「そう思う」に+2点、「どちらかというと思う」に+1点、「どちらともいえない」に0点、「どちらかというと思う」に-1点、「そう思う」に-2点の加重値を与え、「不明」を除く回答者数で平均値を算出したもの。基準値を0として、プラスの値の場合は肯定的な評価、マイナスの値の場合は否定的な評価と考えられる

※全体値(「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計値)が高い順に表示。項目名冒頭の番号は調査時の項目番号

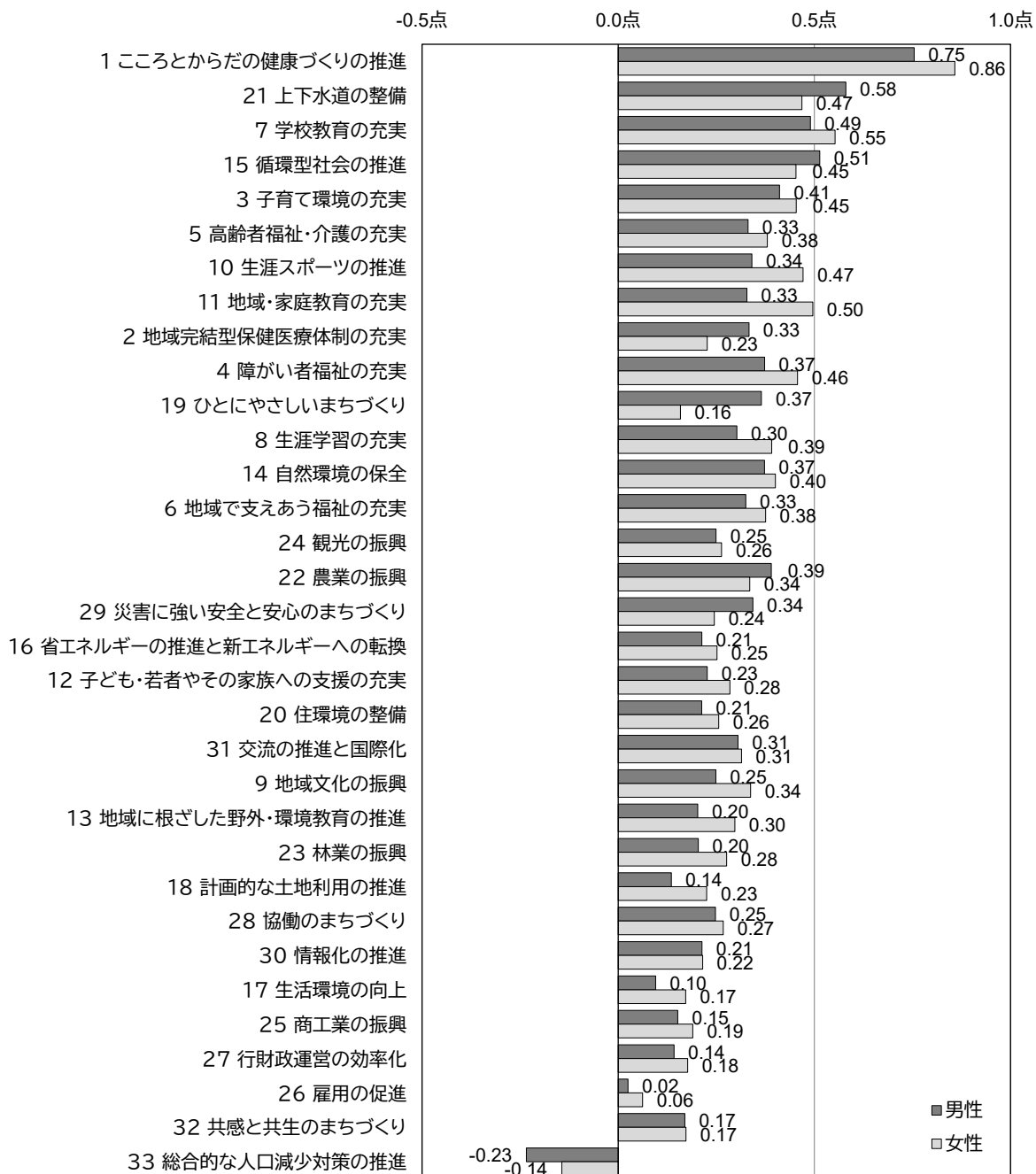
●加重平均値は男女とも「こころとからだの健康づくりの推進」が最も高い

●男女差は「人にやさしいまちづくり」で最も大きく、男性が女性より高い

加重平均値を性別で見ると、男女とも「1 こころとからだの健康づくりの推進」(男性 0.75 点、女性 0.86 点)が最も高く、次いで男性は「21 上下水道の整備」(0.58 点)、女性は「7 学校教育の充実」(0.55 点)が高くなっています。

一方、最も低い項目は、男女とも「33 総合的な人口減少対策の推進」(男性-0.23 点、女性 -0.14 点)となっています。

男女差は「19 ひとにやさしいまちづくり」で最も大きく、男性 (0.37 点)が女性 (0.16 点)より 0.21 点高くなっています。



まちづくりの現状評価 取組が進められていると思うか (性別 加重平均値)

※全体値 (「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計値) が高い順に表示。項目名冒頭の番号は調査時の項目番号

●加重平均値は10・20歳代では「上下水道の整備」、他の年代は「こころとからだの健康づくりの推進」が最も高い

●年代差は「林業の振興」「災害に強い安全と安心のまちづくり」で大きく、いずれも10・20歳代が最も高い

加重平均値を年代別で見ると、10・20歳代を除き「1 こころとからだの健康づくりの推進」、10・20歳代は「21 上下水道の整備」(0.91点)がそれぞれ最も高くなっています。

一方、最も低い項目は、すべての年代で「33 総合的な人口減少対策の推進」となっており、10・20歳代(0.14点)、70歳以上(0.12点)を除きマイナス値となっています。

年代差は「23 林業の振興」「29 災害に強い安全と安心のまちづくり」で大きく、いずれも10・20歳代(それぞれ0.83点、0.75点)が最も高く、「23 林業の振興」は60歳代(0.06点)、「29 災害に強い安全と安心のまちづくり」は40歳代(-0.01点)が最も低くなっています。

まちづくりの現状評価 取組が進められていると思うか(年代別 加重平均値)

加重平均値(点)	10・20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳以上
1 こころとからだの健康づくりの推進	0.83	0.70	0.51	0.86	0.85	1.02
21 上下水道の整備	0.91	0.38	0.25	0.50	0.48	0.73
7 学校教育の充実	0.73	0.48	0.28	0.56	0.46	0.71
15 循環型社会の推進	0.78	0.48	0.33	0.43	0.36	0.63
3 子育て環境の充実	0.64	0.13	0.18	0.54	0.50	0.62
5 高齢者福祉・介護の充実	0.67	0.33	0.13	0.33	0.30	0.54
10 生涯スポーツの推進	0.63	0.45	0.22	0.38	0.30	0.59
11 地域・家庭教育の充実	0.56	0.28	0.31	0.47	0.34	0.54
2 地域完結型保健医療体制の充実	0.61	0.05	-0.01	0.23	0.35	0.48
4 障がい者福祉の充実	0.72	0.26	0.31	0.40	0.36	0.55
19 ひとにやさしいまちづくり	0.72	0.22	-0.02	0.19	0.24	0.39
8 生涯学習の充実	0.53	0.33	0.12	0.37	0.31	0.51
14 自然環境の保全	0.69	0.40	0.40	0.40	0.24	0.38
6 地域で支えあう福祉の充実	0.59	0.31	0.21	0.32	0.21	0.57
24 観光の振興	0.50	0.28	0.07	0.15	0.23	0.38
22 農業の振興	0.84	0.47	0.18	0.31	0.15	0.54
29 災害に強い安全と安心のまちづくり	0.75	0.28	-0.01	0.28	0.18	0.51
16 省エネルギーの推進と新エネルギーへの転換	0.69	0.26	0.04	0.16	0.15	0.35
12 子ども・若者やその家族への支援の充実	0.55	0.11	0.09	0.30	0.14	0.46
20 住環境の整備	0.48	0.18	0.02	0.19	0.17	0.42
31 交流の推進と国際化	0.69	0.28	0.13	0.28	0.24	0.42
9 地域文化の振興	0.70	0.38	0.18	0.24	0.16	0.38
13 地域に根ざした野外・環境教育の推進	0.56	0.17	0.09	0.25	0.15	0.42
23 林業の振興	0.83	0.39	0.13	0.21	0.06	0.26
18 計画的な土地利用の推進	0.50	0.18	-0.09	0.22	0.15	0.30
28 協働のまちづくり	0.64	0.19	0.03	0.20	0.22	0.42
30 情報化の推進	0.53	0.07	-0.06	0.25	0.20	0.40
17 生活環境の向上	0.47	0.23	0.00	0.14	-0.02	0.23
25 商工業の振興	0.52	0.21	-0.01	0.06	0.12	0.29
27 行財政運営の効率化	0.47	0.12	-0.12	0.05	0.14	0.40
26 雇用の促進	0.47	-0.08	-0.22	-0.10	0.04	0.27
32 共感と共生のまちづくり	0.61	0.07	-0.03	0.14	0.07	0.37
33 総合的な人口減少対策の推進	0.14	-0.32	-0.57	-0.37	-0.09	0.12

※全体値(「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計値)が高い順に表示。項目名冒頭の番号は調査時の項目番号

※濃色網掛け表示は最も高い値、淡色網掛け表示は次いで高い値

●加重平均値はすべての居住地域で「こころとからだの健康づくり」が最も高い

●地域差は「循環型社会の推進」で最も大きく、塩沢地域が高い

加重平均値を居住地域別で見ると、すべての地域で「1 こころとからだの健康づくりの推進」が最も高くなっています。

一方、最も低い項目は、すべての地域で「33 総合的な人口減少対策の推進」となっています。

地域差は「15 循環型社会の推進」で最も大きく、最も高い塩沢地域（0.57 点）と最も低い大和地域（0.33 点）では 0.24 点の差が見られます。

まちづくりの現状評価 取組が進められていると思うか（居住地域別 加重平均値）

加重平均値(点)	大和地域	六日町地域	塩沢地域
1 こころとからだの健康づくりの推進	0.77	0.83	0.80
21 上下水道の整備	0.52	0.50	0.54
7 学校教育の充実	0.49	0.51	0.55
15 循環型社会の推進	0.33	0.48	0.57
3 子育て環境の充実	0.32	0.44	0.50
5 高齢者福祉・介護の充実	0.28	0.38	0.38
10 生涯スポーツの推進	0.29	0.42	0.47
11 地域・家庭教育の充実	0.39	0.46	0.35
2 地域完結型保健医療体制の充実	0.18	0.30	0.31
4 障がい者福祉の充実	0.35	0.46	0.40
19 ひとにやさしいまちづくり	0.19	0.25	0.29
8 生涯学習の充実	0.33	0.36	0.34
14 自然環境の保全	0.31	0.37	0.44
6 地域で支えあう福祉の充実	0.31	0.36	0.38
24 観光の振興	0.30	0.16	0.34
22 農業の振興	0.34	0.37	0.35
29 災害に強い安全と安心のまちづくり	0.26	0.30	0.29
16 省エネルギーの推進と新エネルギーへの転換	0.16	0.23	0.28
12 子ども・若者やその家族への支援の充実	0.19	0.28	0.27
20 住環境の整備	0.21	0.21	0.26
31 交流の推進と国際化	0.40	0.27	0.29
9 地域文化の振興	0.19	0.29	0.36
13 地域に根ざした野外・環境教育の推進	0.29	0.24	0.23
23 林業の振興	0.19	0.27	0.22
18 計画的な土地利用の推進	0.13	0.17	0.20
28 協働のまちづくり	0.29	0.24	0.25
30 情報化の推進	0.19	0.20	0.24
17 生活環境の向上	0.11	0.12	0.17
25 商工業の振興	0.19	0.12	0.23
27 行財政運営の効率化	0.09	0.16	0.20
26 雇用の促進	-0.01	0.08	0.02
32 共感と共生のまちづくり	0.17	0.17	0.16
33 総合的な人口減少対策の推進	-0.18	-0.21	-0.15

※全体値（「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計値）が高い順に表示。項目名冒頭の番号は調査時の項目番号

※濃色網掛け表示は最も高い値、淡色網掛け表示は次いで高い値

●加重平均値はいずれの職業も「こころとからだの健康づくり」が最も高い

●職業差は「住環境の整備」「雇用の促進」「総合的な人口減少対策の推進」で大きく、いずれも農林自営が高い

加重平均値を職業別で見ると、いずれの職業も「1 こころとからだの健康づくりの推進」が最も高くなっています。

一方、最も低い項目は、いずれの職業も「33 総合的な人口減少対策の推進」となっています。また、農林自営、家事専業、無職はすべての項目がプラス値となっています。

職業差は「20 住環境の整備」「26 雇用の促進」「33 総合的な人口減少対策の推進」で大きく、いずれも農林自営が最も高く、「20 住環境の整備」「26 雇用の促進」は常勤（それぞれ0.11点、-0.10点）、「33 総合的な人口減少対策の推進」は商工自営（-0.37点）が最も低くなっています。

まちづくりの現状評価 取組が進められていると思うか（職業別 加重平均値）

加重平均値(点)	常勤	非常勤	農林自営	商工自営	家事専業	無職
1 こころとからだの健康づくりの推進	0.66	0.96	1.13	0.67	0.86	0.91
21 上下水道の整備	0.43	0.46	0.85	0.52	0.60	0.61
7 学校教育の充実	0.39	0.53	0.78	0.51	0.69	0.61
15 循環型社会の推進	0.40	0.52	0.64	0.40	0.54	0.49
3 子育て環境の充実	0.29	0.51	0.79	0.45	0.48	0.56
5 高齢者福祉・介護の充実	0.25	0.46	0.55	0.32	0.31	0.45
10 生涯スポーツの推進	0.33	0.38	0.62	0.37	0.58	0.47
11 地域・家庭教育の充実	0.33	0.43	0.51	0.38	0.53	0.46
2 地域完結型保健医療体制の充実	0.17	0.34	0.68	0.23	0.22	0.34
4 障がい者福祉の充実	0.34	0.49	0.65	0.44	0.34	0.44
19 ひとにやさしいまちづくり	0.17	0.24	0.52	0.22	0.36	0.27
8 生涯学習の充実	0.23	0.39	0.72	0.25	0.51	0.41
14 自然環境の保全	0.38	0.36	0.51	0.34	0.41	0.31
6 地域で支えあう福祉の充実	0.24	0.39	0.62	0.41	0.38	0.43
24 観光の振興	0.17	0.26	0.61	0.28	0.24	0.31
22 農業の振興	0.30	0.43	0.43	0.17	0.37	0.42
29 災害に強い安全と安心のまちづくり	0.20	0.24	0.59	0.27	0.46	0.34
16 省エネルギーの推進と新エネルギーへの転換	0.17	0.27	0.51	0.14	0.26	0.24
12 子ども・若者やその家族への支援の充実	0.16	0.29	0.47	0.17	0.33	0.35
20 住環境の整備	0.11	0.23	0.73	0.16	0.24	0.32
31 交流の推進と国際化	0.23	0.34	0.72	0.22	0.33	0.33
9 地域文化の振興	0.26	0.30	0.54	0.08	0.39	0.29
13 地域に根ざした野外・環境教育の推進	0.14	0.27	0.59	0.14	0.39	0.32
23 林業の振興	0.20	0.28	0.35	0.12	0.26	0.22
18 計画的な土地利用の推進	0.05	0.27	0.40	0.23	0.33	0.18
28 協働のまちづくり	0.14	0.25	0.63	0.26	0.38	0.33
30 情報化の推進	0.16	0.22	0.44	-0.05	0.36	0.29
17 生活環境の向上	0.07	0.15	0.36	0.00	0.13	0.18
25 商工業の振興	0.03	0.24	0.61	0.29	0.23	0.20
27 行財政運営の効率化	0.00	0.19	0.52	0.05	0.34	0.32
26 雇用の促進	-0.10	0.04	0.50	0.02	0.12	0.17
32 共感と共生のまちづくり	0.07	0.17	0.48	0.19	0.20	0.25
33 総合的な人口減少対策の推進	-0.34	-0.21	0.24	-0.37	0.10	0.04

※全体値（「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計値）が高い順に表示。項目名冒頭の番号は調査時の項目番号

※濃色網掛け表示は最も高い値、淡色網掛け表示は次いで高い値

●加重平均値は政策分野別では「保健・医療・福祉」が最も高く、「行財政改革・市民参画」が最も低い

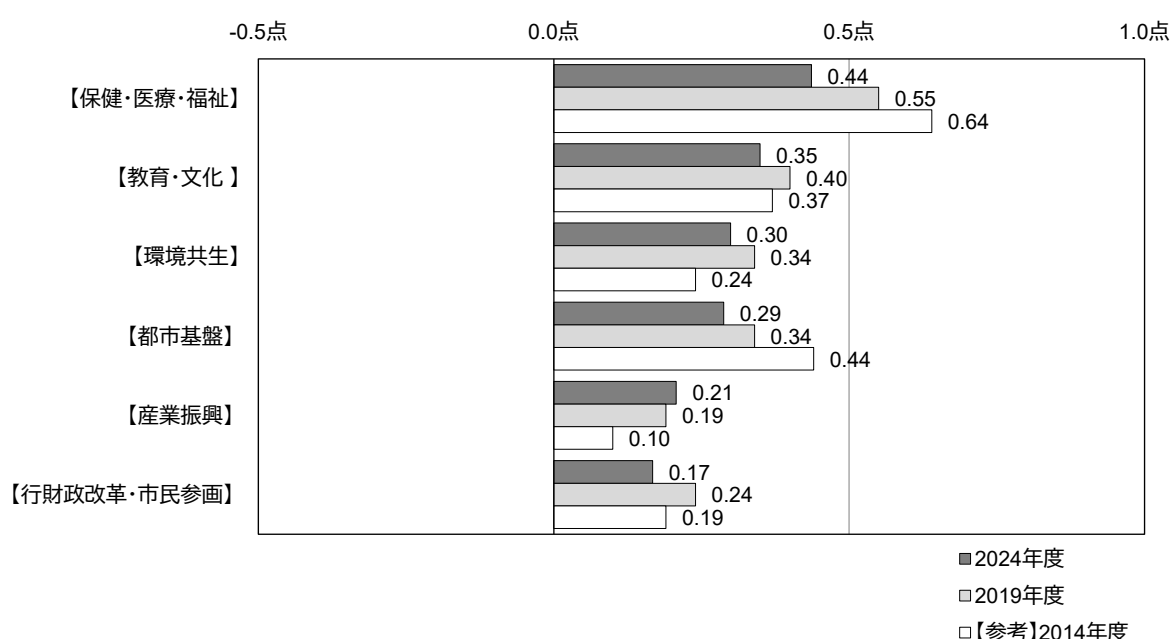
●「産業振興」を除き前回より低下

33 項目の加重平均値について、「第2次総合計画 後期基本計画」における6つの政策分野に分類した平均※¹を見ると、「保健・医療・福祉」(0.44 点)が最も高く、次いで「教育・文化」(0.35 点)となっています。

一方、「行財政改革・市民参画」(0.17 点)が最も低くなっています。

過去2回の調査※²と比較すると、いずれの調査でも「保健・医療・福祉」が最も高くなっています。

また、前回調査と比較すると、「産業振興」(0.21 点)を除き、前回より低くなっています。



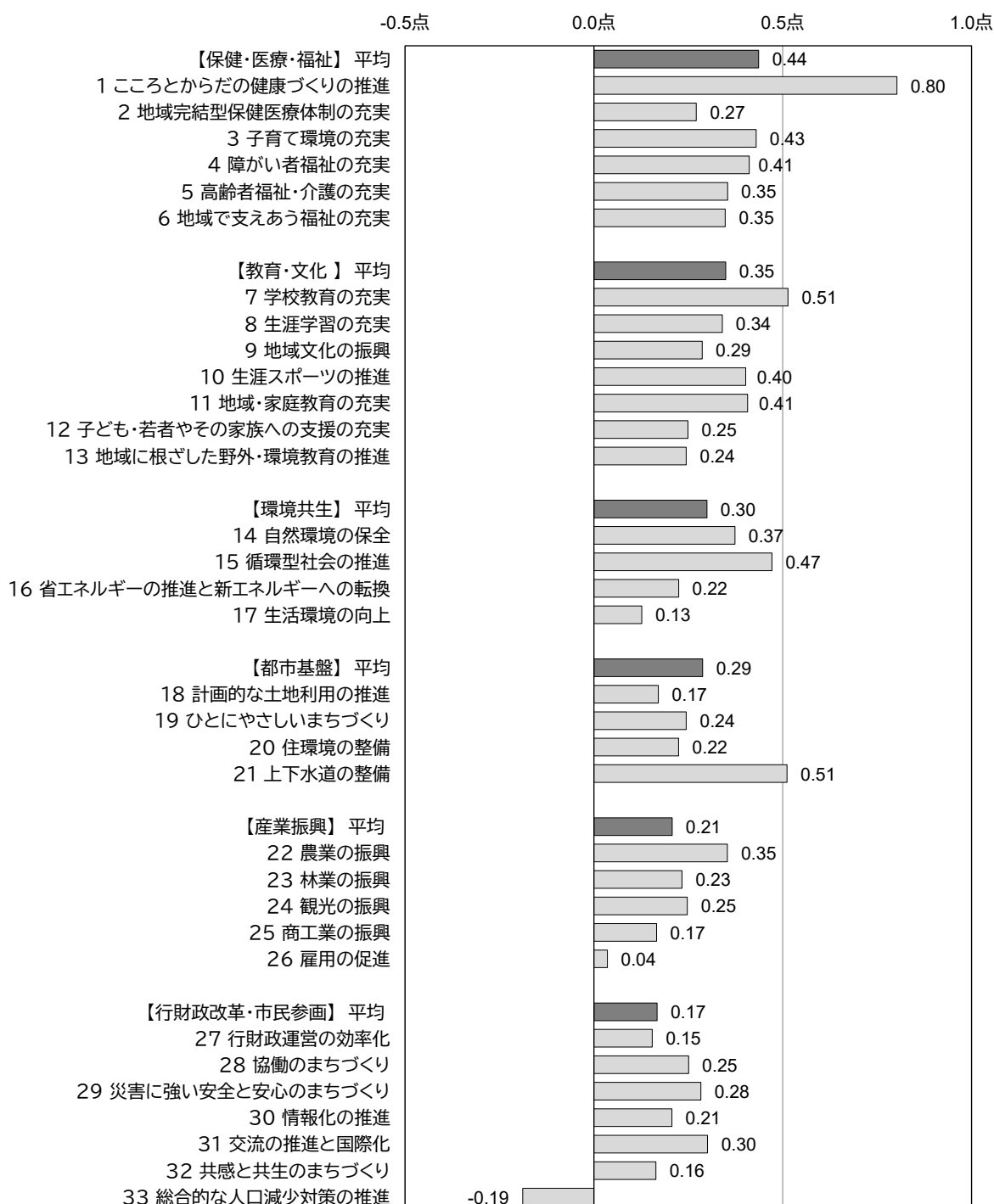
まちづくりの現状評価 取組が進められていると思うか（政策分野別 経年比較 加重平均値）

※1 各項目の加重平均値を政策分野別に足し合わせ、項目数で除した値

※2 2014年度の値は、項目数や項目内容が異なるため、本調査の項目に合わせて再集計した参考値

●いずれの政策分野でも、項目による加重平均値の差が比較的大きい

各政策分野に分類される項目それぞれの加重平均値を見ると、政策分野別の平均値が最も高い「保健・医療・福祉」では「1 こころとからだの健康づくりの推進」が特に高くなっています。また、いずれの政策分野でも項目による差が比較的大きくなっています。



まちづくりの現状評価 取組が進められていると思うか（政策分野別項目 加重平均値）

※ 【】内は政策分野名。項目名冒頭の番号は調査時の項目番号

2. 今後特に力を入れて取り組むべきこと

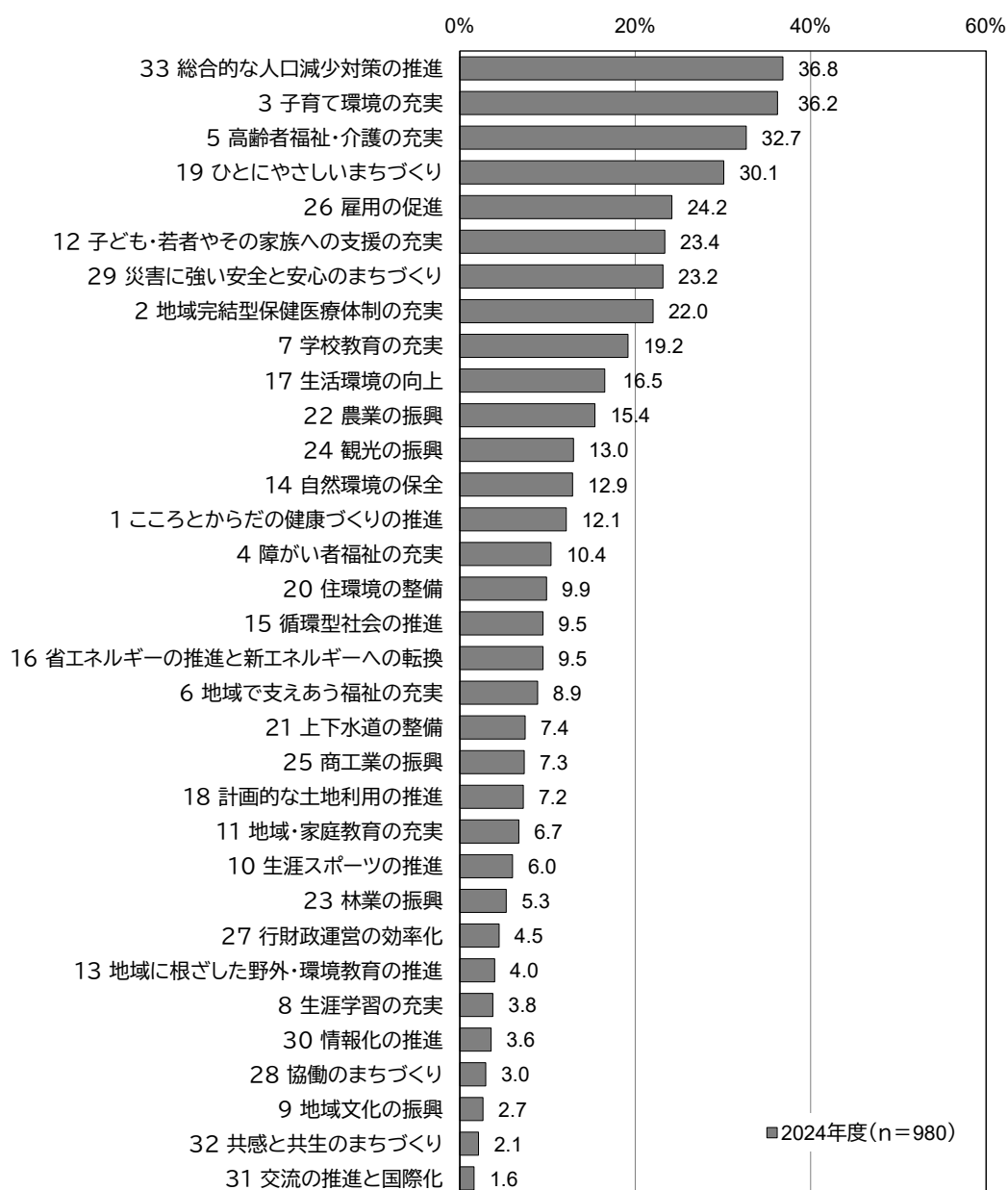
問2 今後、特に南魚沼市が力を入れて取り組むべきことはどれですか。（問1の33項目について・5つまで選択）

●「総合的な人口減少対策の推進」「子育て環境の充実」の2項目が高い

●次いで「高齢者福祉・介護の充実」「ひとにやさしいまちづくり」も3割以上

「33 総合的な人口減少対策の推進」（36.8%）、「3 子育て環境の充実」（36.2%）の2項目が同程度に高く、次いで「5 高齢者福祉・介護の充実」（32.7%）、「19 ひとにやさしいまちづくり」（30.1%）の2項目を合わせた4項目が3割以上となっています。

一方、「31 交流の推進と国際化」（1.6%）が最も低くなっています。

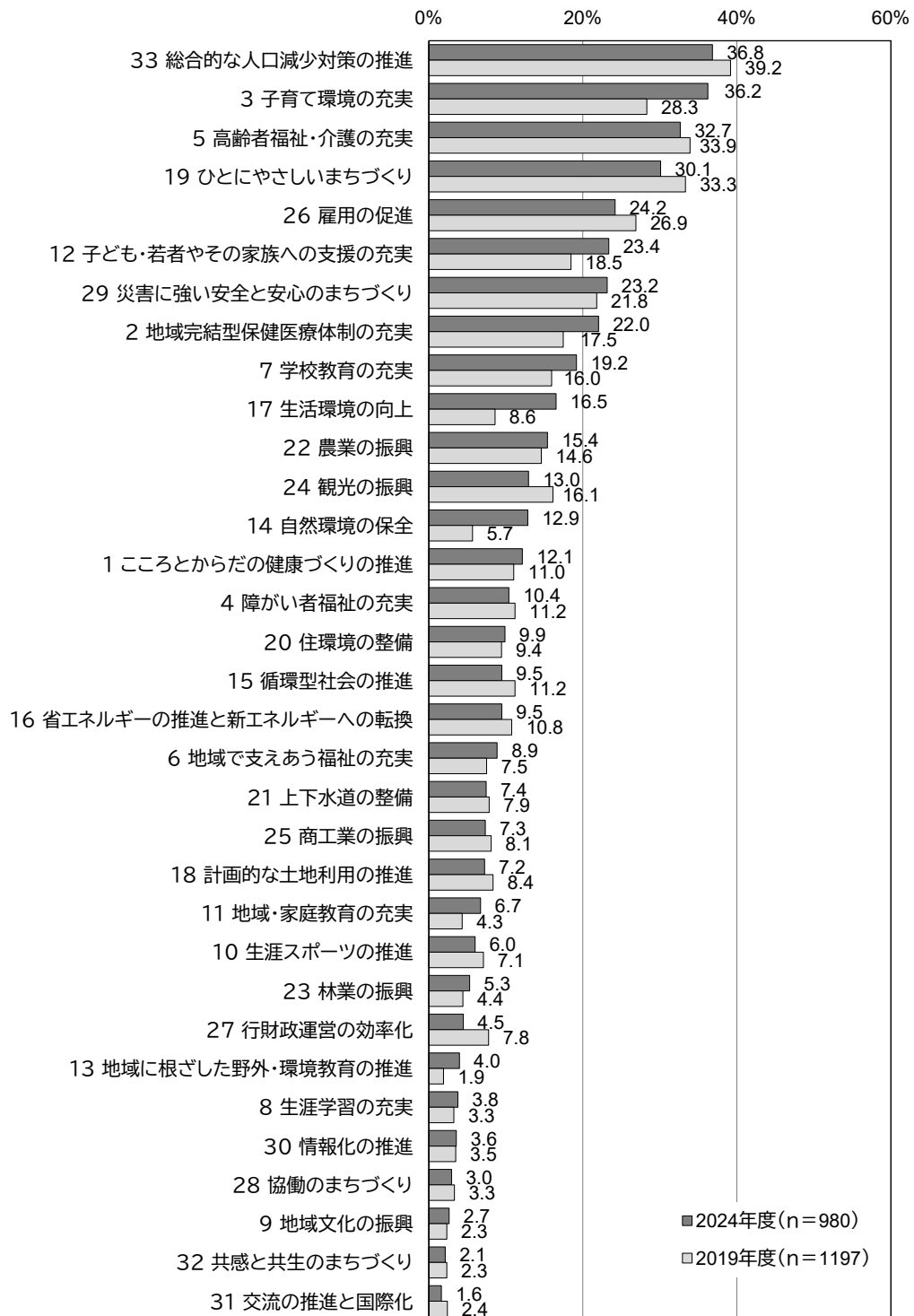


今後力を入れて取り組むべきこと（5つまで選択）

※全体値が高い順に表示

●「取り組むべき」は33項目中17項目が前回から向上、16項目が低下

前回調査と比較すると、大きな変化は見られませんが、「3 子育て環境の充実」（本調査 36.2%、前回 28.3%、7.9 ポイント増）、「17 生活環境の向上」（本調査 16.5%、前回 8.6%、7.9 ポイント増）など 17 項目が前回より高くなる一方、「27 行財政経営の効率化」（本調査 4.5%、前回 7.8%、3.3 ポイント減）など 16 項目が前回より低くなっています。



今後力を入れて取り組むべきこと（経年比較）

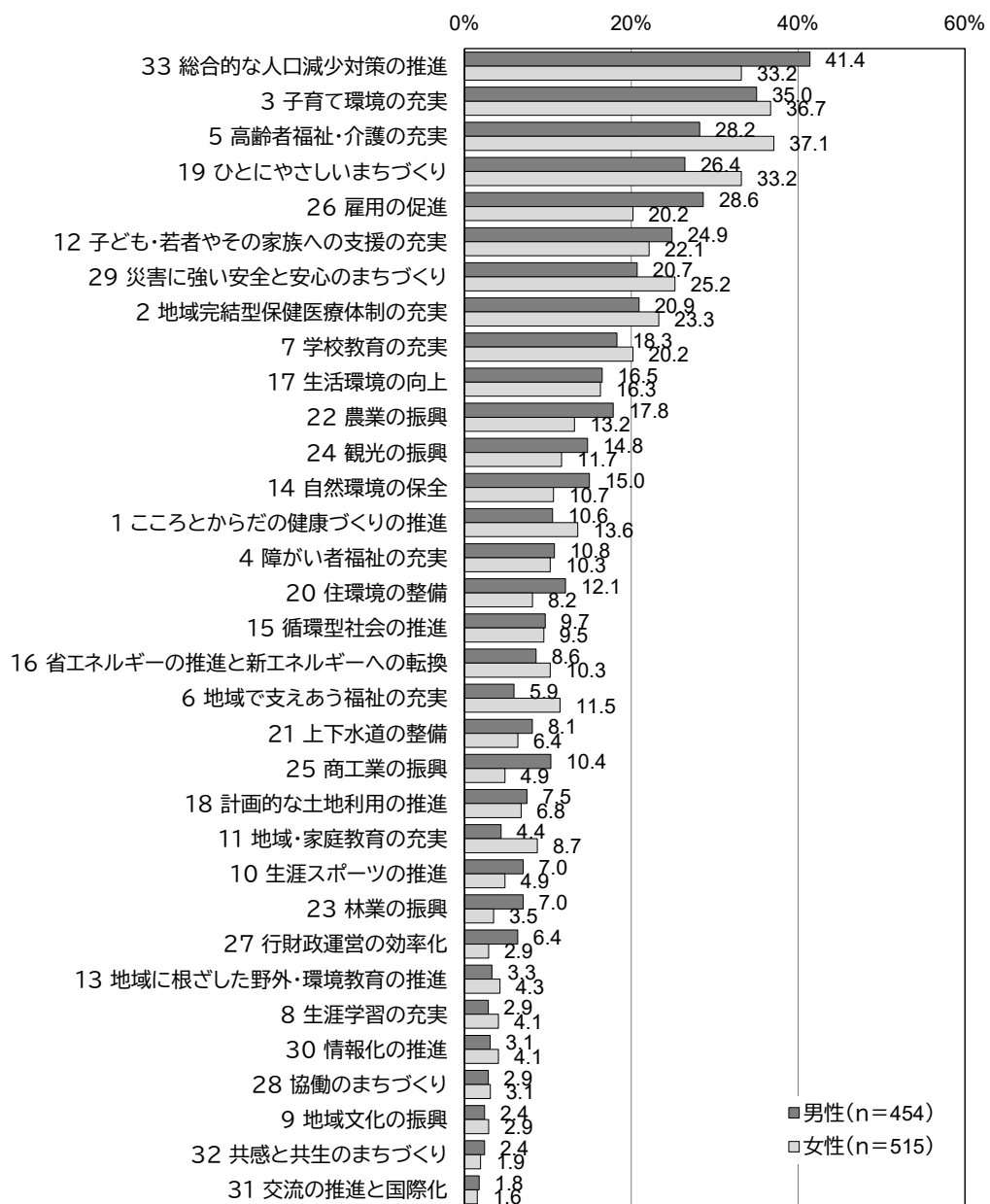
※全体値が高い順に表示

●男性は「総合的な人口減少対策の推進」、女性は「高齢者福祉・介護の充実」が最も高い

性別で見ると、男性は「33 総合的な人口減少対策の推進」(41.4%)、女性は「5 高齢者福祉・介護の充実」(37.1%) がそれぞれ約4割で最も高く、次いで男女とも「3 子育て環境の充実」(男性 35.0%、女性 36.7%) が高くなっています。

一方、最も低い項目は、男女とも「31 交流の推進と国際化」(男性 1.8%、女性 1.6%) となっています。

性別による大きな差は見られませんが、全体で上位の「5 高齢者福祉・介護の充実」(男性 28.2%)、「26 雇用の促進」(男性 28.6%、女性 20.2%)、「33 総合的な人口減少対策の推進」(女性 33.2%) は男女差が比較的大きく、「5 高齢者福祉・介護の充実」は女性、「26 雇用の促進」「33 総合的な人口減少対策の推進」は男性が8ポイント以上高くなっています。



今後力を入れて取り組むべきこと (性別)

※全体値が高い順に表示

●40 歳代以下は「子育て環境の充実」、50 歳代以上は「総合的な人口減少対策の推進」「高齢者福祉・介護の充実」が高い

●「子育て環境の充実」は 30 歳代が 6 割以上で特に高く、年代差が大きい

年代別で見ると、40 歳代以下は「3 子育て環境の充実」、50 歳代は「33 総合的な人口減少対策の推進」「5 高齢者福祉・介護の充実」（34.6%で同値）、60 歳代は「5 高齢者福祉・介護の充実」（44.5%）、70 歳以上は「33 総合的な人口減少対策の推進」（40.2%）、が最も高くなっています。

一方、最も低い項目は年代によって異なり、その中で 50 歳代は「32 共感と共生のまちづくり」の回答が見られません。

年代差は「3 子育て環境の充実」で大きく、30 歳代（66.1%）が特に高くなっています。また、最も高い 30 歳代と最も低い 70 歳以上（21.3%）では 44.8 ポイントの差が見られます。

今後力を入れて取り組むべきこと（年代別）

(%)	10・20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳以上
n	65	124	189	136	220	244
33 総合的な人口減少対策の推進	26.2	31.5	33.3	34.6	43.6	40.2
3 子育て環境の充実	38.5	66.1	46.6	30.9	29.5	21.3
5 高齢者福祉・介護の充実	27.7	21.8	29.1	34.6	44.5	30.7
19 ひとにやさしいまちづくり	23.1	27.4	27.0	27.2	37.7	30.7
26 雇用の促進	15.4	21.0	25.9	29.4	25.9	22.1
12 子ども・若者やその家族への支援の充実	24.6	36.3	26.5	20.6	19.5	18.4
29 災害に強い安全と安心のまちづくり	21.5	12.9	20.1	22.1	26.4	29.1
2 地域完結型保健医療体制の充実	9.2	15.3	22.8	27.2	24.1	23.4
7 学校教育の充実	20.0	34.7	26.5	19.1	11.4	12.7
17 生活環境の向上	9.2	12.1	14.8	21.3	19.5	16.8
22 農業の振興	10.8	12.1	13.8	11.8	20.0	17.2
24 観光の振興	16.9	12.9	14.8	16.2	15.9	6.1
14 自然環境の保全	12.3	8.1	12.2	11.0	11.8	18.0
1 こころからだの健康づくりの推進	20.0	11.3	11.6	11.0	9.5	13.9
4 障がい者福祉の充実	18.5	7.3	8.5	12.5	10.9	9.8
20 住環境の整備	12.3	11.3	9.0	12.5	10.5	7.4
15 循環型社会の推進	1.5	4.8	7.9	11.0	12.7	11.5
16 省エネルギーの推進と新エネルギーへの転換	6.2	5.6	11.6	6.6	9.1	12.7
6 地域で支えあう福祉の充実	10.8	4.0	7.9	8.1	11.4	9.8
21 上下水道の整備	4.6	9.7	8.5	8.8	5.9	7.0
25 商工業の振興	7.7	6.5	5.3	11.8	4.1	9.8
18 計画的な土地利用の推進	4.6	10.5	10.1	5.1	7.3	5.3
11 地域・家庭教育の充実	9.2	19.4	7.4	2.2	4.5	3.7
10 生涯スポーツの推進	7.7	9.7	7.9	5.1	4.1	4.1
23 林業の振興	3.1	4.0	4.2	4.4	4.5	8.6
27 行財政運営の効率化	1.5	4.0	4.8	5.9	6.4	2.9
13 地域に根ざした野外・環境教育の推進	4.6	4.0	5.3	4.4	1.4	4.5
8 生涯学習の充実	3.1	5.6	5.3	2.9	1.8	3.7
30 情報化の推進	4.6	4.8	5.8	2.9	1.8	2.9
28 協働のまちづくり	1.5	2.4	3.7	2.2	2.7	3.7
9 地域文化の振興	3.1	2.4	2.6	1.5	2.3	3.7
32 共感と共生のまちづくり	3.1	0.8	2.6	0.0	2.7	2.9
31 交流の推進と国際化	4.6	2.4	2.1	1.5	0.5	1.2

※全体値が高い順に表示。項目名冒頭の番号は調査時の項目番号

※濃色網掛け表示は最も高い値、淡色網掛け表示は次いで高い値

●大和・塩沢地域は「総合的な人口減少対策の推進」、六日町地域は「子育て環境の充実」が最も高い

居住地域別で見ると、大和地域、塩沢地域は「33 総合的な人口減少対策の推進」（大和地域 40.6%、塩沢地域 37.9%）、六日町地域は「3 子育て環境の充実」（37.2%）が最も高くなっています。

一方、最も低い項目は、大和地域は「9 地域文化の振興」（1.3%）、六日町地域、塩沢地域は「31 交流の推進と国際化」（六日町地域 1.4%、塩沢地域 1.6%）となっています。

地域による大きな差は見られませんが、その中で「22 農業の振興」は塩沢地域（23.2%）が高く、大和地域（11.4%）、六日町地域（12.1%）と 10 ポイント以上の差が見られます。

今後力を入れて取り組むべきこと（居住地域別）

(%)	大和地域	六日町地域	塩沢地域
n	229	438	311
33 総合的な人口減少対策の推進	40.6	34.2	37.9
3 子育て環境の充実	36.2	37.2	34.4
5 高齢者福祉・介護の充実	31.9	31.3	35.4
19 ひとにやさしいまちづくり	32.3	32.2	25.4
26 雇用の促進	27.5	21.7	25.4
12 子ども・若者やその家族への支援の充実	22.7	21.7	26.0
29 災害に強い安全と安心のまちづくり	22.3	25.3	20.9
2 地域完結型保健医療体制の充実	20.5	23.5	21.2
7 学校教育の充実	18.8	18.5	20.6
17 生活環境の向上	16.6	16.7	16.1
22 農業の振興	11.4	12.1	23.2
24 観光の振興	10.5	13.2	14.5
14 自然環境の保全	13.1	13.0	12.5
1 こころとからだの健康づくりの推進	10.0	14.2	10.9
4 障がい者福祉の充実	12.2	8.7	11.6
20 住環境の整備	8.3	11.2	9.3
15 循環型社会の推進	9.2	10.3	8.7
16 省エネルギーの推進と新エネルギーへの転換	9.6	8.7	10.6
6 地域で支えあう福祉の充実	10.9	10.3	5.5
21 上下水道の整備	3.5	9.4	7.7
25 商工業の振興	6.6	7.5	7.7
18 計画的な土地利用の推進	3.9	7.8	9.0
11 地域・家庭教育の充実	5.2	7.8	6.4
10 生涯スポーツの推進	4.4	6.4	6.4
23 林業の振興	4.8	4.6	6.8
27 行財政運営の効率化	5.7	3.9	4.5
13 地域に根ざした野外・環境教育の推進	4.4	3.9	3.5
8 生涯学習の充実	2.2	3.4	5.1
30 情報化の推進	3.1	2.5	5.5
28 協働のまちづくり	1.7	3.0	3.9
9 地域文化の振興	1.3	3.0	3.2
32 共感と共生のまちづくり	2.6	2.1	1.9
31 交流の推進と国際化	2.2	1.4	1.6

※全体値が高い順に表示。項目名冒頭の番号は調査時の項目番号

※濃色網掛け表示は最も高い値、淡色網掛け表示は次いで高い値

●最も高い項目は職業によって異なる

●農林自営は「農業の振興」が5割以上で特に高く、職業差が大きい

職業別で見ると、最も高い項目は職業によって異なり、その中で農林自営は「22 農業の振興（56.3%）」が5割以上で高くなっています。

最も低い項目も職業によって異なり、その中で農林自営は「10 生涯スポーツの推進」「13 地域に根ざした野外・環境教育の推進」「32 共感と共生のまちづくり」の3項目、商工自営は「28 協働のまちづくり」「32 共感と共生のまちづくり」の2項目、家事専業は「27 行財政運営の効率化」で、回答が見られません。

職業差は「22 農業の振興」で大きく、特に高い農林自営以外はいずれも2割未満にとどまっています。また、最も高い農林自営と最も低い常勤（12.3%）とは44.0ポイントの差が見られます。

今後力を入れて取り組むべきこと（職業別）

(%)	常勤	非常勤	農林自営	商工自営	家事専業	無職
n	413	161	48	67	94	166
33 総合的な人口減少対策の推進	34.1	36.6	39.6	40.3	41.5	39.2
3 子育て環境の充実	46.5	36.6	25.0	26.9	25.5	24.1
5 高齢者福祉・介護の充実	31.5	39.8	29.2	22.4	41.5	30.1
19 ひとにやさしいまちづくり	27.4	29.8	25.0	31.3	41.5	32.5
26 雇用の促進	26.4	21.7	31.3	22.4	18.1	25.3
12 子ども・若者やその家族への支援の充実	26.9	23.0	20.8	17.9	25.5	16.9
29 災害に強い安全と安心のまちづくり	21.1	24.8	18.8	25.4	35.1	23.5
2 地域完結型保健医療体制の充実	20.6	24.2	22.9	19.4	31.9	21.7
7 学校教育の充実	23.5	18.6	16.7	25.4	8.5	13.9
17 生活環境の向上	16.9	15.5	20.8	20.9	20.2	13.3
22 農業の振興	12.3	12.4	56.3	16.4	19.1	13.9
24 観光の振興	14.0	10.6	6.3	19.4	13.8	10.8
14 自然環境の保全	9.9	9.9	22.9	17.9	12.8	17.5
1 ところとからだの健康づくりの推進	10.2	12.4	12.5	9.0	13.8	15.7
4 障がい者福祉の充実	8.2	12.4	14.6	3.0	12.8	13.3
20 住環境の整備	11.1	11.2	4.2	10.4	9.6	7.8
15 循環型社会の推進	7.3	13.0	6.3	13.4	7.4	12.7
16 省エネルギーの推進と新エネルギーへの転換	8.0	9.9	14.6	7.5	14.9	9.6
6 地域で支えあう福祉の充実	7.0	13.0	10.4	6.0	8.5	10.8
21 上下水道の整備	9.0	7.5	4.2	1.5	2.1	9.6
25 商工業の振興	6.8	3.1	6.3	19.4	5.3	9.6
18 計画的な土地利用の推進	8.7	3.7	4.2	10.4	8.5	7.2
11 地域・家庭教育の充実	8.0	9.3	4.2	1.5	7.4	3.0
10 生涯スポーツの推進	7.7	3.7	0.0	14.9	5.3	1.8
23 林業の振興	4.1	5.0	6.3	10.4	2.1	6.6
27 行財政運営の効率化	4.4	5.6	6.3	9.0	0.0	4.8
13 地域に根ざした野外・環境教育の推進	4.6	2.5	0.0	1.5	4.3	4.8
8 生涯学習の充実	4.1	3.1	2.1	4.5	1.1	4.2
30 情報化の推進	3.1	5.0	4.2	4.5	2.1	4.2
28 協働のまちづくり	3.1	2.5	4.2	0.0	3.2	4.2
9 地域文化の振興	2.4	1.9	4.2	3.0	1.1	4.2
32 共感と共生のまちづくり	1.9	2.5	0.0	0.0	1.1	2.4
31 交流の推進と国際化	1.9	0.6	2.1	1.5	1.1	1.2

※全体値が高い順に表示。項目名冒頭の番号は調査時の項目番号

※濃色網掛け表示は最も高い値、淡色網掛け表示は次いで高い値

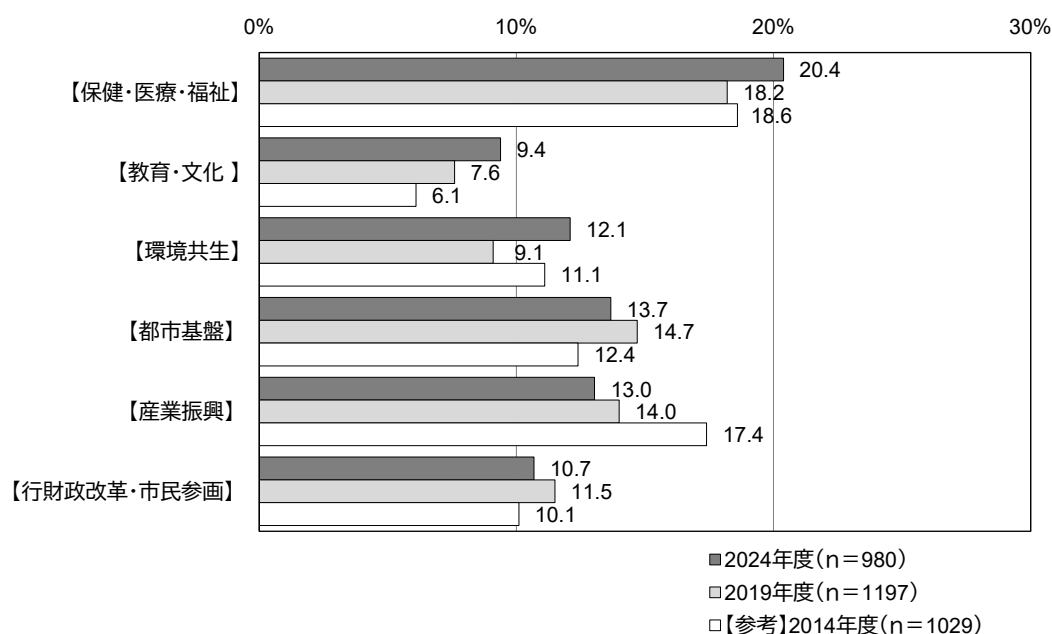
●政策分野別では「保健・医療・福祉」が最も高く、「教育・文化」が最も低い

●「保健・医療・福祉」「教育・文化」「環境共生」は前回より高い

33 項目について、「第2次総合計画 後期基本計画」における6つの政策分野に分類した平均^{※1}を見ると、「保健・医療・福祉」(20.4%)が最も高く、次いで「都市基盤」(13.7%)となっています。

過去2回の調査^{※2}と比較すると、いずれの調査でも「保健・医療・福祉」が最も高く、「教育・文化」が最も低くなっています。

また、前回調査と比較すると、「保健・医療・福祉」「教育・文化」「環境共生」は高く、それ以外は低くなっています。



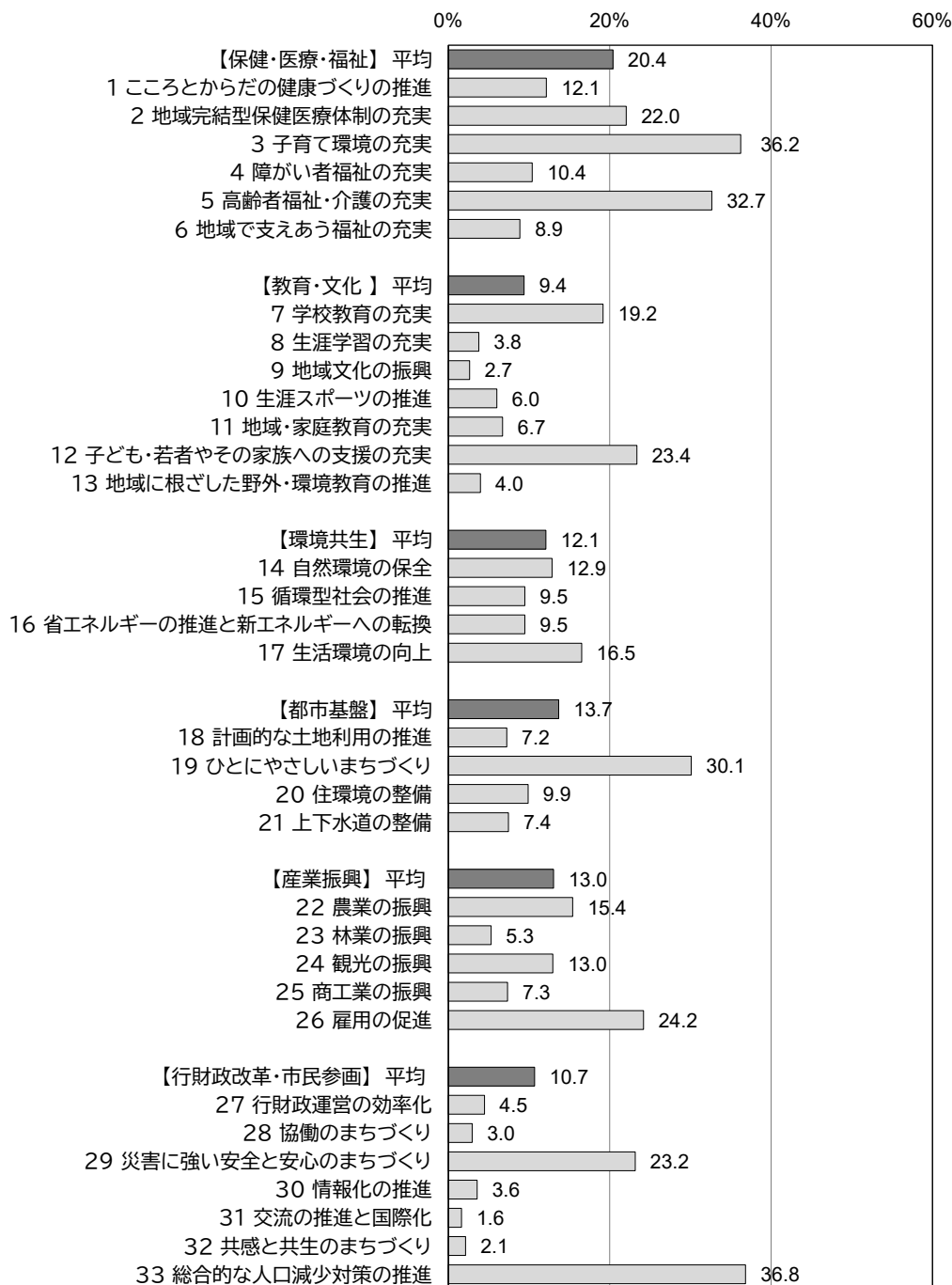
今後力を入れて取り組むべきこと（政策分野別 経年比較）

※1 各項目の値を政策分野別に足し合わせ、項目数で除した値

※2 2014年度の値は、項目数や項目内容が異なるため、本調査の項目に合わせて再集計した参考値

●「環境共生」以外の政策分野では、項目による差が比較的大きい

各政策分野に分類される項目それぞれの値を見ると、政策分野別の平均値が最も高い「保健・医療・福祉」では「3 子育て環境の充実」「5 高齢者福祉・介護の充実」が特に高くなっています。また、ほとんどの政策分野で項目による差が比較的大きくなっていますが、政策分野「環境共生」では、特に高い項目は見られず、いずれも2割未満となっています。一方、政策分野「行財政改革・市民参画」では、全体で最も高い「33 総合的な人口減少対策の推進」や、最も低い「31 交流の推進と国際化」、次いで低い「32 共感と共生のまちづくり」など、状況が大きく異なる項目が混在しています。

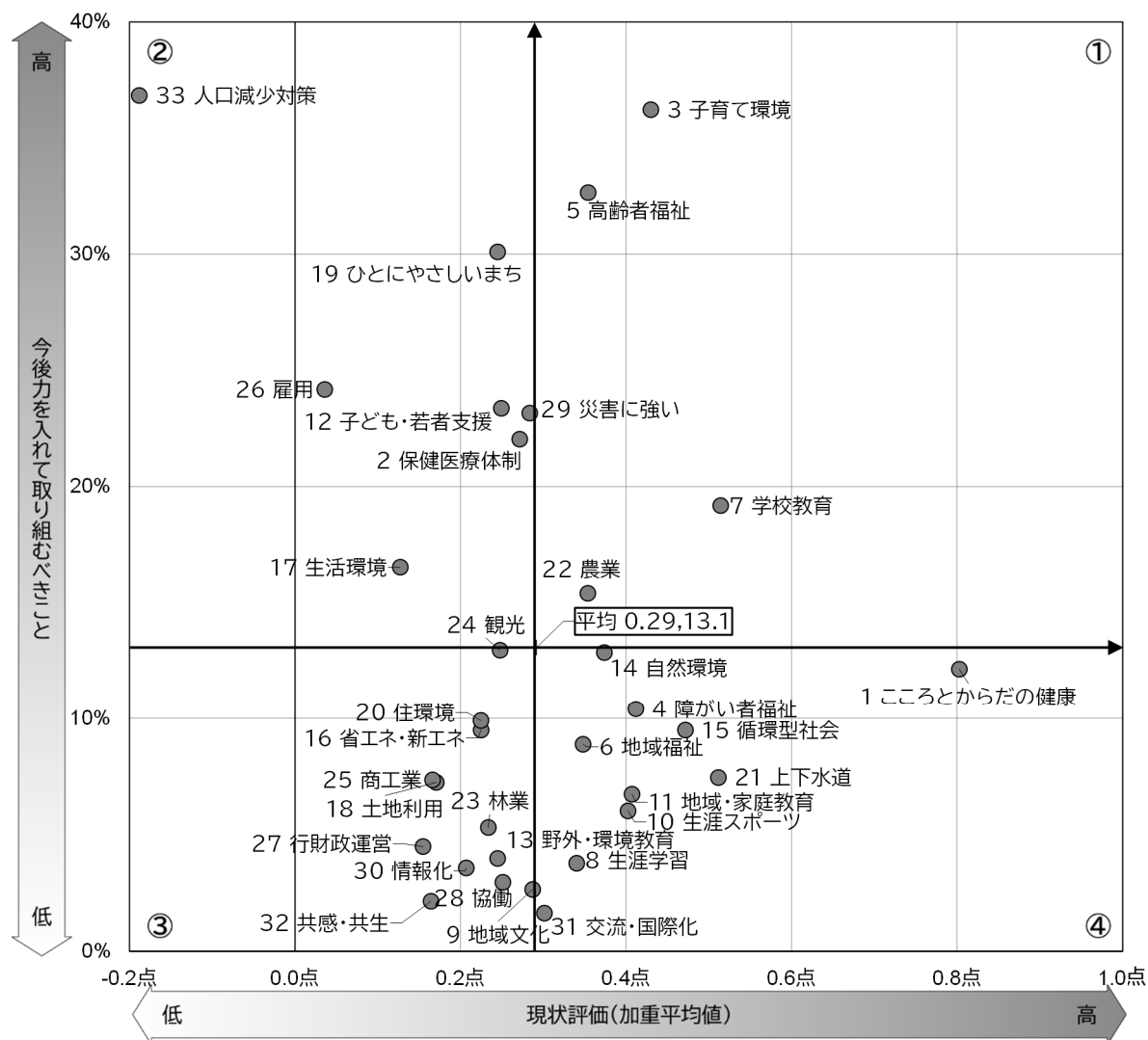


今後力を入れて取り組むべきこと（政策分野別項目）

※ 【】内は政策分野名。項目名冒頭の番号は調査時の項目番号

- 「総合的な人口減少対策」「雇用の促進」は、現状評価が低く、今後の要望が高い
- 「子育て環境の充実」「学校教育の充実」は、現状評価、今後の要望ともに高い

問1「まちづくりの現状評価」と問2「今後力を入れて取り組むべきこと」をあわせて見ると、33項目はおおむね以下の5つに分類できます。



まちづくりの「現状評価」(加重平均値)と「今後力を入れて取り組むべきこと」の関係
(全 33 項目)

※図中の各項目名は表現を省略して表示

①高評価・高要望：現状評価【高】×今後力を入れて取り組むべきこと【高】

現状の取組の評価が高く、今後力を入れて取り組むべきこととしての重要性も強く認識されており、現在の取組を今後もさらに推進することが求められています。

特徴的な項目として以下が該当すると考えられます。

項目	現状評価 (加重平均値:点)	今後取り組むべきこと (%)
3 子育て環境の充実	0.43	36.2
7 学校教育の充実	0.51	19.2

②早急な対応が必要：現状評価【低】×今後力を入れて取り組むべきこと【高】

現状の取組の評価が低く、今後力を入れて取り組むべきこととしての重要性が強く認識されており、早急な改善・充実が求められています。

特徴的な項目として以下が該当すると考えられます。

項目	現状評価 (加重平均値:点)	今後取り組むべきこと (%)
26 雇用の促進	0.04	24.2
33 総合的な人口減少対策の推進	-0.19	36.8

③低評価・低要望：現状評価【低】×今後力を入れて取り組むべきこと【低】

現状の取組の評価が低く、今後力を入れて取り組むべきこととしての重要性もあまり強く認識されていません。必要性の周知を含めた、中・長期的視点による見直しが求められています。

特徴的な項目として以下が該当すると考えられます。

項目	現状評価 (加重平均値:点)	今後取り組むべきこと (%)
27 行財政運営の効率化	0.15	4.5
30 情報化の推進	0.21	3.6
32 共感と共生のまちづくり	0.16	2.1

④現状維持：現状評価【高】×今後力を入れて取り組むべきこと【低】

現状の取組の評価が高く、今後力を入れて取り組むべきこととしての重要性があまり強く認識されていません。現状の取組を維持しつつ、必要な見直しやさらなる周知を進めることが求められています。

特徴的な項目として顕著なものは見られません。

⑤上記以外の項目：現状評価【中】または今後力を入れて取り組むべきこと【中】

現状の取組が一定の評価を得ている、または今後力を入れて取り組むべきこととしての重要性がある程度認識されています。

現状評価と今後力を入れて取り組むべきこととの関係から、さらに以下の3つのタイプに分類できます。

⑤-1 現状評価【高】×今後力を入れて取り組むべきこと【中】

項目	現状評価 (加重平均値:点)	今後取り組むべきこと (%)
1 こころとからだの健康づくりの推進	0.80	12.1

⑤-2 現状評価【中】×今後力を入れて取り組むべきこと【高】

項目	現状評価 (加重平均値:点)	今後取り組むべきこと (%)
5 高齢者福祉・介護の充実	0.35	32.7
19 ひとにやさしいまちづくり	0.24	30.1

⑤-3 現状評価【中】×今後力を入れて取り組むべきこと【低】

項目	現状評価 (加重平均値:点)	今後取り組むべきこと (%)
9 地域文化の振興	0.29	2.7
28 協働のまちづくり	0.25	3.0
31 交流の推進と国際化	0.30	1.6

●「子育て環境の充実」「生活環境の向上」「地域完結型保健医療体制の充実」は重要性が増している

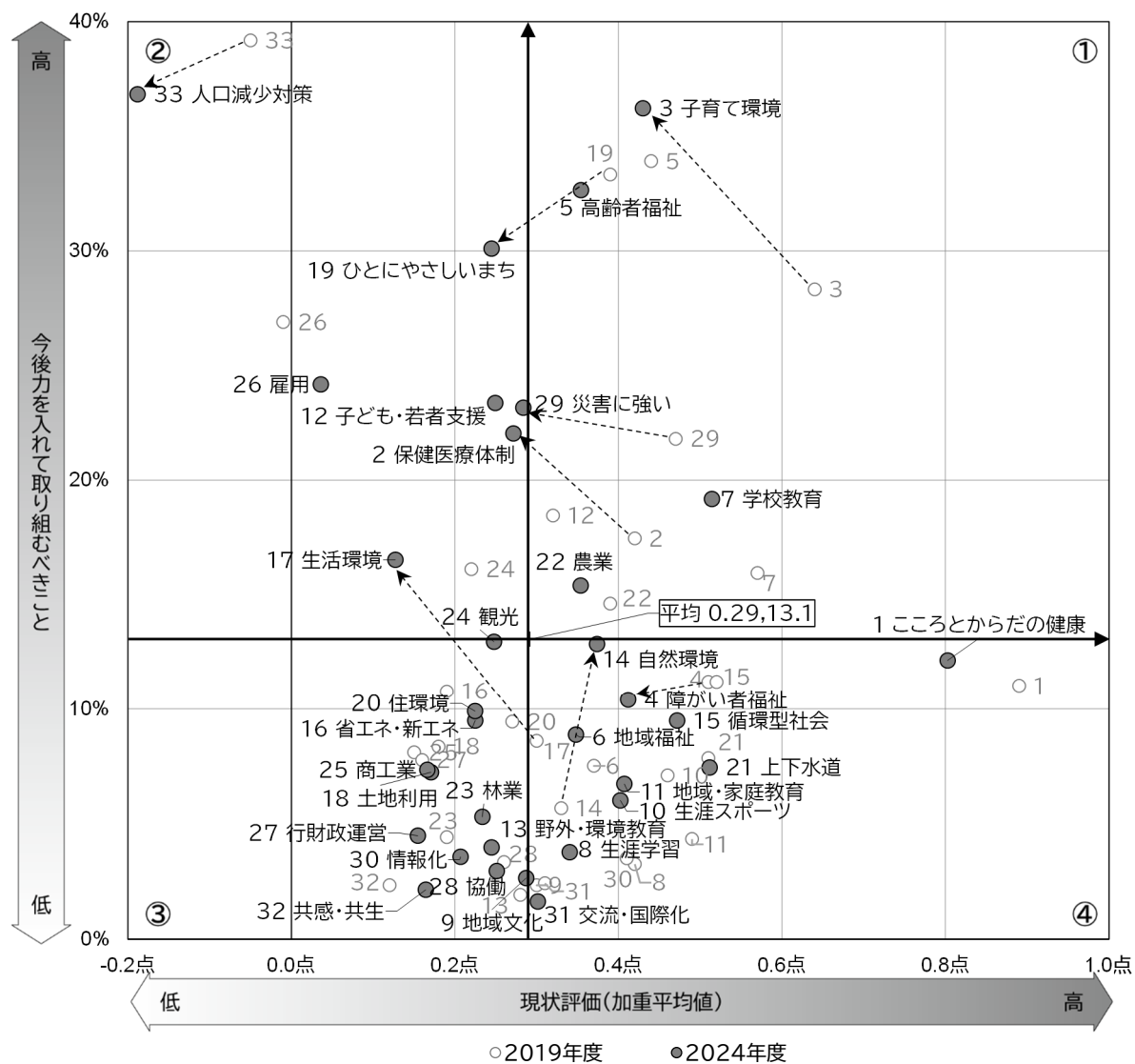
●「総合的な人口減少対策」「ひとにやさしいまちづくり」は継続的な取組、「自然環境の保全」はこれまで以上の取組が求められている

前回調査とあわせて見ると、比較的変動が大きい項目（矢印で推移を表示）が複数見られます。

「2 地域完結型保健医療体制の充実」「3 子育て環境の充実」「17 生活環境の向上」「29 災害に強い安全と安心のまちづくり」は、現状評価が低下する一方、今後力を入れて取り組むべきことが高くなっており、重要性が増していると考えられます。

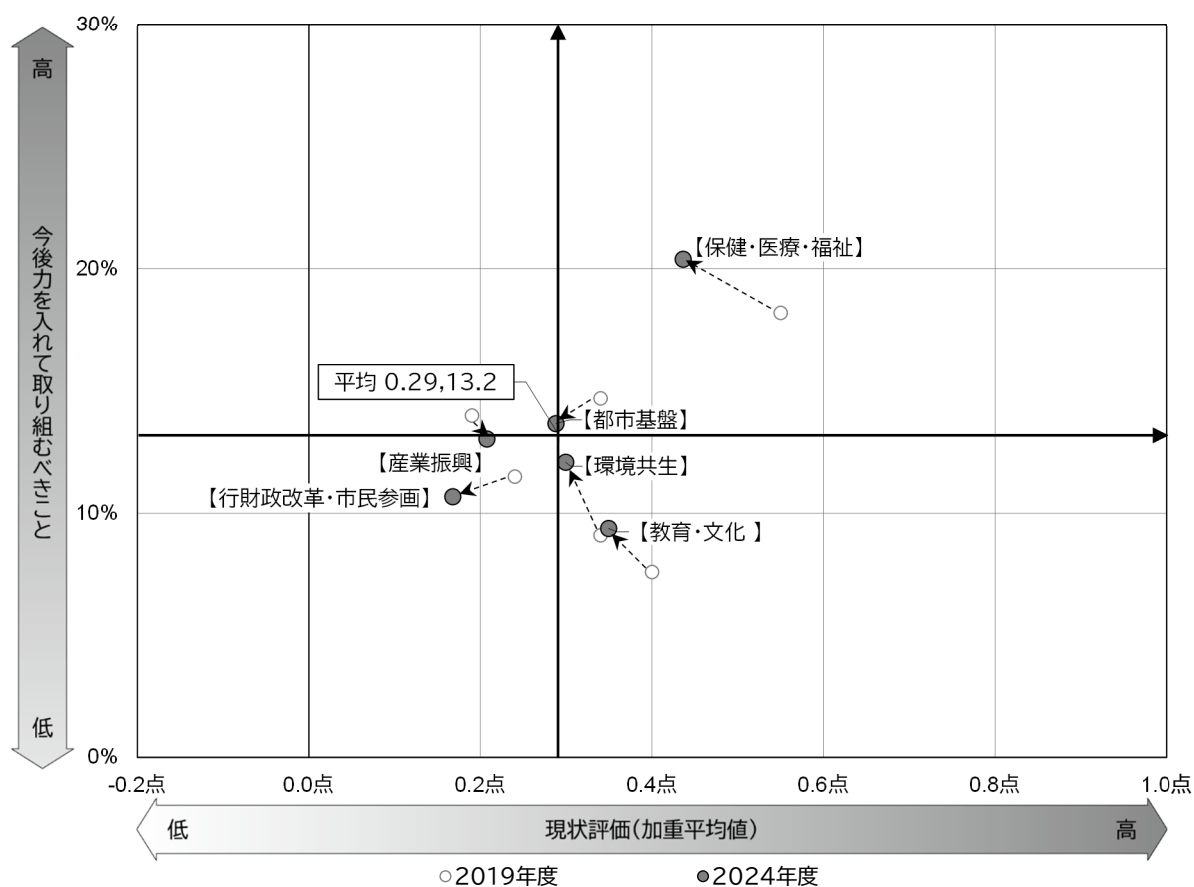
「19 ひとにやさしいまちづくり」「33 総合的な人口減少対策の推進」は、現状評価と今後力を入れて取り組むべきことがともに低下していますが、今後力を入れて取り組むべきことは依然として高い状況で推移しており、継続的な取組が必要と考えられます。

「14 自然環境の保全」は、現状評価では若干の上昇にとどまりますが、今後力を入れて取り組むべきことが特に高くなっており、これまで以上の取組が必要と考えられます。



※図中の各項目名は表現を省略して表示

問1「まちづくりの現状評価」と問2「今後力を入れて取り組むべきこと」の関係について、政策分野別の平均値※を整理し、前回調査と合わせて見てみます。



まちづくりの「現状評価」(加重平均値)と「今後力を入れて取り組むべきこと」の関係
(政策分野別 前回調査との比較を含む)

※「現状評価」は該当する各項目の加重平均値の平均値、「今後力を入れて取り組むべきこと」は該当する各項目の割合の平均値

政策分野ごとのおおむねの状況を以下に整理します。

保健・医療・福祉	・現状の取組の評価は高いが、前回調査より低下 ・今後力を入れて取り組むべきことは前回調査より上昇 ・現状評価は全項目で低下しており、特に「3 子育て環境の充実」「2 地域完結型保健医療体制の充実」「4 障がい者福祉の充実」で低下 ・今後力を入れて取り組むべきことは、特に「3 子育て環境の充実」「2 地域完結型保健医療体制の充実」で上昇
教育・文化	・現状の取組が一定の評価を得ているが、前回調査より低下 ・今後力を入れて取り組むべきことは前回調査より上昇 ・現状の取組の評価は全項目で若干低下 ・今後力を入れて取り組むべきことは上昇する項目が多く、「12 子ども・若者やその家族への支援の充実」が他項目より上昇する一方、「10 生涯スポーツの推進」のみ低下
環境共生	・現状の取組の評価はあまり高くなく、前回調査より低下 ・今後力を入れて取り組むべきことは前回調査より上昇 ・現状の取組の評価は特に「17 生活環境の向上」で低下 ・今後力を入れて取り組むべきことは特に「14 自然環境の保全」「17 生活環境の向上」で上昇する一方、「15 循環型社会の推進」「16 省エネルギーの推進と新エネルギーへの転換」は低下
都市基盤	・現状の取組の評価はあまり高くなく、前回調査より低下 ・今後力を入れて取り組むべきことも前回調査より低下 ・現状の取組の評価は特に「19 ひとにやさしいまち」で低下 ・今後力を入れて取り組むべきことは低下する項目が多く、「19 ひとにやさしいまちづくり」が他項目より低下する一方、「20 住環境の整備」のみ若干上昇
産業振興	・現状の取組の評価が低く、前回調査と同程度 ・今後力を入れて取り組むべきことも前回調査と同程度 ・現状の取組の評価で大きな変動のある項目はない ・今後力を入れて取り組むべきことは「24 観光の振興」「26 雇用の促進」が他項目より低下
行財政改革・市民参画	・現状の取組の評価が低く、前回調査より低下 ・今後力を入れて取り組むべきことも前回調査より低下 ・現状の取組の評価で大きな変動のある項目はない ・今後力を入れて取り組むべきことは低下する項目が多く、「27 行政運営の効率化」「33 総合的な人口減少対策の推進」が他項目より低下する一方、「29 災害に強い安全と安心のまちづくり」が若干上昇

3. 市民サービスの評価

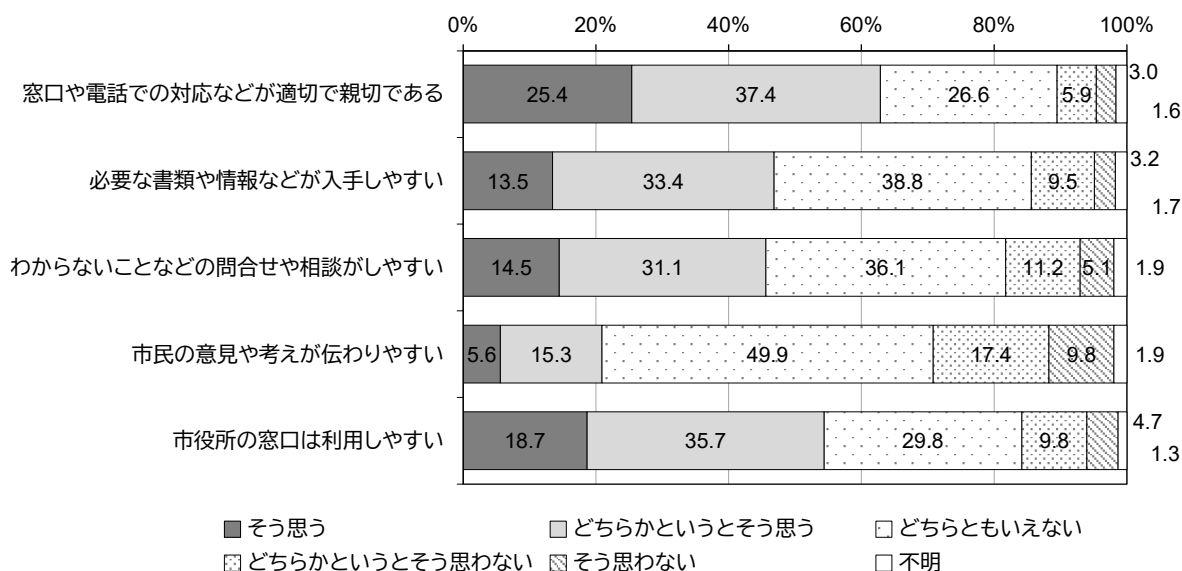
問3 あなたは、南魚沼市の市民サービスについてどう感じていますか。（1つずつ選択）

●「窓口や電話での対応などが適切で親切」の評価が最も高く、「市民の意見や考えが伝わりやすい」の評価が最も低い

「そう思う」は「窓口や電話での対応などが適切で親切である」（25.4％）が2割以上で最も高くなっています。

「そう思う」「どちらかというと思う」の合計値『思う』は、「窓口や電話での対応などが適切で親切である」（62.8％）が6割以上で最も高く、次いで「市役所の窓口は利用しやすい」（54.4％）が5割以上となっています。

一方、「市民の意見や考えが伝わりやすい」（20.9％）が2割程度で最も低くなっています。



2024年度(n=980)

南魚沼市の市民サービスについてどう思うか（1つずつ選択）

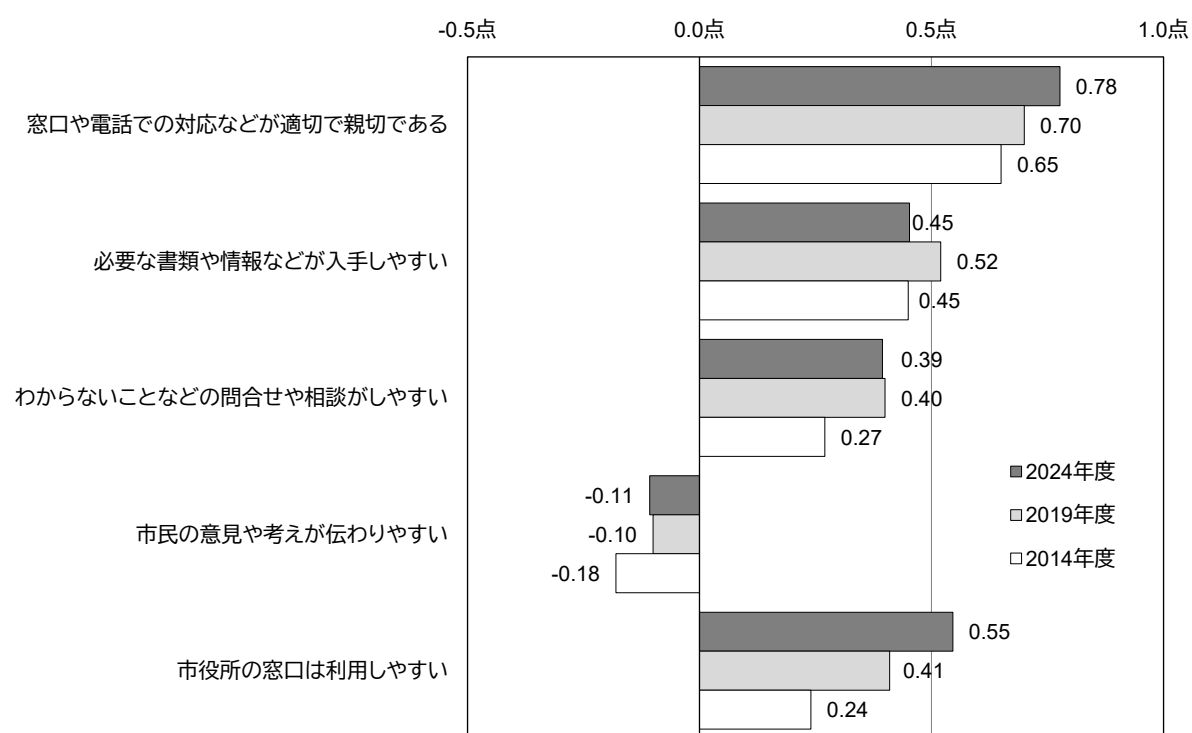
●加重平均値では「市民の意見や考えが伝わりやすい」のみマイナス値

●上位の2項目「窓口や電話での対応などが適切で親切」「市役所の窓口は利用しやすい」は評価が高くなる傾向

各項目の加重平均値*を見ると、「窓口や電話での対応などが適切で親切である」(0.78点)が最も高く、次いで「市役所の窓口は利用しやすい」(0.55点)となっています。

一方、「市民の意見や考えが伝わりやすい」(-0.11点)が最も低く、5項目中で唯一マイナス値となっています。

加重平均値について、過去2回の調査と比較すると、上位2項目である「窓口や電話での対応などが適切で親切である」「市役所の窓口は利用しやすい」は、いずれも評価が高くなる傾向が見られます。



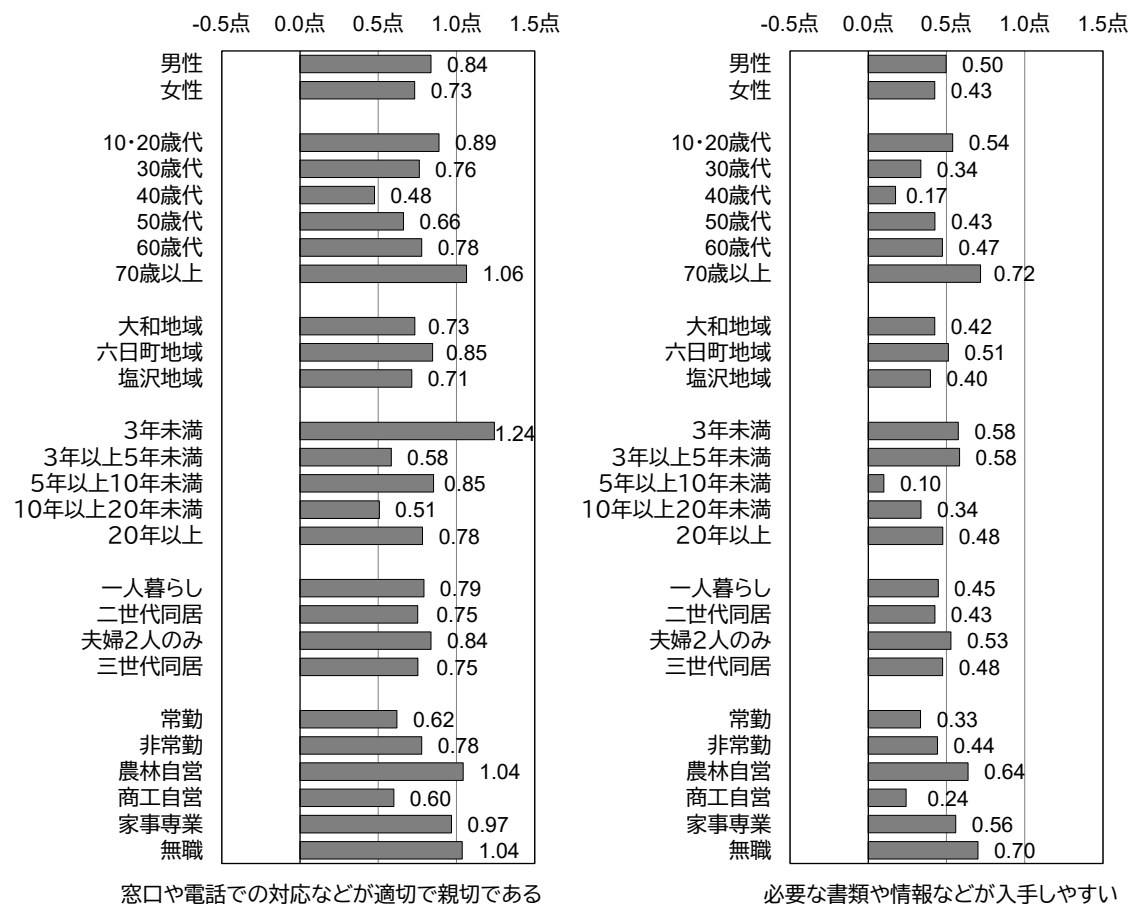
南魚沼市の市民サービスについてどう思うか（経年比較 加重平均値）

*加重平均値：「そう思う」に+2点、「どちらかというと思う」に+1点、「どちらともいえない」に0点、「どちらかというと思わない」に-1点、「そう思わない」に-2点の加重値を与え、「不明」を除く回答者数で平均値を算出したもの。基準値を0として、プラスの値の場合は肯定的な評価、マイナスの値の場合は否定的な評価と考えられる

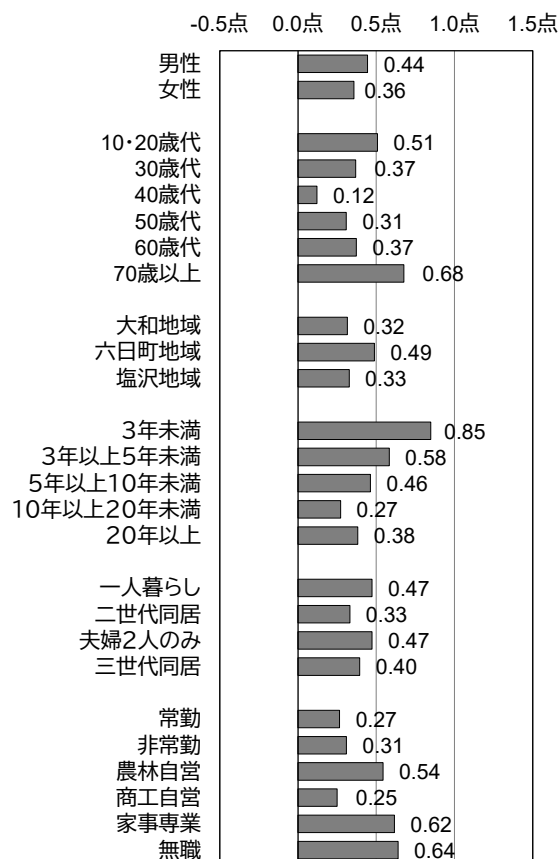
- 加重平均値では、いずれの項目も男性、六日町地域、農林自営、家事専業、無職などが比較的高い
- いずれの項目も年代別では40歳代が最も低く、それより若い年代、高い年代ほど高い
- 「市民の意見や考えが伝わりやすい」は属性によってプラス値が見られる

加重平均値を属性別に見ると、いずれの項目も、性別では男性、居住地域別では六日町地域、職業別では農林自営、家事専業、無職などが比較的高く、年代別では40歳代が最も低く、40歳代より若い年代や高い年代ほど高くなる傾向が見られます。また、職業別では、常勤、商工自営が比較的低くなっています。

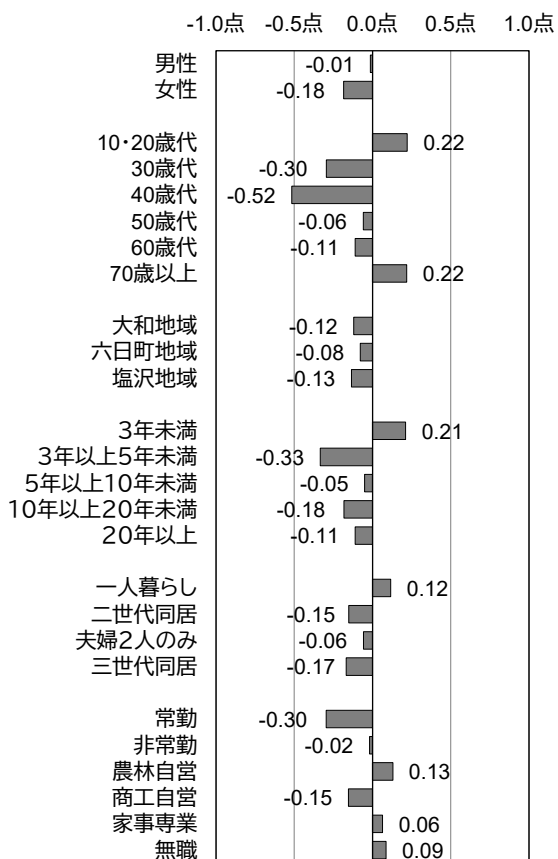
全体傾向で最も低く、6項目中唯一マイナス値の「市民の意見や考えが伝わりやすい」は、40歳代（-0.52点）が特に低くなっており、プラス値は10・20歳代、70歳以上（0.22点で同値）、居住年数3年未満（0.21点）、一人暮らし（0.12点）、農林自営（0.13点）、家事専業（0.06点）、無職（0.09点）で見られます。



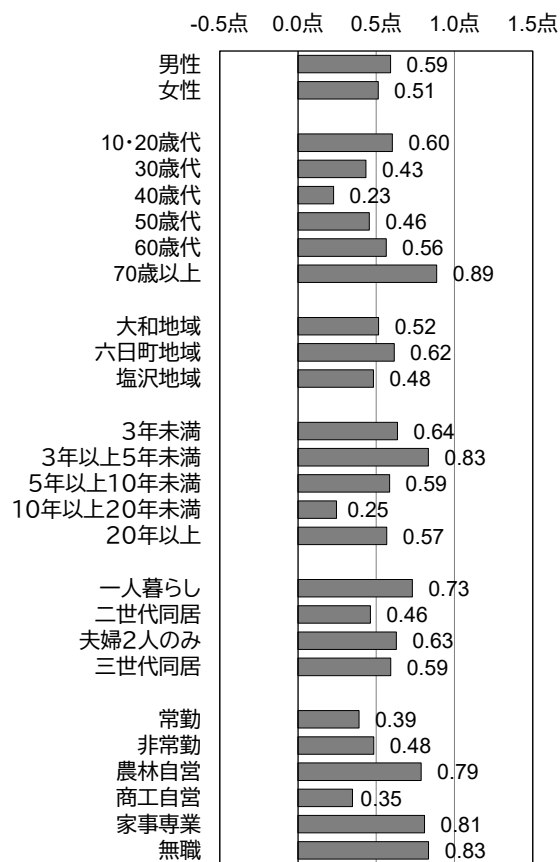
南魚沼市の市民サービスについてどう思うか（属性別 加重平均値 1/2）



わからないことなどの問合せや相談がしやすい



市民の意見や考えが伝わりやすい



市役所の窓口は利用しやすい

南魚沼市の市民サービスについてどう思うか（属性別 加重平均値 2/2）

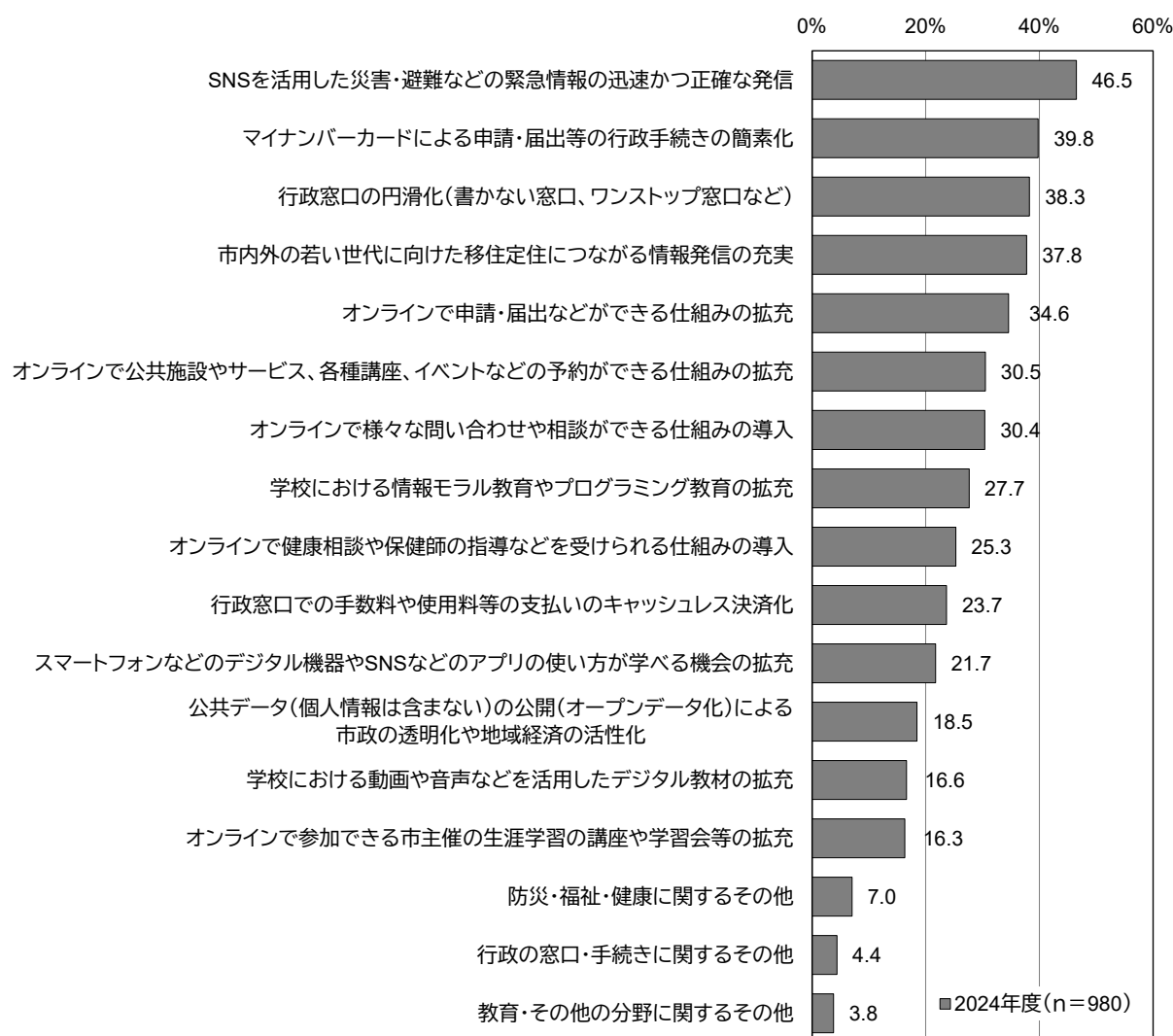
4. デジタル化が進んでほしい市民サービス

問4 あなたが、デジタル化が進んでほしいと考える南魚沼市の市民サービスは何ですか。（すべて選択）

- 「SNS を活用した緊急情報の迅速・正確な発信」 が約5割で最も高い
- 次いで「マイナンバーカードによる行政手続きの簡素化」「行政窓口の円滑化」「若い世代に向けた移住定住につながる情報発信」の3項目がそれぞれ約4割

「SNS を活用した災害・避難などの緊急情報の迅速かつ正確な発信」（46.5％）が約5割で最も高く、次いで「マイナンバーカードによる申請・届出等の行政手続きの簡素化」（39.8％）、「行政窓口の円滑化（書かない窓口、ワンストップ窓口など）」（38.3％）、「市内外の若い世代に向けた移住定住につながる情報発信の充実」（37.8％）の3項目が約4割となっています。

その他の記述について、「防災・福祉・健康に関するその他」（7.0％）、「行政の窓口・手続きに関するその他」（4.4％）には、デジタル化への対応の不安、「教育・その他の分野に関するその他」（3.8％）には、モラルやリスクを教育する重要性に関する内容が複数見られます。



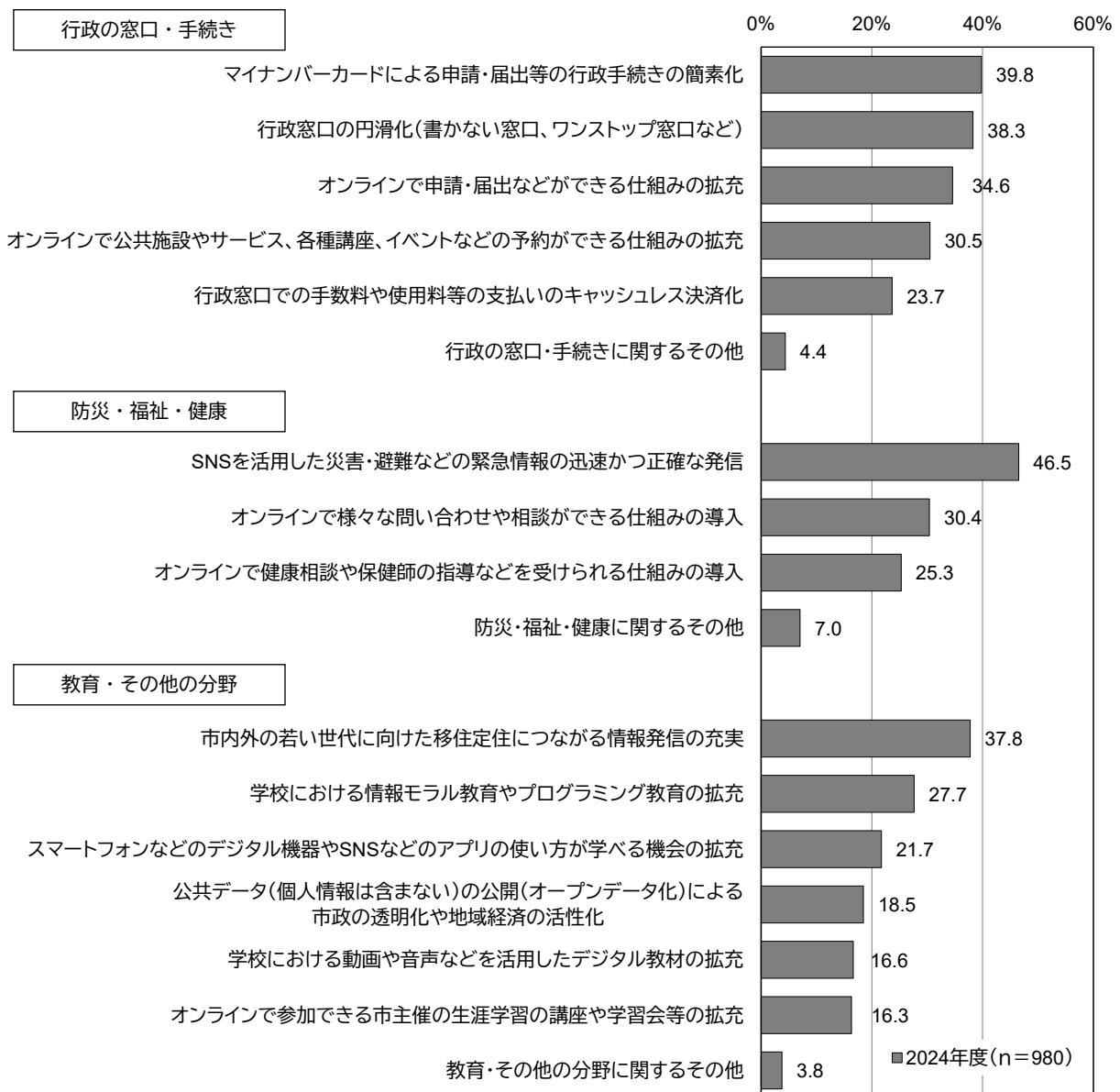
デジタル化が進んでほしい市民サービス（すべて選択）

●全体傾向の上位4項目は、3つの分野のいずれかに該当

調査票で設定した3つの分野ごとに見ると、「行政の窓口・手続き」では「マイナンバーカードによる申請・届出等の行政手続きの簡素化」(39.8%)、「行政窓口の円滑化(書かない窓口、ワンストップ窓口など)」(38.3%)の2項目が高くなっています。

「防災・福祉・健康」では「SNSを活用した災害・避難などの緊急情報の迅速かつ正確な発信」(46.5%)が最も高くなっています。

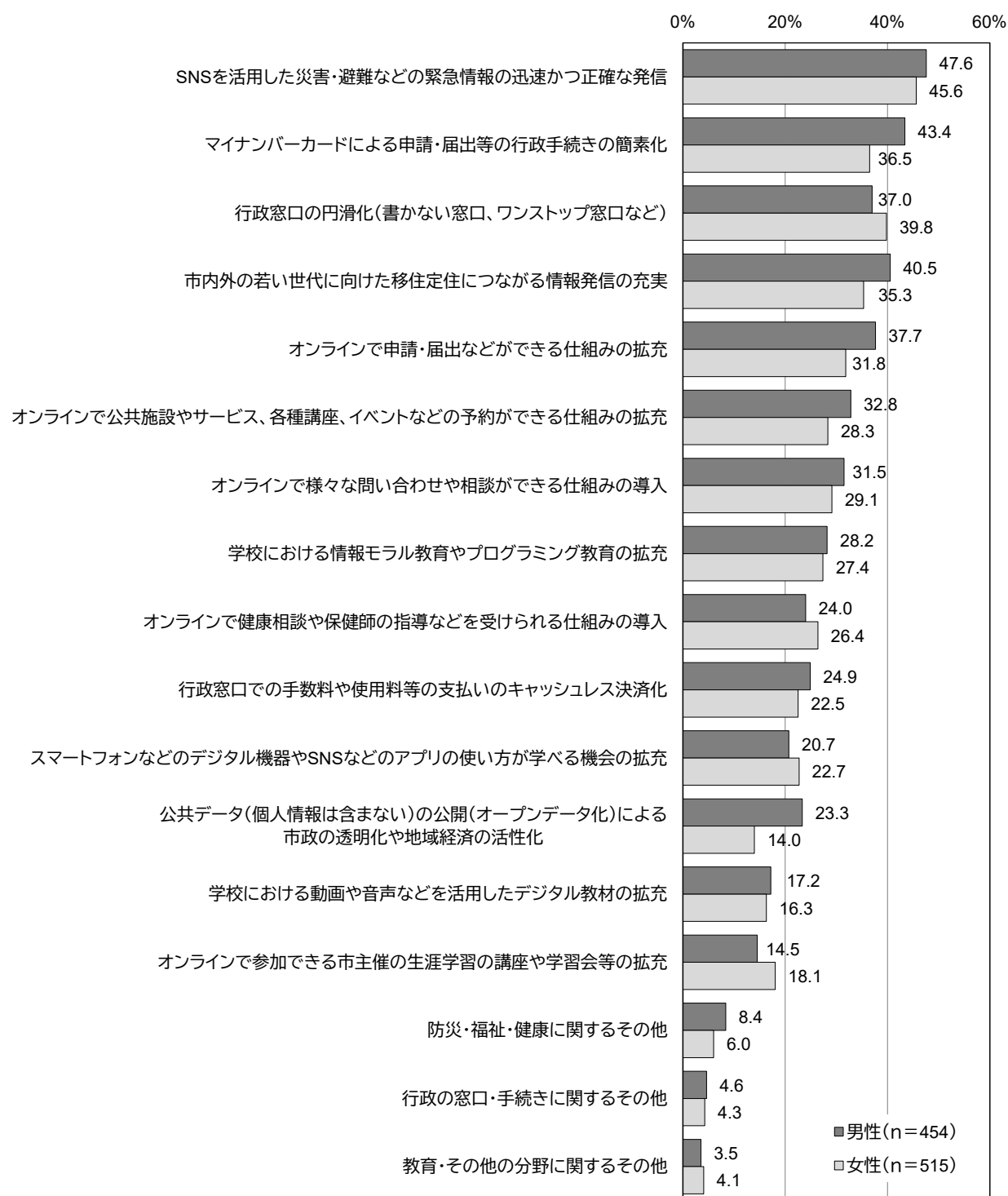
「教育・その他の分野」では「市内外の若い世代に向けた移住定住につながる情報発信の充実」(37.8%)が最も高くなっています。



デジタル化が進んでほしい市民サービス（分野別）

●男女とも「SNS を活用した緊急情報の迅速・正確な発信」が最も高く、性別による大きな差は見られない

男女とも「SNS を活用した災害・避難などの緊急情報の迅速かつ正確な発信」（男性 47.6%、女性 45.6%）が最も高く、性別による大きな差は見られませんが、その中で「公共データ（個人情報とは含まない）の公開（オープンデータ化）による市政の透明化や地域経済の活性化」は男女差が比較的大きく、男性（23.3%）が女性（14.0%）より 9.3 ポイント高くなっています。



デジタル化が進んでほしい市民サービス（性別）

- 40 歳代は「オンラインで申請・届出などができる仕組み」、他の年代は「SNS を活用した緊急情報の迅速・正確な発信」が最も高い
- 「オンラインで申請・届出などができる仕組み」は年代差が大きく、30・40 歳代が高く、70 歳以上が最も低い

年代別で見ると、40 歳代を除き「SNS を活用した災害・避難などの緊急情報の迅速かつ正確な発信」、40 歳代は「オンラインで申請・届出などができる仕組みの拡充」（49.2%）が最も高くなっています。

一方、最も低い項目は年代によって異なり、その中でも 10・20 歳代は「行政の窓口・手続きに関するその他」の回答が見られません。

年代差は「オンラインで申請・届出などができる仕組みの拡充」で最も大きく、70 歳以上（15.6%）で最も低くなっており、最も高い 30 歳代（50.0%）や 40 歳代と 70 歳以上では 30 ポイント以上の差が見られます。

また、「スマートフォンなどのデジタル機器や SNS などのアプリの使い方が学べる機会の拡充」は 50 歳代までは 2 割未満となっていますが、60 歳代（24.5%）は 2 割以上、70 歳以上（31.6%）は 3 割以上で比較的高くなっています。

デジタル化が進んでほしい市民サービス（年代別）

(%)	10・20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳以上
n	65	124	189	136	220	244
SNS を活用した災害・避難などの緊急情報の迅速かつ正確な発信	52.3	51.6	47.6	48.5	44.1	43.0
マイナンバーカードによる申請・届出等の行政手続きの簡素化	35.4	41.9	44.4	38.2	36.8	39.8
行政窓口の円滑化（書かない窓口、ワンストップ窓口など）	29.2	38.7	44.4	36.0	40.5	34.8
市内外の若い世代に向けた移住定住につながる情報発信の充実	35.4	41.9	36.5	35.3	43.6	32.8
オンラインで申請・届出などができる仕組みの拡充	40.0	50.0	49.2	39.7	30.0	15.6
オンラインで公共施設やサービス、各種講座、イベントなどの予約ができる仕組みの拡充	38.5	41.1	45.0	29.4	26.4	16.0
オンラインで様々な問い合わせや相談ができる仕組みの導入	36.9	37.1	36.5	30.1	27.7	23.4
学校における情報モラル教育やプログラミング教育の拡充	24.6	46.8	34.4	25.7	22.3	19.3
オンラインで健康相談や保健師の指導などを受けられる仕組みの導入	20.0	25.0	24.3	31.6	26.4	23.4
行政窓口での手数料や使用料等の支払いのキャッシュレス決済化	13.8	36.3	31.7	23.5	22.3	15.2
スマートフォンなどのデジタル機器や SNS などのアプリの使い方が学べる機会の拡充	12.3	14.5	16.9	17.6	24.5	31.6
公共データ（個人情報含まない）の公開（オープンデータ化）による市政の透明化や地域経済の活性化	16.9	16.9	25.9	16.9	20.0	13.5
学校における動画や音声などを活用したデジタル教材の拡充	15.4	25.0	20.6	16.2	13.6	12.3
オンラインで参加できる市主催の生涯学習の講座や学習会等の拡充	12.3	17.7	17.5	18.4	18.6	12.7
防災・福祉・健康に関するその他	4.6	2.4	4.8	5.9	7.7	11.9
行政の窓口・手続きに関するその他	0.0	6.5	5.3	2.2	4.1	5.3
教育・その他の分野に関するその他	3.1	7.3	4.8	1.5	4.5	2.0

※全体値が高い順に表示。濃色網掛け表示は最も高い値、淡色網掛け表示は次いで高い値

●すべての居住地域で「SNS を活用した緊急情報の迅速・正確な発信」が最も高く、
地域による大きな差は見られない

居住地域別で見ると、すべての地域で「SNS を活用した災害・避難などの緊急情報の迅速かつ正確な発信」が最も高くなっています。

一方、最も低い項目は、その他以外では、大和地域は「学校における動画や音声などを活用したデジタル教材の拡充」(14.8%)、六日町地域は「オンラインで参加できる市主催の生涯学習の講座や学習会等の拡充」(16.0%)、塩沢地域は「教育・その他の分野に関するその他」(大和地域 3.1%、六日町地域 3.4%)、塩沢地域は「公共データ(個人情報を含まない)の公開(オープンデータ化)による市政の透明化や地域経済の活性化」(14.5%)となっています。

地域による大きな差は見られませんが、その中で「行政窓口での手数料や使用料等の支払いのキャッシュレス決済化」は地域差が比較的大きく、六日町地域(26.5%)、塩沢地域(24.4%)が2割以上である中、大和地域(17.5%)では2割未満となっています。

デジタル化が進んでほしい市民サービス(居住地域別)

(%)	大和 地域	六日町 地域	塩沢 地域
n	229	438	311
SNS を活用した災害・避難などの緊急情報の迅速かつ正確な発信	42.4	48.4	46.9
マイナンバーカードによる申請・届出等の行政手続きの簡素化	38.4	40.9	39.5
行政窓口の円滑化(書かない窓口、ワンストップ窓口など)	41.9	35.4	39.9
市内外の若い世代に向けた移住定住につながる情報発信の充実	32.3	40.0	38.6
オンラインで申請・届出などができる仕組みの拡充	30.6	34.5	37.9
オンラインで公共施設やサービス、各種講座、イベントなどの予約ができる仕組みの拡充	26.6	31.7	31.5
オンラインで様々な問い合わせや相談ができる仕組みの導入	27.9	31.3	31.2
学校における情報モラル教育やプログラミング教育の拡充	24.9	28.8	28.3
オンラインで健康相談や保健師の指導などを受けられる仕組みの導入	24.5	26.3	24.8
行政窓口での手数料や使用料等の支払いのキャッシュレス決済化	17.5	26.5	24.4
スマートフォンなどのデジタル機器や SNS などのアプリの使い方が学べる機会の拡充	22.3	21.0	22.5
公共データ(個人情報を含まない)の公開(オープンデータ化)による市政の透明化や地域経済の活性化	18.8	21.2	14.5
学校における動画や音声などを活用したデジタル教材の拡充	14.8	17.4	17.0
オンラインで参加できる市主催の生涯学習の講座や学習会等の拡充	18.3	16.0	15.4
防災・福祉・健康に関するその他	6.6	7.3	7.1
行政の窓口・手続きに関するその他	3.9	5.5	3.2
教育・その他の分野に関するその他	3.1	3.4	4.8

※全体値が高い順に表示。濃色網掛け表示は最も高い値、淡色網掛け表示は次いで高い値

●最も高い項目は職業によって異なる

●職業差は「オンラインで申請・届出などができる仕組みの拡充」で最も大きく、
常勤が高く、無職が低い

職業別で見ると、職業によって最も高い項目が異なり、その中で常勤、非常勤、無職は「SNSを活用した災害・避難などの緊急情報の迅速かつ正確な発信」が最も高くなっています。

最も低い項目も、その他以外では、職業によって異なっています。

職業差は「オンラインで申請・届出などができる仕組みの拡充」で最も大きく、最も高い常勤（46.5%）と最も低い無職（19.3%）では27.2ポイントの差が見られます。

デジタル化が進んでほしい市民サービス（職業別）

(%)	常勤	非常勤	農林 自営	商工 自営	家事 専業	無職
n	413	161	48	67	94	166
SNSを活用した災害・避難などの緊急情報の迅速かつ正確な発信	48.4	51.6	43.8	41.8	41.5	44.6
マイナンバーカードによる申請・届出等の行政手続きの簡素化	41.9	37.9	50.0	35.8	35.1	39.8
行政窓口の円滑化(書かない窓口、ワンストップ窓口など)	39.2	44.7	31.3	32.8	44.7	30.7
市内外の若い世代に向けた移住定住につながる情報発信の充実	41.6	30.4	29.2	44.8	39.4	33.1
オンラインで申請・届出などができる仕組みの拡充	46.5	31.1	27.1	41.8	22.3	19.3
オンラインで公共施設やサービス、各種講座、イベントなどの予約ができる仕組みの拡充	36.8	27.3	18.8	35.8	22.3	22.9
オンラインで様々な問い合わせや相談ができる仕組みの導入	37.0	29.8	20.8	35.8	26.6	19.9
学校における情報モラル教育やプログラミング教育の拡充	32.2	22.4	27.1	28.4	20.2	26.5
オンラインで健康相談や保健師の指導などを受けられる仕組みの導入	23.7	28.6	22.9	35.8	29.8	22.3
行政窓口での手数料や使用料等の支払いのキャッシュレス決済化	30.3	19.9	14.6	20.9	22.3	18.7
スマートフォンなどのデジタル機器やSNSなどのアプリの使い方が学べる機会の拡充	15.5	28.0	25.0	23.9	31.9	25.3
公共データ(個人情報含まない)の公開(オープンデータ化)による市政の透明化や地域経済の活性化	21.8	19.3	18.8	11.9	13.8	15.1
学校における動画や音声などを活用したデジタル教材の拡充	18.9	11.8	18.8	19.4	16.0	13.9
オンラインで参加できる市主催の生涯学習の講座や学習会等の拡充	17.9	17.4	10.4	14.9	17.0	13.9
防災・福祉・健康に関するその他	4.8	8.1	4.2	6.0	9.6	12.0
行政の窓口・手続きに関するその他	3.6	4.3	2.1	3.0	7.4	6.0
教育・その他の分野に関するその他	4.4	5.0	2.1	1.5	4.3	2.4

※全体値が高い順に表示。濃色網掛け表示は最も高い値、淡色網掛け表示は次いで高い値

5. 市政への関心

問5 あなたは、市政に関心がありますか。（1つ選択）

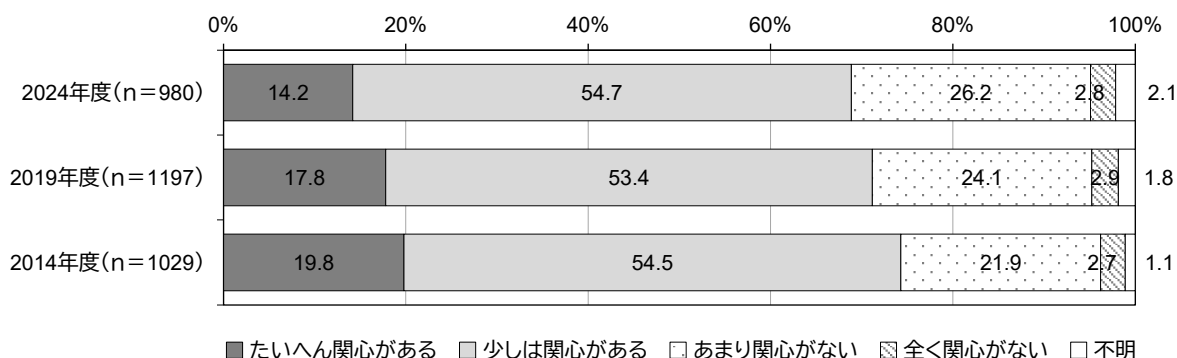
●合計値『関心がある』は約7割

●関心度は低下傾向

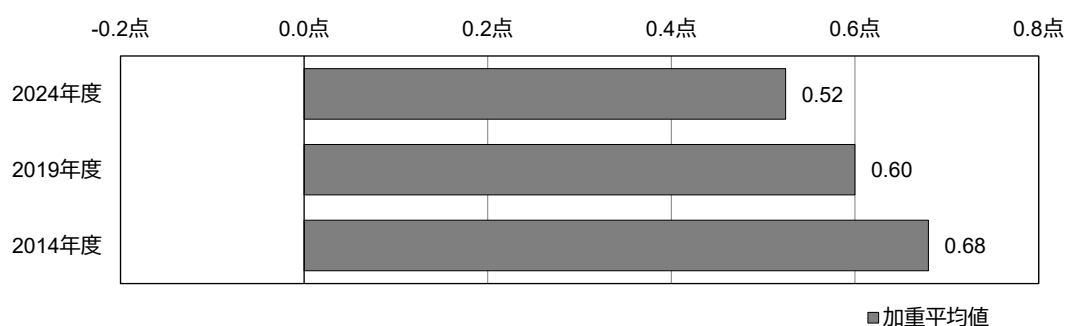
「少しは関心がある」(54.7%)が5割以上で最も高く、次いで「あまり関心がない」(26.2%)が2割以上となっています。

「たいへん関心がある」(14.2%)と「少しは関心がある」との合計値『関心がある』(68.9%)は約7割となっており、過去2回の調査と比較すると、前回(71.2%)、前々回(74.3%)より低くなっています。

関心の程度について加重平均値*を見ると、本調査(0.52点)は前回(0.60点)や前々回(0.68点)より低くなっており、関心度が低下している傾向が見られます。



市政に関心があるか（1つ選択）（経年比較）



市政に関心があるか（経年比較 加重平均値）

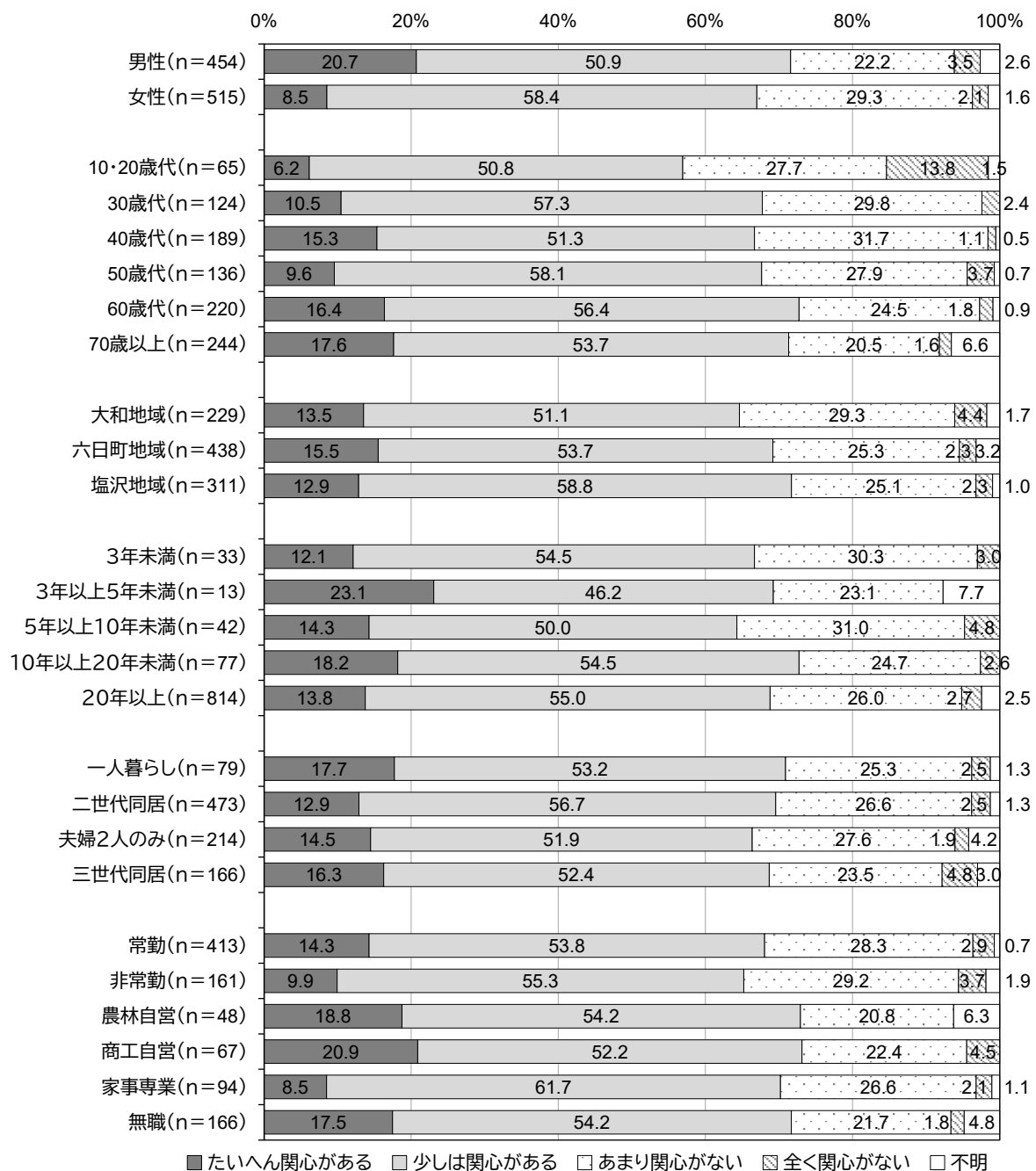
*加重平均値：「たいへん関心がある」に+2点、「少しは関心がある」に+1点、「あまり関心がない」に-1点、「全く関心がない」に-2点の加重値を与え、「不明」を除く回答者数で平均値を算出したもの。基準値を0として、プラスの値の場合は肯定的な評価、マイナスの値の場合は否定的な評価と考えられる

●いずれの属性も「少しは関心がある」が最も高い

●関心度は10・20歳代が特に低い

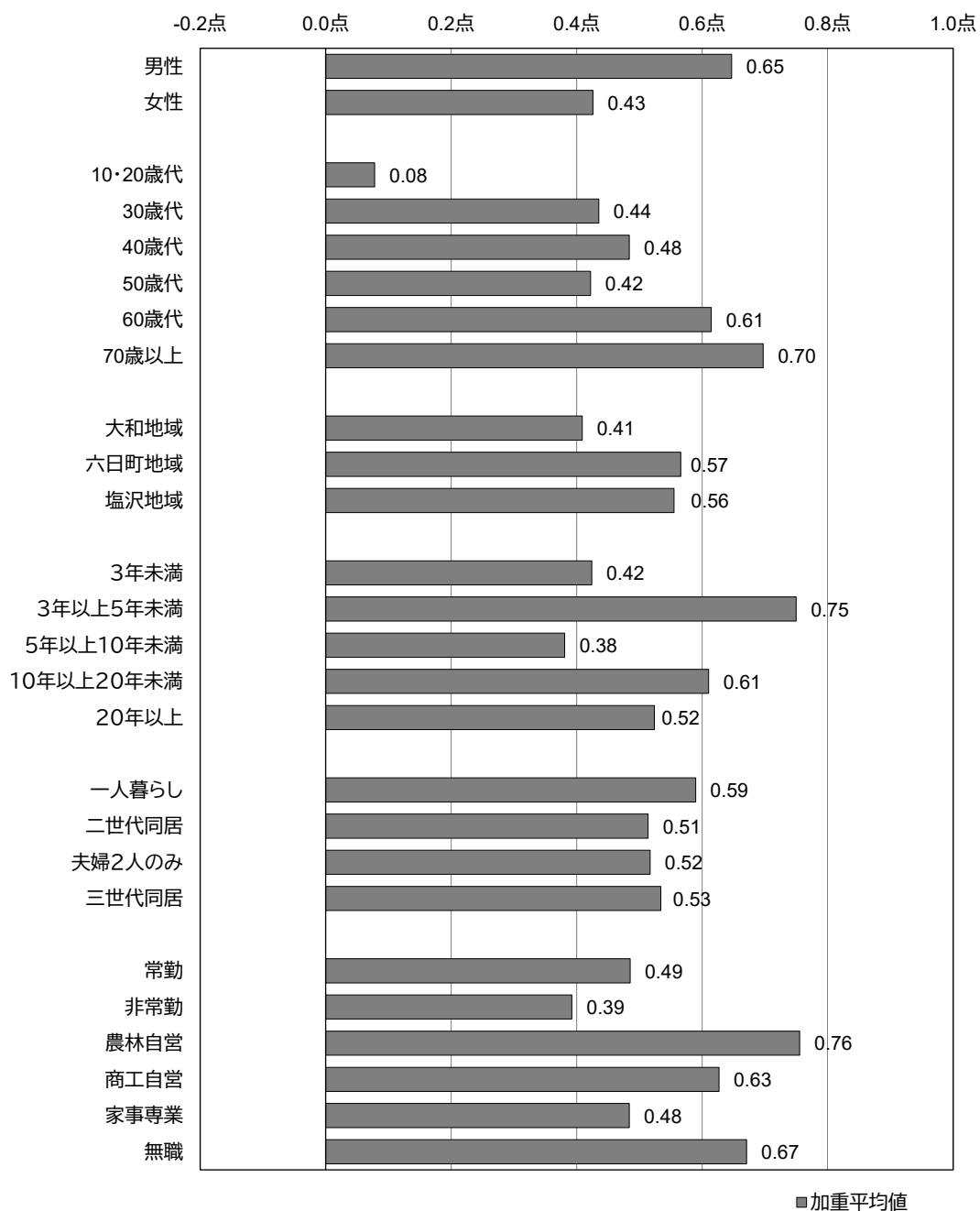
属性別に見ると、いずれの属性も、全体傾向と同様に「少しは関心がある」が最も高くなっています。

合計値『関心がある』は、女性（66.9%）、10・20歳代（57.0%）、大和地域（64.6%）、居住年数5年以上10年未満（64.3%）、「非常勤」（65.2%）などが比較的低くなっており、その中でも10・20歳代は6割未満で特に低くなっています。また、10・20歳代は「全く関心がない」（13.8%）が1割以上で比較的高くなっています。



市政に関心があるか（属性別）

加重平均値を見ても同様の傾向となっており、居住年数3年以上5年未満（0.75点）、農林
 自営（0.76点）などが比較的高い一方、10・20歳代（0.08点）が特に低くなっています。



市政に関心があるか（属性別 加重平均値）

6. 市政情報の入手方法

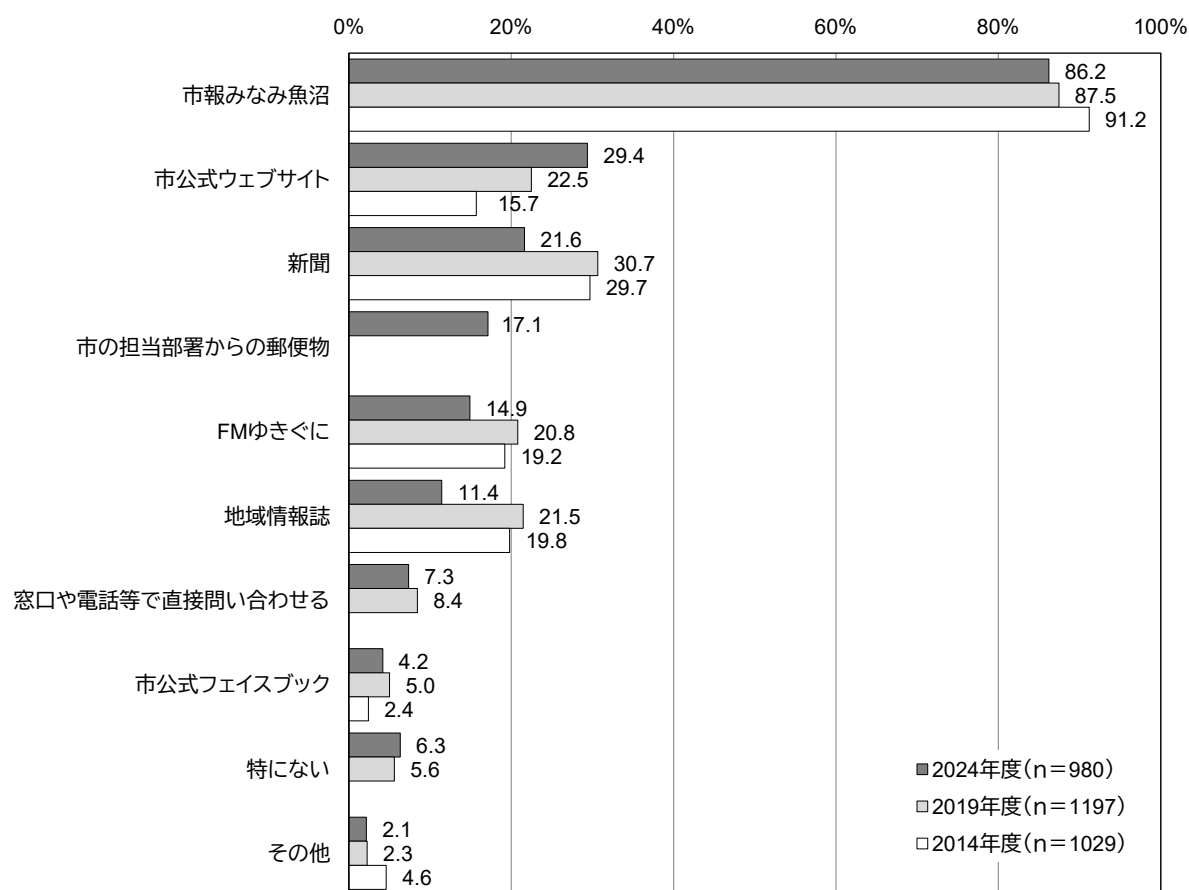
問6 あなたは、市政に関する情報を何から得ていますか。（すべて選択）

- 「市報みなみ魚沼」が8割以上で特に高いが、若干低下傾向
- 次いで「市公式ウェブサイト」が約3割で、高くなる傾向
- 「新聞」「FM ゆきぐに」「地域情報誌」は前回までより低い

「市報みなみ魚沼」(86.2%)が8割以上で特に高く、次いで「市公式ウェブサイト」(29.4%)が約3割となっています。

過去2回の調査と比較すると、「新聞」「FM ゆきぐに」「地域情報誌」では前回までより低くなっており、特に「地域情報誌」(11.4%)は前回(21.5%)より10.1ポイント、「新聞」(21.6%)は前回(30.7%)より9.1ポイントそれぞれ低くなっています。また、「市報みなみ魚沼」は若干低くなる傾向が見られる一方、「市公式ウェブサイト」は高くなる傾向が見られます。

その他(2.1%)の記述には、議員やSNSに関する内容などが複数見られます。

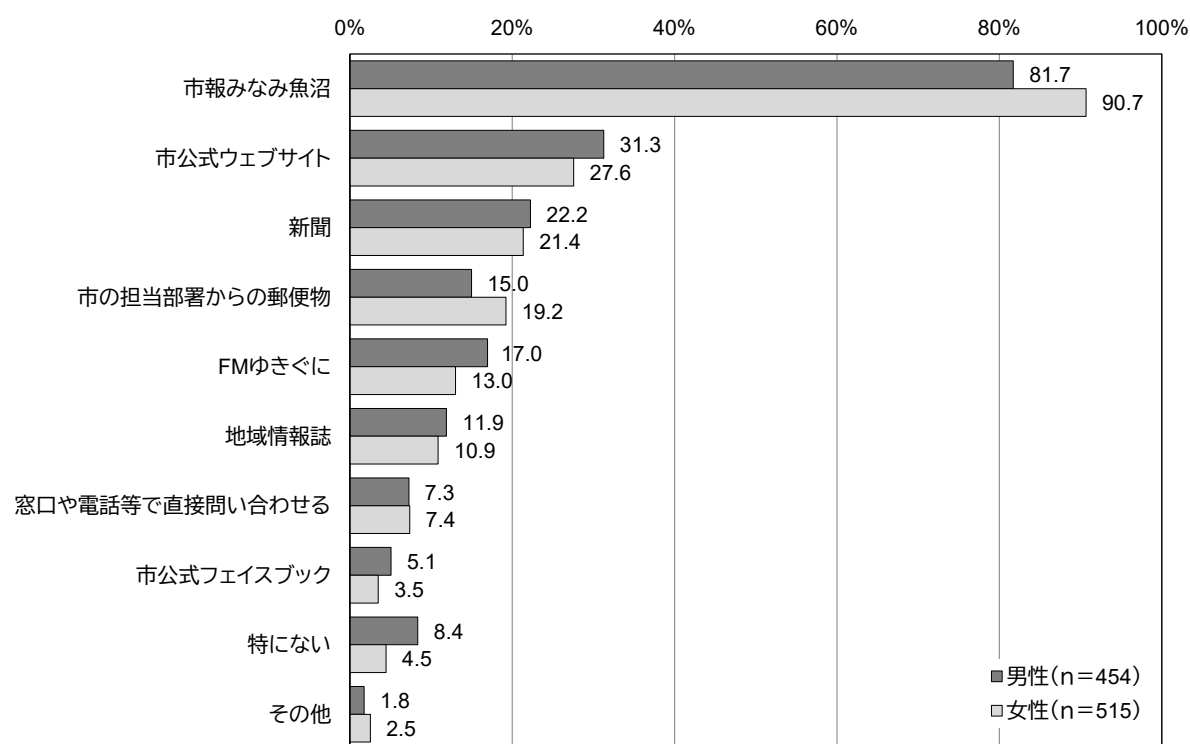


市政に関する情報を何から得ているか（すべて選択）（経年比較）

※「市の担当部署からの郵便物」は本調査、「窓口や電話等で直接問い合わせる」「特にない」は前回調査から設定

●男女とも「市報みなみ魚沼」が最も高く、性別による大きな差は見られない

男女とも「市報みなみ魚沼」(男性 81.7%、女性 90.7%) が最も高く、性別による大きな差は見られません。その中で「市報みなみ魚沼」は男女差が比較的大きく、女性が男性より 9.0 ポイント高くなっています。



市政に関する情報を何から得ているか(性別)

- すべての年代で「市報みなみ魚沼」が最も高いが、年代差が大きく、10・20 歳代が低い
- 「新聞」は 70 歳以上が約 4 割で最も高い一方、40 歳代までは 1 割未満
- 10・20 歳代は「特にない」が高い

年代別で見ると、すべての年代で「市報みなみ魚沼」が最も高く、10・20 歳代（50.8%）を除き 7～9 割以上となっています。

年代差は「市報みなみ魚沼」で最も大きく、最も高い 60 歳代（92.7%）と最も低い 10・20 歳代（50.8%）では 41.9 ポイントの差が見られます。また、「新聞」「特にない」も年代差が大きく、「新聞」は 70 歳以上（38.9%）が最も高い一方、40 歳代までは 1 割未満で、30 ポイント以上の差となっています。「特にない」は 10・20 歳代（32.3%）が特に高く、他の年代とは 20 ポイント以上の差が見られます。

市政に関する情報を何から得ているか（年代別）

(%)	10・20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳以上
n	65	124	189	136	220	244
市報みなみ魚沼	50.8	74.2	87.8	92.6	92.7	91.4
市公式ウェブサイト	20.0	33.9	38.1	36.8	29.5	18.4
新聞	7.7	8.1	7.9	19.1	27.7	38.9
市の担当部署からの郵便物	6.2	14.5	12.2	18.4	20.9	21.3
FM ゆきぐに	7.7	9.7	14.3	13.2	13.6	21.7
地域情報誌	10.8	11.3	9.0	5.1	11.4	16.8
窓口や電話等で直接問い合わせる	0.0	6.5	2.1	4.4	9.1	13.9
市公式フェイスブック	1.5	2.4	7.4	8.1	3.6	1.6
特にない	32.3	11.3	6.3	4.4	2.7	1.2
その他	0.0	4.0	1.1	2.9	1.8	2.5

※全体値が高い順に表示。濃色網掛け表示は最も高い値、淡色網掛け表示は次いで高い値

- すべての居住地域で「市報みなみ魚沼」が最も高く、地域による大きな差は見られない

居住地域別で見ると、すべての地域で「市報みなみ魚沼」が最も高く、次いで「市公式ウェブサイト」が高くなっており、地域による大きな差は見られません。

市政に関する情報を何から得ているか（居住地域別）

(%)	大和地域	六日町地域	塩沢地域
n	229	438	311
市報みなみ魚沼	83.0	88.1	86.2
市公式ウェブサイト	29.3	31.5	26.0
新聞	22.3	19.9	23.8
市の担当部署からの郵便物	14.8	18.7	16.7
FM ゆきぐに	13.5	15.8	14.8
地域情報誌	9.6	11.4	12.9
窓口や電話等で直接問い合わせる	6.6	8.7	6.1
市公式フェイスブック	3.5	3.2	6.1
特にない	10.5	4.8	5.5
その他	1.3	1.8	3.2

※全体値が高い順に表示。濃色網掛け表示は最も高い値、淡色網掛け表示は次いで高い値

●いずれの職業も「市報みなみ魚沼」が最も高い

●「新聞」は家事専業が高く、「市公式ウェブサイト」は農林自営が比較的低い

職業別で見ると、いずれの職業も「市報みなみ魚沼」が最も高くなっています。

職業差は「新聞」で最も大きく、最も高い家事専業（41.5％）と最も低い常勤（12.3％）では 29.2 ポイントの差が見られます。「市公式ウェブサイト」でも比較的差が大きく、常勤（36.6％）、商工自営（35.8％）と農林自営（16.7％）では約 20 ポイントの差が見られます。

市政に関する情報を何から得ているか（職業別）

(%)	常勤	非常勤	農林自営	商工自営	家事専業	無職
n	413	161	48	67	94	166
市報みなみ魚沼	83.1	88.2	91.7	85.1	95.7	91.0
市公式ウェブサイト	36.6	21.7	16.7	35.8	23.4	22.9
新聞	12.3	21.1	33.3	20.9	41.5	33.1
市の担当部署からの郵便物	12.6	21.1	27.1	14.9	25.5	18.7
FM ゆきぐに	13.8	21.1	14.6	13.4	12.8	13.3
地域情報誌	9.9	9.3	16.7	16.4	18.1	10.2
窓口や電話等で直接問い合わせる	3.9	8.1	12.5	4.5	12.8	11.4
市公式フェイスブック	4.6	5.6	4.2	4.5	3.2	3.0
特にない	8.5	3.7	4.2	9.0	3.2	2.4
その他	2.4	1.2	2.1	0.0	2.1	3.6

※全体値が高い順に表示。濃色網掛け表示は最も高い値、淡色網掛け表示は次いで高い値

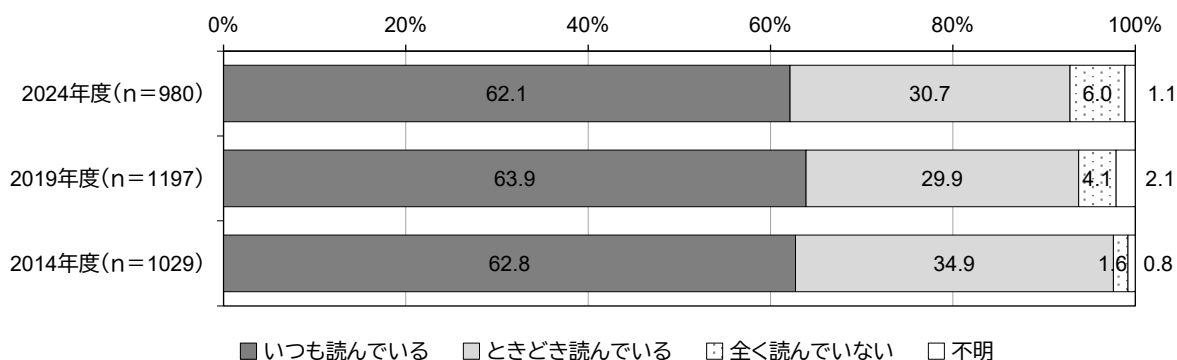
7. 「市報みなみ魚沼」を読んでいるか

問7 あなたは、「市報みなみ魚沼」を読んでいますか。（1つ選択）

- 「いつも読んでいる」が6割以上、次いで「ときどき読んでいる」が3割以上、合計値『読んでいる』は9割以上で、過去2回の調査と同様の傾向

「いつも読んでいる」(62.1%)が6割以上で特に高く、次いで高い「ときどき読んでいる」(30.7%)との合計値『読んでいる』(92.8%)は9割以上となっています。

過去2回の調査と比較すると、大きな変化は見られません。



「市報みなみ魚沼」を読んでいるか（1つ選択）（経年比較）

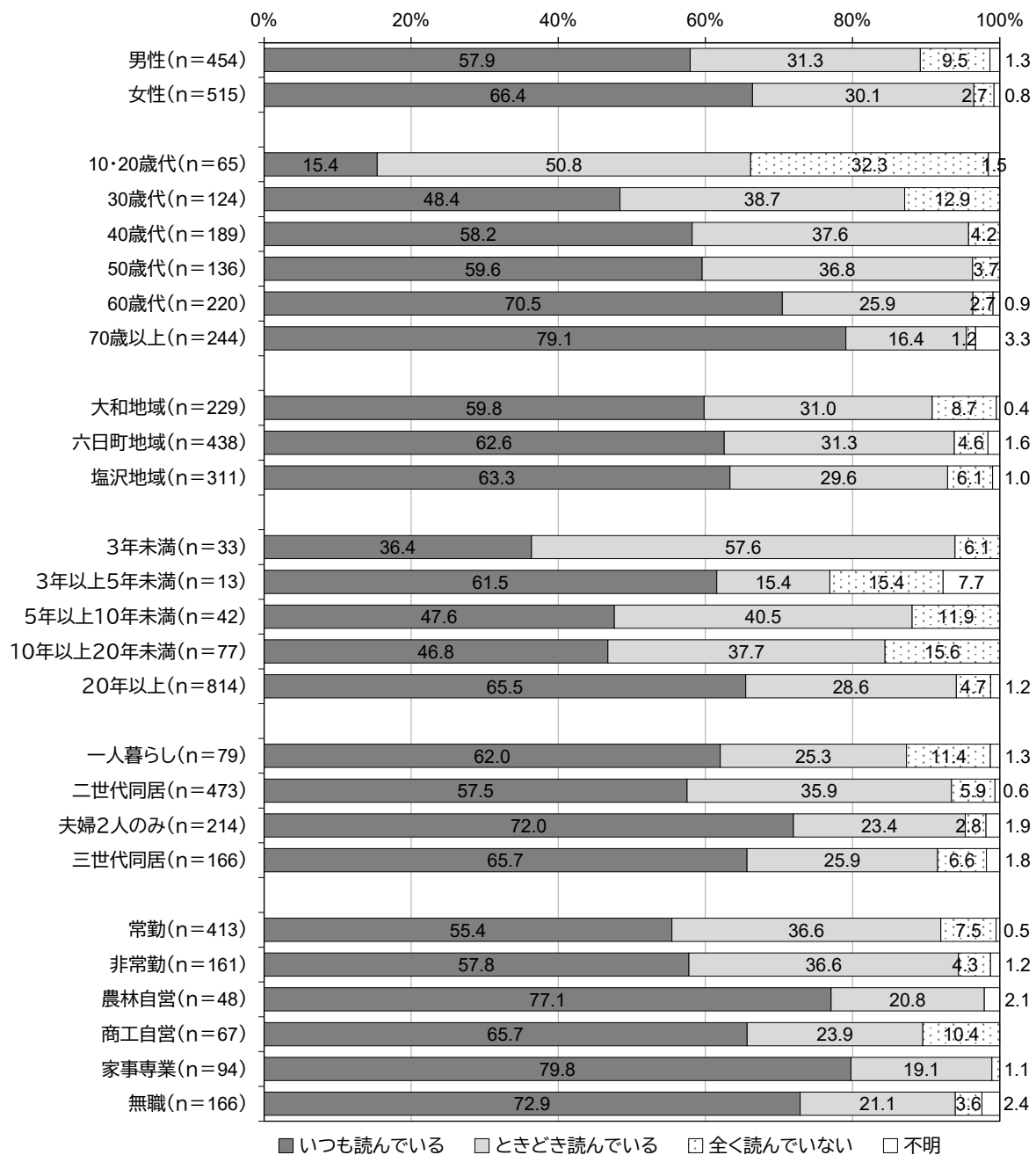
※前々回調査までは「よく読んでいる」「ときどき読んでいる」ほとんど読んでいない」「全く読んでいない」の4択。上図における前々回調査の「ときどき読んでいる」は、「ときどき読んでいる」「ほとんど読んでいない」の合計値

●属性別では10・20歳代、居住年数3年未満は「ときどき読んでいる」が最も高く、10・20歳代は「全く読んでいない」も高い

属性別に見ると、10・20歳代、居住年数3年未満を除き「いつも読んでいる」が最も高く、年代別では高い年代ほど高くなっています。10・20歳代、3年未満は「ときどき読んでいる」（10・20歳代50.8%、3年未満57.6%）が最も高くなっています。

一方、「全く読んでいない」は、10・20歳代（32.3%）が3割以上で特に高くなっています。

合計値『読んでいる』は、10・20歳代（66.2%）、居住年数3年以上5年未満（76.9%）が比較的低くなっています。



「市報みなみ魚沼」を読んでいるか（属性別）

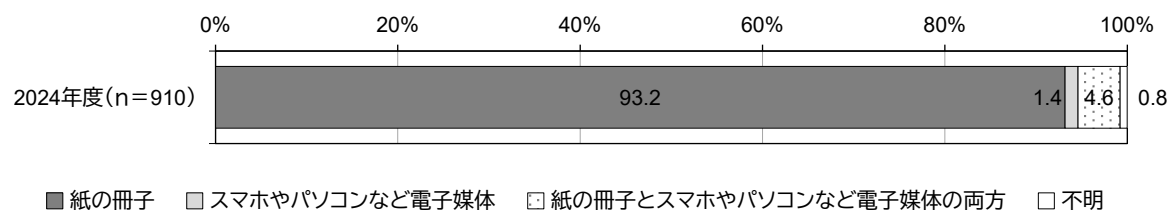
8. 「市報みなみ魚沼」について

問8 「市報みなみ魚沼」について。（問7で「読んでいる」場合・それぞれ1つ選択）

（1）「市報みなみ魚沼」をどのような媒体で読んでいますか

●「紙の冊子」が9割以上

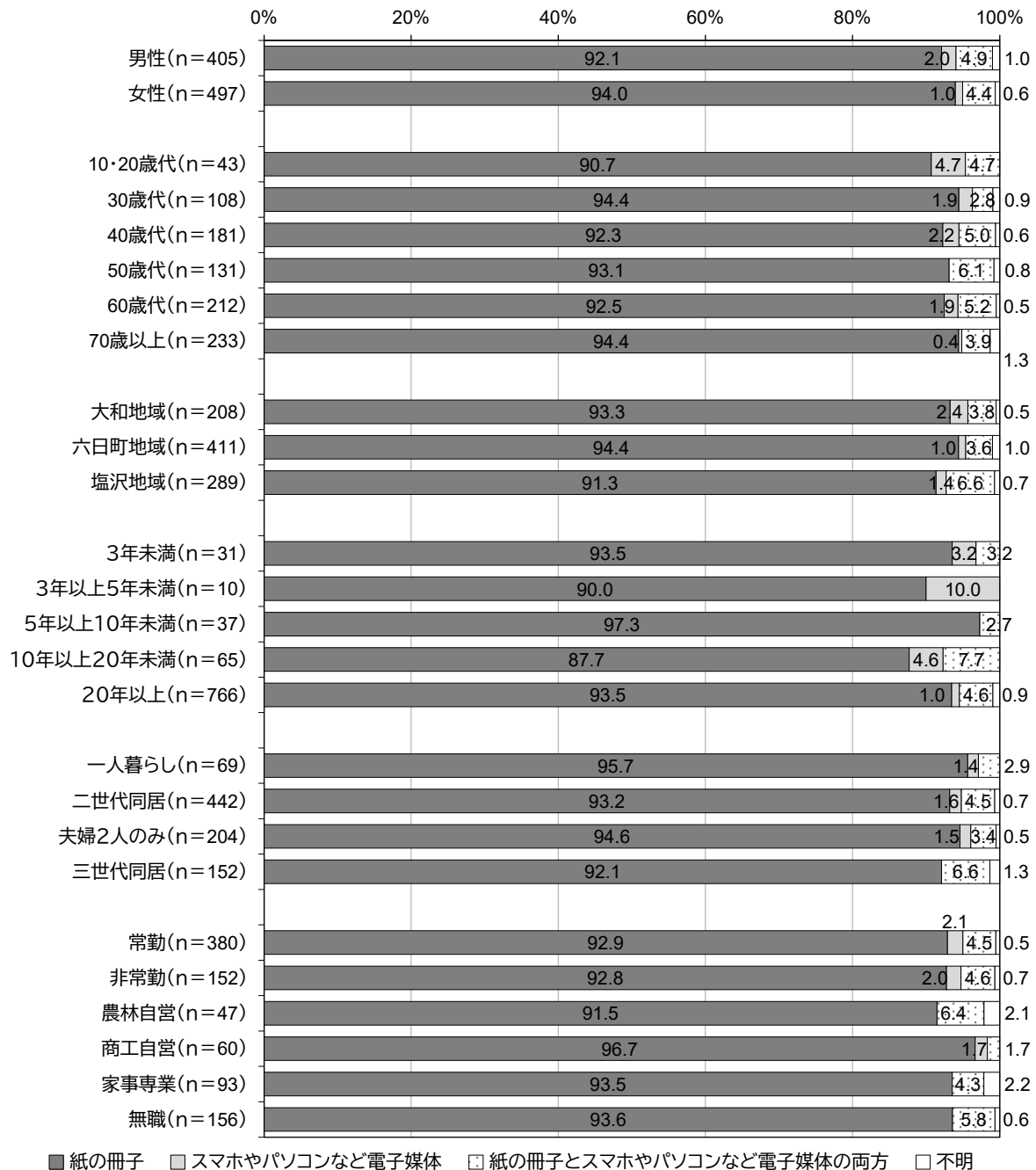
「紙の冊子」（93.2%）が9割以上で特に高く、次いで高い「紙の冊子とスマホやパソコンなど電子媒体の両方」（4.6%）は1割未満となっています。



「市報みなみ魚沼」を読んでいる媒体（1つ選択）

●いずれの属性も「紙の冊子」が特に高い

属性別に見ると、いずれの属性も「紙の冊子」が特に高く、属性による大きな差は見られません。



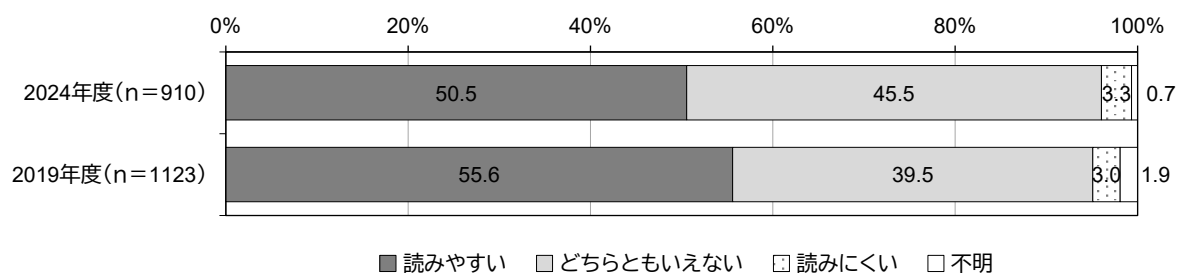
「市報みなみ魚沼」を読んでいる媒体（属性別）

(2)「市報みなみ魚沼」の読みやすさ

●「読みやすい」が5割以上、次いで「どちらともいえない」が4割以上

「読みやすい」(50.5%)が5割以上、次いで「どちらともいえない」(45.5%)が4割以上となっています。

前回調査と比較すると、大きな変化は見られませんが、その中で「読みやすい」は前回(55.6%)より若干低くなっています。

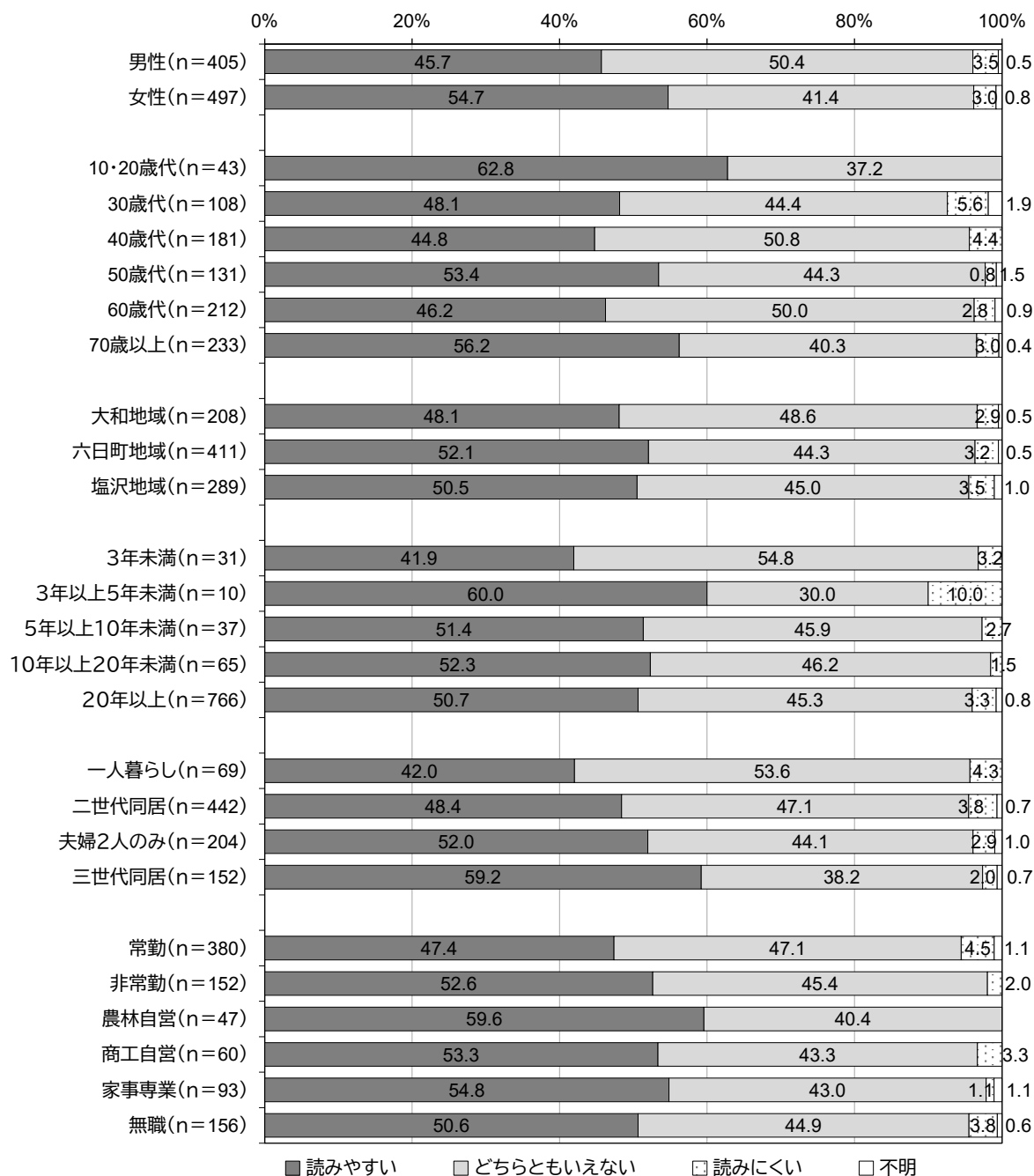


「市報みなみ魚沼」の読みやすさ（1つ選択）（経年比較）

●多くの属性で「読みやすい」が最も高い

属性別に見ると、多くの属性で、全体傾向と同様に「読みやすい」が最も高く、10・20歳代（62.8%）、居住年数3年以上5年未満（60.0%）が6割以上で比較的高くなっています。

一方、3年未満、一人暮らしは、「どちらともいえない」が「読みやすい」より10ポイント以上高くなっています。



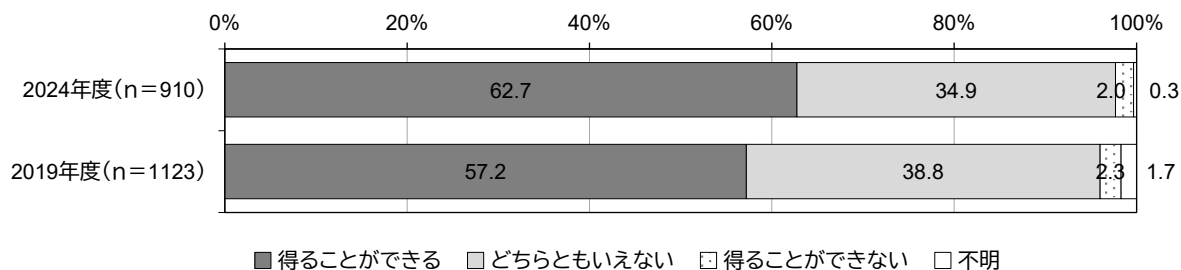
「市報みなみ魚沼」の読みやすさ（属性別）

(3)「市報みなみ魚沼」は必要な情報を得ることができるか

●「得ることができる」が6割以上、次いで「どちらともいえない」が3割以上

「得ることができる」(62.7%)が6割以上で最も高く、次いで「どちらともいえない」(34.9%)が3割以上となっています。

前回調査と比較すると、大きな変化は見られませんが、その中で「得ることができる」は前回(57.2%)より若干高くなっています。

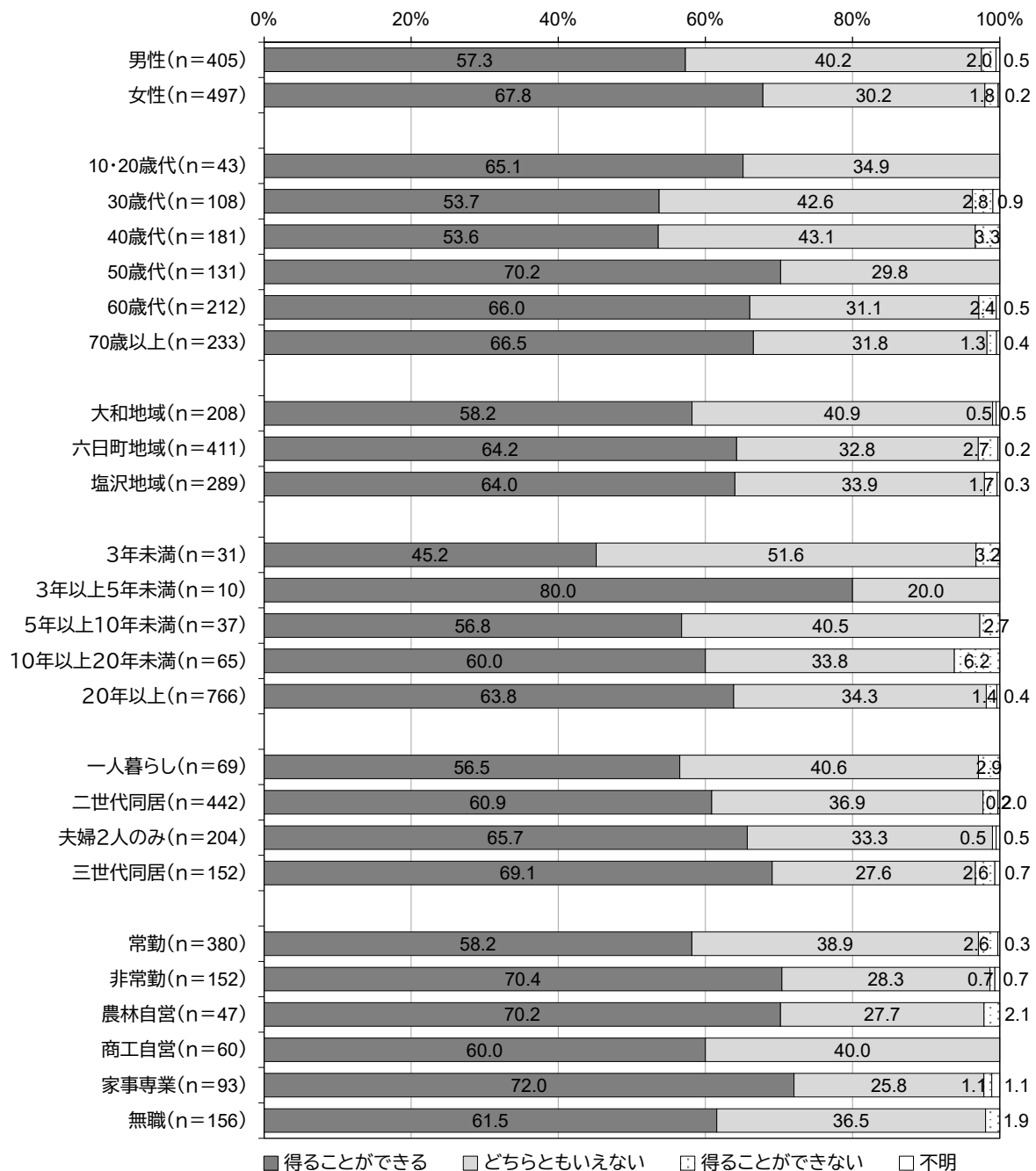


「市報みなみ魚沼」は必要な情報を得ることができるか(1つ選択)(経年比較)

●ほとんどの属性で「得ることができる」が最も高い

属性別に見ると、居住年数3年未満を除き、全体傾向と同様に「得ることができる」が最も高くなっています。3年未満は「どちらともいえない」(51.6%)が5割以上で最も高くなっています。

「得ることができる」は、50歳代(70.2%)、3年以上5年未満(80.0%)、非常勤(70.4%)、農林自営(70.2%)、家事専業(72.0%)が7割以上で比較的高くなっています。



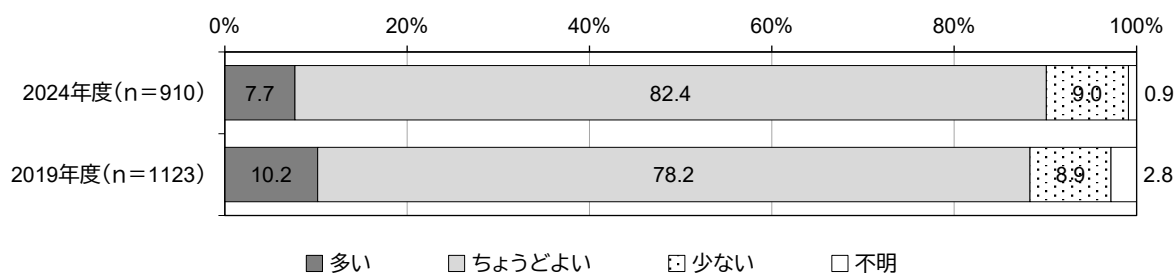
「市報みなみ魚沼」は必要な情報を得ることができるか(属性別)

(4)「市報みなみ魚沼」の情報量の多さ

●「ちょうどよい」が8割以上、次いで「多い」「少ない」がいずれも約1割

「ちょうどよい」(82.4%)が8割以上で特に高く、次いで「少ない」(9.0%)、「多い」(7.7%)が約1割で同程度となっています。

前回調査と比較すると、大きな変化は見られませんが、その中で「ちょうどよい」は前回(78.2%)より若干高くなっています。

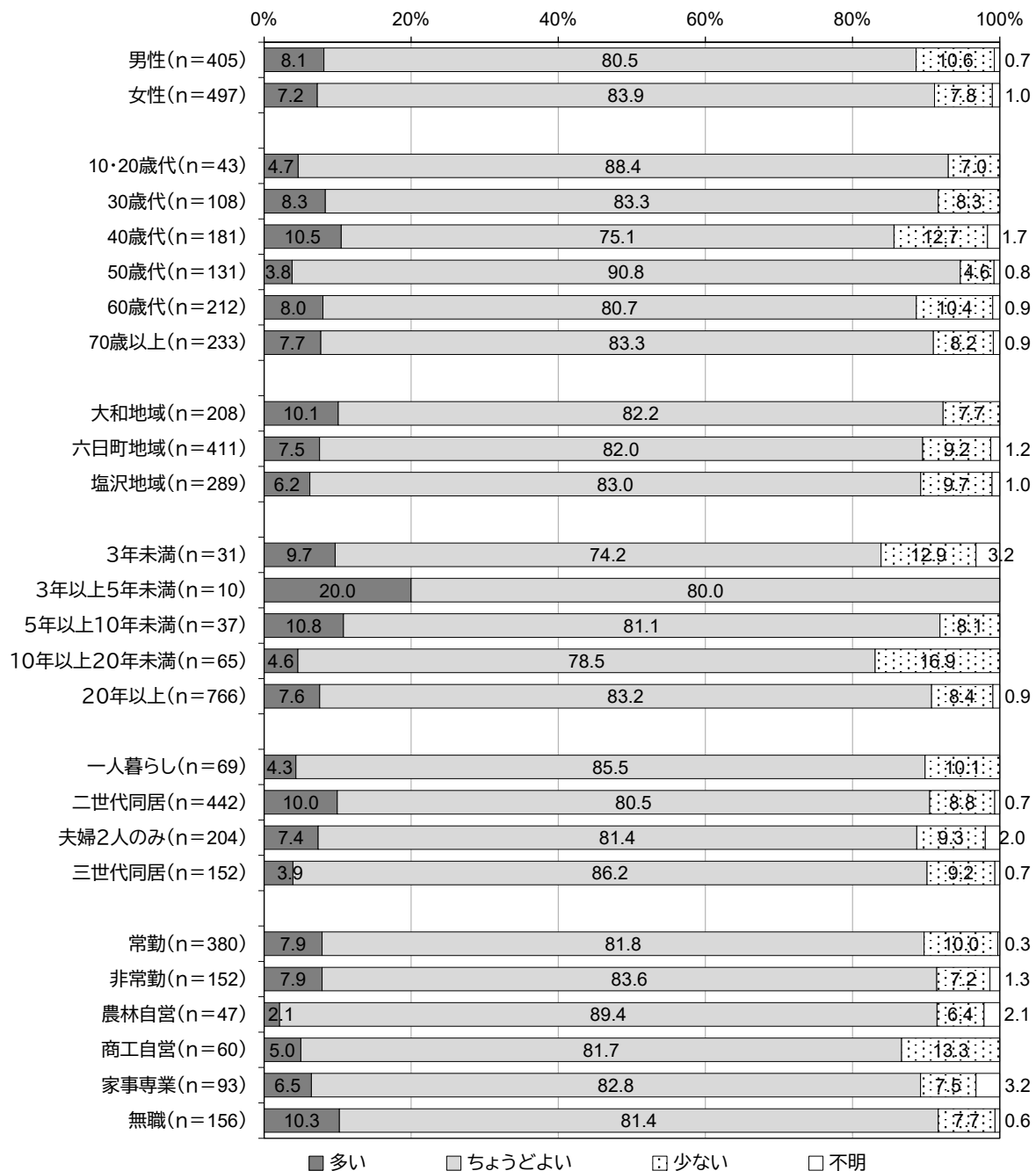


「市報みなみ魚沼」の情報量の多さ（1つ選択）（経年比較）

●いずれの属性も「ちょうどよい」が特に高い

属性別に見ると、いずれの属性も、全体傾向と同様に「ちょうどよい」が7～8割以上で特に高くなっています。その中で居住年数3年以上5年未満は「多い」(20.0%)、10年以上20年未満は「少ない」(16.9%)が約2割で比較的高くなっています。

「ちょうどよい」は、10・20歳代(88.4%)、50歳代(90.8%)、農林自営(89.4%)が約9割で比較的高くなっています。



「市報みなみ魚沼」の情報量の多さ(属性別)

（５）「市報みなみ魚沼」の総合的な満足度

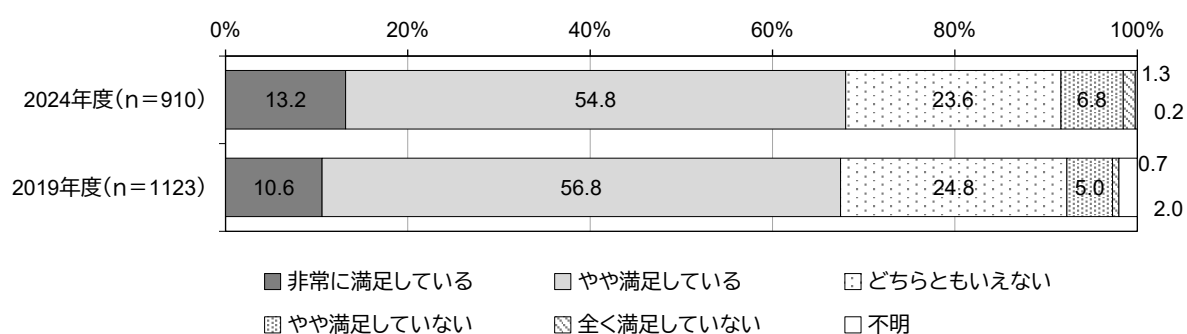
●「やや満足している」が５割以上、次いで「どちらともいえない」が２割以上

●合計値『満足』は約７割で前回と同程度

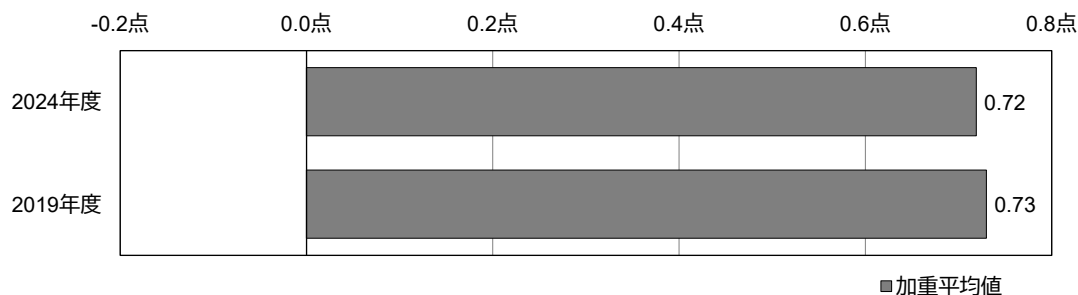
「やや満足している」（54.8％）が５割以上で最も高く、次いで「どちらともいえない」（23.6％）が２割以上となっています。「非常に満足している」（13.2％）と「やや満足している」の合計値『満足』（68.0％）は約７割となっています。

前回調査と比較すると、大きな変化は見られません。

満足の程度について加重平均値*を見ても、本調査（0.72点）は前回（0.73点）と同程度となっています。



「市報みなみ魚沼」の総合的な満足度（１つ選択）（経年比較）



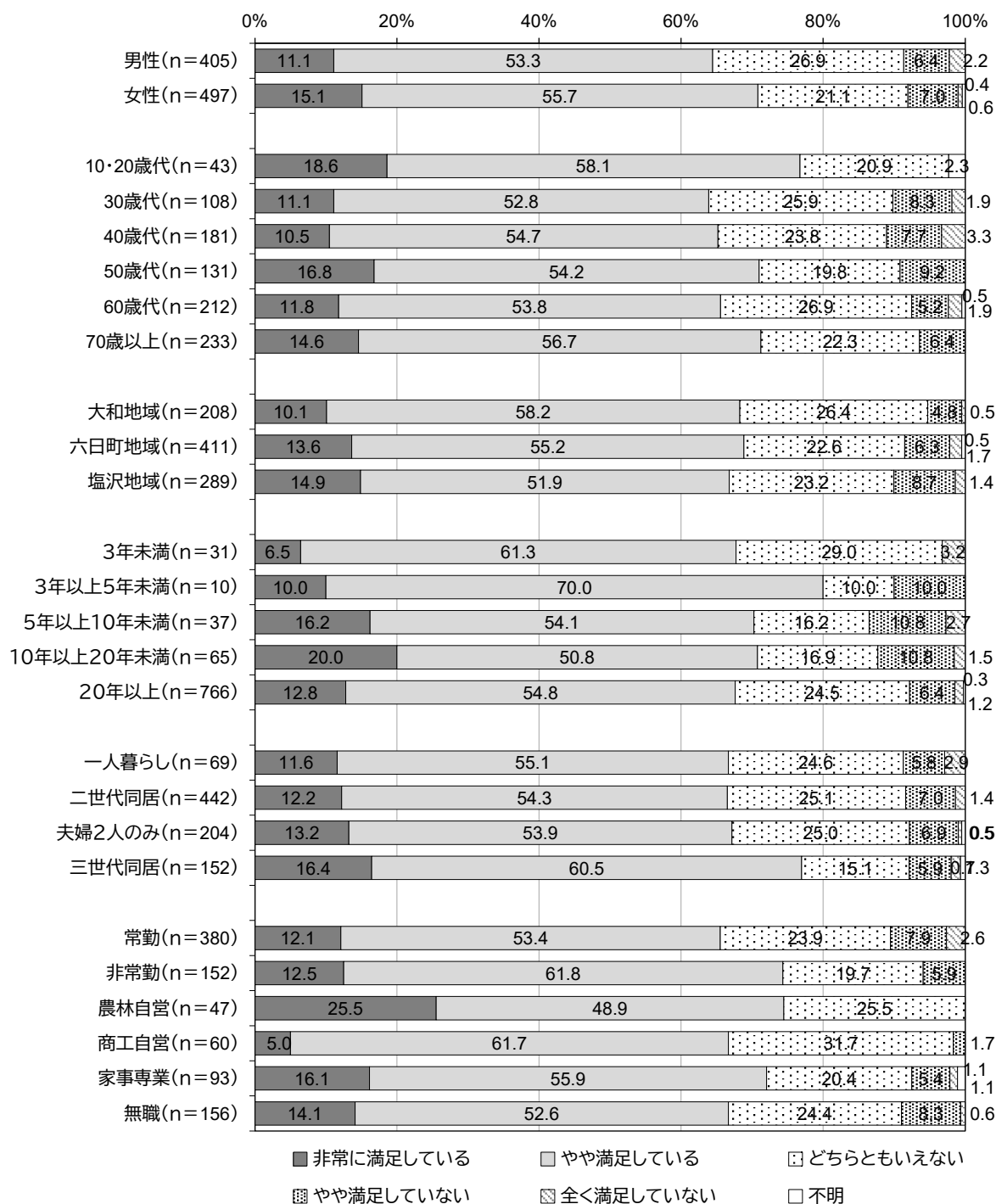
「市報みなみ魚沼」の総合的な満足度（経年比較 加重平均値）

*加重平均値：「非常に満足している」に+2点、「やや満足している」に+1点、「どちらともいえない」に0点、「やや満足していない」に-1点、「全く満足していない」に-2点の加重値を与え、「不明」を除く回答者数で平均値を算出したもの。基準値を0として、プラスの値の場合は肯定的な評価、マイナスの値の場合は否定的な評価と考えられる

●いずれの属性も「やや満足している」が最も高い

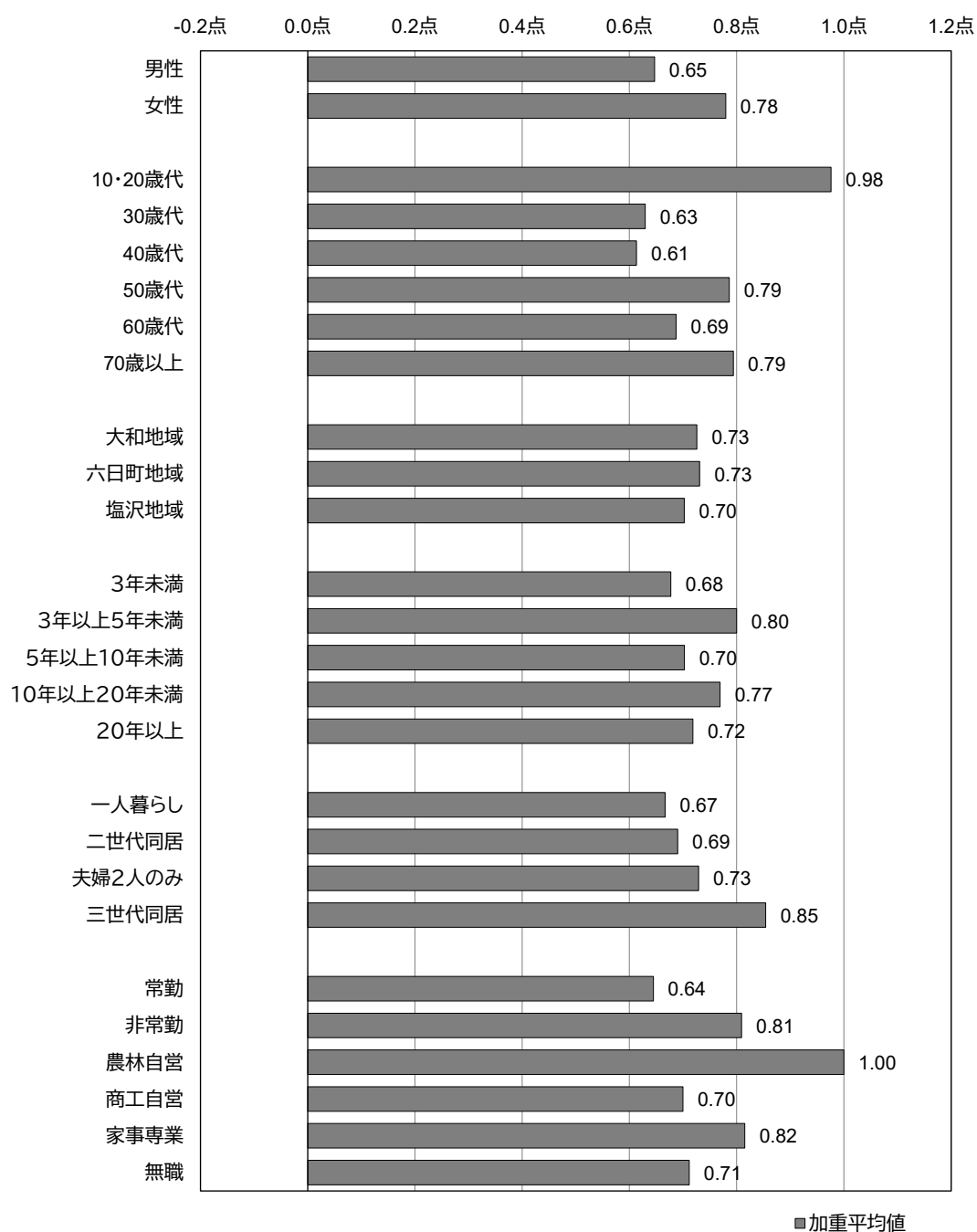
属性別に見ると、いずれの属性も、全体傾向と同様に「やや満足している」が最も高くなっています。また、居住年数10年以上20年未満、農林自営は「非常に満足している」（10年以上20年未満20.0%、農林自営25.5%）が2割以上で比較的高くなっています。

合計値『満足』は、10・20歳代（76.7%）、3年以上5年未満（80.0%）、三世代同居（76.9%）などが約8割で比較的高くなっています。



「市報みなみ魚沼」の総合的な満足度（属性別）

加重平均値を見ると、10・20 歳代（0.98 点）、農林自営（1.00 点）が高い一方、40 歳代（0.61 点）が最も低くなっています。



「市報みなみ魚沼」の総合的な満足度（属性別 加重平均値）

9. 地域づくり協議会の認知度

問9 あなたは、市内全域12地区を単位として設置されている「地域づくり協議会」（まちづくり協議会、ふるさと協議会）を知っていますか。（1つ選択）

●「あまり知らない」が3割以上、次いで「知っている（事業に参加したことはない）」「全く知らない」がいずれも2割以上で前回と同様の傾向

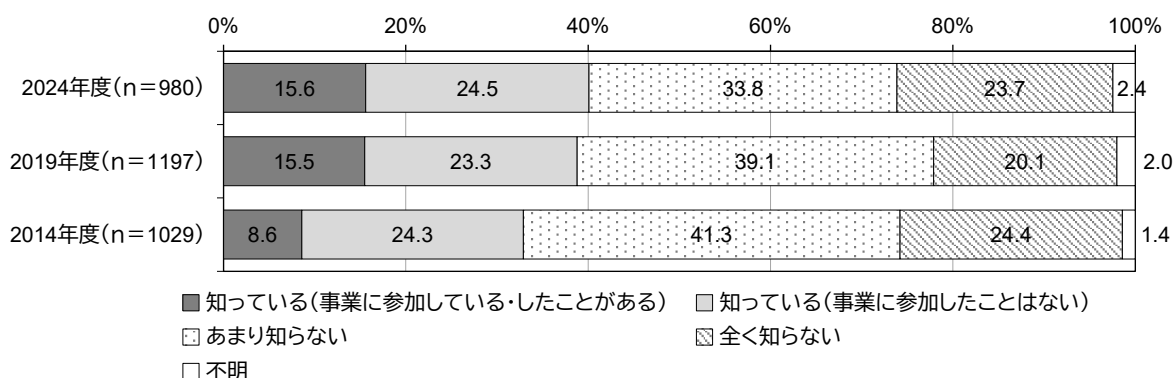
●合計値『知らない』が約6割で、合計値『知っている』の4割以上を上回る

「あまり知らない」（33.8%）が3割以上で最も高く、次いで「知っている（事業に参加したことはない）」（24.5%）、「全く知らない」（23.7%）がそれぞれ2割以上となっています。

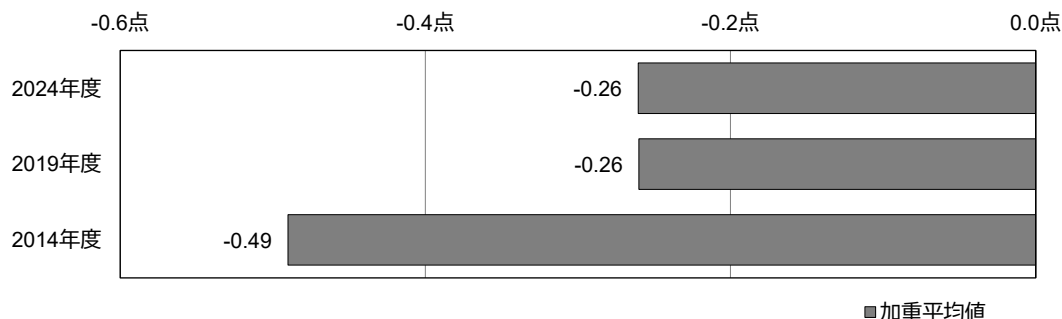
「知っている（事業に参加している・したことがある）」（15.6%）と「知っている（事業に参加したことはない）」の合計値『知っている』（40.1%）は4割以上、「あまり知らない」「全く知らない」の合計値『知らない』（57.5%）は約6割となっています。

過去2回の調査と比較すると、合計値『知っている』は前回（38.8%）と同程度で、前々回（32.9%）より高くなっています。

認知度について加重平均値*を見ると、マイナス値ではあるものの、本調査（-0.26点）は、前回（-0.26点）と同値で、前々回（-0.49点）より高くなっています。



「地域づくり協議会」を知っているか（1つ選択）（経年比較）



「地域づくり協議会」を知っているか（経年比較 加重平均値）

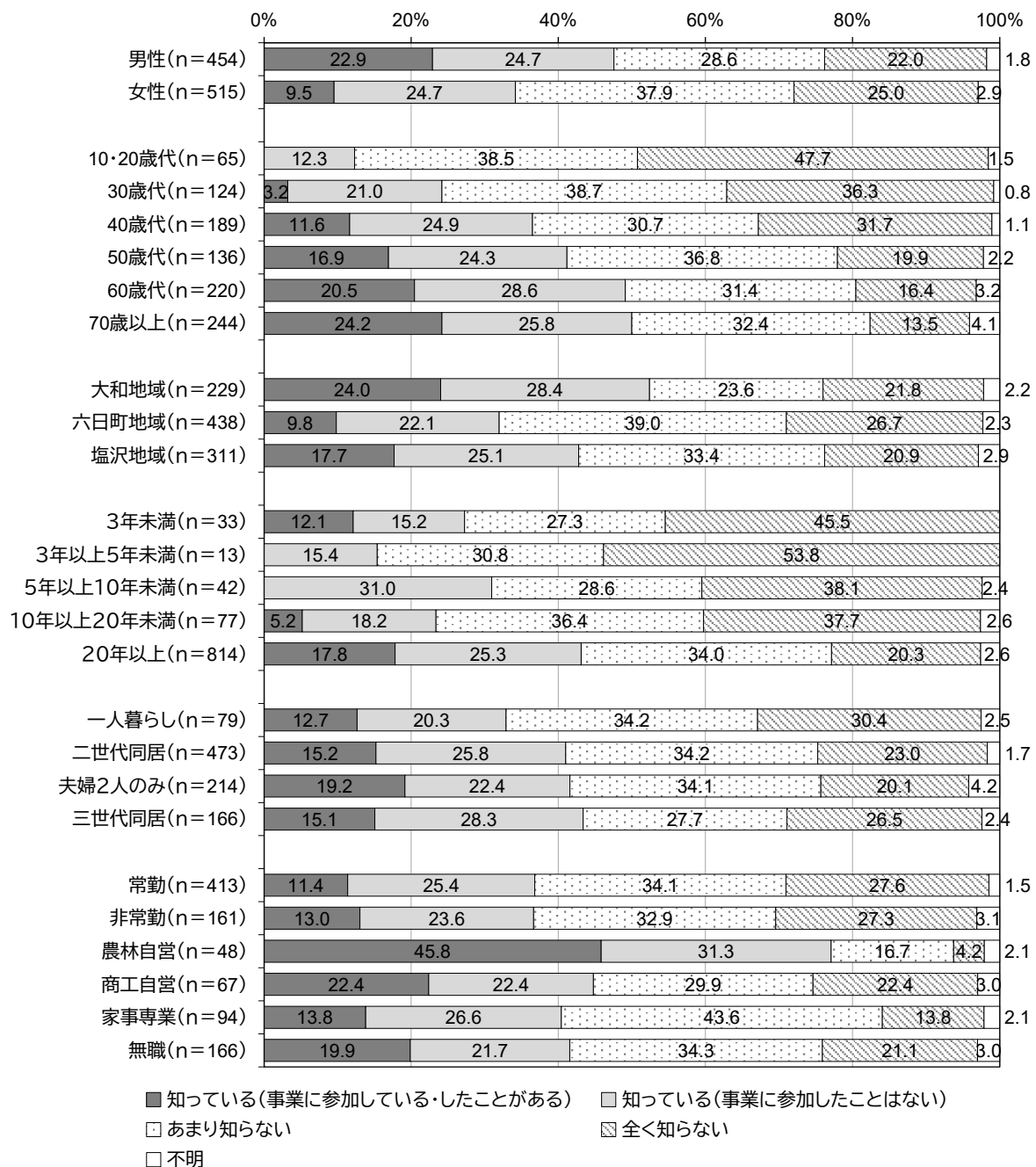
*加重平均値：「知っている（事業に参加している・したことがある）」に+2点、「知っている（事業に参加したことはない）」に+1点、「あまり知らない」に-1点、「全く知らない」に-2点の加重値を与え、「不明」を除く回答者数で平均値を算出したもの。基準値を0として、プラスの値の場合は肯定的な評価、マイナスの値の場合は否定的な評価と考えられる

●高い年代、大和地域、農林自営の認知度が高い一方、若い年代ほど認知度が低い

●居住年数 20 年未満で認知度が低い

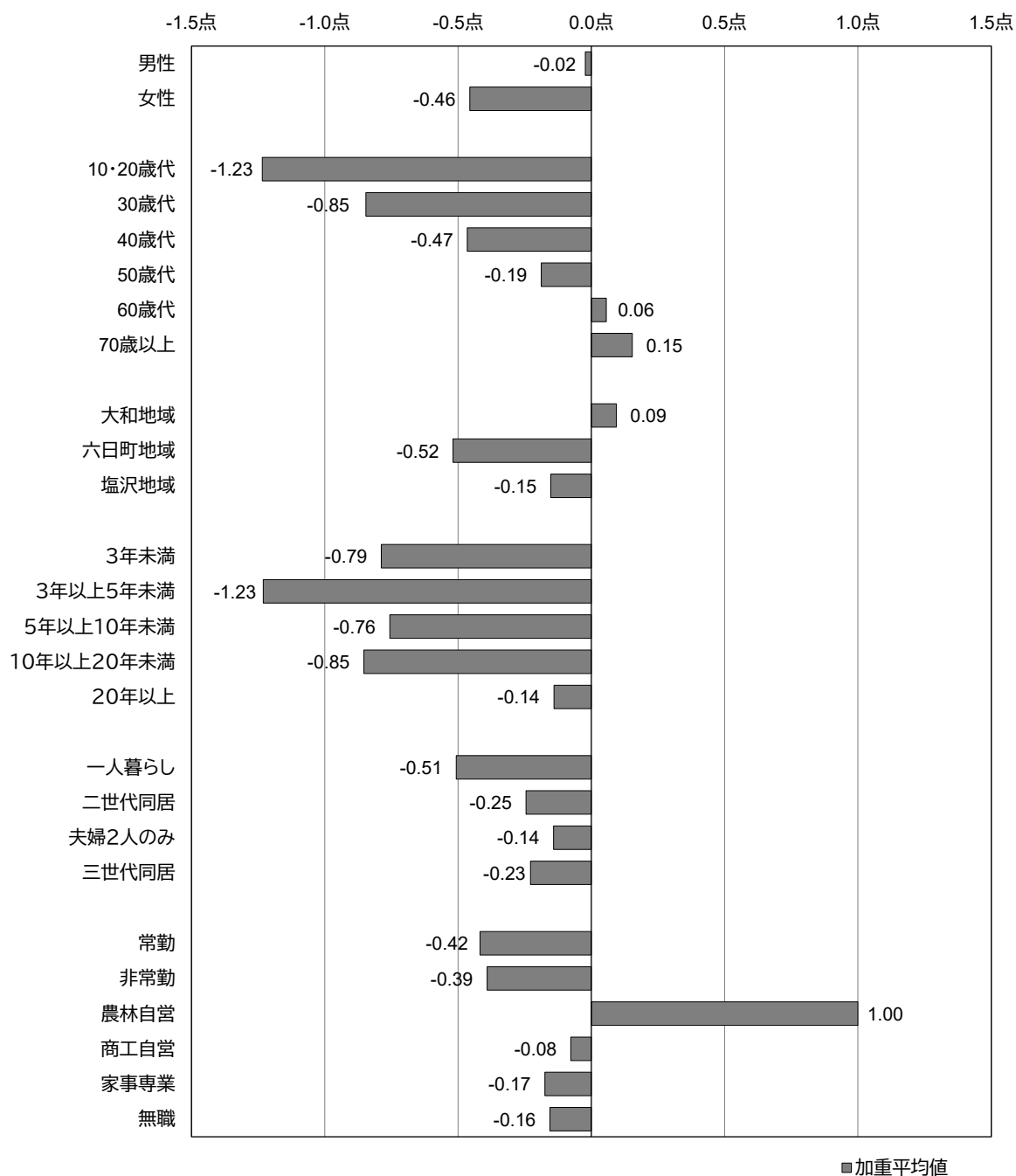
属性別に見ると、属性によって最も高い項目が異なります。その中で、農林自営は「知っている（事業に参加している・したことがある）」（45.8%）が4割以上で特に高くなっています。年代別では高い年代ほど「知っている（事業に参加している・したことがある）」が高く、10・20 歳代では見られません。

合計値『知っている』は、農林自営（77.1%）が約8割で特に高く、大和地域（52.4%）、70 歳以上（50.0%）も5割以上で比較的高い一方、10・20 歳代（12.3%）が最も低く、年代別では若い年代ほど低くなっています。



「地域づくり協議会」を知っているか（属性別）

加重平均値を見ると、60歳代（0.06点）、70歳以上（0.15点）、大和地域（0.09点）、農林
 自営（1.00点）はプラス値となっています。一方、10・20歳代（-1.23点）、居住年数3年以
 上5年未満（-1.23点）は-1.0点を下回っており、年代別では若い年代ほど低く、居住年数
 別では20年未満で低くなっています。また、性別では女性（-0.46点）が男性（-0.02点）
 より低くなっています。



「地域づくり協議会」を知っているか（属性別 加重平均値）

10. 地域づくり活動への関心度

問 10 あなたは、行政区や地域での行事や地域づくりの活動に関心がありますか。
(1つ選択)

●「少しは関心がある」が約5割、次いで「あまり関心がない」が3割以上

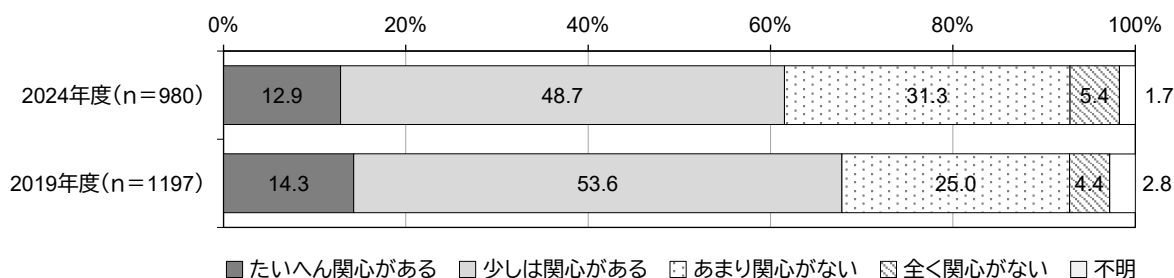
●合計値『関心がある』は6割以上で、前回より若干低い

「少しは関心がある」(48.7%)が約5割で最も高く、次いで「あまり関心がない」(31.3%)が3割以上となっています。

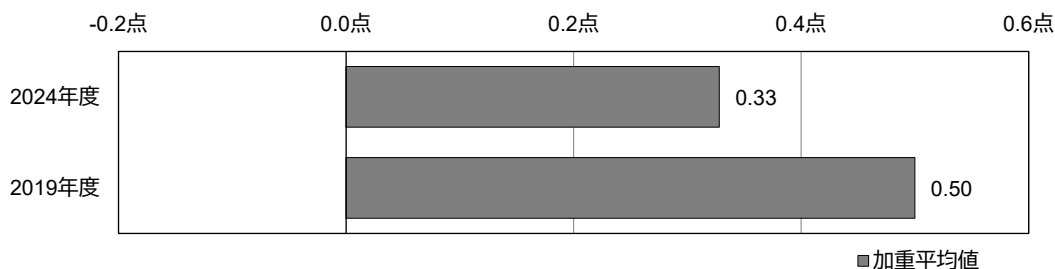
「たいへん関心がある」(12.9%)と「少しは関心がある」の合計値『関心がある』(61.6%)は6割以上となっています。

前回調査と比較すると、合計値『関心がある』は前回(67.9%)より若干低くなっています。

関心の程度について加重平均値*を見ると、本調査(0.33点)は前回(0.50点)より低くなっています。



行政区や地域での行事や地域づくりの活動に関心があるか(1つ選択)(経年比較)



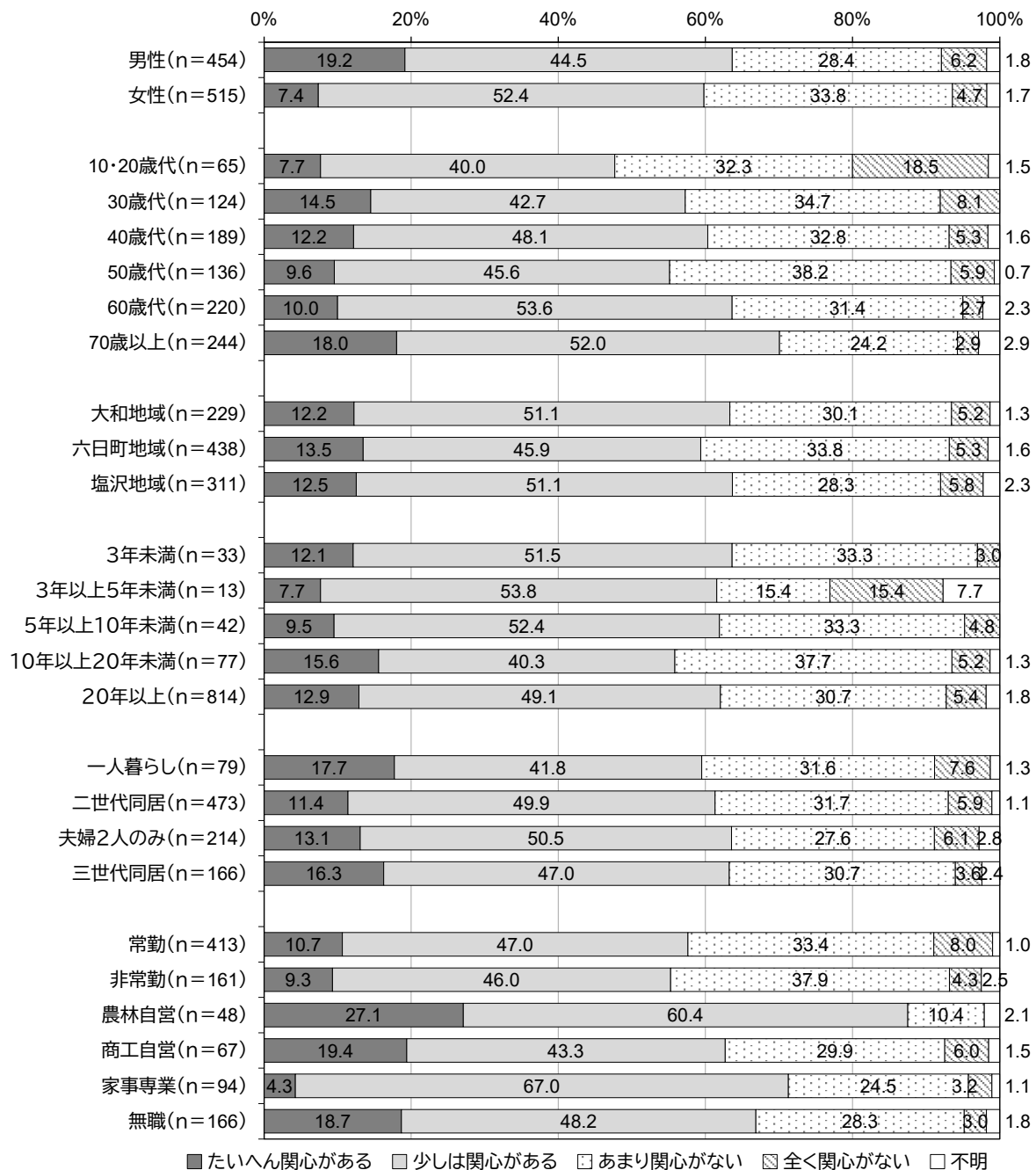
行政区や地域での行事や地域づくりの活動に関心があるか(経年比較 加重平均値)

*加重平均値: 「たいへん関心がある」に+2点、「少しは関心がある」に+1点、「あまり関心がない」に-1点、「全く関心がない」に-2点の加重値を与え、「不明」を除く回答者数で平均値を算出したもの。基準値を0として、プラスの値の場合は肯定的な評価、マイナスの値の場合は否定的な評価と考えられる

●農林自営、70歳以上などの関心度が高い一方、10・20歳代の関心度が低い

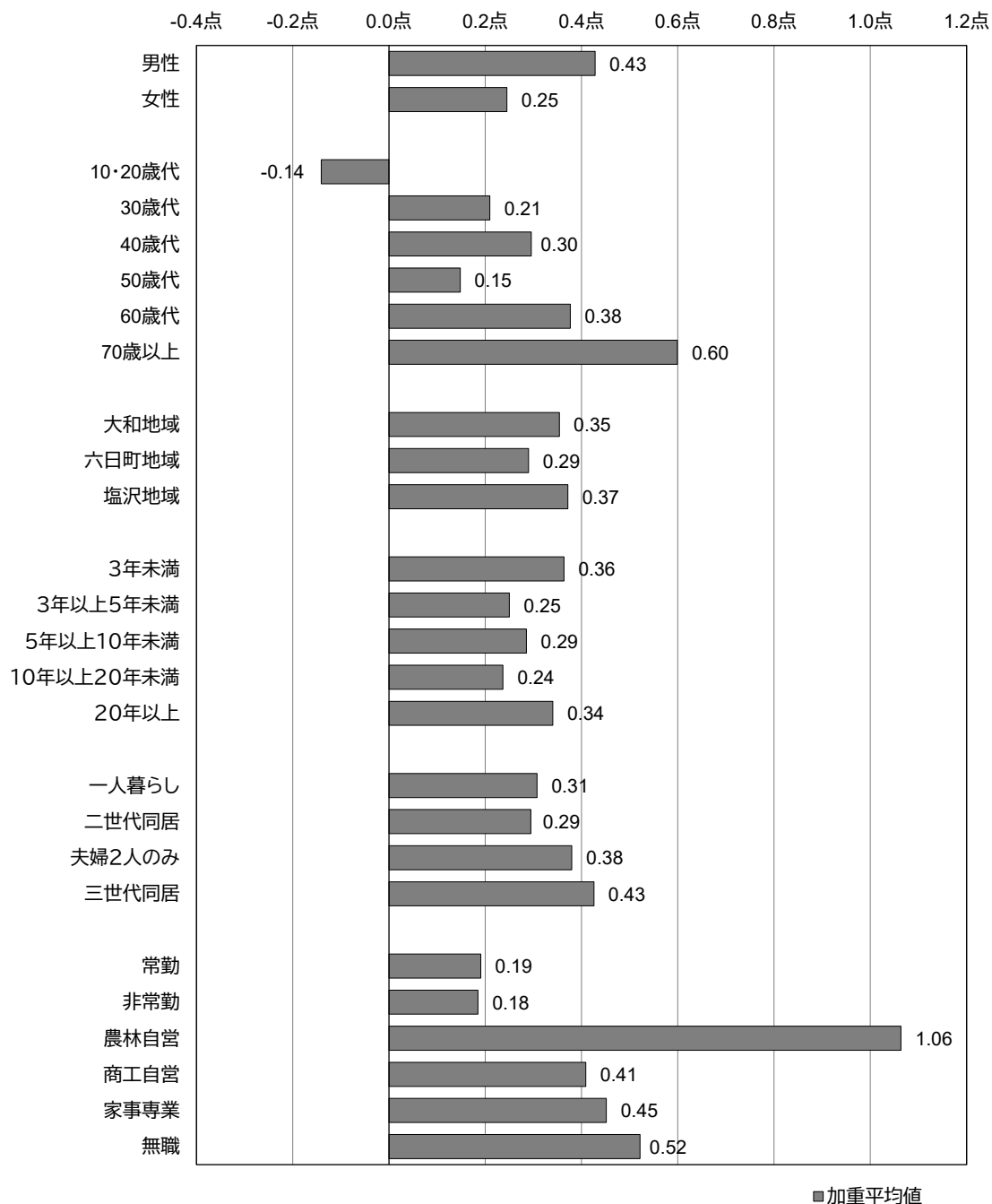
属性別に見ると、いずれの属性も、全体傾向と同様に「少しは関心がある」が最も高くなっています。

合計値『関心がある』は、農林自営（87.5%）が約9割で特に高く、家事専業（71.3%）や70歳以上（70.0%）も7割以上で比較的高い一方、10・20歳代（47.7%）が5割未満で最も低くなっています。



行政区や地域での行事や地域づくりの活動に関心があるか（属性別）

加重平均値を見ると、農林自営（1.06 点）が特に高い一方、10・20 歳代（-0.14 点）のみマイナス値となっています。また、50 歳代（0.15 点）、常勤（0.19 点）、非常勤（0.18 点）も比較的低くなっています。



行政区や地域での行事や地域づくりの活動に関心があるか（属性別 加重平均値）

11. 住むようになった理由・きっかけ

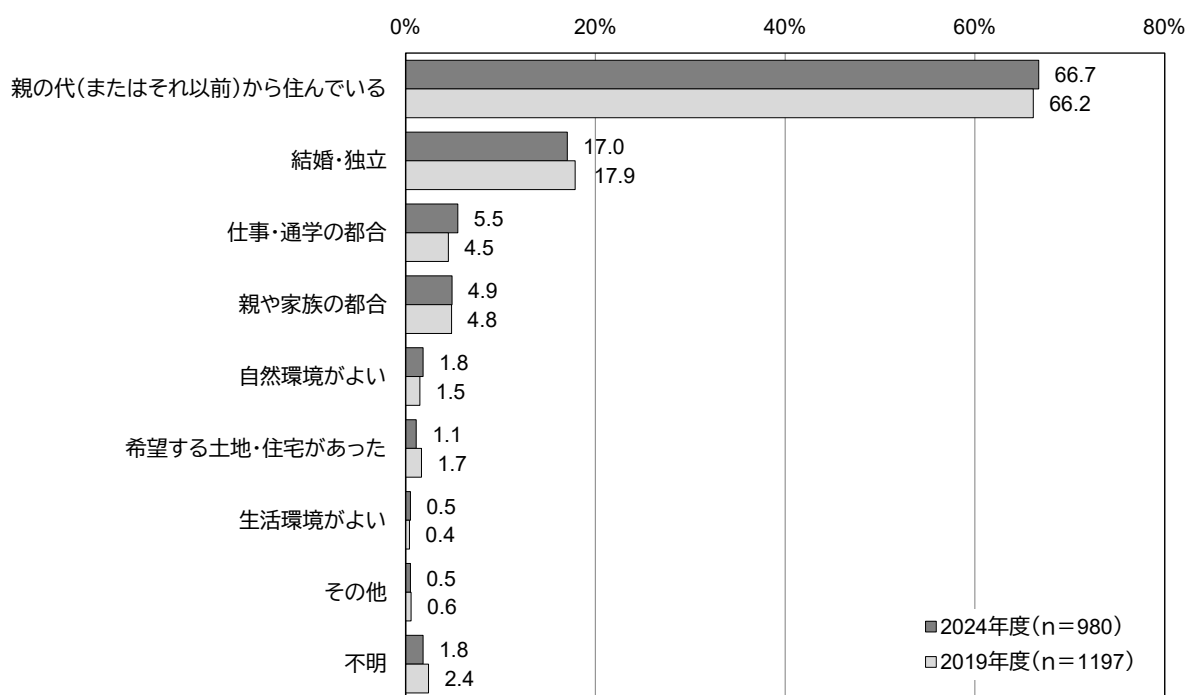
問 11 南魚沼市に住むようになった理由・きっかけはどのようなことですか。
(1つ選択)

●「親の代（またはそれ以前）から住んでいる」が約7割で前回と同様の傾向

「親の代（またはそれ以前）から住んでいる」（66.7%）が約7割で特に高く、次いで「結婚・独立」（17.0%）が約2割となっています。

その他（0.5%）の記述には、「（東京からの）Uターン」が複数見られます。

前回調査と比較すると、同様の傾向となっており、大きな変化は見られません。

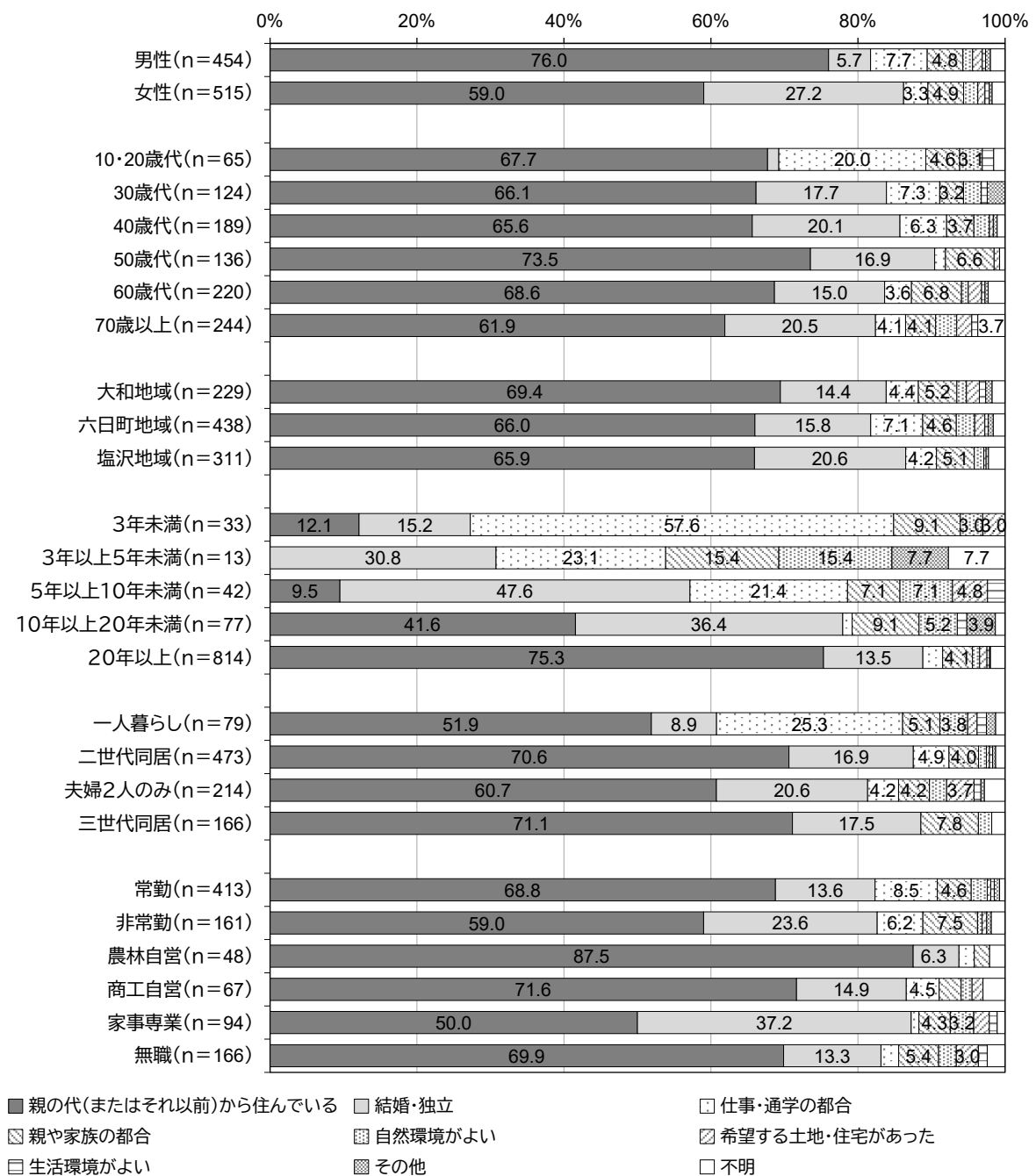


南魚沼市に住むようになった理由・きっかけ（1つ選択）（経年比較）

- 「親の代（またはそれ以前）から住んでいる」は農林自営が特に高い
- 居住年数3年未満は「仕事・通学の都合」、3～10年未満は「結婚・独立」が最も高い
- 「結婚・独立」は女性、居住年数10～20年未満、家事専業も比較的高い

属性別に見ると、居住年数10年未満を除き「親の代（またはそれ以前）から住んでいる」が最も高く、その中でも農林自営（87.5%）は約9割となっています。

居住年数10年未満のうち、3年未満は「仕事・通学の都合」（57.6%）、3年以上5年未満、5年以上10年未満は「結婚・独立」（それぞれ30.8%、47.6%）が最も高くなっており、「結婚・独立」は女性（27.2%）、10年以上20年未満（36.4%）、家事専業（37.2%）なども比較的高くなっています。



南魚沼市に住むようになった理由・きっかけ（属性別）

※図表の見やすさに考慮し、3.0%未満の値は非表示

12. 暮らしやすいか

問 12 南魚沼市は暮らしやすいと思いますか。（1つ選択）

●「どちらかといえば暮らしやすい」が4割以上、次いで「どちらともいえない」が2割以上

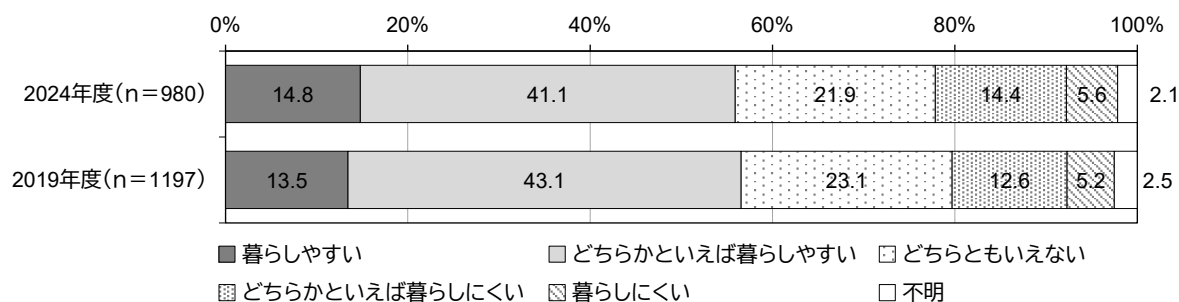
●合計値『暮らしやすい』は5割以上で前回と同程度

「どちらかといえば暮らしやすい」（41.1%）が4割以上で最も高く、次いで「どちらともいえない」（21.9%）が2割以上となっています。

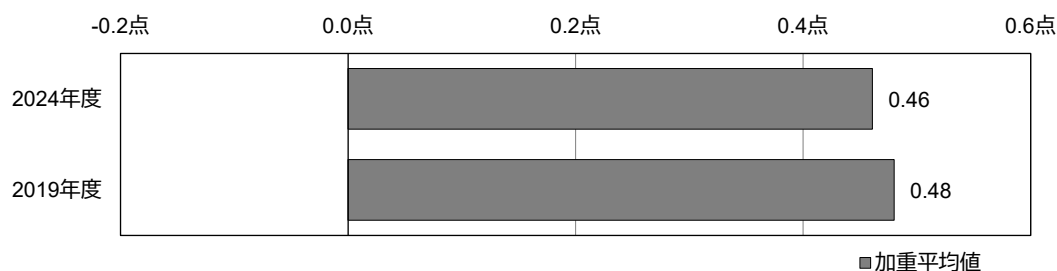
「暮らしやすい」（14.8%）と「どちらかといえば暮らしやすい」の合計値『暮らしやすい』（55.9%）は5割以上、「暮らしにくい」（5.6%）と「どちらかといえば暮らしにくい」（14.4%）の合計値『暮らしにくい』（20.0%）は2割となっています。

前回調査と比較すると、大きな変化は見られません。

暮らしやすさの程度について加重平均値*を見ても、本調査（0.46点）は前回（0.48点）と同程度となっています。



南魚沼市は暮らしやすいと思うか（1つ選択）（経年比較）



南魚沼市は暮らしやすいと思うか（経年比較 加重平均値）

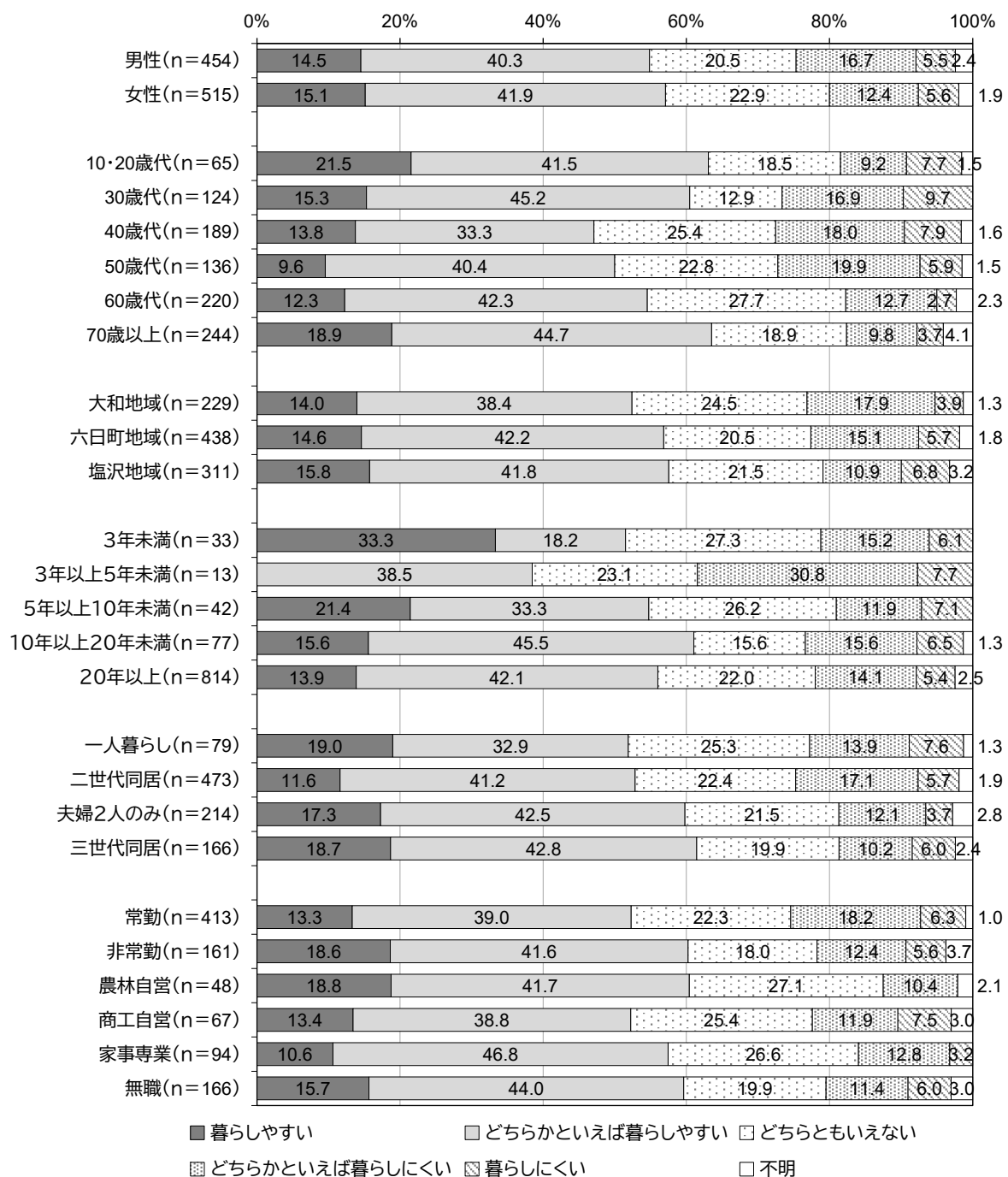
*加重平均値：「暮らしやすい」に+2点、「どちらかといえば暮らしやすい」に+1点、「どちらともいえない」に0点、「どちらかといえば暮らしにくい」に-1点、「暮らしにくい」に-2点の加重値を与え、「不明」を除く回答者数で平均値を算出したもの。基準値を0として、プラスの値の場合は肯定的な評価、マイナスの値の場合は否定的な評価と考えられる

●居住年数3年未満は「暮らしやすい」、それ以外の属性は「どちらかといえば暮らしやすい」が最も高い

●年代別では40・50歳代の評価が比較的低い

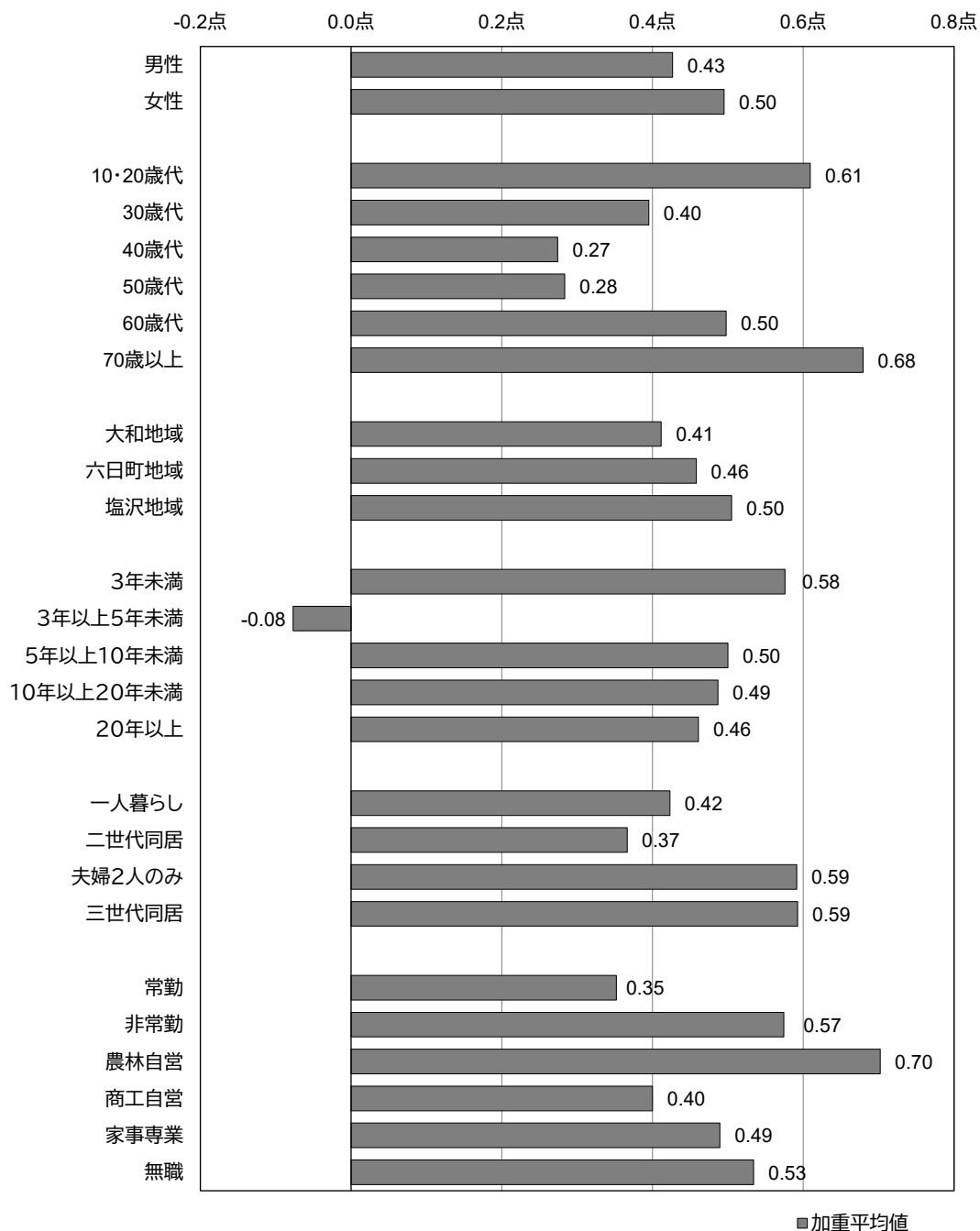
属性別に見ると、居住年数3年未満を除き「どちらかといえば暮らしやすい」が最も高く、3年未満は「暮らしやすい」(33.3%)が最も高くなっています。一方、3年以上5年未満は「暮らしやすい」の回答が見られません。

合計値『暮らしやすい』が特に高い属性は見られませんが、年代別では10・20歳代(63.0%)、30歳代(60.5%)、70歳以上(63.6%)が6割以上で比較的高い一方、40歳代(47.1%)、50歳代(50.0%)は5割以下で比較的低くなっています。



南魚沼市は暮らしやすいと思うか(属性別)

加重平均値を見ると、農林自営（0.70 点）、70 歳以上（0.68 点）が比較的高い一方、居住年数 3 年以上 5 年未満（-0.08 点）はマイナス値となっています。また、40 歳代（0.27 点）、50 歳代（0.28 点）も比較的低くなっています。



南魚沼市は暮らしやすいと思うか（属性別 加重平均値）

13. 暮らしにくさや不安

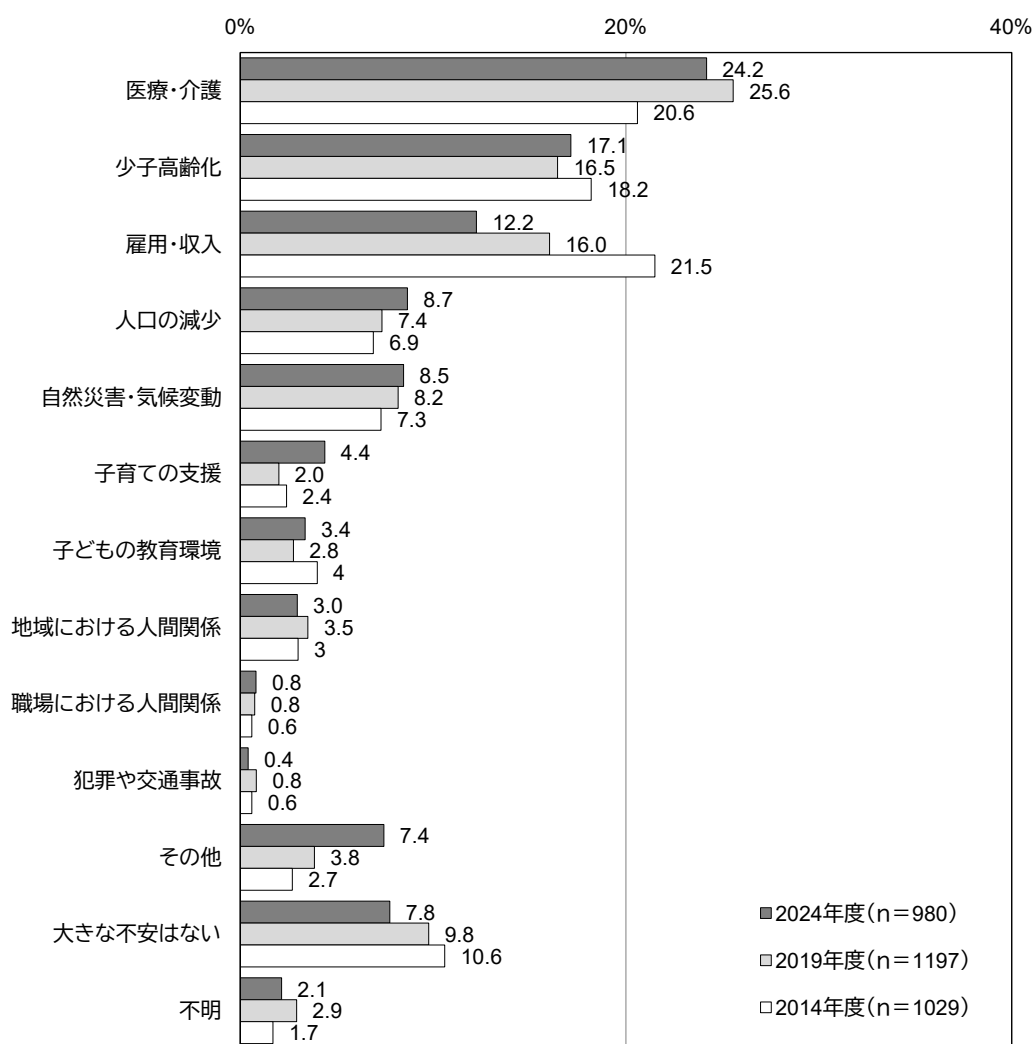
問 13 南魚沼市で暮らす上で、暮らしにくさや不安を感じていることがありますか。（1つ選択）

- 「医療・介護」「少子高齢化」の2項目が約2割で比較的高い
- 「雇用・収入」「大きな不安はない」は低下傾向、「人口の減少」「自然災害・気候変動」は高くなる傾向

「医療・介護」（24.2%）、「少子高齢化」（17.1%）が約2割で比較的高くなっています。一方、「大きな不安はない」（7.8%）は約1割となっています。

その他（7.4%）の記述には、雪の多さ、水道料などの公共料金の高さ、買い物の不便さなどに関する内容が複数見られます。

過去2回の調査と比較すると、大きな変化は見られませんが、「雇用・収入」「大きな不安はない」は低下傾向、「人口の減少」「自然災害・気候変動」は若干高くなる傾向が見られます。

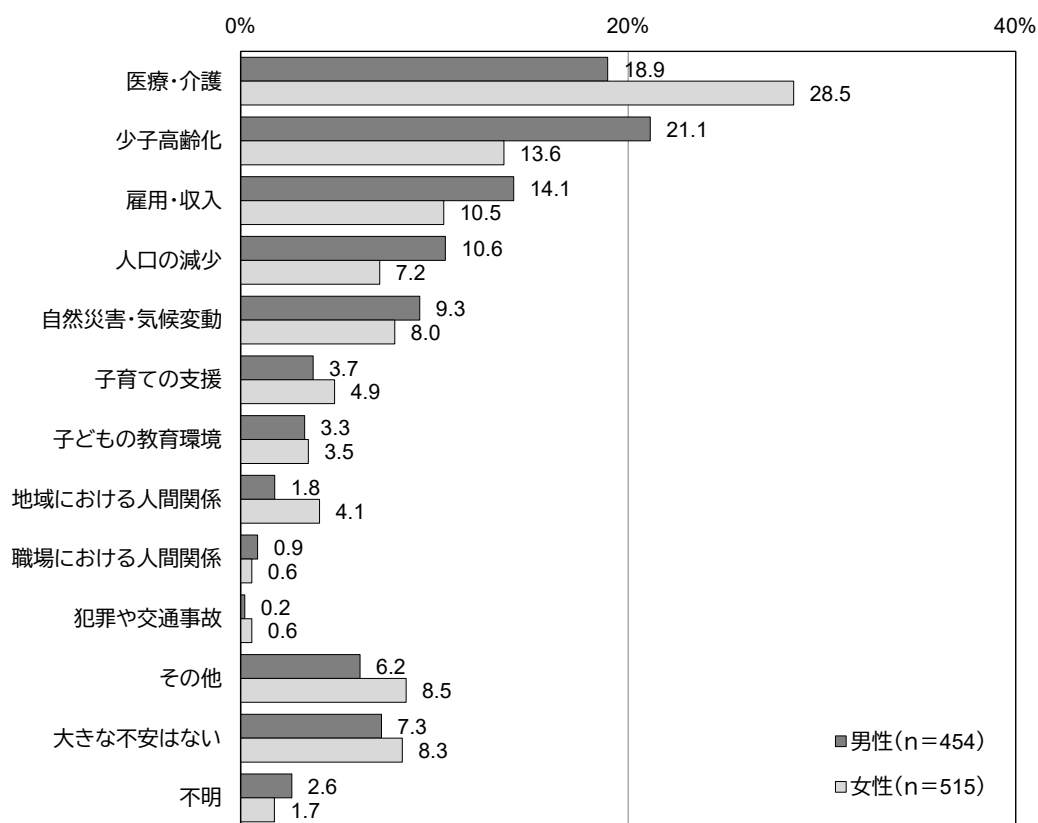


南魚沼市で暮らす上で暮らしにくさや不安を感じていること（1つ選択）（経年比較）

●男性は「少子高齢化」「医療・介護」が同程度に高く、女性は「医療・介護」が最も高い

性別で見ると、男性は「少子高齢化」(21.1%)と「医療・介護」(18.9%)が同程度に高く、女性は「医療・介護」(28.5%)が最も高くなっています。

男女差は「医療・介護」で最も大きく、女性が男性より9.6ポイント高くなっています。



南魚沼市で暮らす上で暮らしにくさや不安を感じていること（性別）

●30 歳代以下は「雇用・収入」、40 歳代以上は「医療・介護」が最も高く、「医療・介護」は高い年代ほど高い

年代別で見ると、10・20 歳代、30 歳代は「雇用・収入」（10・20 歳代 23.1%、30 歳代 16.9%）、40 歳代以上は「医療・介護」が最も高く、「医療・介護」はおおむね高い年代ほど高くなっています。

年代差は「医療・介護」「雇用・収入」で大きく、「医療・介護」は最も高い 60 歳代（29.5%）と最も低い 10・20 歳代（9.2%）で 20.3 ポイントの差、「雇用・収入」は最も高い 10・20 歳代と最も低い 70 歳以上（2.5%）で 20.6 ポイントの差が見られます。

南魚沼市で暮らす上で暮らしにくさや不安を感じていること（年代別）

(%)	10・20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳以上
n	65	124	189	136	220	244
医療・介護	9.2	14.5	20.6	27.9	29.5	29.1
少子高齢化	9.2	12.9	11.6	17.6	19.1	23.8
雇用・収入	23.1	16.9	19.6	14.7	9.1	2.5
人口の減少	4.6	4.0	6.3	5.9	10.0	14.3
自然災害・気候変動	13.8	8.1	7.9	8.1	9.5	7.0
子育ての支援	9.2	16.1	5.8	1.5	0.9	0.4
子どもの教育環境	1.5	4.8	6.9	2.2	2.7	1.6
地域における人間関係	0.0	2.4	2.1	6.6	4.1	1.6
職場における人間関係	3.1	2.4	1.1	0.7	0.0	0.0
犯罪や交通事故	0.0	0.8	0.0	0.7	0.0	0.8
その他	15.4	9.7	11.6	8.1	4.5	3.3
大きな不安はない	9.2	7.3	5.3	5.1	7.7	11.1
不明	1.5	0.0	1.1	0.7	2.7	4.5
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

※全体値が高い順に表示。濃色網掛け表示は最も高い値、淡色網掛け表示は次いで高い値

●すべての居住地域で「医療・介護」が最も高く、地域による大きな差は見られない

居住地域別で見ると、すべての地区で「医療・介護」が最も高く、次いで「少子高齢化」が高くなっており、地域による大きな差は見られません。

南魚沼市で暮らす上で暮らしにくさや不安を感じていること（居住地域別）

(%)	大和地域	六日町地域	塩沢地域
n	229	438	311
医療・介護	24.0	23.7	24.8
少子高齢化	20.1	15.3	17.7
雇用・収入	8.7	13.9	12.5
人口の減少	8.7	8.7	8.7
自然災害・気候変動	9.6	8.2	8.0
子育ての支援	3.9	5.3	3.2
子どもの教育環境	2.6	3.7	3.5
地域における人間関係	3.1	3.2	2.6
職場における人間関係	0.9	0.0	1.9
犯罪や交通事故	0.4	0.7	0.0
その他	7.0	7.5	7.7
大きな不安はない	9.2	8.0	6.4
不明	1.7	1.8	2.9
計	100.0	100.0	100.0

※全体値が高い順に表示。濃色網掛け表示は最も高い値、淡色網掛け表示は次いで高い値

●農林自営は「少子高齢化」、他の職業はいずれも「医療・介護」が最も高い

職業別で見ると、農林自営は「少子高齢化」（31.3%）、他の職業はいずれも「医療・介護」が最も高くなっています（商工自営は「医療・介護」「少子高齢化」が16.4%で同値）。

また、常勤は「雇用・収入」（17.9%）が比較的高くなっています。

職業差は「医療・介護」で最も大きく、最も高い家事専業（39.4%）と最も低い商工自営（16.4%）では23.0ポイントの差が見られます。

南魚沼市で暮らす上で暮らしにくさや不安を感じていること（職業別）

(%)	常勤	非常勤	農林自営	商工自営	家事専業	無職
n	413	161	48	67	94	166
医療・介護	19.1	29.2	20.8	16.4	39.4	28.9
少子高齢化	16.2	16.8	31.3	16.4	19.1	16.9
雇用・収入	17.9	14.9	4.2	9.0	4.3	4.2
人口の減少	6.3	5.0	14.6	14.9	8.5	15.7
自然災害・気候変動	9.7	8.1	8.3	4.5	5.3	9.6
子育ての支援	5.6	2.5	4.2	13.4	3.2	0.0
子どもの教育環境	4.6	3.1	2.1	3.0	1.1	2.4
地域における人間関係	3.1	2.5	0.0	4.5	4.3	3.0
職場における人間関係	1.5	0.0	0.0	1.5	0.0	0.6
犯罪や交通事故	0.5	0.0	0.0	1.5	1.1	0.0
その他	9.0	9.9	0.0	3.0	2.1	5.4
大きな不安はない	5.8	5.6	12.5	9.0	10.6	9.6
不明	0.7	2.5	2.1	3.0	1.1	3.6
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

※全体値が高い順に表示。濃色網掛け表示は最も高い値、淡色網掛け表示は次いで高い値

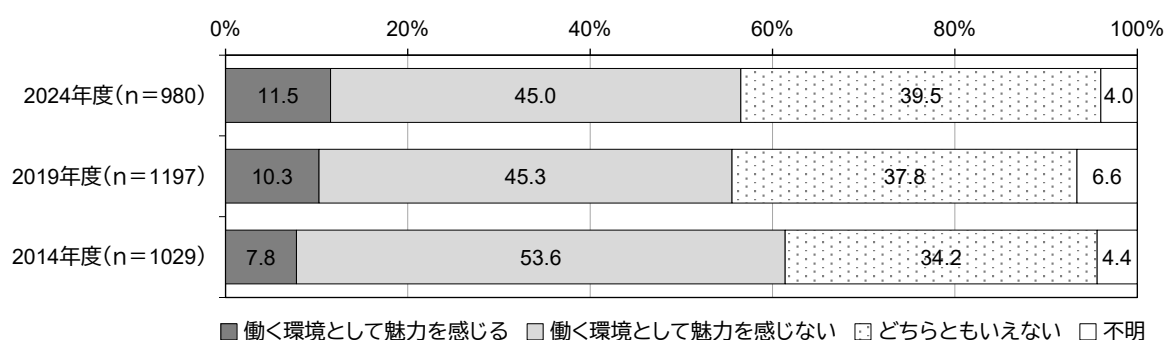
14. 働く環境としての魅力・理由

問 14 働く環境として、南魚沼市に魅力を感じますか。（1つ選択）

- 「魅力を感じない」が4割以上、次いで「どちらともいえない」が約4割
- 「魅力を感じる」は約1割で低いが、高くなる傾向

「働く環境として魅力を感じない」（45.0％）が4割以上で最も高く、次いで「どちらともいえない」（39.5％）が約4割となっています。

過去2回の調査と比較すると、大きな変化は見られませんが、「働く環境として魅力を感じる」（11.5％）は高くなる傾向が見られます。



働く環境として南魚沼市に魅力を感じるか（1つ選択）（経年比較）

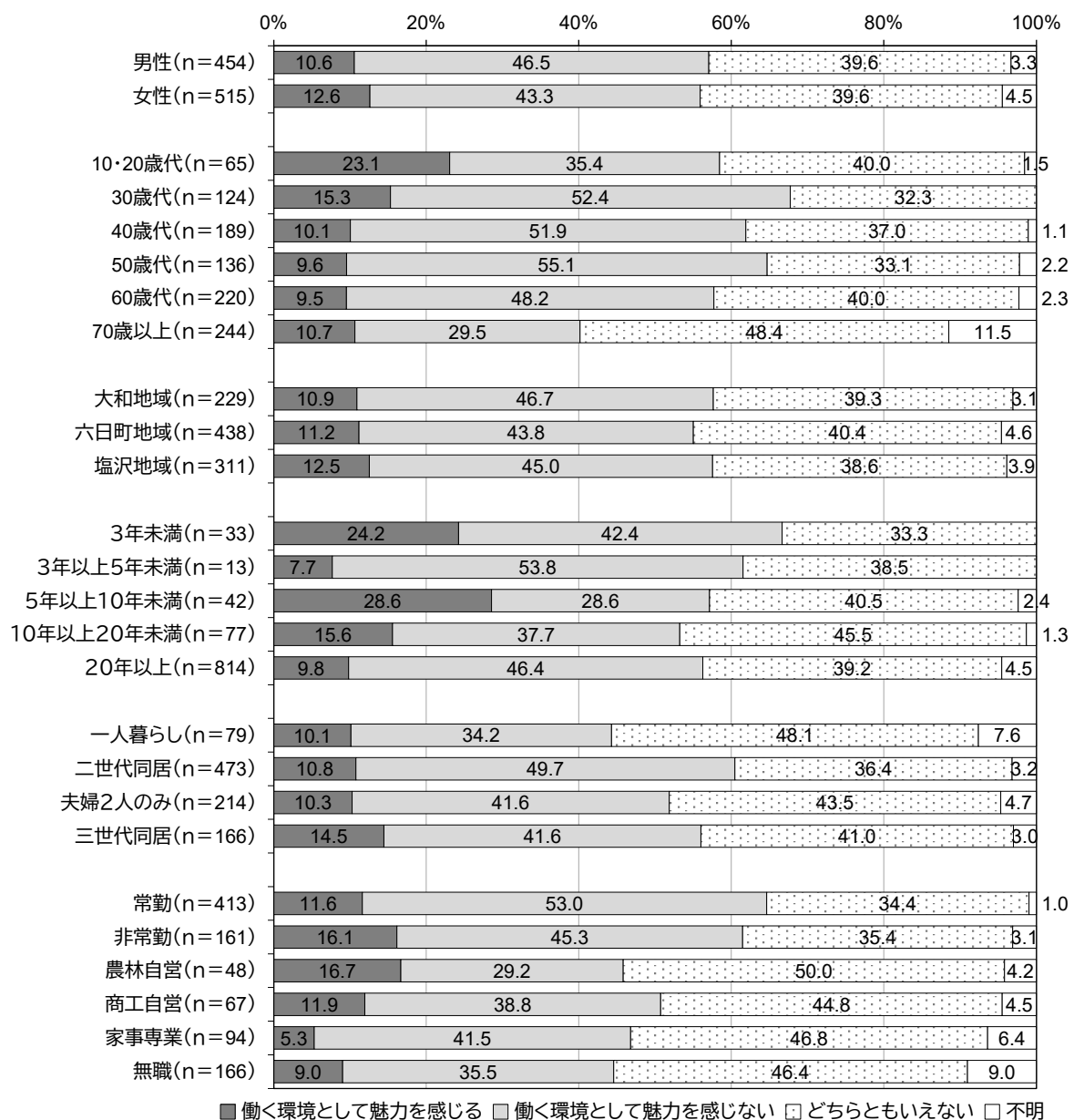
●多くの属性で「魅力を感じない」が最も高い

●10・20歳代、70歳以上、居住年数5～20年未満、一人暮らし、夫婦2人のみ、常勤・非常勤を除く職業は「どちらともいえない」が最も高い

●10・20歳代、居住年数3年未満・5年以上10年未満は「魅力を感じる」が2割以上で比較的高い

属性別に見ると、多くの属性は、全体傾向と同様に「働く環境として魅力を感じない」が最も高くなっていますが、10・20歳代、70歳以上、居住年数5年以上10年未満、10年以上20年未満、一人暮らし、夫婦2人のみは「どちらともいえない」が最も高くなっています。また、職業別では、常勤、非常勤を除き「どちらともいえない」が最も高くなっています。

一方、「働く環境として魅力を感じる」を見ると、10・20歳代(23.1%)、3年未満(24.2%)、5年以上10年未満(28.6%)が2割以上で比較的高くなっています。



働く環境として南魚沼市に魅力を感じるか（属性別）

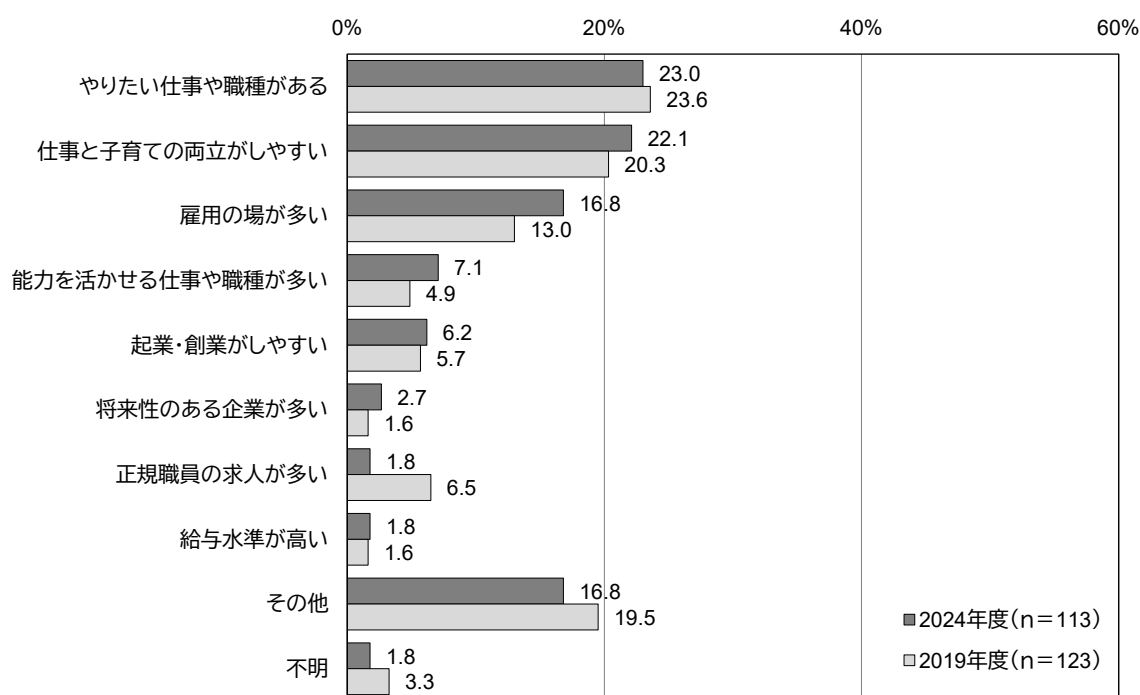
問 14- 1 「働く環境として魅力を感じる」理由（1つ選択）

●「やりたい仕事や職種がある」「仕事と子育ての両立がしやすい」「雇用の場が多い」の3項目がそれぞれ約2割で比較的高く、前回と同様の傾向

先の問 14 で「働く環境として魅力を感じる」と回答した 113 人にその理由を聞いたところ、「やりたい仕事や職種がある」（23.0%）、「仕事と子育ての両立がしやすい」（22.1%）の2項目が2割以上で同程度に高く、次いで「雇用の場が多い」（16.8%）が約2割となっています。

その他（16.8%）の記述には、自然の豊かさ、通勤のしやすさに関する内容などが複数見られます。

前回調査と比較すると、大きな変化は見られませんが、「正規職員の求人が多い」（1.8%）は前回（6.5%）より若干低くなっています。



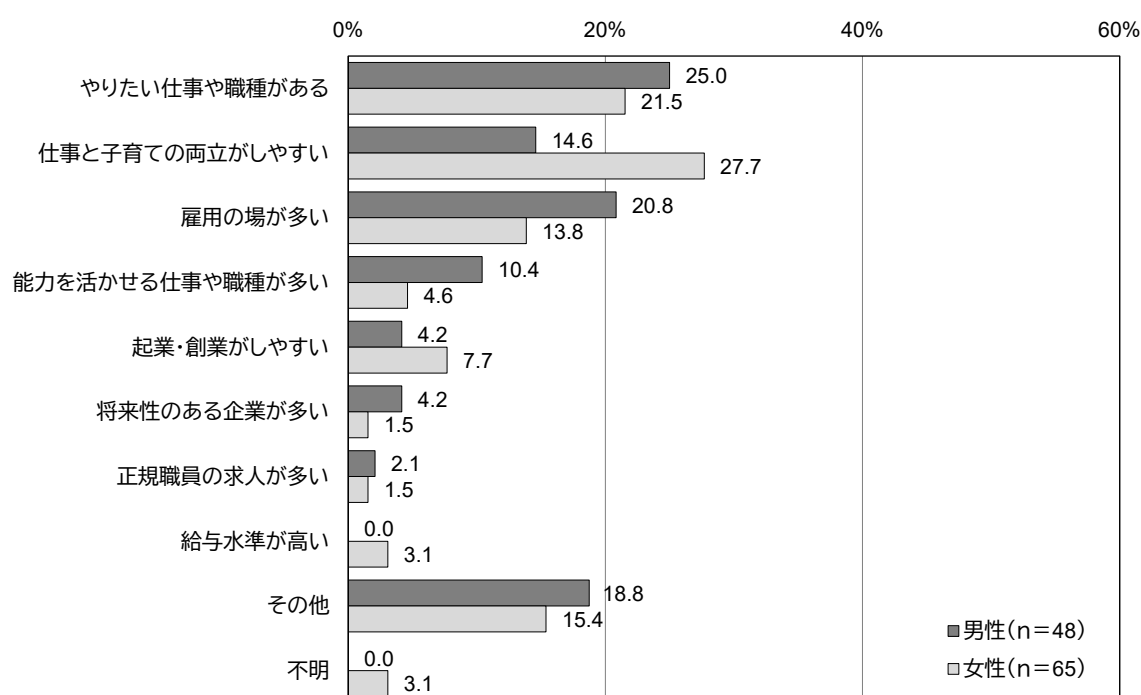
働く環境として南魚沼市に魅力を感じる理由（1つ選択）（経年比較）

●男性は「やりたい仕事や職種がある」、女性は「仕事と子育ての両立がしやすい」が最も高い

●男女差は「仕事と子育ての両立がしやすい」で最も大きく、女性が高い

性別で見ると、男性は「やりたい仕事や職種がある」(25.0%)、女性は「仕事と子育ての両立がしやすい」(27.7%)が最も高く、次いで男性は「雇用の場が多い」(20.8%)、女性は「やりたい仕事や職種がある」(21.5%)が高くなっています。

男女差は「仕事と子育ての両立がしやすい」で最も大きく、女性が男性より13.1ポイント高くなっています。



働く環境として南魚沼市に魅力を感じる理由（性別）

年代別、居住地域別、職業別については、各属性のサンプル数が少ないため、参考値として表示します。

【参考】働く環境として南魚沼市に魅力を感じる理由（年代別）

(%)	10・20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
n	15	19	19	13	21	26
やりたい仕事や職種がある	40.0	26.3	21.1	15.4	19.0	19.2
仕事と子育ての両立がしやすい	20.0	42.1	36.8	15.4	4.8	15.4
雇用の場が多い	6.7	0.0	0.0	15.4	33.3	34.6
能力を活かせる仕事や職種が多い	6.7	5.3	5.3	15.4	9.5	3.8
起業・創業がしやすい	6.7	0.0	5.3	0.0	4.8	15.4
将来性のある企業が多い	0.0	5.3	0.0	7.7	4.8	0.0
正規職員の求人が多い	0.0	0.0	0.0	15.4	0.0	0.0
給与水準が高い	6.7	0.0	5.3	0.0	0.0	0.0
その他	6.7	15.8	26.3	15.4	23.8	11.5
不明	6.7	5.3	0.0	0.0	0.0	0.0
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

※全体値が高い順に表示。網掛け表示は最も高い値

【参考】働く環境として南魚沼市に魅力を感じる理由（居住地域別）

(%)	大和地域	六日町地域	塩沢地域
n	25	49	39
やりたい仕事や職種がある	16.0	26.5	23.1
仕事と子育ての両立がしやすい	20.0	22.4	23.1
雇用の場が多い	12.0	20.4	15.4
能力を活かせる仕事や職種が多い	12.0	6.1	5.1
起業・創業がしやすい	8.0	6.1	5.1
将来性のある企業が多い	8.0	2.0	0.0
正規職員の求人が多い	4.0	0.0	2.6
給与水準が高い	4.0	0.0	2.6
その他	12.0	14.3	23.1
不明	4.0	2.0	0.0
計	100.0	100.0	100.0

※全体値が高い順に表示。網掛け表示は最も高い値

【参考】働く環境として南魚沼市に魅力を感じる理由（職業別）

(%)	常勤	非常勤	農林自営	商工自営	家事専業	無職
n	48	26	8	8	5	15
やりたい仕事や職種がある	29.2	26.9	12.5	25.0	0.0	6.7
仕事と子育ての両立がしやすい	27.1	19.2	12.5	12.5	20.0	20.0
雇用の場が多い	4.2	26.9	25.0	0.0	40.0	40.0
能力を活かせる仕事や職種が多い	12.5	0.0	0.0	12.5	0.0	6.7
起業・創業がしやすい	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	13.3
将来性のある企業が多い	0.0	3.8	0.0	0.0	20.0	6.7
正規職員の求人が多い	4.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
給与水準が高い	2.1	3.8	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	18.8	19.2	37.5	0.0	20.0	6.7
不明	2.1	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

※全体値が高い順に表示。網掛け表示は最も高い値

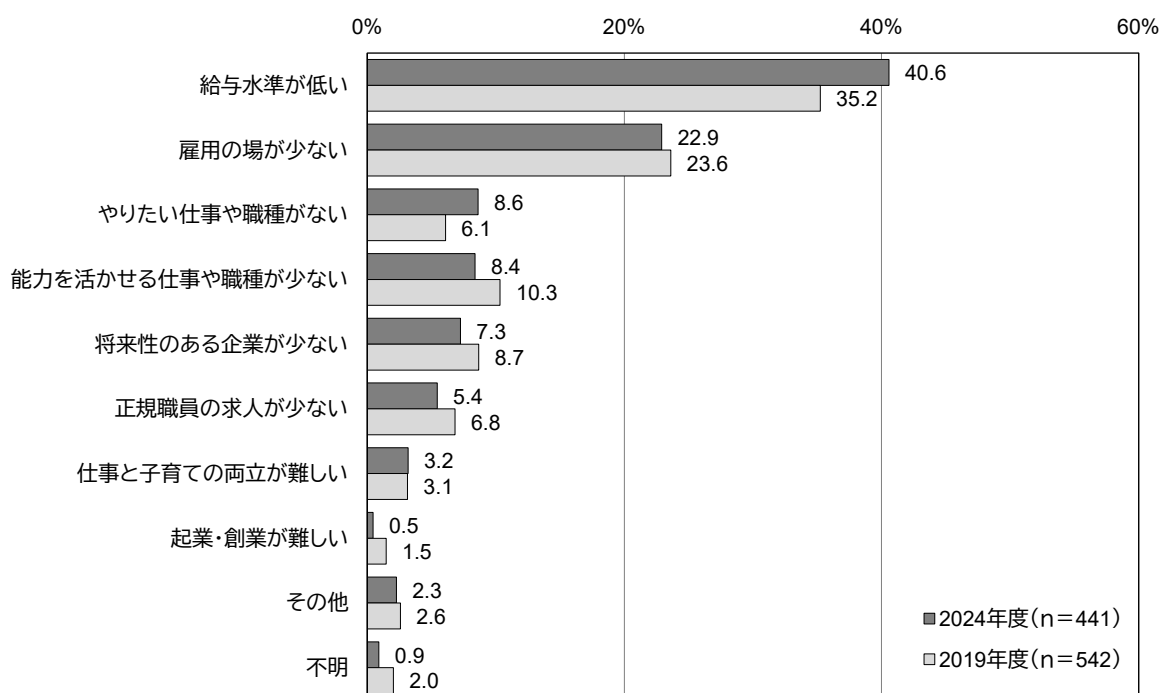
問 14-2 「働く環境として魅力を感じない」理由（1つ選択）

●「給与水準が低い」が4割以上、次いで「雇用の場が少ない」が2割以上で前回と同様の傾向

先の問 14 で「働く環境として魅力を感じない」と回答した 441 人にその理由を聞いたところ、「給与水準が低い」（40.6％）が4割以上で最も高く、次いで「雇用の場が少ない」（22.9％）が2割以上となっています。

その他（2.3％）の記述には、企業の規模に関する内容などが複数見られます。

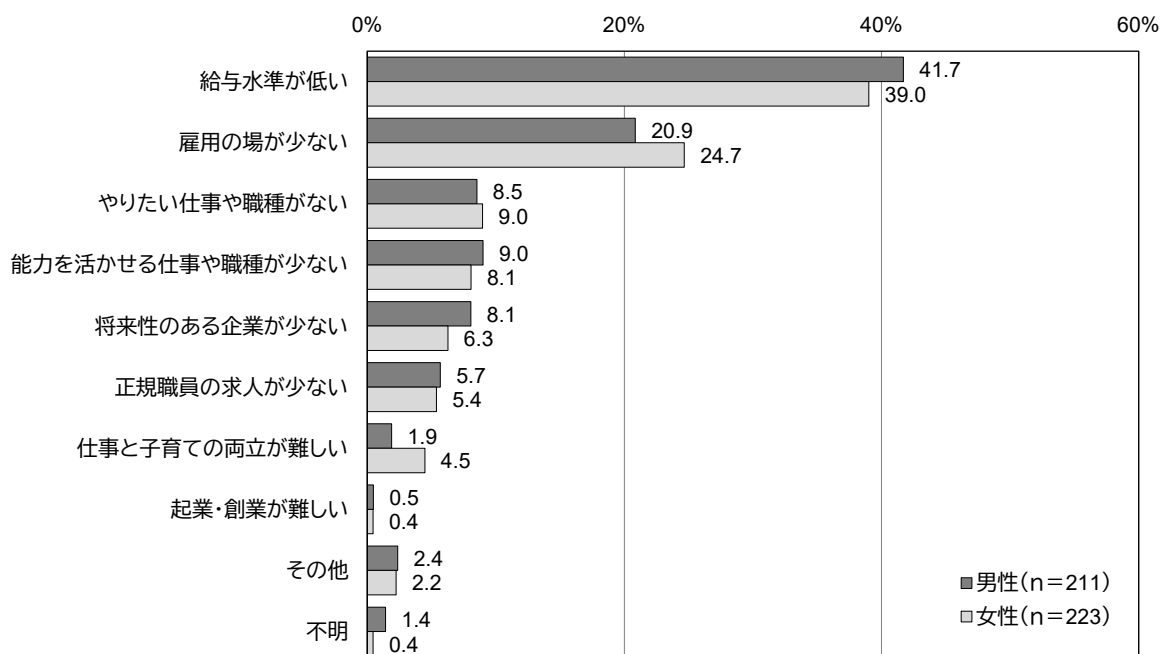
前回調査と比較すると、大きな変化は見られませんが、「給与水準が低い」は前回（35.2％）より若干高くなっています。



働く環境として南魚沼市に魅力を感じない理由（1つ選択）（経年比較）

●男女とも「給与水準が低い」が最も高く、性別による大きな差は見られない

男女とも「給与水準が低い」（男性 41.7%、女性 39.0%）が最も高く、性別による大きな差は見られません。



働く環境として南魚沼市に魅力を感じない理由（性別）

●すべての年代で「給与水準が低い」が最も高い

●10・20 歳代は「やりたい仕事や職種がない」が比較的高く、年代差が最も大きい

年代別で見ると、すべての年代で「給与水準が低い」が最も高く、次いで 10・20 歳代を除き「雇用の場が少ない」、10・20 歳代は「やりたい仕事や職種がない」（21.7%）が高くなっています。

年代差は「やりたい仕事や職種がない」で最も大きく、最も高い 10・20 歳代と最も低い 70 歳以上（4.2%）では 17.5 ポイントの差が見られます。

働く環境として南魚沼市に魅力を感じない理由（年代別）

(%)	10・20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳以上
n	23	65	98	75	106	72
給与水準が低い	43.5	43.1	43.9	42.7	38.7	33.3
雇用の場が少ない	13.0	24.6	14.3	21.3	28.3	29.2
やりたい仕事や職種がない	21.7	9.2	9.2	8.0	8.5	4.2
能力を活かせる仕事や職種が少ない	4.3	7.7	8.2	9.3	9.4	8.3
将来性のある企業が少ない	8.7	4.6	5.1	8.0	8.5	9.7
正規職員の求人が少ない	4.3	3.1	4.1	5.3	4.7	11.1
仕事と子育ての両立が難しい	0.0	6.2	8.2	0.0	0.0	2.8
起業・創業が難しい	0.0	0.0	1.0	1.3	0.0	0.0
その他	0.0	1.5	4.1	4.0	1.9	0.0
不明	4.3	0.0	2.0	0.0	0.0	1.4
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

※全体値が高い順に表示。濃色網掛け表示は最も高い値、淡色網掛け表示は次いで高い値

●すべての居住地域で「給与水準が低い」が最も高く、地域による大きな差は見られない

居住地域別で見ると、すべての地域で「給与水準が低い」が最も高く、次いで「雇用の場が少ない」が高くなっており、地域による大きな差は見られません。

働く環境として南魚沼市に魅力を感じない理由（居住地域別）

(%)	大和地域	六日町地域	塩沢地域
n	107	192	140
給与水準が低い	42.1	40.1	40.0
雇用の場が少ない	20.6	25.0	22.1
やりたい仕事や職種がない	15.0	7.3	5.7
能力を活かせる仕事や職種が少ない	4.7	6.8	12.9
将来性のある企業が少ない	8.4	6.3	7.9
正規職員の求人が少ない	2.8	6.3	6.4
仕事と子育ての両立が難しい	4.7	3.6	1.4
起業・創業が難しい	0.0	1.0	0.0
その他	1.9	2.1	2.9
不明	0.0	1.6	0.7
計	100.0	100.0	100.0

※全体値が高い順に表示。濃色網掛け表示は最も高い値、淡色網掛け表示は次いで高い値

●常勤、非常勤は「給与水準が低い」、他の職業は「雇用の場が少ない」が最も高く、職業差は「給与水準が低い」で最も大きい

職業別で見ると、常勤、非常勤は「給与水準が低い」（常勤 50.7%、非常勤 42.5%）、他の職業はいずれも「雇用の場が少ない」が最も高くなっています。

職業差は「給与水準が低い」で最も大きく、最も高い常勤と最も低い商工自営（11.5%）では 39.2 ポイントの差が見られます。

働く環境として南魚沼市に魅力を感じない理由（職業別）

(%)	常勤	非常勤	農林自営	商工自営	家事専業	無職
n	219	73	14	26	39	59
給与水準が低い	50.7	42.5	28.6	11.5	28.2	27.1
雇用の場が少ない	17.8	27.4	35.7	23.1	33.3	28.8
やりたい仕事や職種がない	6.8	5.5	7.1	7.7	7.7	16.9
能力を活かせる仕事や職種が少ない	8.2	4.1	7.1	19.2	5.1	8.5
将来性のある企業が少ない	5.9	6.8	7.1	15.4	5.1	10.2
正規職員の求人が少ない	3.7	8.2	7.1	3.8	10.3	6.8
仕事と子育ての両立が難しい	2.7	4.1	7.1	3.8	7.7	0.0
起業・創業が難しい	0.0	0.0	0.0	7.7	0.0	0.0
その他	3.2	1.4	0.0	3.8	2.6	0.0
不明	0.9	0.0	0.0	3.8	0.0	1.7
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

※全体値が高い順に表示。濃色網掛け表示は最も高い値、淡色網掛け表示は次いで高い値

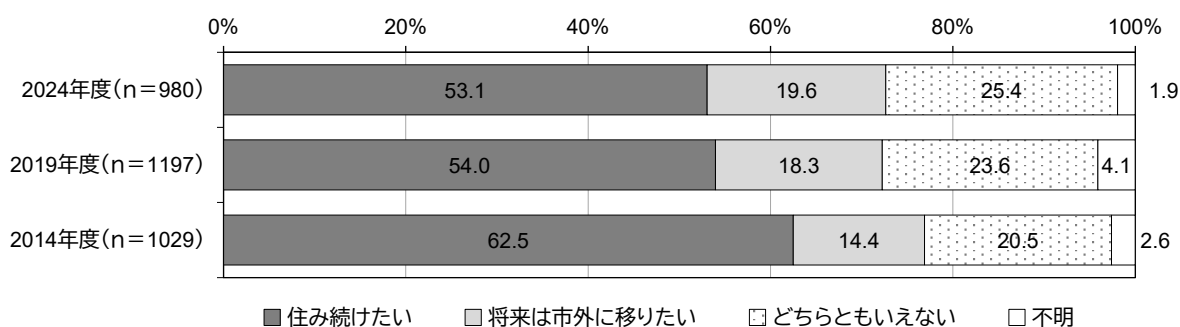
15. 将来も住み続けたいか・理由

問 15 南魚沼市に将来も住み続けたいと思いますか。（1つ選択）

●「住み続けたい」が5割以上、「将来は市外に移りたい」が約2割で前回と同様の傾向

「住み続けたい」（53.1%）が5割以上で最も高く、次いで「どちらともいえない」（25.4%）が2割以上、「将来は市外に移りたい」（19.6%）が約2割となっています。

過去2回の調査と比較すると、前々回とは表現の異なる項目があることを考慮する必要がありますが、前回とは大きな変化は見られません。



南魚沼市に将来も住み続けたいと思うか（1つ選択）（経年比較）

※「将来は市外に移りたい」は2014年調査では「南魚沼市外に移りたい」として設定

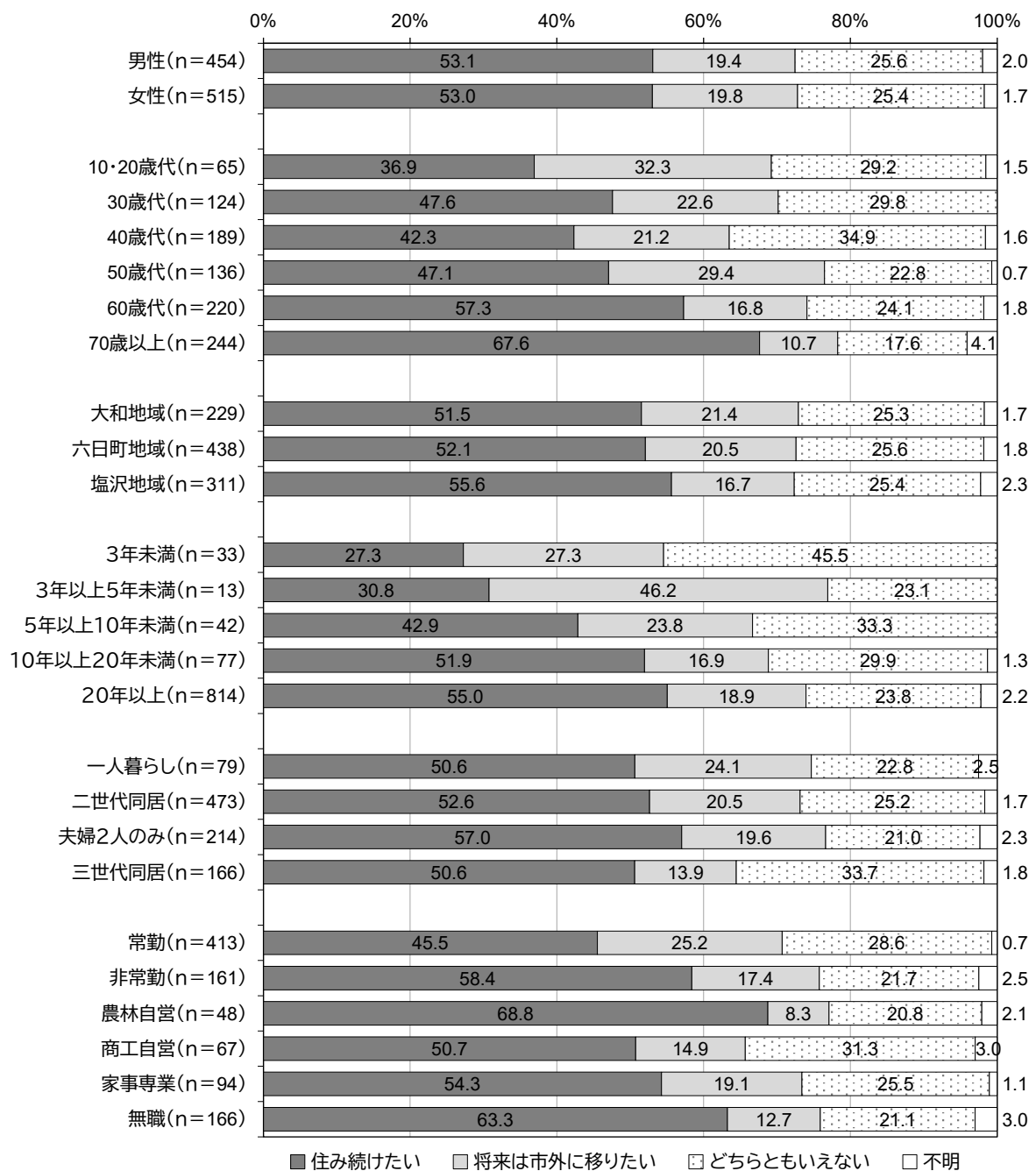
●多くの属性で「住み続けたい」が最も高い

●居住年数3年未満は「どちらともいえない」、3年以上5年未満は「将来は市外に移りたい」が最も高い

●「住み続けたい」は高い年代や長い居住年数ほど高い

属性別に見ると、多くの属性は、全体傾向と同様に「住み続けたい」が最も高くなっていますが、居住年数3年未満は「どちらともいえない」(45.5%)、3年以上5年未満は「将来は市外に移りたい」(46.2%)が最も高くなっています。

また、「住み続けたい」は、おおむね年代が高いほど、また、居住年数が長いほど、高くなる傾向が見られます。



南魚沼市に将来も住み続けたいと思うか（属性別）

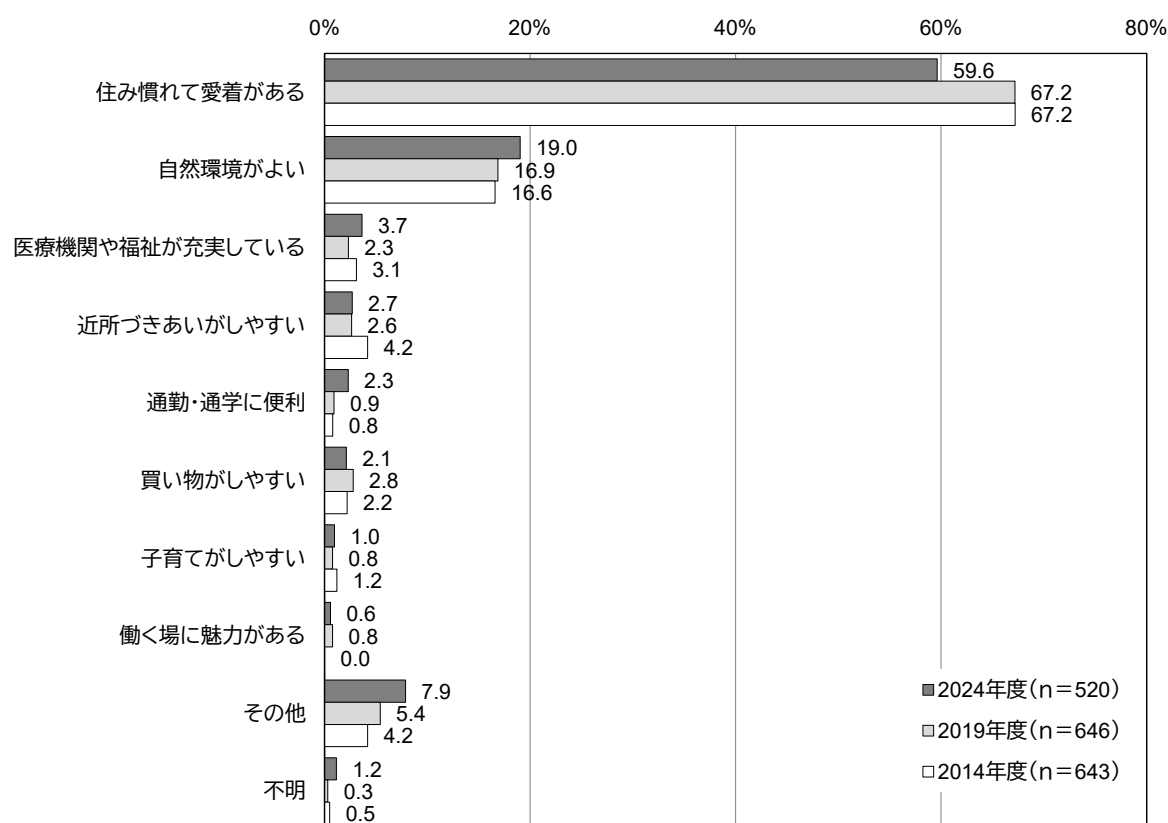
問 15-1 「住み続けたい」理由（1つ選択）

●「住み慣れて愛着がある」が約6割、次いで「自然環境がよい」が約2割で過去2回と同様の傾向

先の問 15 で「住み続けたい」と回答した 520 人にその理由を聞いたところ、「住み慣れて愛着がある」（59.6％）が約6割で特に高く、次いで「自然環境がよい」（19.0％）が約2割となっています。

その他（7.9％）の記述には、「持家・自宅がある」「他に行くところがない」などの内容が複数見られます。

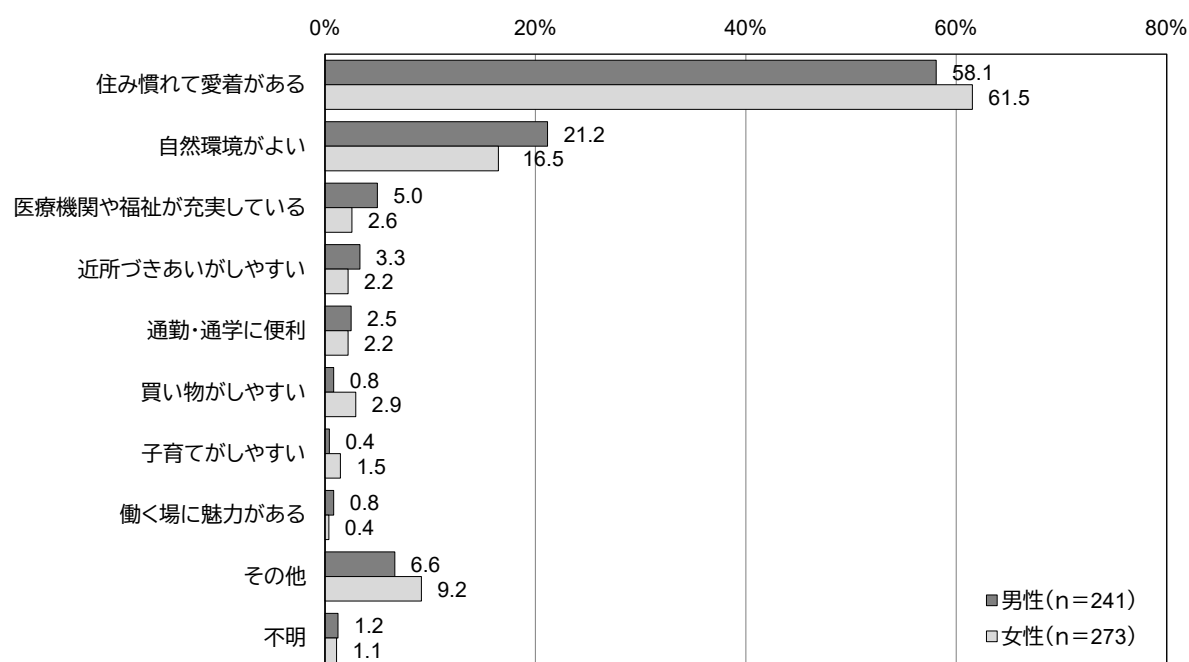
過去2回の調査と比較すると、大きな変化は見られませんが、「住み慣れて愛着がある」は前回や前々回（67.2％で同値）より若干低くなっています。



「住み続けたい」理由（1つ選択）（経年比較）

●男女とも「住み慣れて愛着がある」が最も高く、性別による大きな差は見られない

男女とも「住み慣れて愛着がある」（男性 58.1%、女性 61.5%）が最も高く、性別による大きな差は見られません。



「住み続けたい」理由（性別）

●すべての年代で「住み慣れて愛着がある」が最も高い

●年代差は「自然環境がよい」で大きく、若い年代ほど高い

年代別で見ると、すべての年代で「住み慣れて愛着がある」が最も高く、次いで「自然環境がよい」が高くなっています。

年代差は、「自然環境がよい」で最も大きく、おおむね若い年代ほど高く、最も高い10・20歳代（33.3%）と最も低い60歳代（11.9%）では21.4ポイントの差が見られます。

「住み続けたい」理由（年代別）

(%)	10・20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
n	24	59	80	64	126	165
住み慣れて愛着がある	45.8	50.8	50.0	65.6	65.1	62.4
自然環境がよい	33.3	28.8	22.5	18.8	11.9	17.6
医療機関や福祉が充実している	0.0	3.4	0.0	1.6	6.3	4.8
近所づきあいがしやすい	4.2	0.0	1.3	3.1	4.0	3.0
通勤・通学に便利	0.0	3.4	6.3	3.1	1.6	0.6
買い物がしやすい	0.0	0.0	2.5	1.6	2.4	3.0
子育てがしやすい	4.2	5.1	1.3	0.0	0.0	0.0
働く場に魅力がある	4.2	0.0	1.3	0.0	0.0	0.6
その他	4.2	6.8	15.0	6.3	7.1	6.7
不明	4.2	1.7	0.0	0.0	1.6	1.2
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

※全体値が高い順に表示。濃色網掛け表示は最も高い値、淡色網掛け表示は次いで高い値

●すべての居住地域で「住み慣れて愛着がある」が最も高く、地域による大きな差は見られない

居住地域別で見ると、すべての地域で「住み慣れて愛着がある」が最も高く、地域による大きな差は見られません。

「住み続けたい」理由（居住地域別）			
(%)	大和地域	六日町地域	塩沢地域
n	118	228	173
住み慣れて愛着がある	57.6	59.6	60.7
自然環境がよい	17.8	20.2	18.5
医療機関や福祉が充実している	6.8	3.1	2.3
近所づきあいがしやすい	4.2	2.6	1.7
通勤・通学に便利	2.5	2.6	1.7
買い物しやすい	0.8	2.6	2.3
子育てしやすい	0.8	0.9	1.2
働く場に魅力がある	0.8	0.4	0.6
その他	6.8	7.5	9.2
不明	1.7	0.4	1.7
計	100.0	100.0	100.0

※全体値が高い順に表示。濃色網掛け表示は最も高い値、淡色網掛け表示は次いで高い値

●いずれの職業も「住み慣れて愛着がある」が最も高く、次いで「自然環境がよい」が高い

●職業差は「住み慣れて愛着がある」で大きく、農林自営が高い

職業別で見ると、いずれの職業も「住み慣れて愛着がある」が最も高く、次いで「自然環境がよい」が高くなっています。

職業差は「住み慣れて愛着がある」で最も大きく、最も高い農林自営（72.7%）と最も低い非常勤（54.3%）では18.4ポイントの差が見られます。

「住み続けたい」理由（職業別）						
(%)	常勤	非常勤	農林自営	商工自営	家事専業	無職
n	188	94	33	34	51	105
住み慣れて愛着がある	54.8	54.3	72.7	67.6	64.7	64.8
自然環境がよい	24.5	16.0	12.1	20.6	15.7	12.4
医療機関や福祉が充実している	2.1	3.2	3.0	0.0	5.9	7.6
近所づきあいがしやすい	2.7	2.1	3.0	2.9	3.9	1.9
通勤・通学に便利	4.8	3.2	0.0	0.0	0.0	0.0
買い物しやすい	1.1	4.3	0.0	0.0	3.9	2.9
子育てしやすい	1.1	2.1	3.0	0.0	0.0	0.0
働く場に魅力がある	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	1.9
その他	8.5	11.7	3.0	8.8	5.9	6.7
不明	0.0	3.2	3.0	0.0	0.0	1.9
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

※全体値が高い順に表示。濃色網掛け表示は最も高い値、淡色網掛け表示は次いで高い値

問 15-2 「将来は市外に移りたい」理由（1つ選択）

●「自然環境が厳しい」が3割以上、次いで「医療機関や福祉が不足している」が約2割

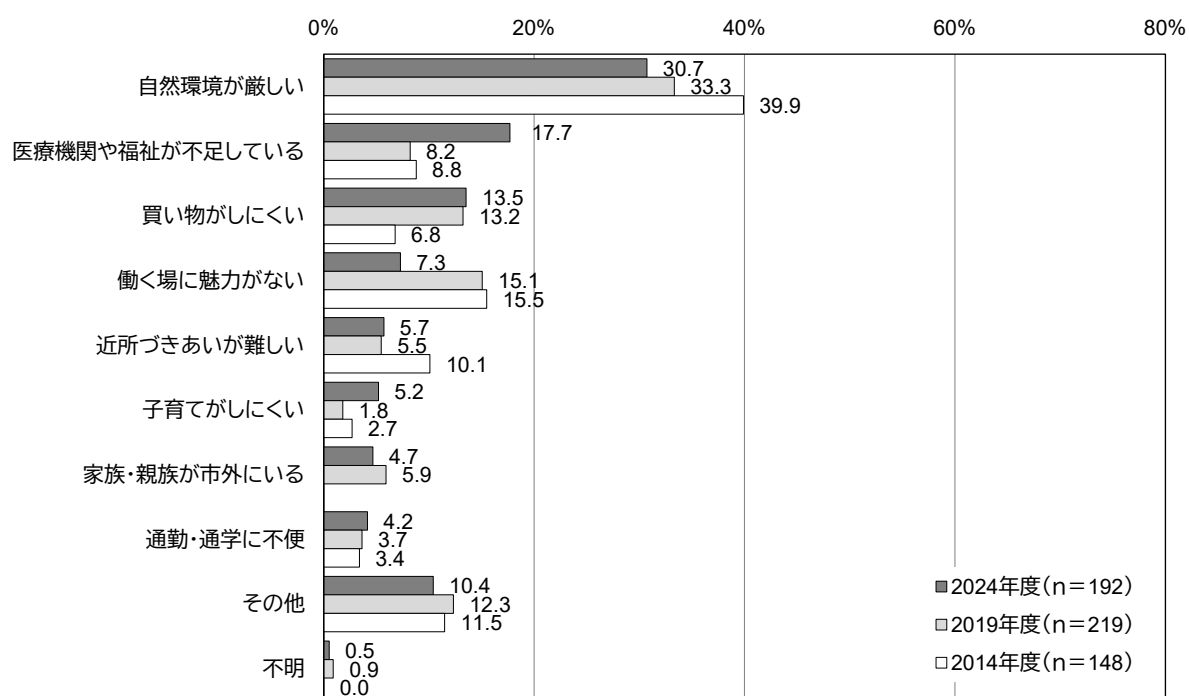
●過去2回と比較して「自然環境が厳しい」「働く場に魅力がない」が低い一方、「医療機関や福祉が不足している」が高い

先の問 15 で「将来は市外に移りたい」と回答した 192 人にその理由を聞いたところ、「自然環境が厳しい」(30.7%) が3割以上で最も高く、次いで「医療機関や福祉が不足している」(17.7%) が約2割となっています。

その他(10.4%)の記述には、雪(除雪)に関する内容が最も多く、交通手段、水道などの公共料金の高さ、給与(水準)の低さなどの内容も複数見られます。

過去2回の調査と比較すると、前回まで「自然環境が厳しい」に次いで高い「働く場に魅力がない」(今回7.3%、前回15.1%、前々回15.5%)が低くなっている一方、過去2回の調査ではいずれも1割未満であった「医療機関や福祉が不足している」(前回8.2%、前々回8.8%)が高くなっています。

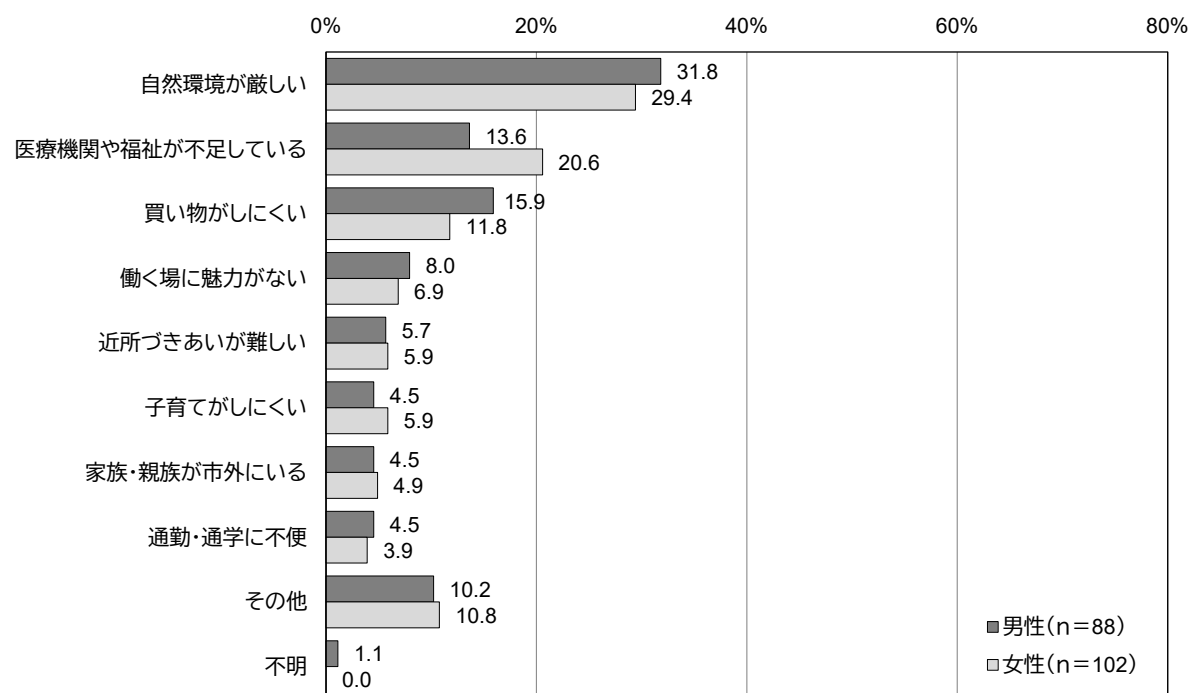
また、過去2回の調査とも最も高い「自然環境が厳しい」は低くなる傾向が見られます。



「将来は市外に移りたい」理由（1つ選択）（経年比較）

●男女とも「自然環境が厳しい」が最も高く、性別による大きな差は見られない

男女とも「自然環境が厳しい」（男性 31.8%、女性 29.4%）が最も高く、性別による大きな差は見られません。その中で「医療機関や福祉が不足している」は男女差が比較的大きく、女性（20.6%）が男性（13.6%）より 7.0 ポイント高くなっています。



「将来は市外に移りたい」理由（性別）

年代別、居住地域別、職業別については、サンプル数が少ない属性を含むため、参考値として表示します。

【参考】「将来は市外に移りたい」理由（年代別）

(%)	10・20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳以上
n	21	28	40	40	37	26
自然環境が厳しい	14.3	25.0	25.0	42.5	32.4	38.5
医療機関や福祉が不足している	0.0	17.9	30.0	17.5	16.2	15.4
買い物がしにくい	28.6	10.7	7.5	15.0	8.1	19.2
働く場に魅力がない	19.0	7.1	7.5	10.0	2.7	0.0
近所づきあいが難しい	0.0	3.6	5.0	5.0	10.8	7.7
子育てがしにくい	9.5	25.0	2.5	0.0	0.0	0.0
家族・親族が市外にいる	4.8	0.0	7.5	0.0	10.8	3.8
通勤・通学に不便	4.8	3.6	5.0	0.0	5.4	7.7
その他	14.3	7.1	10.0	10.0	13.5	7.7
不明	4.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

※全体値が高い順に表示。網掛け表示は最も高い値

【参考】「将来は市外に移りたい」理由（居住地域別）

(%)	大和地域	六日町地域	塩沢地域
n	49	90	52
自然環境が厳しい	20.4	31.1	38.5
医療機関や福祉が不足している	16.3	20.0	15.4
買い物がしにくい	18.4	13.3	9.6
働く場に魅力がない	12.2	6.7	3.8
近所づきあいが難しい	10.2	4.4	3.8
子育てがしにくい	6.1	5.6	3.8
家族・親族が市外にいる	6.1	4.4	3.8
通勤・通学に不便	4.1	3.3	5.8
その他	6.1	10.0	15.4
不明	0.0	1.1	0.0
計	100.0	100.0	100.0

※全体値が高い順に表示。網掛け表示は最も高い値

【参考】「将来は市外に移りたい」理由（職業別）

(%)	常勤	非常勤	農林自営	商工自営	家事専業	無職
n	104	28	4	10	18	21
自然環境が厳しい	26.9	21.4	75.0	50.0	44.4	42.9
医療機関や福祉が不足している	19.2	21.4	0.0	20.0	5.6	23.8
買い物がしにくい	14.4	21.4	0.0	10.0	5.6	9.5
働く場に魅力がない	6.7	7.1	0.0	0.0	11.1	0.0
近所づきあいが難しい	3.8	7.1	0.0	0.0	11.1	9.5
子育てがしにくい	5.8	7.1	0.0	0.0	5.6	4.8
家族・親族が市外にいる	5.8	0.0	0.0	10.0	5.6	0.0
通勤・通学に不便	2.9	7.1	25.0	0.0	5.6	0.0
その他	13.5	7.1	0.0	10.0	5.6	9.5
不明	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

※全体値が高い順に表示。網掛け表示は最も高い値

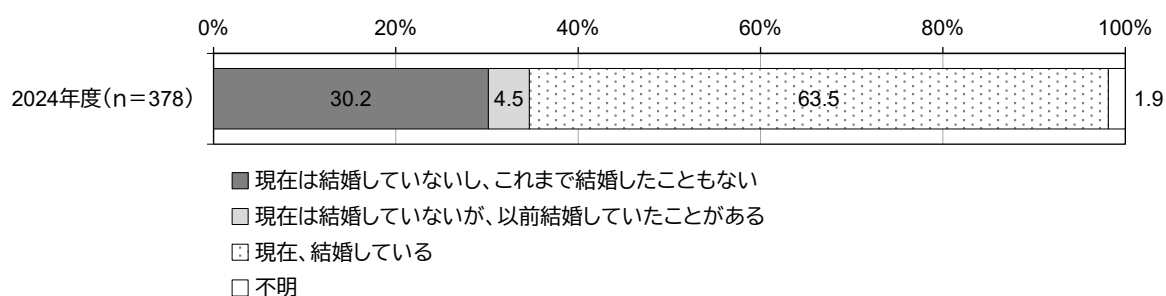
16. 現在の婚姻状況

問 16 あなたは、現在、結婚していますか。（1つ選択）〈50歳未満限定〉

●「現在、結婚している」が6割以上、次いで「現在は結婚していないし、これまで結婚したこともない」が3割以上

「現在、結婚している」（63.5%）が6割以上で最も高く、次いで「現在は結婚していないし、これまで結婚したこともない」（30.2%）が3割以上となっています。

「現在は結婚していないし、これまで結婚したこともない」と「現在は結婚していないが、以前結婚していたことがある」（4.5%）の合計値『現在は結婚していない』（34.7%）は3割以上となっています。

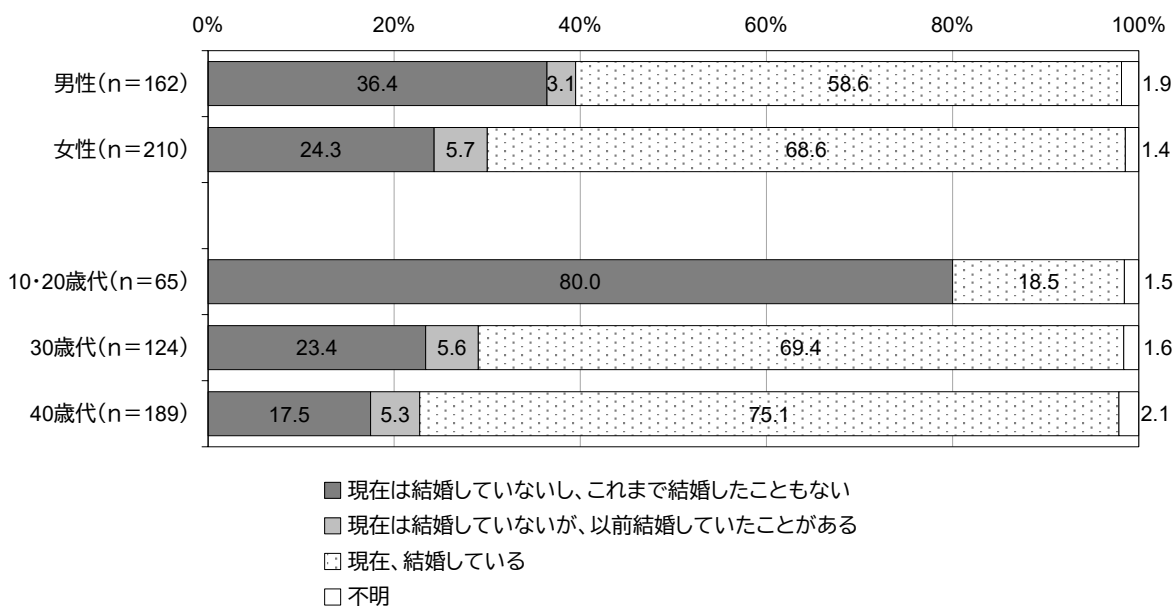


現在、結婚しているか（1つ選択）

●10・20歳代を除き、「現在、結婚している」が最も高い

属性別に見ると、10・20歳代を除き、全体傾向と同様に「現在、結婚している」が最も高くなっています。

10・20歳代は「現在は結婚していないし、これまで結婚したこともない」が最も高くなっています。



現在、結婚しているか（属性別）

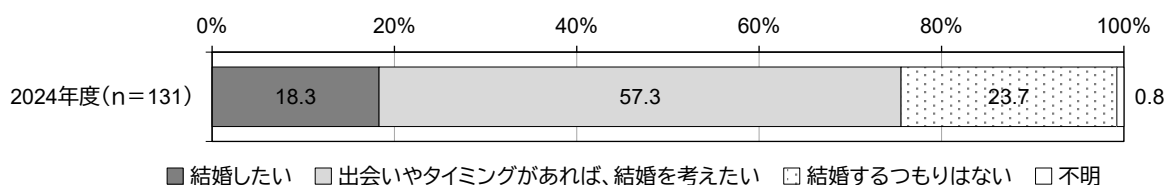
17. 結婚への意向

問 17 結婚について、あなたの気持ちをお聞かせください。（1つ選択）〈50歳未満限定・現在未婚者限定〉

- 「出会うタイミングがあれば、結婚を考えたい」が約6割、次いで「結婚するつもりはない」「結婚したい」がそれぞれ約2割
- 合計値『結婚したい・考えたい』は7割以上

先の間 16 で「現在は結婚していないし、これまで結婚したこともない」または「現在は結婚していないが、以前結婚していたことがある」と回答した 131 人に結婚についての気持ちを聞いたところ、「出会うタイミングがあれば、結婚を考えたい」（57.3%）が約6割で最も高く、次いで「結婚するつもりはない」（23.7%）が2割以上、「結婚したい」（18.3%）が約2割となっています。

「結婚したい」「出会うタイミングがあれば、結婚を考えたい」の合計値『結婚したい・考えたい』（75.6%）は7割以上となっています。

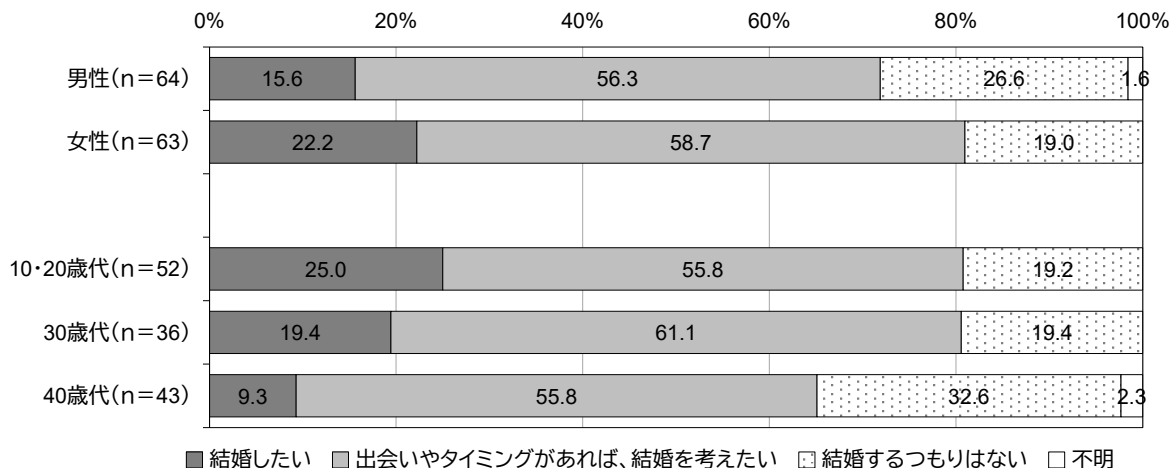


結婚についての気持ち（1つ選択）

- 合計値『結婚したい・考えたい』は女性が男性より若干高い
- 「結婚したい」は若い年代ほど高い

属性別に見ると、性別では大きな差は見られず、男女とも「出会うタイミングがあれば、結婚を考えたい」（男性 56.3%、女性 58.7%）が最も高くなっていますが、合計値『結婚したい・考えたい』は女性（80.9%）が男性（71.9%）より 9.0 ポイント高くなっています。

また、年代別では、若い年代ほど「結婚したい」が高くなっています。



結婚についての気持ち（属性別）

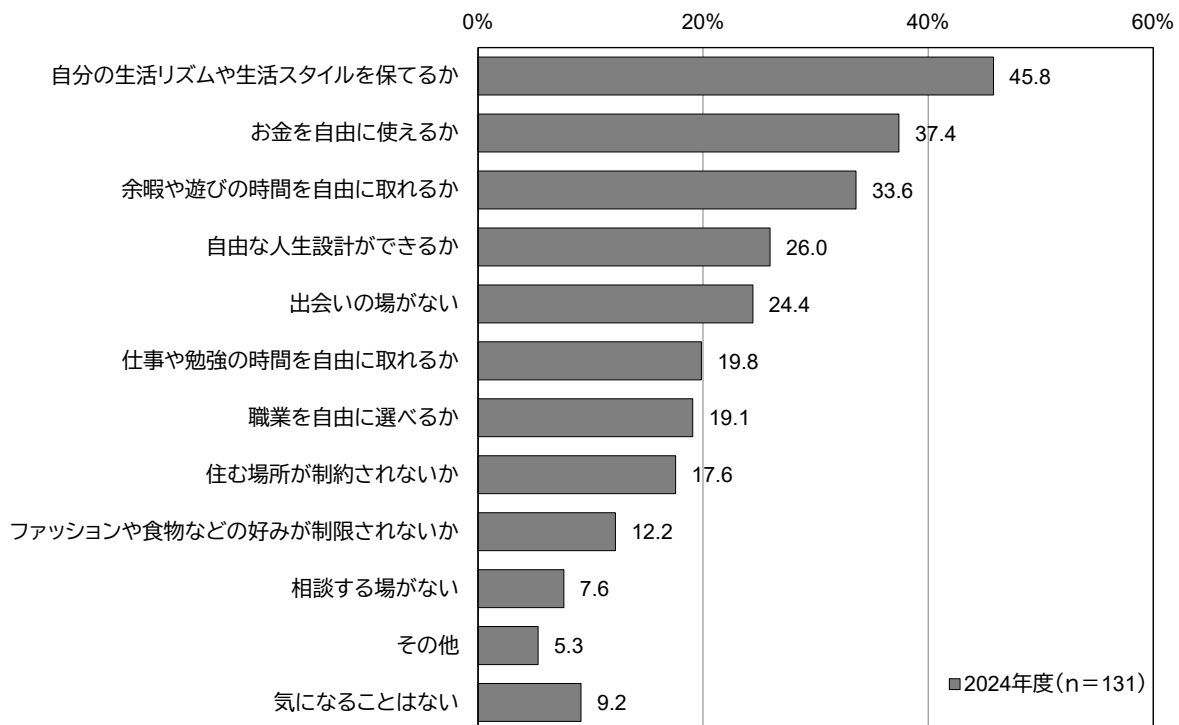
18. 結婚を考えたとき気になること

問 18 あなたが結婚について考えたとき、どのようなことが気になりますか。（すべて選択）〈50 歳未満限定・現在未婚者限定〉

●「自分の生活リズムや生活スタイルを保てるか」が4割以上、次いで「お金を自由に使えるか」が約4割

先の問 16 で「現在は結婚していないし、これまで結婚したこともない」または「現在は結婚していないが、以前結婚していたことがある」と回答した 131 人に結婚について考えたときに気になることを聞いたところ、「自分の生活リズムや生活スタイルを保てるか」(45.8%) が4割以上で最も高く、次いで「お金を自由に使えるか」(37.4%) が約4割となっています。

その他 (5.3%) の記述には、仕事の継続、親との同居、子どもに関する内容などが見られます。

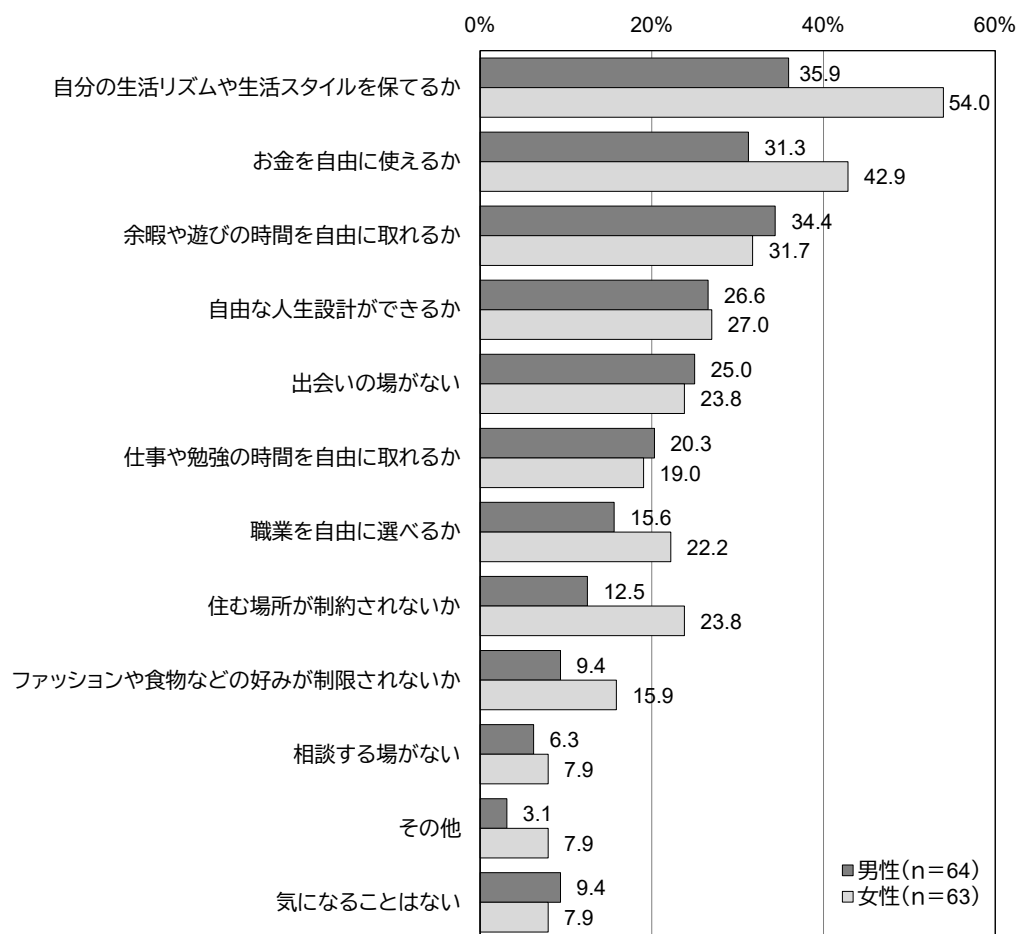


結婚について考えたときに気になること（すべて選択）

- 男性は「自分の生活リズムや生活スタイルを保てるか」「余暇や遊びの時間を自由に取れるか」「お金を自由に使えるか」の3項目がそれぞれ3割以上で同程度に高い
- 女性は「自分の生活リズムや生活スタイルを保てるか」が5割以上で最も高い
- 男女差は「自分の生活リズムや生活スタイルを保てるか」で最も大きく、女性が高い

性別で見ると、男性は「自分の生活リズムや生活スタイルを保てるか」(35.9%)、「余暇や遊びの時間を自由に取れるか」(34.4%)、「お金を自由に使えるか」(31.3%)の3項目が3割以上で同程度に高く、女性は「自分の生活リズムや生活スタイルを保てるか」(54.0%)が5割以上で最も高くなっています。

男女差は「自分の生活リズムや生活スタイルを保てるか」で最も大きく、女性が男性より18.1ポイント高くなっています。



結婚について考えたときに気になること（性別）

●すべての年代で「自分の生活リズムや生活スタイルを保てるか」が最も高い

年代別では、いずれの年代も「自分の生活リズムや生活スタイルを保てるか」が最も高く、10・20 歳代は「余暇や遊びの時間を自由に取れるか」(44.2%) も同値で高くなっています。次いで、10・20 歳代、40 歳代は「お金を自由に使えるか」(10・20 歳代 38.5%、40 歳代 44.2%)、30 歳代は「余暇や遊びの時間を自由に取れるか」「出会いの場がない」(33.3%で同値) となっています。

結婚について考えたときに気になること（年代別）			
(%)	10・20 歳代	30 歳代	40 歳代
n	52	36	43
自分の生活リズムや生活スタイルを保てるか	44.2	44.4	48.8
お金を自由に使えるか	38.5	27.8	44.2
余暇や遊びの時間を自由に取れるか	44.2	33.3	20.9
自由な人生設計ができるか	28.8	30.6	18.6
出会いの場がない	21.2	33.3	20.9
仕事や勉強の時間を自由に取れるか	21.2	19.4	18.6
職業を自由に選べるか	23.1	16.7	16.3
住む場所が制約されないか	21.2	19.4	11.6
ファッションや食物などの好み制限されないか	13.5	16.7	7.0
相談する場がない	3.8	11.1	9.3
その他	1.9	11.1	4.7
気になることはない	7.7	11.1	9.3

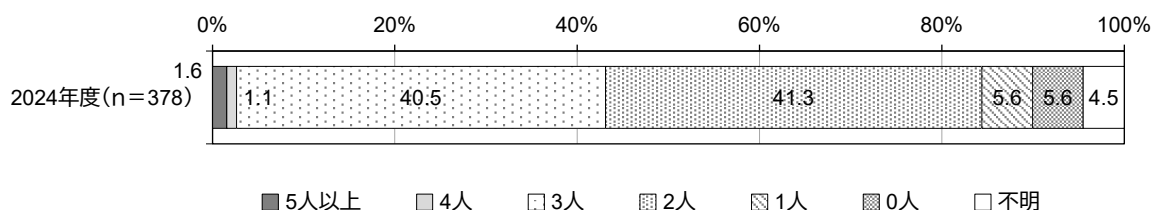
※全体値が高い順に表示。濃色網掛け表示は最も高い値、淡色網掛け表示は次いで高い値

19. 理想的な子ども数

問 19 あなたにとって、理想的な子どもの数は何人ですか。（1つ選択）〈50歳未満限定〉

●「2人」「3人」がそれぞれ4割以上で同程度に高い

「2人」（41.3%）、「3人」（40.5%）の2項目が4割以上で同程度に高く、合計値『2～3人』（81.8%）は8割以上となっています。



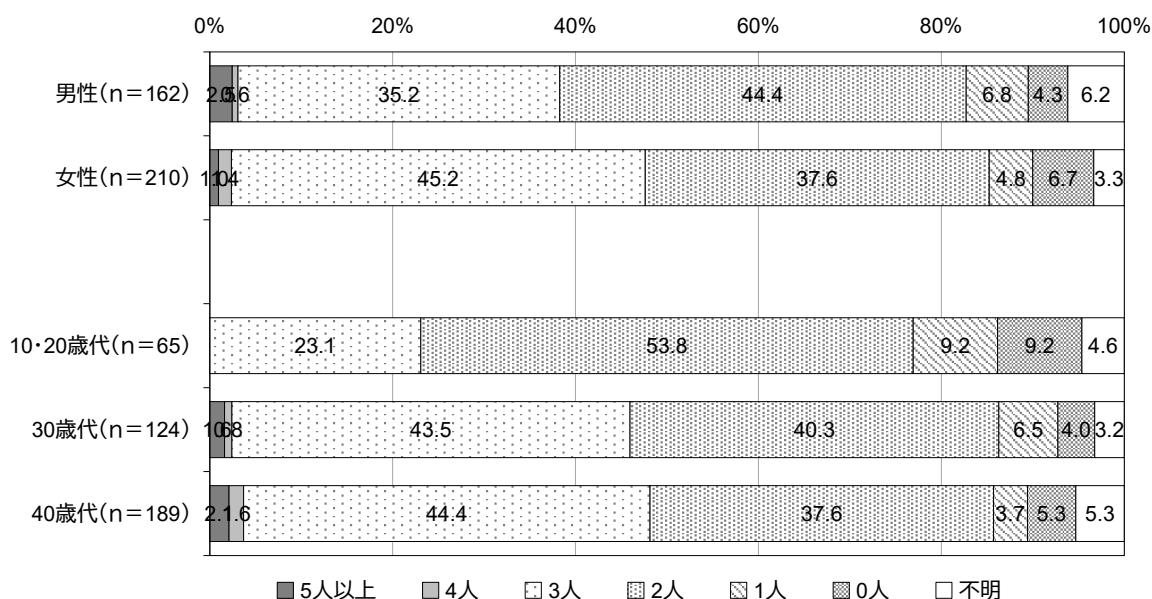
理想的な子どもの数（1つ選択）

●男女、各年代とも「2人」または「3人」が最も高い

属性別に見ると、いずれの性別、年代とも「2人」または「3人」が最も高くなっています。

性別で見ると、男性は「2人」（44.4%）、女性は「3人」（45.2%）が最も高くなっています。

年代別で見ると、10・20歳代は「2人」、30歳代、40歳代は「3人」（30歳代 43.5%、40歳代 44.4%）が最も高くなっています。



理想的な子どもの数（属性別）

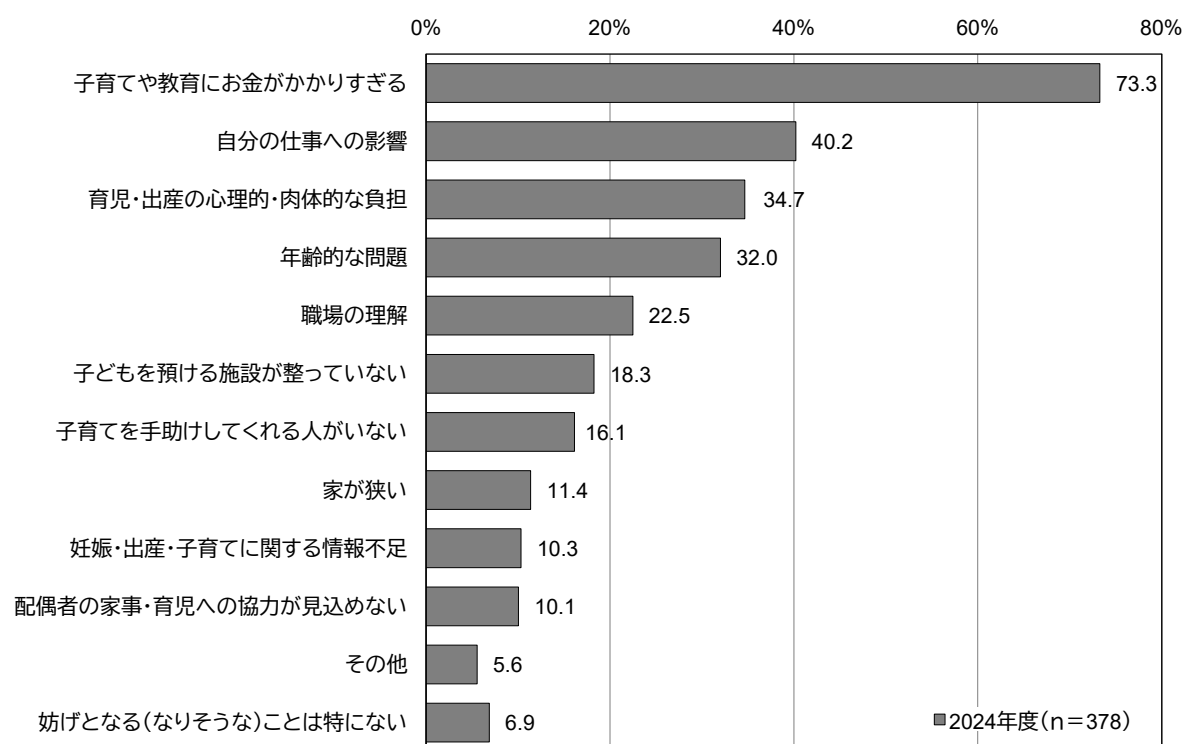
20. 理想的な子ども数の実現への妨げ

問 20 あなたが理想的な子ども数の数を実現するために妨げとなる（なりそうな）ことは何ですか。（すべて選択）〈50 歳未満限定〉

●「子育てや教育にお金がかかりすぎる」が7割以上、次いで「自分の仕事への影響」が4割以上

「子育てや教育にお金がかかりすぎる」（73.3%）が7割以上で特に高く、次いで「自分の仕事への影響」（40.2%）が4割以上となっています。

その他（5.3%）の記述には、産科・産院の不足に関する内容が最も多く、給与・収入に関する内容も複数見られます。



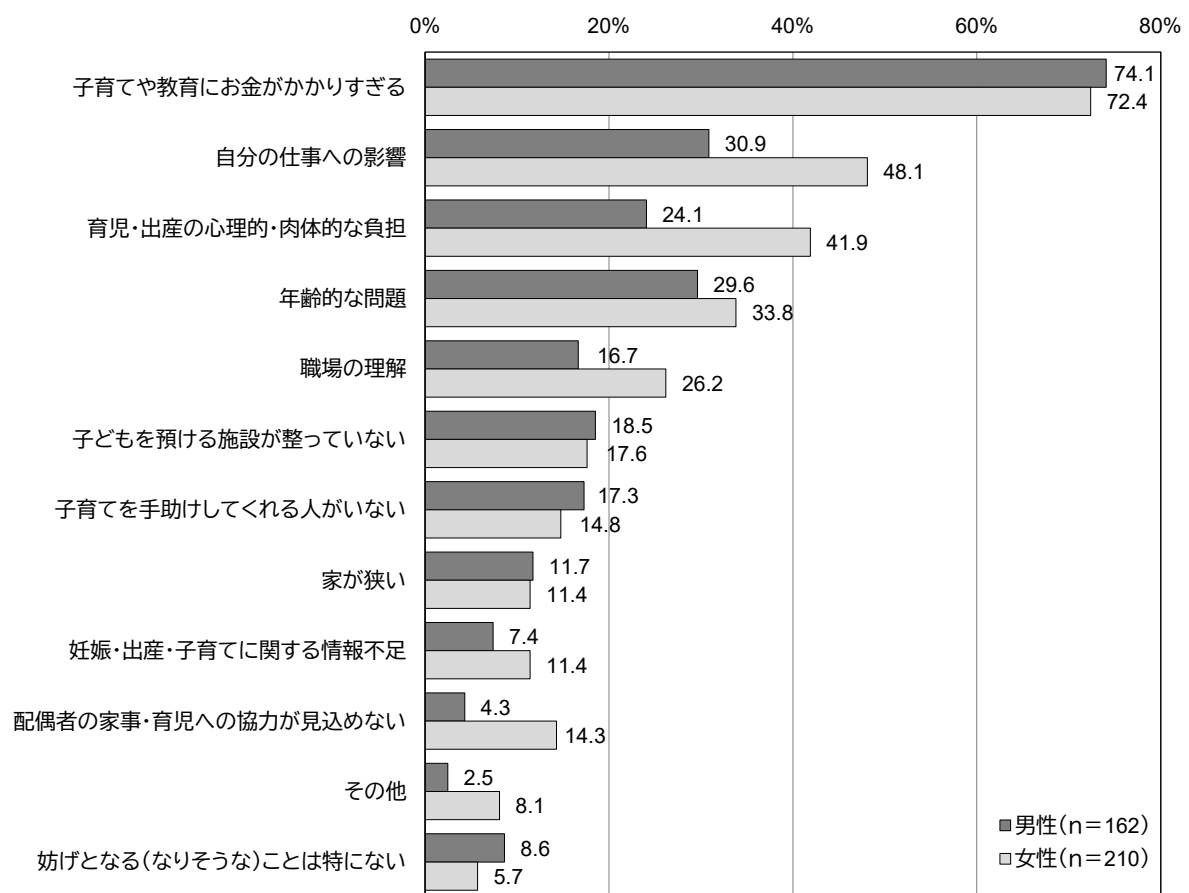
理想的な子ども数の数を実現するために妨げとなる（なりそうな）こと（すべて選択）

●男女とも「子育てや教育にお金がかかりすぎる」が7割以上で最も高い

●男女差は「自分の仕事への影響」「育児・出産の心理的・肉体的な負担」で大きく、いずれも女性が高い

性別で見ると、男女とも「子育てや教育にお金がかかりすぎる」(男性 74.1%、女性 72.4%) が7割以上で最も高く、次いで男性は「自分の仕事への影響」(30.9%)、「年齢的な問題」(29.6%) が約3割で同程度、女性は「自分の仕事への影響」(48.1%) が約5割となっています。

男女差は「自分の仕事への影響」「育児・出産の心理的・肉体的な負担」で大きく、いずれも女性(それぞれ 48.1%、41.9%) が男性(それぞれ 30.9%、24.1%) より高くなっており、「自分の仕事への影響」は 17.2 ポイント、「育児・出産の心理的・肉体的な負担」(男性 24.1%、女性 41.9%) は 17.8 ポイント、それぞれ女性が高くなっています。



理想的な子どもの数を実現するために妨げとなる(なりそうな)こと(性別)

●すべての年代で「子育てや教育にお金がかかりすぎる」が最も高い

年代別で見ると、すべての年代で「子育てや教育にお金がかかりすぎる」が最も高く、次いで10・20歳代、30歳代は「自分の仕事への影響」（10・20歳代43.1%、30歳代は「育児・出産の心理的・肉体的な負担」と同値で42.7%）、40歳代は「年齢的な問題」（43.9%）となっています。

年代差は「年齢的な問題」で最も大きく、最も高い40歳代（43.9%）と最も低い10・20歳代（6.2%）では37.7ポイントの差が見られます。

理想的な子どもの数を実現するために妨げとなる（なりそうな）こと（年代別）

(%)	10・20歳代	30歳代	40歳代
n	65	124	188
子育てや教育にお金がかかりすぎる	69.2	75.8	73.0
自分の仕事への影響	43.1	42.7	37.6
育児・出産の心理的・肉体的な負担	33.8	42.7	29.6
年齢的な問題	6.2	27.4	43.9
職場の理解	21.5	20.2	24.3
子どもを預ける施設が整っていない	10.8	21.0	19.0
子育てを手助けしてくれる人がいない	12.3	16.9	16.9
家が狭い	10.8	14.5	9.5
妊娠・出産・子育てに関する情報不足	13.8	11.3	8.5
配偶者の家事・育児への協力が見込めない	3.1	12.9	10.6
その他	4.6	6.5	5.3
妨げとなる（なりそうな）ことは特にない	9.2	8.9	4.8

※全体値が高い順に表示。濃色網掛け表示は最も高い値、淡色網掛け表示は次いで高い値

21. 南魚沼市の魅力や誇り（自由記述）

自由記述として、約 640 件の南魚沼市の魅力や誇りに関する「ひと言」が寄せられました。内容を見ると、「自然（環境）」や「四季」、「雪」、「水」、「米（コシヒカリ）」、「酒」、「人」などの言葉が比較的多くあげられました。その一方で、「特に（魅力や誇りが）ない」を意味する内容も複数見られました。それらの中から主なものを掲載します。

◆自然、四季、雪、水

- ・ 自然が豊か
- ・ 自然が身近にある
- ・ 自然がおだやか（強い風が吹かない）
- ・ 自然豊かで子ども達がのびのび過ごせる
- ・ 自然と共存し、発展している市（希望を含めて）
- ・ 四季がはっきりしている
- ・ 四季の移り変わりと塩沢の空気が本当に好き。他では感じることはない
- ・ 四季折々の景色、レジャーが楽しめる
- ・ 春夏秋冬の自然は最高、冬は最悪のところ
- ・ 雪
- ・ 利雪、自然の中の生活
- ・ 雪のお陰で何かしらの恩恵を受けていること
- ・ スキー場の多さ、自然の豊かさ
- ・ ウィンタースポーツができて自然が多いのに都会へのアクセスが良い。あとお米
- ・ おいしい空気
- ・ 水と空気が綺麗
- ・ 越後三山を直近に望める自然豊かな環境
- ・ 夏の夜空
- ・ 季節によって変わる暮らし
- ・ 急峻なカッコいい山が近い
- ・ 居ながら息をのむ程の景色に出会える
- ・ 魚野川、清風
- ・ 素晴らしい景色
- ・ 大自然からの恵み
- ・ 冬が厳しい分、春の訪れをより幸せに感じられる
- ・ 冬の晴れた日は絶景。唯一住んでよかったと思える
- ・ 山、川、自然だけは素晴らしい
- ・ 山あり、川あり、田んぼありで自然豊かなところ
- ・ 八海山がきれい
- ・ 豊かな四季と人のやさしさ
- ・ 豊かな自然と水に恵まれたすばらしいところ
- ・ 豊かな自然と、地域の目がある中での子育て環境
- ・ 豊かな自然と田園
- ・ 緑
- ・ 歴史のある、自然豊かな市であります
- ・ 山紫水明の地

◆米、食、酒、水

- ・ お米がおいしい
- ・ 魚沼産コシヒカリ
- ・ 米を中心に産物がおいしい
- ・ 食べ物がおいしい
- ・ 食べものがおいしくて四季が味わえる
- ・ 何でもおいしい（米、野菜、酒、水など）
- ・ 「食」が何を食べてもおいしい、また、そのPRが上手
- ・ おいしい水と米
- ・ お米がおいしい。野菜（特産品）も良いものがある
- ・ お米が最高。農家さんに感謝です
- ・ ふるさと納税による米（コシヒカリ）の認知度
- ・ コシヒカリ、スイカが美味しい
- ・ 自然豊かな環境から生まれる農作物
- ・ 雪のおかげか、野菜類もどこよりおいしい。甘味が強い
- ・ 他所から戻ってくると実感する水と米のおいしさ
- ・ 地酒と米がおいしい
- ・ 日本酒好きな人達に愛されるお酒「八海山」を有する南魚沼市
- ・ 農業の取組がとても高いレベルを保っていて、今後の一次産業の重要課題の先進を担っていくと思う
- ・ 良質な水による米と酒のうまさ
- ・ 米、酒、雪などの魅力的な観光資源

◆人情・人柄

- ・ 人がやさしい
- ・ 市民がみな「やさしい」
- ・ 人が温かい
- ・ のんびりしている
- ・ のびのびしている
- ・ ほっとけない
- ・ 今自分が住んでいるところは穏やかで人に優しい
- ・ 子ども
- ・ 若い人が一生懸命
- ・ 笑顔あふれる街
- ・ 人と地域のつながり
- ・ 人に対する思いやりがある
- ・ 人に優しくなれる街

- ・人情味ある方が多い。親切である
- ・人々の生きる力がある
- ・人柄が明るくて好きです
- ・雪国の人達は辛抱強いところ
- ・地域のまとまり
- ・地区の人達がつつましくまじめに生活している

◆暮らしやすさ

- ・住みやすい
- ・コンパクトで住みやすい街
- ・ちょうどよい田舎
- ・便利な田舎
- ・のどか
- ・安心できる生活環境
- ・まわりの家同士まとまっている
- ・住み慣れて愛着がある。地域における人間関係が良い
- ・安全
- ・衣・食・住が充実している
- ・生活する上では、余りストレスを感じない
- ・静寂
- ・多少の不便はあるが住みやすい街。医療、金融、交通、買い物等ができる
- ・比較的自由な暮らしができる
- ・暮らしやすく、町中でも温かい言葉で接してくれることで誇りを感じます

◆行政サービス

- ・何でも話せる市長が良い
- ・福祉が充実している
- ・魚沼基幹病院
- ・子育て支援が充実している（医療費助成やほのぼの（南魚沼市子育て支援センター）、イベント等）
- ・保育園、学校が多くあり、その点は良いと思う
- ・除雪、消雪に力を入れていただいてありがたい
- ・農業者支援

◆防災・防犯

- ・自然災害が少ない
- ・他の地域より災害もなく暮らしやすいと思う
- ・大きな地震にも耐え、台風等の被害が少ない。意外にも災害に強い土地だと思う
- ・大事件がない
- ・犯罪が少ないこと

◆（東京圏等からの）交通利便性

- ・2時間圏内に大都市も海も山もあること
- ・関東圏からアクセスしやすい自然豊かなおいしいまち
- ・関東圏が近い
- ・高速交通体系が整っている
- ・高速道路と新幹線があるのでアピールなどによって将来性が見込める
- ・四季が味わえる東京に近い市
- ・自然が多いが都市へのアクセスが良く住みやすい
- ・首都圏への交通アクセスが良く、自然豊かな日本一の米どころ
- ・新幹線浦佐駅と基幹病院がある

◆その他

- ・いつでも元気であれば、こんなにすべてがよい環境のところはないと思っています
- ・他の市町村に対しても劣るところはないと思う
- ・観光資源が豊富であること
- ・名所、旧跡、自然、レジャー、温泉がある
- ・国際大学があり、海外の方達と交流できる、自然が美しい、食べ物が美味しいのと空気がきれいだから
- ・国内外と比べて稀有なことが結構ある
- ・自分が生まれ育った所、大切な場所
- ・上杉景勝と直江兼続
- ・色彩
- ・平和
- ・未来への夢がもてる事柄がたくさんある
- ・何も無いところ
- ・まだ移住して短いのでわかりません
- ・まだ見つけていません

◆特に（魅力や誇りが）ない

- ・あまりない
- ・全くない
- ・思いあたりません
- ・特にありません
- ・特になくていいのでは
- ・魅力・誇りなし
- ・六日町があまりにも魅力がなくむなしい

南魚沼市への意見等（自由記述）

自由記述として、430 件以上の意見等が寄せられました。それらの中から主なものを「市民の生の声」として掲載します。

◆保健・医療・福祉

- ・介護が必要な場合の迅速化。人口増、人の流入促進。ふるさと納税を活かした様々な取組。良いところの発信。流入につなげるなど。若者の定着。結婚率のアップ。行政区の合併への取組。〈60 歳代・男性〉
- ・弱者に配慮ある姿勢を望みます。例えば、高額療養費の支給申請にあたり（私どもの場合 3 ヶ月に一度の割で通院と薬）、その前に市役所に行き手続きをしなければなりません。今はまだ運転できているので何とか対応できています。今後免許返納の時が来ます。デジタル化の設問もありましたが、病院、薬局、市役所と通信でつながるなどにより利用者の負担の軽減を求めます。急速に進む高齢化による行政区の人員減、高齢化による弊害が予測されます。対策が必要と考えます。〈70 歳以上・男性〉
- ・大和地区の者にとり大和病院の診療所化についてこれから高齢化していくのに自力で通えるところがなくなるのは心配です。検査機器がなくなると聞いています。今まで聞いたことのない事業がたくさんありました。予算を組んでいるのだから広報などで PR してみたいかがでしょうか。〈60 歳代・女性〉
- ・コロナの苦しい時期、非課税世帯だけではなく全世帯に一度くらい、何かしら給付があってもよかったのではないかと思います。皆さん大変だったと思うから。〈60 歳代・女性〉
- ・ふるさと応援活用基金が、子ども関係に使用されて良かったです。障がい者、福祉にも活用してもらえると良いと思いますが、勉強不足でよくわかりません。〈60 歳代・女性〉
- ・もっと医療的に高齢の方々が住みやすいよう、住み慣れた場所に最後まで住めるよう、介護的に援助があったら良いと思う。例えば、デイサービス施設が増えとか、特養の施設がもう 1 施設増えとか、自宅で介護されている時はそれなりの援助ができとか、難しいですけれど高齢者にも優しい市になってほしいです。〈60 歳代・男性〉
- ・衣、食、住に関する充実、助成支援等。〈70 歳以上・男性〉
- ・医師不足問題の取り組みについて、地方では首都圏と違いどこでも医師不足問題を抱えている。医師の偏在。毎年 9000 人前後の医師国家試験合格者はどこに行くのだろう。この傾向は 2004 年の研修医制度の変更以降、顕著になっている感がある。これはある意味等しく医療を受けることができる権利の侵害ともいえる。診療報酬は 2 年に 1 度改定されるが、全国一律の報酬点数を採用している。このことが地方の医師不足の一員になっていないだろうか。それぞれの自治体が奨学金や優遇措置を講じているが、いずれも財源を伴うもので、それぞれの負担も大きい。医師偏在が起こる仕組みを抜本的に変える新しい制度への取り組み、例えば、医師充足率の多い県と新潟県のように少ないところで医師に支払われる診療報酬に傾斜配分する（医療機関に払われる各保険者の負担分を）方法も一つと思われる。お金で医師を釣るとの考え方もできるが、当面の方策として有効になるし新たな患者負担もない。こういう新たな取り組みをぜひ検討していただきたい。医師不足に悩んでいる全国の自治体からは受け入れられると思いますが。〈70 歳以上・男性〉
- ・医療、介護面での充実。子ども、高齢者が暮らしやすい環境。農業に携わる全ての人が誇りを持てること。〈60 歳代・女性〉
- ・医療、福祉にお金を割けば、心身の健常な方や若年世代は利益を受けられない側面が多くなる。若い世代に向けたまちづくりを進めるなら、削減、廃止してもよい事業があるのではないかと。「筋力づくり教室事業」340 万、「老人クラブ推進事業費」426 万、「敬老会事業費」1348 万。本当に必要なのですか。高齢者の方を向いたまま口だけ「若い世代に」とパフォーマンスしていませんか。〈40 歳代・男性〉
- ・医療に従事する方や介護で働く方々など、なくてはならない人材がこれ以上辞めていかないように、ある程度の優遇措置があっても良いかと思っています。〈30 歳代・女性〉
- ・医療や子育てがもっと進んでほしい。病院の医師不足があり、受診にくい。〈30 歳代・女性〉
- ・医療機関の充実。現在の医療提供体制にもの足りなさを感じる。〈60 歳代・男性〉
- ・医療機関の充実をお願いしたいです。市民病院で目を怪我した子どもの救急の相談をしても体よく断られ、基幹病院に行くよう促された。けがの度合いとしては市民病院でも十分対応いただけるくらいのものでした。それで基幹病院の 7,000 円の初診料をとられるのはひどすぎるし、市民に負担のかけすぎではないでしょうか。もしくは基幹病院の初診料をなくして欲しいです。お金がある人だけ受診できるような差別を感じます。将来的に自分が高齢者になったらどうなるのだろうと不安も感じます。〈40 歳代・女性〉
- ・浦佐に住んでいます。市民病院に行くのにすごく大変です。自宅から歩いて駅まで行き、電車に乗って市民バスに乗って、受診後にまたバス待ち、駅までバス、電車、歩いて自宅と、1 日がかかります。せめて 1 週間に 1 回でも直通があったら嬉しいです。〈70 歳以上・女性〉
- ・介護（高齢福祉施設等）の充実。〈40 歳代・女性〉
- ・介護者への配慮。される人、する人に対しての医療関係の連携が整っていない。例えば、する人が病気になった時の、される人の一時的な受け入れ先が見つからないなど。〈70 歳以上・女性〉
- ・基幹病院の受診のしやすさ、待ち時間の改善。〈30 歳代・男性〉
- ・魚沼基幹病院ができたが、そこで治療ができず、結局は長岡の日赤に転院したり、リハビリが必要だと長岡療育園へ行かなければいけない。南魚沼で専門的に治療やリハビリできるようにになれば、治療にも

リハビリにも回数通えるのでありがたい。学童がいつもいっぱい、1〜2年生しか入ることができない。せめて長期休みの利用人数を拡大してほしい。〈30歳代・女性〉

- ・高齢になり、医者通いが増え、月に、4〜5回通っているが、医療費が心配。そのあたりを維持、続けていてもらいたい。今も高額療養費をもらっています。〈70歳以上・男性〉
- ・高齢者に負担にならない様な市政を考えてください（生活、交通、医療面）。〈60歳代・女性〉
- ・高齢者の生活支援をもっと充実させて頂きたい。ひとり暮らしや老人だけの世帯の方、運転免許返納後の生活のしやすさ等。〈50歳代・女性〉
- ・高齢者の福祉、介護、あるいは子どもに対するそれぞれの施策と細かく検討し、それなりの予算、補助等予算面での対応等が取られているが、それらは一過性の対応の気がしてならない。もっとその事業計画を推進するのであれば、それに伴う人材の育成、配置等にも力を入れるべきではないか。これは市職員のみならず、地域の中の人々、周りの人々などの利活用を図るべきと考える。もちろん、一朝一夕に済まされることではないが、長い期間、時間をかけて取り組みをすべきことである。地域一体となり取り組み、少しずつでも前に進んで行かなければ、少子高齢化などの問題は解決しないのでは。難しいが、人は人との関わりの中で生きているのであるから。〈70歳以上・男性〉
- ・高齢者介護の充実を切に願います。〈70歳以上・男性〉
- ・黒字の大和病院をやめるのは惜しい。これからの病床が心配。どうにかしてほしい。市内で入院したいと思います。〈70歳以上・女性〉
- ・産院がなくて若い人達が来ない。まちの中の活性化のために、もっと行事、イベントを増やし、人を呼び込んでほしい。公園や川の草などもっと手入れをして欲しい。シルバーの仕事を幅広く増やしてほしい。〈70歳以上・女性〉
- ・子宮体癌の検査も市の検診の対象にしてほしい。国保以外の人の人間ドックも補助金を出してほしい。母子家庭や障害者の方への支援は悪いことではないが、援助が必要ない方と本当に必要な方への精査が必要では。非課税世帯や子ども世帯に物価高騰による一律給付金とかあるが、みんな平等に高騰しているのに不平等を感じる。2022年冬に開催した「ひかりの遊園地」、大人も子どもも楽しめたので、雪まつりがなくなったので代りにやってほしい。観光協会の、温泉を巡る『お湯印帳』があるが、飲食店を巡る『お酒印帳』はどうか。「本気井」は、店側としては単価アップはわからなくはないが、昔より高すぎると思う。もちろん値段の価値はあるんだろうが、ランチ単価にしては庶民価格ではないと思う。上限を決めるとか。〈40歳代・女性〉
- ・市の福祉にお世話していただきとても助けられています。〈10・20歳代・男性〉
- ・市内の医療機関の充実を切に願います。個人医院も少なく、基幹病院はいつも混雑していて、行くだけで疲れます。救急医療もあまり頼りにならず（担当科の先生がいない）、結局翌日に再受診となることが多々あります。大きい病院を建てても、医師が県外から来ている状況ではどうなのでしょう。〈40歳代・女性〉
- ・市立病院でありながら、小児科がなくなってしまっ

たことは大変残念です。開業医は完全予約のため、受診したい時にできず、かかりつけ医がないままに、その都度医者を替え、15歳（内科受診年齢）を迎えます。子育てを大々的に打ち出しているにもかかわらず、市民のための病院に小児科がないのはどうかと思います。予防接種だけあっても、というのが、正直な感想です。小さな子どもを抱えての受診は本当に大変です。できるだけ近い病院で受診したいと思うものです。もともとは小児科があり、設備も整っているはずですので、小児科の復活をお願いします。未来のパパ、ママのために。〈40歳代・女性〉

- ・障害者福祉的に最低限の補助しかない。今の時代、タクシーより自家用車なのにガソリン代補助にしてもらいたい。どちらか選べるように。どういう補助金など使えるのか障害を持っている親に対してきちんと説明して欲しい。こちらから聞かなければわからないことだらけすぎ。どういうサービスが利用できるのか配布してほしい。お祭りが全然盛り上がっていない。若い子達が参加したくなるようなことをしてほしい。〈50歳代・男性〉
- ・人口の増減により、保育園、小中学校、老人施設の統廃合で増改築、新築。〈70歳以上・男性〉
- ・誰しもが安心して老後を過ごせるホームがたくさんあればいい。健康診断が一日で終るようにこれかもしてほしい。受ける人が増える方法を考えて。〈10・20歳代・男性〉
- ・働きざかりの年代にも、重点を置き、支援してほしい。〈40歳代・女性〉
- ・二世帯同居というのが、核家族も親と同居でも同じというのはどうなのでしょう。統合失調症で、中卒で、車の運転ができなくても、安心して暮らしたいです。素人でも遊び感覚で楽しめそうなフットサルサークルなんかがあったら嬉しいですね。ユニクロ浦佐店を誘致してください。〈30歳代・男性〉
- ・日頃の市政運営ご苦労様です。70代のつぶやきです。年を重ねると皆、老化が訪れます。医療機関の充実、病院に通う交通手段に不安を感じる日頃です。公共交通も隔々にまでというわけにも行かないと思います。タクシー券配布などあるとありがたいです。2人の孫がいる我が家ですが、休日は十日町、小出、堀之内、長岡の公園へ出かけることが多いです。他の市町の方が公園の器具や広さ、整備が充実しているとのこと。南魚沼市も他の市とよく比べて子育て支援してください。人口減少の昨今、若者が移住・定住しますように。若い人には活力、未来があります。南魚沼市は素晴らしいところです。輝いている町が続きますように。〈70歳以上・女性〉
- ・病院（婦人科）についてです。急に具合が悪くなり診察してもらいたくても予約がないと診察してもらえません。短い時間内でも良いので、予約なしでも診てもらえるようになると嬉しいです。〈50歳代・女性〉
- ・病院の再編について、六日町の市民病院が中心になり、年配の人は大和地域からバスやタクシー電車を乗り継いで通院している人が多い。お金も時間もかかって大変である。交通面での配慮を望みます。〈70歳以上・女性〉
- ・普段の生活に直結する恩恵をあまり感じる事ができないので、クーポンなどすぐに使える生活の補助があると助かります。一定の条件の人のみだけではなく、市民全員が使えるものだと地域活性化、市としての魅力が上がると思います。〈30歳代・女性〉

- ・福祉が全く進んでいないので、福祉に力を入れてもいいと思います。〈30 歳代・女性〉
- ・物価高なのに、給与は変わらず、教育にお金がかかる。小児科が少ない。何か習い事をさせたくてもお金の問題が出てきて、十分にさせてあげられない。プロパン、水道料金が高すぎる。母子、父子の家庭、非課税世帯の手当はあるのに、一般家庭にはない。日々の生活に精一杯で、未来に不安がありすぎて、日本・南魚沼でこの先住むこと、生活することができないかもと思う。アンケートを取ったら終わりではなく、国民、市民の声や生活に目を向けて改善していかないと安心して暮らせない。〈30 歳代・女性〉
- ・林市長が進めている医療再編、大賛成です。今後、人口減少していく中、市民病院を充実することが市民の健康と生命を守ることだと思っています。新しいゴミ処理施設の早い完成を期待しています。子育て支援を充実することが子どもの増加につながると思いますので、力を入れていただきたい。学校の跡地利用を図ってもらいたい。農業離れが急激に進んでおり、今後、特に中山間地域が荒廃農地になる可能性が高い。市の基幹産業は米である。農業者支援を充実させ基幹産業を守っていただきたい。〈70 歳以上・男性〉
- ・大和地域において医療への不安。〈50 歳代・男性〉
- ・老人が住みやすいまち。独居世帯が少なくなり、老人が子どもと共存できるまち。若者が定着し、地元で就職できるまち。魅力的な企業誘致。最低賃金のパートや高齢基礎年金だけの人も人並みに暮らせる福祉づくり。〈60 歳代・女性〉
- ・老人ホームの不足、高額のため、親が入居できない。県外入居予定のため、可哀想に思う。親が末期がんの時に市民病院では長期入院ができないと言われました。終末期入院できる病院があるとありがたい。〈50 歳代・男性〉

◆保健・医療・福祉（子育て）

- ・もう少し出産育児の手当を増やして欲しい。〈10・20 歳代・女性〉
- ・学童保育の充実。両親が働いていたら入所できるように。〈70 歳以上・女性〉
- ・居住地（五十沢エリア）の子が通う学童が、現在 1 年生、2 年生のみしか預かりができない「異常事態」です。保育士の不足とのことだが、3 年生以上が預けられないのは、近隣を見ても全国的に見てもありえない。フルタイム共働き核家族で一人っ子の場合、3 年生から「一人」だけで留守番をさせることになるのが「しょうがない」ことなのか。親が仕事を辞めなければいけない可能性があることが「しょうがない」ことなのか。同じような境遇の人が周りにも多数います。早急な状況改善を強く望みます。〈40 歳代・男性〉
- ・魚沼市の 18 歳まで子どもの医療費助成制度は、1 回の通院は全て無償ですが、南魚沼市は 530 円医療費がかかることにとても不満です。観光にばかり力を入れていて、魚沼市の方が子育て世代にはとても力を入れていて羨ましいです。南魚沼市にも子育て支援に力をもっと入れてほしい。〈30 歳代・女性〉
- ・近隣の市と同じように高卒まで医療費無料にしてほしい。大和病院が無床になるのは大和地域の人にとってはとても困ると思う。基幹病院が代わりになる

はずはない。地域や地元根付いた病院、医療機関が必要。介護施設の減少、介護従事者の低賃金など何とかしてほしい。健友館の移転も、大和の人はそこまで行くのだろうか。行けない人が多くいると思う。今ですら、市民会館まで行けない人が多くいて、検診を受けない人が多い。行くにも交通の便が悪すぎる。〈50 歳代・女性〉

- ・現在、未就学児を育てており、保育園などは十分整っている反面、休日遊ばせる施設が少ないと感じます。同世代の親達と毎日話題になることは、室内外で思いっきり「遊べる施設がほしい」ということです。それが不足しているため、十日町の「めぐらんど」、「桂公園」や小出の「かたっくり」に出かけることが多いです。町中の公園は、私達が子どもの頃と全く変わらない（劣化が目立つ）。数も少なくなりました。人口を増やすための移住者向け、起業家向けの講座などが充実してきたのは理解できます。しかし、実際に住んでみて、子育て世代が「南魚沼で子育てができて良い」と思ってもらえるような、ハード面の強化が必要なのではないでしょうか。そうすることで人口の増加にもつながるはずです。ぜひ、20 代、30 代の意見を取り入れ、市政のまちづくりを頑張してほしいです。雪まつり（六日町）の復活も願います。〈30 歳代・女性〉
- ・子どもが赤ちゃんの頃、健診で不安なことを相談できたり、訪問していただいたりして心強かったです。ありがとうございました。健診などの機会でなくても、さらに気軽に相談できるところがあると、不安でいっぱい保護者が、より安心して子育てに向えるかなと思っています。今回のアンケートは、普段あまり関わりのない事業や意識していなかった事業の取組を評価しなければだったので難しかったです。参考資料も読みましたが、適切な評価になっていなかったらすみません。〈30 歳代・女性〉
- ・子どもの助成をもう少し手厚くしてほしい。受診 1 回に 530 円かかるのは高い。〈30 歳代・女性〉
- ・子どもを遊ばせる所をもっと充実してほしい。子育て支援もよろしくお願いします。自分や親の将来も心配なので、介護の充実や病院、公共交通も充実してほしい。大型ショッピングモールやユニクロ、無印などの商業施設がほしい。十日町の「めぐらんど」や全国にある大型の子どもの施設がほしい。〈40 歳代・女性〉
- ・子ども若者支援センターに若者の居場所がありますが、子ども、若者に限らず誰でもいつでもふらっと行ける居場所がほしいです。できれば、駅の近くにあれば交通の便もいいのでありがたいです。また、全天候型の子どもの遊び場があればいいと思います。今の子ども達は遊ぶ場所がないように感じます。民間団体がすればいいのでは、ということをも市長さんは言っていました。ぜひ、行政からも動いていただきたいと思います。〈50 歳代・女性〉
- ・子ども第一の市にしたい。〈40 歳代・男性〉
- ・子を産み育てることにお金がかかりすぎます。出産一時金を全額突っ込んでも基幹病院での出産費用で 10 万以上足が出ました。せめて県立病院での出産は個人負担がないようににはできないのでしょうか。また小さな子をかかえて残業もろくにできないのに、共働きだと保育料もとても高額でついでです。3 人目ではなく 2 人目から無償化して欲しい。〈40 歳代・女性〉
- ・子育てしやすい環境が欲しいです。教育費や、給食費

の補助など定期的な支援があるといいです。さらに、3人目の子どもへの支援も拡充すると、人口増加につながるのでは。子どもの遊び場が欲しいです。公園はあっても、暑い夏、雪の降る冬、雨が降ると、行き場がありません。小学生もののびのびできる全天候型の施設があればと日々思います。〈40歳代・女性〉

- ・子育てしやすい環境づくりが重要だと思います。例えば、雨の日に遊べる施設の拡充、金銭面での補助（保育料など）、子ども向けイベントの開催機会を増やす、通学路となっている道路を広くする（歩道がない通学路を小学生が窮屈に歩く姿を見かけます。時々白線を越え、車道に出る姿も）など。これからは南魚沼市で子育てをしていく上で、安全安心な環境、子育てしやすい環境を求めます。予算の都合や人員の都合等あると思いますが、子ども達の未来のためにも、少しでも検討いただけると幸いです。〈10・20歳代・女性〉
- ・子育てと仕事の両立がなかなか難しい。落雪、屋根の落ちた雪の処理で大きな川が流れているのに直接処理できず二度手間になり、敷地の利用面積が少なくなっている。もう少し色々な場面を想定してほしい。〈60歳代・女性〉
- ・子育てに関しては令和6年度の事業が「見える化」しているが、福祉、高齢者介護については既存の事業だけに見える。もっと新規事業もあると思う。最近、塩沢庁舎窓口に行ったが、対応は良かった。申請書類が多くて大変だったが親切に対応してくれた。〈60歳代・男性〉
- ・子育てのしやすさ、教育環境整備等、子どもを中心に据えたまちづくりを進めてほしいと感じます。〈50歳代・女性〉
- ・子育ての支援が増えると嬉しい。〈30歳代・女性〉
- ・子育てへの支援をもう少し充実させたほうがいい気がする。一戸建てへの支援や補助金ももう少し充実してもいいと思う。〈10・20歳代・男性〉
- ・子育てや妊娠に対する支援が年々手厚くなり、子育てに関するものにはかなり助けていただいています。〈30歳代・女性〉
- ・子育てをしていて本当に助かっています。「ほのぼのの広場」をよく利用させてもらっていました。市報について、色々な情報が載っているのですが、自分に必要な項目が探しづらいように思います。色分けされていると見やすいように思います（子育て、医療などカテゴリーで）。あとは、「その人にあったサービス」を配信してくれるサービスがあれば助かるなと思いました。今、「安心でんしょばと」を利用していますが、すごく良いなと思っています。スマホがないとできないというデメリットはありますが、先を見た時に必要になっていくのかなと思います。膨大な数のアンケートなどの実施が必要となりますが、市の細かいサービスは市民一人一人の意識を少しでも良い方へ変えることができると思います。私は南魚沼が大好きです。〈30歳代・女性〉
- ・子育て支援でひとり親の方は貰えるのに、いくらからいくらまで貰っている方は貰えないとかやめていただきたい。不公平。水道代高すぎ。何もよさを感じない。〈40歳代・女性〉
- ・子育て支援について。大人目線での子育て支援ばかりではないでしょうか。子どもの立場に立って考えてみてください。保護者の勤務時間に合わせて登園・降園します。通園を通勤と例えるならば、つま

りは保護者よりも長時間の勤務となるわけです。保護者の出勤前に登園、退勤後に迎えなので。それが0歳から可能です。保護者と長時間過ごすことだけが良いとは言い切れませんが、もっとゆったりと子育てができるように、社会の方が変わっていくことも必要なのではないかと思います。保護者がもう少し子どもと一緒にいたいと思んでもできないとしたら、子ども達は集団生活で、それに合わせて生活しなければなりません。それも0歳から。保護者や大人の都合の良い条件で、それに子どもが合わせる。何かおかしくないですか。子育てにやさしい社会ではないように思います。それから、市の保育施設ですが、牧之保育園、大人からは景色がよく見えますが、子どもの目の高さで部屋に入ってみてください。ロッカーや壁しか見えません。1日中そこで生活しているのです。牢屋みたいじゃないですか。そのような所で過ごして、感性豊かな子が育つのでしょうか。せっかくの自然、四季の変化を、生活しながら部屋から見ることができません。子どもにとって楽しくなく、つまらない園ではないでしょうか。毎日行きたいと思うでしょうか。音環境もよくありません。せっかく建てていただいた園舎ですが、これもまた大人目線、大人都合でしかないように思えて残念です。子どもにとって大事なことは何かを、建てる時によく学ばれた方がよいと思います。子どもの育ちにとって、環境はとても重要なことだと思います。〈40歳代・女性〉

- ・子育て世帯にもう少し手を差し伸べてくれる市になってくれたらありがたいです。低所得の子育て家庭には助成金などがたくさんあるけど、両親がいて共働きでも子育て世帯は本当に生活が苦しいのが事実です。そういう人にも目を向けて欲しいです。それと、日本一の米どころなのに、学校の給食の白米がコシヒカリじゃないっていうのはおかしい気がします。保育園でも未満児に白米を出すなら、以上児にも白米を出して欲しい。家から持たせると食中毒になるんじゃないか毎日不安です。〈40歳代・女性〉
- ・私は子どもが3人います。パート勤務ですが、学童利用をしています。3人の中で一番学童利用料金が高いです。仕事をしていても小学校、学童、幼稚園の保育料で引かれてしまいます。働いているのに生活が豊かになれない。子どもと過ごす時間も少なくなる。親の余裕がない。子どもに影響が出るかもしれない。子育て環境を少しでも良い方向にしてもらいたいです。病院も、小児科や産婦人科など、どんどん減っています。将来が色々不安です。〈30歳代・女性〉
- ・就労のための子育て支援策になっていないか。ひとり親のサポートも大切だが、夫婦で子を育てる方とのバランスはどうか。市議会議員の定数は多くないのか。学校、保育園の数は適正か。大胆な集約が必要ではないのか。〈50歳代・男性〉
- ・出産に当たって「めぐちゃん祝い金」などはあるが、2人目3人目の支援が近隣の魚沼市や十日町市と比べると弱い。かなりお金がかかる。保育料など、かなり高い金額を払っているのに十分なサービスを受けられておらず、転園も考えている（六日町こども園）。自分が生まれ育って愛着もあるこの地で、子どもを育てたいと思い、地元を離れた後、戻ってきたが、高齢者向けのサービスばかりで、若者に対してのサービスをもっと強化してほしいと切に願っている。〈30歳代・男性〉
- ・出産一時金が足りない。子どもを育てやすい、産みやすい環境づくりをしてもらいたい。魚沼市のよう

に。〈30 歳代・男性〉

- ・小児科を増やして欲しい。子どもを連れて気軽に入れる飲食店が少ない（ファミレス）。〈30 歳代・女性〉
- ・少子化対策や共働き夫婦が子どもを育てる上でのサポートが充実して欲しい。子ども 1 人出産したら給付金。子どもを預けられる施設を増やすなど。〈30 歳代・女性〉
- ・税金非課税の世帯にばかり優遇しないで、税金を払っている人に還元するべき。子どもが生まれるまでと小学校に上がるまでが特にお金が多く必要で、大学や専門学校でものすごくお金が必要です。大学などに行く子どもがいる世帯に特に補助が必要だと思います。給料も低いのに、子どもにお金がかかるなら誰も産まないですよ。育てられませんから。〈40 歳代・女性〉
- ・他の市町村のように子どもの医療費一部負担でなく無料化をお願いします。〈40 歳代・女性〉
- ・他市町村のように、給食費の無償化をしてほしい。せめて 3 歳以上のクラスの子に、白米を持たせるのをやめてほしい。せっかく美味しいお米があるのに、冷たいご飯はかわいそう。〈30 歳代・女性〉
- ・台風や雪など、自然現象の影響で、児童クラブが閉鎖になるのはやめてもらいたい。それにより、有給休暇が減るのは困る。何があっても仕事は休みにならないし、休めない。雪国で雪を理由に仕事は休めない。子どもが一人で家にいるより、学校が一番安全なのは。水道代が高すぎる。〈30 歳代・女性〉
- ・第 3 子の保育料を無料にして頂いてとても助かっています。「めぐちゃん祝い金」もうれしかったです。これからも政策に期待しています。〈30 歳代・女性〉
- ・保育士の国の配置基準は 1948 年以降ずっと変わらない。南魚沼市も国の基準に基づきずっと変わらない。現状では無理の数です。大人に心のゆとりがなければ、心豊かに接する余裕がありません。こども園、私立保育園ではこの基準ではありません。是非、改定をお願いします。それと同時に保育士も園内での自己研修に取り組み、自分を磨いて欲しいです。手を後ろに組んで「だめ！だめ！」の保育では子どもは育ちません。たくさんの経験を通じて育っていくと思います。根気のいる関わりですがそれが実を結ぶと大きな花が咲く。その花を楽しみにしています。〈60 歳代・女性〉
- ・保育料が高すぎる。十日町市と比べると同じ所得でも 7000 円ほど南魚沼市のほうが高い。親世代と同居している夫婦の保育料をあげた方がいい。そちらのほうが世帯収入も高く、子どもの世話ができる人数も核家族よりは多い。核家族で仕方なく 2 人ともフルタイムで働き、妻と夫の 2 人だけの収入で決められるのは納得いかない。病児保育に対応できる施設を増やして欲しい。仕事ができない。浸水などのリスクが高い。川の拡張などハード面での対策を進めた方がよい。地盤沈下対策の推進。消雪のため、地下水を汲み上げている家が多いが、やめさせた方がよい。地盤沈下を悪化させる。井戸を掘らなくても、雪かきなどすれば対応できる。高齢者などは仕方がないと思うが、井戸を掘らせすぎだと思う。鳥獣、害獣被害が多い。カラスなどが多く畑やゴミなどの被害がある。南魚沼市は夜コウモリが多く糞などは不衛生だと感じる。〈30 歳代・男性〉
- ・保育料などの支援をもう少ししてもらいたい。地域によるが全額免除のところもある。買い物のために

長岡まで行かなければならない。六日町 IC 近くのイオン周辺を発展させた方がいい。〈10・20 歳代・男性〉

- ・雨や雪の日でも少し大きな子どもでも遊べる所があったら良い。公園にもう少し遊べる遊具があると良い。八色の森公園まで行かないとないから。〈40 歳代・女性〉
- ・「かたつくり」、「めぐらんど」のような、屋内でも子ども達が遊べる施設が増えたら嬉しいです。〈30 歳代・男性〉
- ・現在 3 歳児の子育てに奮闘しています。土日の施設利用は、隣の魚沼市と十日町市で過ごすことが多いです（広くてからだを動かせる設備が多いため）。南魚沼にもそういった子どもを遊ばせる広い施設があるとありがたいです。〈30 歳代・女性〉
- ・子どもが遊べる室内施設が少ない。特に小学生向けの遊び場が公園かゲームセンターくらいしかないため、年の離れた兄弟で遊ばせるのが大変。土地ばかりの販売が多いため、建売住宅やリノベーション住宅販売をもっと増やしてもらえるとありがたい。〈30 歳代・女性〉
- ・十日町の「めぐらんど」のような大型屋内施設や公園がほしい。「ほのぼの広場」は、小 3 までとなっているが、年中の活動量でもすでに狭い。公園には体を動かせるような遊具はほとんどない。〈30 歳代・女性〉
- ・隣の魚沼市と比べると、子育て環境が良くないと感じますが（子どもの医療や手当）、南魚沼には自然がたくさんあり、冬はスキー、夏は川で泳ぐ、サイコーです。キャンプブームなので、市内のキャンプ場がもっと整備されたら、県外客など集客になると思います。ゆきぐに大和病院の診療所化は反対でした。大和地区は独特なので、六日町に行くのは大変です（入院とかの時）。松島先生が、大和病院の院長でなくなったのは本当に、本当に残念だし、市立病院として大損失だと思う。あんな良い先生は他にいない。〈40 歳代・女性〉

◆教育・文化

- ・子どもの教育レベルの向上対策。自殺者減少対策。子ども達が安心して遊べる広場の充実。例えば、廃校になった学校の一部を屋根付き広場にし、それ以外を芝で自由に遊べる空間にする。婚活支援、子育て支援の充実。例えば、若者が集まるイベントの開催、中学生までの医療、教育の無料化。大型ショッピングセンターの誘致、アウトレットモールなど。市外進学者へのリクルート情報の発信。高齢者支援も大切ですが、若者が増えない限り市は消滅すると思います。大胆な若者支援対策を積極的に進めてもらいたい。〈60 歳代・男性〉
- ・GIGA スクール構想をやめてほしい。特に 1 人 1 台のタブレット支給。メディアに長時間触れることで、脳の成長が止まることは周知の事実。本当に子どものことを考えるなら、18 歳までは、スマホも持ってほしくない。子どもの将来が心配。学力の低下、さらに国力の低下につながる。人間の脳は、年齢に応じて必要な情報や体験が異なる。その理解が私達大人には必要。障がい者を助けるだけでなく、一緒に働ける場所をつくりたい。自活できるくらい稼いでほしい。障がいと健常の間、境界領域の人が救われない現状がある。全員が幸せになれる市であって

ほしい。〈40 歳代・男性〉

- ・マラソンやスキーなど市を超えたイベントはあるが、文化的イベントは少ない気がする。今年度のオペラは楽しみにしている。市民バス、利用の経験からバス停（表示）が小さく、設置場所も分かりにくい。バスの色をカラフルで目立つ色にしてイメージ色としてバス停も同じ色使いで分かりやすく、存在感をアピールする。クマの出没が多発しているので、斬新で根本的な対策はないだろうか。つむぎなどの技術を生かす。服飾学校などと提携して織の開発や紬の利用拡張を。服飾方面では国内に限らず新しい素材、折り方を研究していると聞く。卒業制作のファッションショーの企画。〈70 歳以上・女性〉
- ・塩沢公民館のトイレは、和式が多くて不便です。今の子ども達は、最初に教わるのが洋式なので、和式を使える子が少ないと思います。屋内、屋外ともに遊べる施設がほしいです。屋内施設は対象年齢がほぼ小学生未満。屋外も公園が少なく、神社などの遊具も老朽化していて危なかったり、撤去されたりで遊びづらいです。現在使っていない施設や、学校を再利用して、十日町の「めぐらんど」や、魚沼市の「かたっくり」のような小学生でも思いっきり遊べる施設があったらいいなと思います。〈40 歳代・女性〉
- ・学校給食の自校（式）をなぜやめてしまうのか。市内に産婦人科の開業。〈60 歳代・男性〉
- ・給食センターができたことにより、自校給食が減ったこと。自分が子どもの頃のように、暖かくて美味しい作りたての給食を、今の子ども達にも食べてほしいと思っています。人件費や効率の問題など、諸課題があることは重々承知しておりますが、実家が雲洞なのですが、田んぼでの作業中、隣の田んぼのおじいちゃんが「配水ポンプを作るのはいいけど、結局作ったらお金を払わなきゃいけない。自分達は JA の買い値も下がってきて、なるべくお金をかけないように作りたいのに、本末転倒だ。」みたいな話をしていたが、印象的で、自分自身も、常時山の水が供給されている水路にまで貯水池やポンプ場を作る必要があるのか、いささか疑問を感じました。知り合いが南魚沼市で働こうと思って、賃金が安すぎてなかなか働きたいところがない、もしあっても長期雇用が前提だったり、就職に困っていると話しているのを聞いたことがありました。〈30 歳代・男性〉
- ・給食費の無料化を強く希望します。〈40 歳代・男性〉
- ・教育に力を入れて欲しい。幼児から小中学生の時代にいろいろな経験をさせてほしい。あいさつから始まり、コミュニケーション能力を身につけてほしい。日常の雑学や生活力のある子、常識を身につけて欲しい。人とお金をつぎ込んでほしい。南魚沼市で充実した子ども時代を過ごせれば、市外に出て行ってもいざ戻ってくると思っています。〈60 歳代・女性〉
- ・近年温暖化により 5 月～6 月頃から 10 月頃まで猛暑日があり、朝から日差しがきつい日が連日続く日がありますが、小学生の孫はその強い日差しのもと日陰のない道を 30 分かけて徒歩で登下校しております。途中、民家がない道が 1 キロほどあり、具合が悪くなって倒れたとしても気づいてもらえないことでしょう。また、クマに遭遇しても逃げるところはありません。田んぼだけです。この件で学校にスクールバス通学にしてほしいと再三申し出ていますが、教育委員会が許可しないからと言って一向に受け入れていただけません。もしも登下校で

命を落としたら悔やんでも悔やみきれません。早く対策を講じていただきたいです。皆仕事しているサラリーマンなので送迎は無理です。〈50 歳代・女性〉

- ・参考資料にある生涯学習について、生涯学習の本当の意味、意義を市長、職員などが理解しているのか疑問である。本市の生涯学習は社会教育です。決して生涯学習ではありません。米作りをやっている方々が、その労働が品質に見合っただけの利益があるのでしょうか。ふるさと納税の返礼品として南魚沼産コシヒカリが評価されているとのことですが、一部の業者や既得権益者が、という疑念が残ります。透明化が必要です。〈60 歳代・男性〉
- ・子どもがクラブでの活動が十分にできるようなサポートをしてほしい。大きな大会に進むためにはお金が必要になり、実力があっても続けられない子どもが多々いる。全国レベルから世界を望む子どもを育てるまちづくりを推進してほしい。〈70 歳以上・男性〉
- ・市と関連する機関の職員の数を増やしていかないと、これからの事業を進めていくのには難しいと思う。自分で考えを发表或し、物事を考える力、表現力が不足している今の小中学生。学校の先生の仕事量を減らし、生徒とのコミュニケーションが常にできる状態にあり、ゆとりの時間と気持ちを持った先生が育っていること。それには先生の数を増やすこと。先生達も上下関係なく、考えを言い合えて学校運営に心を注ぐことができる、そんな明るい学校。デジタル化一辺倒になると人の前で自分の考えを言える場が少なくなるのでは。給食センター統合について、出来上がった給食を長い時間をかけて運ぶのでは、食の安全はどうなのか。〈70 歳以上・女性〉
- ・市報に要望。事務連絡のみの紙面では味気ない。文化の高さを維持することも大事。野草の説明、小鳥の紹介、偉人の話など、知ること南魚沼市に愛着を持つ人が増えると思います。〈70 歳以上・女性〉
- ・若者がこの地を離れていくのは、子ども時代（保育園～高校生ごろ）に、よい体験、よい思い出がないからだと思っている。学校教育を中心として、子ども達が楽しいところだ、よいところだ、大人になってもここに住みたい、と思えるような体験が必要である。この市の魅力は、子どもに伝えるべきである。南魚沼市独自の教育をお願いします。その魅力を感じた子育て世代の移住も期待できると思う。回答をお願いします。（市報か何かで市長のお考えと対策を）〈40 歳代・女性〉
- ・小、中学生の学力向上のためには、指導力のある教員の確保が必要だと思います。〈60 歳代・女性〉
- ・小学校も中学校も、学級崩壊が起きているのが現状のようです。教師の「ホワイト化」を進めるのはとても良いことですが、子どもへの支援に手が足りなくなるのは、教育の本末転倒です。先生方の負担を減らしつつ、子ども達への充実した指導体制が整うことを望みます。〈40 歳代・女性〉
- ・市内小学校について、少しずつ改修するのではなく、早く統合して、塩沢、六日町、大和の 3 つにしたらいと思う。市民病院で朝番の窓口の方々の揃っての挨拶は不気味で、違和感がある。嬉しくない。子どもの学力低下がひどい。学校の先生に任せずに、市としてせめて「宿題は絶対に提出するものだ。しないのは恥ずかしいことだ。」と、もっと厳しくしてほしい。そもそもは各家庭の責任だと思うけれど、親に任せていたらもうダメだと思う。小学生の子ども親として、市や学校が厳しく指導することに文

句は言わないので、頑張ってもらいたい。学力順のクラス分けでも良いと思う。〈30 歳代・女性〉

- ・中高一貫校あったらいいと思います。市長もそんな考えないみたいだし、だめだね。〈60 歳代・男性〉
- ・大学生にもお金を支給してほしい。眼科を作してほしい。基幹病院は初診料が高額すぎる。大崎小学校の前の通りが、大型車が多く通り、スピードをかなり出して危険。〈50 歳代・性別その他〉
- ・大和地区の B & G 体育館、さわらび練習室の器具、備品の劣化がひどく、しっかりと管理してほしい。〈70 歳以上・女性〉
- ・天候に関係ない子どもの遊び場の新設。例えば、十日町市の「めごろんど」。水道料金の減額を。〈70 歳以上・男性〉
- ・塩沢地域にばかりスポーツ施設（トレーニング施設）が充実しすぎている。大和地域にもお願いしたい。塩沢ばかり力を入れすぎ。高齢者の一人世帯に除雪問題は大きい。雪下ろし等、無償化にすべき。路線バスの充実化。せめて高校の通学時間のバスがほしい。駅までの送迎がないと通学ができないのは不便。市民バスを回せないのでしょうか。子育て支援、高齢者もお金はかかります。病児保育の増設。小中学校のタブレット学習の見直し。タブレットだってメディア。メディアに触れさせて良いのでしょうか。もっともっと市民の声を拾っていただきたい。住みやすい市に。〈40 歳代・女性〉
- ・自然を活用した遊べる施設や総合体育館があると良いです。南魚沼市はスポーツできる総合体育館がないですね。十日町市はいっぱいあります。子供達、家族で遊べる施設がないです。市がどんなまちづくりをしたいのか全くわからない。市民のために税金を使っていますか。無駄な入札発注してないですか。〈年代不明・性別不明〉
- ・冬のスキー・スノーボードをもっと地元の子どもにしてもらいたい。そのためのイベントなど企画してほしい。スキー授業ボランティアに行っても、年 1 回しかスキーをしない子が多くてびっくりした。せっかくすぐ近くにスキー場があるのだから、ぜひ子ども達に冬の遊びとしてたくさん滑ってもらいたいです。〈40 歳代・女性〉
- ・文化、スポーツの発展。〈60 歳代・男性〉
- ・文化とスポーツを見た時、企画や支援のウェイトバランスがスポーツ重視と感じる。観光事業にひどく偏りがあり、民間の小さな観光従事者は、観光事業が誰に向け、誰のため、何をしているのかわからないということをよく耳にする。市観がどういう法人で、商工観光課との棲み分けがわからないという声も聞くし、私自身もそう思っている。市民への周知の方法のあり方を改善すべきと思っている。せっかくの情報を積極的にゲットしようと思う市民以外の市民にも知ってもらうための策をぜひ検討していただきたいです。〈60 歳代・女性〉
- ・いろいろ工夫されて過ごしやすいと思います。しかし、発達障害の児童についての願いがありません。いろいろのスポーツクラブがあり、誰でも入ってよいように思えますが、軽度の発達障害の児童は勉強もそうですが運動も定型発達の子どもから見ると劣ります。それで、どうしても、そういう子どもはやってみたいでも申し込みできません。本当に野球とかサッカー、たくさんありますが、手がかかる。みんなに迷惑をかけたなら申し訳ないと思い、申し込みできません。どう

ぞ、軽度障害の子どもが放課後とか夏休みに他の子どもと同じように遊ぶことができる場所を作ってください。都会はそういう療養施設がたくさんあると思います。この辺にはないです。今プールでチャレンジコースがあります。いろいろの障害や年齢の人がいます。これも半年しかありません。みんなとても楽しそうにプールに入っています。定型の子は 1 年を通して通うことができます。これも大きな差別だと思います。パラリンピックの時だけ騒いで少数の人だけ指導を受けているように思います。重い障害でなく軽度の子ども達にも療養施設で楽しめる場を作ってください。〈70 歳以上・女性〉

- ・人生 100 年時代に向かい、高齢者が寝たきりにならないことが大切だと思います。その中でプールに通いましたが、女子シャワー室の整備をお願いしたい。トイレも洋式がないと不便です。社会的に子育てや若者向けの予算が多いですが、高齢者がいきいきと暮らせる社会が充実すると、寝たきりになったり、認知症になる人数も減少するのではと思います。各地域に老人のお茶会の組織を作るよう行政の指導をお願いしたい。個々に声を出しても賛同者が少なく実現できないため。〈70 歳以上・女性〉

◆環境共生

- ・物価高騰を抑え、柏崎刈羽原発から安全に避難でき、かつ再生可能エネルギーに変え、安全安心できるエネルギーを活用して次世代につなげることをもっと真剣に考えていくべきではないでしょうか。〈70 歳以上・男性〉
- ・ゴミ収集について、各地区共に週 3 回収集車が来ているが、祝日には収集が休みとなります。日常生活で祝日でもゴミは出ます。業者も休みが必要だとは思いますが、業者を増やすとか色々考えてもらい、週 3 回の収集を休まず行ってもらいたいと思います。年末年始、ゴールデンウィークも通常通りで。〈60 歳代・女性〉
- ・ダンボールの無料回収ボックスを設置して欲しい（地区ごとに、24 時間 365 日投函可能）。交通弱者の方達もいるため。市民会館のピアノを、三条市のように、使用していない時に予約制で個人貸ししていただきたいです。イオン周辺（旧パチンコ FUJI 跡地）に新駅（ほくほく線）をつくってほしい。〈40 歳代・女性〉
- ・十日町市、三条市など他の市町村は、コンテナ等で瓶や空き缶の回収を無料で実施しています。南魚沼市では、有料でゴミ袋を買う必要があります。他でできているので南魚沼市でもできないか検討してください。十日町市ではプラスチック容器も回収しています。地元のスーパーでは回収箱を用意していますが、南魚沼市でも協力することでゴミの減量にも貢献できるような気がします。瓶と空き缶も大切な資源。無料回収をよろしくお願いします。〈60 歳代・女性〉
- ・東地区の住民の生活圏はほぼ 90%以上が魚沼市に依存していると思います。買い物、ガソリンなど。今回ゴミ焼却場が、塩沢の現在している隣にできることに決まっていますが、何とか魚沼市の焼却場に旧大和町の住民は持ち込みができるようにできないのでしょうか。今現在と同じように。距離的に見ても約 3 倍近くあり、時間も相当かかります。切にお願いします。〈70 歳以上・男性〉
- ・南魚沼市は雪が降るため暮らしに金がかかりすぎる。

昔、井戸税をかける話があったが、とんでもないことだ。〈70 歳以上・男性〉

- ・有効活用できていない自然環境や土地がとても多いと思います。観光業が中途半端な感じがします。〈40 歳代・男性〉
- ・有料ゴミ袋で 20L 用があると良いと思っています。特に可燃用、一人暮らしで夏場にはこまめに出したいです。30L、45L では大きくてもったいないですし、10L では小さすぎます。〈70 歳以上・女性〉
- ・旅行などで一時的にでもこの地を離れて帰ってくるとホッとするのは、やはり自然環境が素晴らしいからだと思います。その上で、これから年を重ね、車の免許返納と考えると、買い物や通院の移動の不安はあります。公共の路線バスの本数は年々減り、市民バスは乗っている時間が長く、体調が悪くなることも。また有害鳥獣、猿やハクビシン被害の話もよく耳にします。災害に強く、年寄りも若い人も、長く住んでいる人も、転入した人も安心して横のつながりを感じながら暮らしていける市になると良いと思います。〈70 歳以上・女性〉
- ・地球上が暑さに耐えています。世界中のことなので仕方がないことですが、AI が一番電気を消費するとか。暑くてクーラーで、また地球を暖めているような気がしてなりません。温度が上昇して、山火事、パルプが必要で森林を切る、何だか人間だけが地球を壊しているようで、他の動物達に申し訳ないようです。もう少しみんなが昔の生活とは言いませんが、考えて生活していくことはできないでしょうか。私達はもう先はそんなに長くはないのですが、後に残る人達を心配しています。消費を考える。幼い時からの生活スタイルを、孫たちを見て、周りを見て全人類が考え直すべきです。私も含めてですが教育です。終戦後生まれなのに、あの物のない生活を忘れてしまいました。でも、あの生活に帰りたくはありません。今考えると、親も私達も涙が出るほど気の毒でした。〈70 歳以上・女性〉

◆都市基盤

- ・横断歩道や、一時停止線の白線が消えかかっているところが多い。八海高校方面に渡るところは保育園から小中高校の通学路になっているのに、横断歩道手前の白いひし形マークがほぼ消えている。その他にも、子どもや学生の安全を考え、市内の主な通学路の白線は整備してもらいたい。庁舎全体に言えることですが、挨拶がなく、窓口に訪問しにくいし、暗い雰囲気漂っていて、庁舎に入りにくいし、利用しづらく感じる。〈50 歳代・男性〉
- ・高齢者の方々からのお茶飲み話で交通の不便さを耳にします。福祉バスなどの便数を増やしていただけたらありがたいです。特に病院から自宅への帰路に時間がかかる。経由地が多すぎて、自宅が見えても降りることができなくて、遠回りしてやっと家の近くで降りた、などのお話を聞きます。我々もいずれ将来同じことで不安になるのかなと思うと、今から様々な準備をしていかなきゃと思います。また、子ども達が外に出て経験し、いずれ帰ってきて大いに活躍できる南魚沼市であってほしいと、バトンタッチできるよう私も頑張ります。〈50 歳代・女性〉
- ・子ども達が、雨の日でも楽しく遊べる広い場所を早急に作って欲しい。近場でないのは南魚沼市くらいです。少しの遊具で、雨が降ると行く場もないのは本当にかわいそう。保育所も未満児の保育料もなしという市もあるのに、ここは高すぎる。なぜ子育てする親をもう少し応援できないのか不思議です。未満児を預けてまで仕事を続けたい人の気持ちを全く考えていない。一番の希望です。〈60 歳代・男性〉
- ・車の運転ができなくなった時が不安です。どうやって生活するのか、通院、買い物などなど近い将来一人で住むことになります。あまり考えすぎてもしょうがないですが、体も悪くなっていくばかりだし、老人福祉施設、老人ホームは長岡の方の施設とか入れるのでしょうか。土地や家等は処分しても構わないし。長岡や新潟の方が生活しやすそうだし。〈60 歳代・女性〉
- ・一中学校区内に中規模以上の公園、または未就学児や小学校低学年が屋内で遊べるような施設がほしい(十日町市「めぐらんど」のような)。極端に使用頻度が少ない林道、市道の保全活動を各行政区に委託しているのは良いが、丸投げしすぎではないか。ラジオでは配信しているが、市議会の見える化をしてほしい。保育園、学校等への提出書類が web でできるようにしてほしい。〈30 歳代・男性〉
- ・浦佐駅は新幹線が止まるのに寂しいです。浦佐駅からすぐのところに都会の人向けにベッタタウンを作るとか。可能であれば JR に掛け合って浦佐発の大宮、上野、東京止まりダイヤ作ってもらえば良いことだし、定期も定住者補助とかあればどうか。また、浦佐駅から真っ直ぐ行ける広大な土地に総合アミューズメント施設誘致して、屋内遊園地とか競馬、競輪、競艇の場外発券所があったりすれば大人も子どもも集まるかも。〈40 歳代・男性〉
- ・河川、道路の環境整備を行ってほしい。〈60 歳代・男性〉
- ・魚野川、国道 17 号を境に、西側に商業施設や公共施設が集中しており、東側はほぼない。今後、車の運転ができなくなったらとても不便になる。また水害になった場合、避難場所がなく不安です。交通の便が良いことがメリットだと思いますので、南魚沼市に行ってみたいと思ってもらえるような魅力あるまちにしてください。〈70 歳以上・女性〉
- ・空き家情報の発信を積極的にするべきと思う。観光 PR は塩沢が多い。大和地域をもっと PR してほしい。浦佐駅をもっと活用し、人が来る機会を作してほしい。〈40 歳代・女性〉
- ・空き家対策。取り壊し補助金の増額。1 人暮らし世帯への支援の充実。人口対策。企業誘致。災害対策。〈60 歳代・男性〉
- ・銭湯公園の利用促進。子どもが遊べるスペースを作ったり、もっと子ども連れが弁当を持って 1 日ゆっくり遊べるように工夫してほしい。せっかく良い場所にあるし、春の桜だけでももったいない。道の駅南魚沼の施設拡大と県外客および市民の誘客方法の検討。群馬県川場村の田園プラザ等を参考に。兼続公祭りを六日町祭りへの名称変更と市民の参加拡大。本来、八坂神社の大祭であることで伝統を守ってきたのではないかと。特に上町 1 丁目はカヤの外に置かれてしまっている。〈70 歳以上・男性〉
- ・10 年ほど前に、長岡から転勤と親の介護で来ました。水道料金が高いなあと感じております。もう少し何とかならないのでしょうか。市民病院の待ち時間が、どの科も異常に長い。医者が少ないのはわかるが、対策してほしい。老人の車の運転が酷すぎる。循環バスなど運転免許を返納した場合のことを考えて

いただきたい。〈60 歳代・女性〉

- ・ウォーキングや自転車が通りやすい道路の整備を行ってほしい。〈30 歳代・女性〉
- ・交通の便が少し悪い。電車、バスの本数が少ない。冬の除雪が行き届いていない。車の通りが多いところに消雪パイプが設置されていない。〈10・20 歳代・男性〉
- ・公園が多くあった方がいい。〈70 歳以上・女性〉
- ・自分が子育ての頃、小さい子を遊ばせる公園が少なかったですが、孫を連れて行ける公園ができて嬉しいです。道の駅のような、人が集まって飲食、買い物ができる場所が増えれば、人がもっと集まると思います。雇用も増えるので、もっと店などがあればいいかと思います。浦佐駅を中心をお願いします。〈40 歳代・女性〉
- ・親類が宮崎に居住していますが、宮崎に比べ子どもを連れて遊ぶところが少ないように感じたそうです。ソフト面、ハード面においても。帰省シーズンや行楽シーズンなどのイベントにおいてはもっと PR に力を入れて欲しいです。市の一次産業の方向性は、高付加価値商品の生産や、既存生産物に対する付加価値を高め、利益を上げる「豊かさ」を目指すのか、それとも経営的戦略眼で生産を効率化ないし画一化し、産業を維持していくことによる「貧しくならない」方向を目指すのか、どちらでしょうか。〈70 歳以上・男性〉
- ・交通弱者への不安を除けば、南魚沼市への不満はありません。生まれ故郷の六日町を含む南魚沼市は本当に良いまちです。南魚沼市は、自然や温泉、観光、美味しい食べ物にも恵まれ、人情味もある、南魚沼市はもっと全国的に認知されるべきです。〈60 歳代・男性〉
- ・高齢で足腰が悪いので市バスを利用していますがバス停の設置を見直してください。〈70 歳以上・女性〉
- ・高齢になってきたため駅近の小さな家に住み替えを考えているが、中古住宅情報が少ない。良い場所に空き家はたくさん見られるが、交渉先や手に入る情報も少ない。若い世代の人口を増やすことは最大の目標と思いますが、高齢になっても快適に過ごしている親を見たら都会にいる子ども達も戻ろうと思える。何と言っても人の思いやりは深く、自然は豊かで食べ物は美味しいのですから、住環境、働く場所、企業、教育水準を上げることが充実させて欲しいです。私は南魚沼市が好きです。〈60 歳代・女性〉
- ・高齢化が進む中で、高齢ドライバーが多くなる。免許返納できない事情もあると思うが、免許がなくても住める地域をお願いしたい。買い物サービス、医療などでサービスを拡充してほしい。これからの高齢者は、ネットなどで何とか生活できるが、大多数の現在の高齢者は、今後不安が残るのでは。高齢者が高齢者の介護をするようなことだけは避けてほしい。〈40 歳代・男性〉
- ・高齢化が進む中で無料の交通手段の設置。〈50 歳代・男性〉
- ・高齢者が自動車免許を返納しても大丈夫だと思えるように、市民バス、路線バスの運用を更に整えて欲しい。〈10・20 歳代・女性〉
- ・高齢者が多い中、交通機関の整備が不十分と考えます。バス停までが遠く、高齢者が車に乗らざるをえない環境にあります。例えばタクシー利用推奨、補助金の交付などで対応できないでしょうか。スポー

ツ施設の充実、子ども達にとって魅力的だと思います。しかし、費用対効果はいかがでしょうか。今後、子ども達の身体の成長とともに、スポーツ競技として大きな功績に繋がることを期待しています。〈30 歳代・女性〉

- ・高齢者の自動車免許返納について。返納してしまえば、買い物、病院への足がなくなる。家族も分かってはいるが、生活していくには働かなくてはならない。バスで出かけるにも、バス停まで歩くには距離がありすぎる。バスの本数も少ない。タクシーは高い。市民バスだけでは用は足せない。地域ごとに病院の予約日等を合わせる、それに応じてマイクロバスで送迎など、連携して考えていかないと、本人も家族も免許返納は簡単には行かない。〈40 歳代・女性〉
- ・年寄りが増え、免許を返したとしても、買い物に行けない等、困りごとが多い。どうにかしてほしい。子どもが減少しているため、学校を一つにしてほしい。どのように進んでいるのか保護者に計画段階等を知らせてほしい。〈40 歳代・女性〉
- ・年齢が高くなるほどに不便なことが増えてきます。例えば交通面。病院に行くのが遠くなります。役場、農協、郵便局、買い物、すべてです。今は車の運転ができていますが免許証返納も目の前です。行動に制限があるようになると認知症になるし、心配もあります。老人たちの生活の動きを止めない社会を考えてください。〈70 歳以上・女性〉
- ・買い物は、車を使用しています。免許を返納した時に買い物をどうするかが心配です。〈60 歳代・女性〉
- ・病院に行くため市民バスを利用したが、本数が少なく、とても不便だった。乗客はいつも少ないので、もっと小型バスでいいのでバスの本数を増やしてほしい。普通免許で送迎していただくとありがたい。〈70 歳以上・女性〉
- ・免許返納したり、老人家庭だと町から離れていると交通が不便。買い物や病院に行くにも負担がかかり、年金だけでは苦しいと思います。タクシー割引だったり、何かしらの支援が必要かと思います。〈40 歳代・女性〉
- ・免許返納しても、暮らしが不便にならないように、市民バス等の運用を充実させてほしい。〈60 歳代・女性〉
- ・路線バスが土・日になくなっているのですが、もし可能であれば少しずつ増やしていくことはできますか。なぜなら田舎に住んでいるので、仕事が始まれば、土・日が困ることもあります。もし今年中に車の免許を取れば、この話はなしです。ですが、分からないので一応お願いします。〈10・20 歳代・男性〉
- ・山や広々とした自然が良いので、その景観を保持するため、国道 17 号線の東、高い山の方など障害になるようなものはセーブするようにしてほしい。道の街路樹は狭いところなど、種類を十分考えて植え、剪定、草取りなど定期的に行う必要があると思います。公共建物はバリアフリー化、トイレは早く洋式化、破損故障は早く直し、周囲は癒し憩いの場所として花や植物を植えたり、整備して欲しいものです。田舎暮らしが良くて東京より結婚して塩沢に来て 50 年以上経ちました。若い時は雪にもめげず、山登りや遠出も何のその、苦とも思わず過ごしてきましたが、あっという間に年を取り、ついにこの 1 年前より一人暮らしになりました。筋力、気力、体力低下、体が思うように動かず、2 キロぐらいの荷物も

やっと持って、歩行は杖使用。まさにフレイル状態。車の運転をして買い物、外出は必須。これから冬季になると除雪は思うようにできなく、消雪の設備は色々つけて作動させていますが、生活が不安なこの頃です。〈70 歳以上・女性〉

- ・市議会議員の視察旅行が多く感じます。本気で視察に行くならその目的の専門業者と一緒に行かなければ、素人だけで見に行っても意味をなさないと思います。その予算の半分でもお年寄りの除雪予算にして欲しいです。建設業で除雪をして市の定める時間を超えると本人負担。そのお金をお年寄りは銀行に行く術がないので、業者が集金にまた行かなければなりません。年金でお金がないところを、雪が多い年は 1 ヶ月で 10 万円とか支払うことになり。支払うお年寄りの愚痴を聞きながら集金に行くのはかわいそうで、雪が多い年だけでも追加予算を出すなどして欲しいです。お年寄りも年金で生活がかかっていて支払いが大変そうで、分割でも良いのですが、お年寄りはかえって気にして早く支払いしなきゃという気持ちです。〈50 歳代・女性〉
- ・市庁舎のトイレを全て洋式にしてほしいです。洋式の個室が空いていないことがあり、困ったことがありました。今回のアンケートで、自分が市のことをほとんど知らないということが分かりました。市報の他にも目を向けて、関心を持っていかなければならないと感じました。アンケートを実施してくださいありがとうございます。〈10・20 歳代・女性〉
- ・市道杉之島線、国道 17 号合流信号の改善。〈70 歳以上・男性〉
- ・市内巡回バスのルートと時間をもっと増やしてほしい。〈50 歳代・女性〉
- ・市民バスなどの運行経路の充実。特に病院。〈60 歳代・女性〉
- ・市民は冬季の克雪に苦労している。雪が降らない地域に比べ数倍の支出を強いられている。雪が多いため移住、定住が進まず、さらに定期バスや鉄道の便数も少なく、車がないと生活できない。高齢者ドライバーの増加にもつながる。スキー場を中心とした雇用事業が展開されているが、市民の冬季は何と言っても克雪問題である。〈70 歳以上・男性〉
- ・市民病院へのアクセスを良くしてもらいたい（免許返納した時に）。〈60 歳代・男性〉
- ・私はリターン組です。賃金の低さなどなど感じながら現在に至っています。その中で一番は「車がないと生活ができない」です。高齢者への免許証返納を全国的に促していますが、返納後の生活手段、方法が希薄だと思っています。バス券、タクシー券の配布は知っていますが、「バス停まで歩けない」「タクシー券利用は 1 回につき 3,000 円まで」とか、広い市内、病院や買い物でも数千円かかります。現況は核家族や同居者が勤め人の方が多いと思います。打開案があるわけでもなく申し訳ありません。タクシー券より商品券が良い、食品巡回バスが欲しいなどの声も耳にします。良案を期待しています。〈70 歳以上・女性〉
- ・私はここ数年でとても生活に不便を感じています。買い物にしろ、病院にしろ、老人にはとても厳しく思います。特に東地区は交通の便も良くないので、老人が一人で出掛けて外出を楽しんで元気に暮らせるようにできるようにお願いします。〈60 歳代・女性〉
- ・私は長崎ですが、家の前の道路がかなりひび割れて

おり、散歩やシルバーの方が、シルバーカーを押して歩く際に引っかかり、転倒の危険が考えられますので舗装を要望します。担当者の方は車に乗って走行しても分かりづらいかと思いますので、実際に歩いて確認願いたいです。〈60 歳代・男性〉

- ・自然が豊かで空気が美味しいということを理由に、今ある空き地、空き家を活用し、人口増ができればと思うことがあるが、交通機関がもう少し良くなないと無理ではないかと思う。〈60 歳代・女性〉
- ・車が運転できないと医療機関や買物にも行かれない。高齢になる程、外出に不便さを感じる。高齢者が住みやすいまちづくりをして欲しい。〈70 歳以上・女性〉
- ・車を運転できる世代は良いが、免許返納後一人暮らし世帯に買い物、医療機関の受診など移動手段が困らないよう、ドアトゥードアの支援が必要と思われる。地域の商店がなくなり、移動手段の整備を一体化した買い物難民対策をお願いしたい。児童数の減少に伴い、旧町単位に 1 つの小学校になる日もそう遠くない。地域学習が広範囲になる可能性がある。今まで通りに実施できなくなるのは致し方ない。どう折り合いをつけるか。社会科の副読本に良い編集を期待します。〈60 歳代・女性〉
- ・若い頃は気にならなかったけど、除雪作業が年々つらくなってきた。何かいい方法はないものかと考えています。〈60 歳代・女性〉
- ・住民の高齢化により、冬季の除雪ができなくなる不安が大きい。冬季の閉じこもりと運動不足による筋力低下、フレイルなど健康問題は大きい。春になれば田畑で動くが、稲作放棄が多くなっていく。農地の活用問題。少子化。子どもを育てるより自分が生活することが優先など、色々大変なことばかり。南魚沼市の特性に合わせたモデル的な事業に挑戦してほしい。〈60 歳代・女性〉
- ・徐々に高齢化となり、市民バス等の増加を希望します。移動販売の促進をお願い致します。〈60 歳代・女性〉
- ・少子高齢化が進む中、車が必要なこの地区で高齢ドライバーが、速やかに免許返納ができる体制。買い物、通院、などができる、市民バス、市民タクシーなど、細やかな市民の足の確保。〈70 歳以上・男性〉
- ・少子高齢化による人口減少。若い人、高齢者が住みやすいまちづくり。〈60 歳代・男性〉
- ・上下水道料金を引き下げていただきたい。特に使用料ゼロに対して。〈60 歳代・男性〉
- ・人口減少のため、これからは、空き地も多くなり、さみしい次第。〈70 歳以上・女性〉
- ・水道代が高いので何とかならないでしょうか。〈60 歳代・女性〉
- ・水道代が高かったり、税金が高かったり、生きているのが大変です。〈60 歳代・女性〉
- ・水道代が高すぎ。40 代にとって魅力が少ない。雪でお金がかかりすぎる。関東・関西に比べて不利。保守的な政治家しかいない。若い世代が参政しない。思い切りの悪さを感じる。地域の魅力をもっと発信してほしい。〈40 歳代・男性〉
- ・水道代が高すぎる。〈40 歳代・性別その他〉
- ・水道代はどうかにならないか。SNS で他人の文句や悪口を書き込む議員はどうにかありませんか。〈40 歳代・男性〉

- ・水道代を安くしてもらいたい。IC 近くに商業施設や、今人気のサウナなど、集客できる施設を作ってもらいたい。それにより新たな雇用も発生すると思われる。〈50 歳代・女性〉
- ・水道代高い。若者が地元に残るメリットがほぼ無い。八色の森公園とかじゃない、住宅街の中にある小さい公園の老朽化やばい。古すぎ。危ない。〈10・20 歳代・男性〉
- ・水道料の値下げを希望します。〈60 歳代・女性〉
- ・水道料を下げてほしい。〈70 歳以上・男性〉
- ・水道料金が市外に比べて高く、生活を苦しめている。生活保護の人達が、吸ってはいけないところでタバコを吸っている姿が目立つ。自分の引かれる税金でタバコを吸われているのかと思うと気分は良くない。生きていくのに必要最低限の金額にしてほしい。犬の狂犬病注射の案内が悪い。市報に、その日に打てない場合、はがきに印をつけてもらえば、動物病院で同じ金額で打てることも案内するべき。〈40 歳代・女性〉
- ・とにかく水道料金が安い。〈60 歳代・男性〉
- ・生まれ育って愛着のある南魚沼市なので住み続けたい気持ちはあるが、やはり水道料金は高すぎるのではないかと。この先も上がり続けることへの不安はある。その他、冬の豪雪時は雪片付けなど大変で、今はまだ体力的に大丈夫だが、この先、年をとったり同居の若者がいなくなったら無理なので、行政で対応してくれたら助かると思う。〈50 歳代・女性〉
- ・雪に依存して暮らす雪国だけれど、困りもの。対策宜しくをお願いします。〈70 歳以上・女性〉
- ・雪を処理するような補助金を出してほしい。高齢者、免許返納に対する対策（タクシー券等）。小規模農業者に対する何か。子どもの手当は、年齢が上がるに連れて増えてほしい。ハローワークの交通の便が悪い。〈30 歳代・男性〉
- ・前にもこのようなアンケートで書いたのですが、市道の整備がされない。アスファルトのひび割れ等がまだたくさんある。六日町の商店街を歩いていると、各飲食店内で禁煙になっているせいで、各店の前に灰皿が置かれ、喫煙している人がいるが、通行人にとっては受動喫煙となっています。喫煙場所を設置するなどの対応をしてください。〈40 歳代・女性〉
- ・前々から思っていたことだが、毎年春には必ず一時停止の白線や歩行者の歩く線をひき直して欲しい。冬の除雪機などで薄くなり、見えないところがとても多い。真っ白な、はっきりした線があることで車のドライバーも子どもや歩行者、自転車も安全に生活ができる近道になると思う。事故の数ばかり取り上げられるが、こうしたできることを全くしないで、毎回、毎回、交通安全について語る県警などに何とも言えない思いが湧いてくる。〈50 歳代・女性〉
- ・孫が安心して遊べる広い場所が六日町地区内にないので残念。息子夫婦 30 代の意見です。旅行集合場所が六日町インターだったが、車が置けず大変困った。空いている駐車場は何のためなのか。歩道にガードレールが必要と思う場所がある。上町から六小までの通学路。水道代が高い。〈60 歳代・男性〉
- ・他市町村から来て、水道料金やごみ袋の価格が高く、驚いた。家庭の負担軽減を考えてほしい。〈40 歳代・女性〉
- ・賃貸が古いところと、家賃が高いところが多いです。

改善してほしい。〈10・20 歳代・女性〉

- ・通学路が整備されていない。特に六日町小学校付近。子どもの遊び場がない。〈70 歳以上・男性〉
- ・登川河川公園の県外の人に対して使用料をとるべき〈40 歳代・男性〉
- ・土地改良に田林畑を出して 4 年から 5 年、いまだに完地しないで税金を払っている。田を買った人は収入があるのにおかしい。なぜ工区割りをしないのか。あと何年林畑の税金を払うのか。詐欺ではないか。委員会に出してください。子どもがリターンできる街にしてください。〈50 歳代・男性〉
- ・冬期の湯沢に押寄せるインバウンドを、南魚沼市へ回避させる交通環境の整備を希望。〈50 歳代・男性〉
- ・南魚沼市に嫁ぐ際、お米が美味しいと羨ましがられた反面、積雪の心配を多数の人にされました。「雪があつて住みにくい」は、スキー・スノボと無縁の人が持つマイナスイメージだと思います。実際、融雪費に毎年多くの出費があり、地域の仕事も増えることで、金銭的、肉体的な負担は県内でも雪が積もらない地域に比べかなり多いです。それらの不安を払拭できる計画や説明が、住んでいる人以外（移住した人）にもあると良いと感じています。これからも住みたいと思えるように。他は南魚沼市に不満や不安はなく、大好きな所です。〈40 歳代・女性〉
- ・舗装道路が悪いので改善を求めます。子ども達が南魚沼市に住み続けたいと思うことができるような魅力的なまちづくりをしてほしい。〈10・20 歳代・女性〉
- ・融雪用の井戸掘削条件の緩和。建物の面積でなく土地の広さで吐出量を決めるようにする。〈70 歳以上・女性〉
- ・もっと住みやすくしてください。〈60 歳代・女性〉
- ・将来、車が乗れなくなる年齢になった時に、子どもが帰って来れない南魚沼市だと困る。雪が降らなくても観光客に来てもらえる観光、ショッピング、食事処など目指してほしい。〈50 歳代・女性〉

◆産業振興

- ・私は山際に住んでいます。5 年から 10 年後には山際の田畑等の耕作者がいなくなり、管理する人もいなく、ヤブになることが想定され、サル、クマがもっと近づいてくると思い、怖くなります。〈70 歳以上・性別不明〉
- ・若い人が行きたいと思う施設が少ないと思います。アウトレットやショッピングモールの誘致も必要かと思っています。1 人 1 台、車の所有が必要な地域に加え、降雪による備えにもお金がかかります。その割に給料水準が低すぎます。周りを見渡すと自分の家族も大学進学から他県で就職、結婚、老人の単身世帯で将来の不安、大勢います。これでは人口減が続くと思います。〈60 歳代・男性〉
- ・米以外の南魚沼特産を作る（スイカ、舞茸、しいたけ）。水田の水対策が必要。ふるさと納税で提供する魚沼産コシヒカリの危機。二等、三等米では米農家が消滅する。ただでさえ高齢化。〈50 歳代・男性〉
- ・「市内のスキー場共通シーズン券」を販売してほしい。高校生以下やその保護者を対象に販売している市内のスキー場共通シーズン券を市内居住者または市内勤務者を対象に販売してほしい。理由としては、南魚沼市の大きな観光資源であるスキー場の共通

シーズン券を販売することで、地元の方から多くスキー場に足を運んでもらい、地域コミュニティの構築や経済活動の活性化、高齢者を中心とする健康維持を促進することによる社会保障費の軽減に繋がると考える。市内のスキー場の数は、以前に比べ減少傾向にあるが、まだまだ全国的に見ても数多く、オリンピックメダリストを輩出するなど大きな地域資源であるスキー場の有効活用期待したい。そして、転勤などで南魚沼市へ来た人が、ウィンタースポーツの魅力を感じ、移住や二拠点居住に繋がるきっかけになれば、南魚沼市の更なる活性化に繋がるのではないかと考える。〈10・20 歳代・男性〉

- ・50 歳代の子ども達は南魚沼に戻らず、この先収入なく社会から孤立することが不安です。駅前通りにおしゃれなカフェランチのお店を。併設でその都度ワンコインで参加 OK な体操やダンス教室、マッサージ、料理教室その他あり、カフェランチだけ元気な高齢者を登録制で雇用してもらいたい。高齢者スタッフがおしゃれな制服を着てきれいに。お客さんは学生さん、子連れママ、高齢者など幅広い人達が居心地の良い場所に。もし次に駅舎を新しくする時は、田舎っぺい「となりのトトロ」を醸し出すような駅舎を（六日町駅）。駅通りが飲み屋さんばかりで昼間活気がない。寂しいです。市で空いている土地や建物を購入または借り上げて、やる気のある若い人に安く貸し出し、気軽におもしろいお店をやってもらって、活気のある商店街を。新潟市の「ぬったり商店街」（沼垂テラス商店街）のような。銭湯公園には子ども達が楽しめる遊具がないため、できればお隣にでもミニ遊園地のような広場があったらいいですね。〈50 歳代・女性〉
- ・こしひかりが誇りだから、もっと農家や農地を大切にしてもらいたい。農業施設の保守保全に市独自の補助金がほしい。〈60 歳代・男性〉
- ・コシヒカリの産地であるが、現在、大規模農家への融資はよく耳にするが、中小規模農家への融資はあまりないように思う。みんなで南魚沼産コシヒカリを盛り上げていけるよう、中小規模農家への融資、補助を願いたい。〈40 歳代・女性〉
- ・これからは高齢になっても働かないと生きて行けない時代になりつつあるので、雇用を増やして欲しい。障害者がいる家庭に何かしら補助をして頂きたいです。〈60 歳代・女性〉
- ・コロナ以来色々な祭りや行事が縮小され寂しい。昔は祭りが近づくと「うきうき」した。そんな賑わう気分をまた味わいたい。60 代、70 代、80 代もまだまだ元気なのです。〈70 歳以上・女性〉
- ・ファミレスやファミリー層向けのご飯を食べる所がなさすぎます。お寿司と牛丼チェーン店はもういないので、それ以外の入りやすいチェーン店を誘致してほしい。〈40 歳代・女性〉
- ・ふるさとが好きな若者は大勢いるのではないかと思います。進学で都会に出た若者が、是非、南魚沼のふるさとで働きたい、働けたらと思うような企業ができればと思う。能力を活かせる職場が一番必要なのでは。〈70 歳以上・女性〉
- ・ふるさとと納税額を見ると南魚沼市の活動は非常に頑張っていると思う。ですが、何かにつけて「雪国」を推すのは非常に残念でセンスが無いと思う。農業と雪国以外の産業（工業系の電子部品や自動車部品工場）の誘致にも力を入れてほしい。農業と冬季の産業だけでは若者離れは止まらないと思う。

代々農家をやっている方以外はなかなかメリットが無く、住みにくい現状があるかと思います。〈40 歳代・男性〉

- ・プレミアム商品券、またしてください。〈30 歳代・女性〉
- ・もうちょっと商業の勧誘をした方がいいと思う。夜、食事に外出しようとかマジで思わない。あと長岡のように 1 年に 1 回、冊子でグルメクーポンとかの配布があるといいと思う。お金が循環しないし、ここがいいと思えるところが少ない。せっかく「マジ井」とか面白い企画やっているのに惜しい。〈10・20 歳代・男性〉
- ・もっといろいろなお店を誘致してほしい。買い物に、長岡まで行かないと不便。病院代が高い。市の検診代も高い。国民年金は死ぬまで働かないといけないほど安いので何とかしてほしい。〈70 歳以上・女性〉
- ・もっと楽しいイベントを企画して交流を深めるきっかけを作って頂きたい。イベントを行ったあとのフィードバックが足りないのではないかと思います。例えば国際大学でのおにぎりイベントなど。あと道の駅などの展示の仕方や売り方に工夫がたりないのでは。長岡駅に行った時、南魚沼市は遅れていると感じました。〈70 歳以上・女性〉
- ・駅前が活気づくと良いと思います。市民病院で産婦人科（出産）ができるとみんな助かると思います。〈60 歳代・男性〉
- ・駅前の通りが寂しい。もっと活性化してほしい。〈50 歳代・女性〉
- ・観光が衰退しているので改善できれば。〈50 歳代・男性〉
- ・観光面（旅館など）にばかりコロナ禍などでお金を出して、どうかと思う。働いて税金を納めていても何も還元されない。冬期でも（子どもが）気軽に室内で身体を動かせる場所がない。〈30 歳代・女性〉
- ・観光資源について、マンホールカードを作って配布して。せっかくカラーマンホール蓋があるのだから、そのマンホールカードを作って配布してほしい。カラーマンホールの中でもガンダムマンホールカードは人気。観光資源にしてほしい。全国行脚してマンホールカードを収集している人（高齢者）は多い。またガンダムマンホールカードだけ集める若いマンフォラも多い。坂戸城の御城印を作って売ってほしい。観光資源にしてほしい。〈60 歳代・女性〉
- ・関東から結婚を機に南魚沼に来て、子育てをしている者です。山や川、畑や田んぼが身近にあり、自然体験をたくさんできる環境は魅力的です。しかし、進む人口減少、高齢化の中、これからは新しいものを取り入れ変化していく必要があると思います。何か大きい商業施設（コストコ、イケア、ユニクロ）や工場（外資系）等が入ると、交通環境も整備していけるのではないのでしょうか。雇用も充実、賃金も向上。多雪のため難しいかもしれませんが。子どもに習い事をさせたいと思っても、子どもが自分で通える場所に教室がないですし、興味を持ててもやらせてあげられない。市で、公民館で子ども向けの教室（習字、ピアノ、そろばん）を開催してほしい。充実した教育環境は、市の魅力になると思う。給食費は無料にすべき。子どもの数が減っています。実行は無理でしょうか。〈40 歳代・女性〉
- ・企業誘致に力を入れ、若い人達が地元に残り、生き

生きできますよう。日に日に空き家が多くなり虚しいです。〈70 歳以上・性別不明〉

- ・企業誘致をし、住民を増やし、子どもを増やす。そこから税金が生まれる。〈40 歳代・男性〉
- ・企業誘致を行い、活力ある町づくりを。人が集まる市にしたい。〈50 歳代・女性〉
- ・給料が上がると良い。〈60 歳代・男性〉
- ・旧塩沢地区に観光や行政機能が偏りすぎている。六日町や大和地区にも観光振興を行うべきだと思う。〈30 歳代・男性〉
- ・魚沼地区で昨年から米作の不良で放棄地が増加しているのがとても残念な状況だと思う。これから南魚沼市の大切な土地の活用を、農業を中心に行政側でも何らかの対策を取って援助できる方策を考えていってほしいと思う。今後、国内の食料自給率が下がってしまうと将来的に食糧難が必ず訪れて自力で生活できなくなってしまう。少しずつでも、未来の基本は自国で食料をまかなえるように進めていってそこから高齢化、少子化の対策が充実していくのではと思う。〈60 歳代・女性〉
- ・近年、獣類があまりにも多く出没し、山間部では水稲も畑も諦めざるを得ない状況。子や孫たちが安心して住める地域になるよう効果的な対策をしてほしい。〈70 歳以上・男性〉
- ・県内外より大勢の観光客が来て頂ける様、観光の方へ、力を入れて預きたい。〈70 歳以上・男性〉
- ・県外からも訪れやすく、アピールできそうなこと（自然やグルメなど）はたくさんあるのに、それが観光に来てくれる人達に伝わってないと感じることが多いです。〈30 歳代・女性〉
- ・県内、県外から南魚沼市に遊びに行きたい、南魚沼市に行けば見たい箇所があると他市他県から声がかかる市の何かを作り上げるべきだと思います。若い人、中年、老人の代表から意見を聞いて期待される市の成果を期待します。例えばシャッター通りに絵を描いてみる、六日町駅の地下通りに絵を描いて、子どもの絵、大学の学生を利用して、いきいき通りを作成してはどうか。みんなが楽しめます。〈70 歳以上・男性〉
- ・最近、当地域にも農用地などの放棄地が見受けられるようになってきたようです。その土地の持主が高齢者であったり、相続人が近くで生活しておらずなど、多様かと思われまます。例えば、市役所内の農用地や林務係等がチームを組んで対応にあたるなど。先ず有効利用を図るべく対策案を集めてほしいと思います。〈70 歳以上・男性〉
- ・子どもが3人います（小1、小3、小4、全員男児）。ゲーム、ユーチューブの時代になり、外で遊ぶことが減ってきています。熊などの問題もありますが。南魚沼は大自然がたくさんあるところがとても良いと思っているので、外でのイベントがあるといいと思います。昔と違い、気温上昇など人間ではどうすることもできない問題もあると思いますが、子ども達が楽しめることが増えればいいなあと期待します。〈40 歳代・女性〉
- ・市の収入確保のため、「こめつぐ君」グッズを販売してはいかがでしょうか（売れる物で）。LINE スタンプとかもどうでしょうか。企業誘致も進めてはいかがでしょうか。土地はたくさんあるので。本アンケートについて。来年度の予算と内容が書かれていますが、今年度もしくは前年度の実績がないと、取組

が進められているのかどうか判断できず、意味のないアンケートではないかと思います。また、来年度の内容についても、具体的な内容ではなく、目標的内容が多いところも同様で、お金をかけてアンケートするのがもったいなく感じます。もっと市のお金を有効に使ってください。〈40 歳代・女性〉

- ・市内で色々な資格が取れるようにしてほしい。〈40 歳代・女性〉
- ・自然が良い。映えるピュースポットを作る（簡単にアプリなどで見つけられて、行けるようにする）。自然から得られるエネルギーを効率的に利用できる環境づくり（夏場の太陽光や雪、水力など）。病院の数が少ない。何かあった時、頼れる病院やクリニックがない。いつでも対応してくれる病院があるとありがたい（24 時間とか）。地元の人が気軽に行ける五日町スキー場や浦佐スキー場の復活（ムリだと思うが）。水道料金はどうすれば安くなりますか。〈40 歳代・男性〉
- ・自然とか米とか、そろそろ別のものがあってもいいのかな～って思う。〈40 歳代・男性〉
- ・自然豊かな環境の宝庫なのに、利用や開発に遅れている。もったいないです。「しゃくなげ湖」などはい例です。素晴らしい観光地なのに、誘客できていないですね。〈60 歳代・男性〉
- ・自分の周りで、若い人が地元に残り、戻ってきたり、ここで生活をしたいと思っても、仕事の選択肢がないため、せっかくこの地を選んでくれたのに「ごめんね」と思ってしまう。簡単なことではないが、どうにかならないかな。南魚沼に住みたいが、戻ってきたいが、仕事が、給料の低さが、都会と同等にはならずとも、せめてもう少しどうにかならないものかと思っています。〈50 歳代・女性〉
- ・将来、子どもが市内で安心して働ける環境づくりをお願いします。〈40 歳代・女性〉
- ・新幹線が停車する駅、魚沼基幹病院があるにも関わらず発展しない旧町ですが、対策できないのか。大型スーパーの誘致をお願いしたい。日々隣の町までの買い物が負担です。介護施設への入所をスムーズにして欲しい。〈70 歳以上・女性〉
- ・新幹線停車駅でもある浦佐駅を使い、観光分野も広げてもらいたい。〈40 歳代・男性〉
- ・大型商業施設の誘致。温泉街の復興。〈60 歳代・男性〉
- ・大型店舗（コストコ）などの店がほしい。ユニクロなどの洋服店なども。〈40 歳代・男性〉
- ・地域の子供達が出する現状に不安を感じます。雇用の場の確保や農業等の地場産業の育成が最大の課題だと思います。デジタル化はメリットがある一方、使えない方はより不便、不利益になるので注意が必要だと思います。行政区について、見直しが必要な区があるように感じます。ご検討をお願いします。〈60 歳代・男性〉
- ・賃金水準のアップ。〈60 歳代・男性〉
- ・当地に転居して6年が経つ。転居時、近くにあったスーパー、医院が閉鎖となった。今のところ自家用車の利用で移動に不便は感じないが、今後車が使えなくなった時のことを考えると不安が大きい。特に冬季。人口減少、高齢化を考えると難しいことと思うが、よい方策があれば考える。〈70 歳以上・女性〉
- ・南魚沼市には美しい自然があり、誇れるものだが、それは天候に左右されてしまうので、晴れの日なら

いいが、雨や風が非常に強い時など、気象条件が良くない時でも、観光客や地元の人を楽しませる施設を増やしてほしい。隣の十日町市のような市立博物館のようなものがほしい。〈40 歳代・女性〉

- ・南魚沼市の色々な団体や組織で、企業向けのセミナーを開催されていますが、人材セミナー、情報セミナーを受講する経営者の人間力を上げることが、この地域の価値を上げることにつながるように思います。田舎の経営者は、人間力の低い人が多い。経営者の人間力が低いから、従業員のやる気も起きない。簡単に給与を下げたがる。会社の資産を自分の資産と思い込む。セミナーに出て、都合のいいところだけを取り入れようとする。セクハラ問題が起きても、男性目線でしか物事を見ない。結局はセクハラを受けた女性が退職に追い込まれる。女性が管理職になっても、部下を守ることができない。それが男性社会。田舎はそれが特に強いと思います。〈40 歳代・女性〉
- ・日本一米がおいしいと思うので、お米に特化して、もっと、推してほしい。「南魚沼市＝米」は定着しているが、米を前面に押し、南魚沼市を強く宣伝してほしい。〈50 歳代・男性〉
- ・年寄りが多いので移動販売車が週に 2 回ぐらい回ってくると大変助かります。車が運転できないと買い物も大変です。市民バスも助かっていますが、そこまで動くのが大変な人には移動販売がいいのでは。キャッシュレス、デジタル化と言われても、年を重ねるとついていけません。まるで取り残されたように感じます。〈60 歳代・女性〉
- ・農業は人が生きていく上でなくてはならない産業です。世間を見ると、IT 産業ばかりが注目されていますが、農業者の地位向上を日本一の米どころから発信していただきたい。〈40 歳代・男性〉
- ・毎年サルやタヌキ、ハクビシンに野菜や果物をやられている。〈70 歳以上・男性〉
- ・魅力は自然、気候を利用した田畑、スキー場。しかし、それだけでは衰退してしまう。「フジロックフェスティバル」というようなイベントが全国版で放送され、それだけで人が集まり、経済効果を生み出している。それを毎年継続していくことで収益が見込まれている。南魚沼市も何か若者やファミリーの目を惹くようなイベントがあれば経済効果が上がり、バスを通す本数を増やしたり、市民バスの経路を増やしたり、年金生活をしている高齢者に還元してあげたらどうかと思う。今のままだと自分が年をとってこの地域で生活する希望が持てない。なるべく早く移住を考えないと、と思っている。〈50 歳代・女性〉
- ・十日町や津南町などには県外からの移住や色々な職種が入っているのに、なぜ南魚沼市は建設業、旅館業ばかりに力を入れているのですか。若い女性が働く場所はどこにありますか。市長さん、きちんと具体的に教えてください。人にアンケートを取らせているのですから、あなたもきちんと回答してください。〈60 歳代・女性〉
- ・国道沿いの寿司屋は 3 軒もいないと思います。デジタル化というのは良い点も悪い点もありますが、店のレジでタッチパネルやセルフにしすぎていると思います。お年寄りの方のことをもう少し考えてほしいです。お年寄りは終わった人間じゃない。あの人達のおかげで今の市があると思います。レジや注文の無人化より、地域の商店への支援を考えても

raitaiです。買い物に行くのが困難な方で、困っている人達が多くいることを忘れないでほしい。勝手なことばかり申し訳ないですが、検討よろしくお願いします。〈10・20 歳代・性別その他〉

- ・米（ご飯）離れと言われているが、秋の新米の季節は、市外、県外から来る人も多いと思う。市で米フェス等、大々的にイベントをしたらどうか。「CreepyNuts」(DJ 松永さん)の師匠がいるということで、県外の若者が集まりたいと思える CM を依頼する。STARTO 社 (旧ジャニーズ) の「SixTONES」さんが以前、コシヒカリの CM をいくつかやりたいとラジオでおっしゃっていました。難しいとは思いますが、有名なアーティストを起用することで、ファンが購入、応援を確実にすると思います。思ったことを勝手に記入させていただきましたが、少子高齢化、人口減少を止めるべく、若者が来やすいまちになるといいと思います。〈10・20 歳代・女性〉

◆行財政改革・市民参画

- ・アンケート参考資料の 14 ページの森林整備も大切だが、魚野川河川敷内の雑木（大木になっている）を伐採し、片付けてもらいたい。大雨で増水し、雑木が橋脚につかえれば堤防を越水する恐れがある。最悪、堤防決壊だって考えられる。世界中で自然大災害が起きています。少しでも被害を食い止めるためにも、雑木伐採をお願いします。〈70 歳以上・男性〉
- ・若者が少なく高齢化が深刻な状況だと思います。若者が輝ける南魚沼市を作してほしいですし、老々介護、認認介護世帯がますます多くなっていくことが考えられますが、できれば少しでも長く在宅での生活が継続できるように、介護サービスの充実や、そこで働くスタッフの労働環境の改善に尽力していただきたいと願っています。ずっと南魚沼市で暮らしたいと思える魅力ある市にしていきたいです。〈50 歳代・女性〉
- ・南魚沼の人は X (SNS) を使っている人があまりいないようだ。洪水の危険の情報や、火事や断水の情報や、立ち往生や事故による通行止めなどは X を活用すればリアルタイムで共有できるのと思い、歯がゆい思いがある。LINE より X の方が、投稿が気軽にできる。市は積極的に SNS を活用してほしい。回覧板をなくしてデジタル化してほしい。いらぬ回覧板が多すぎる。前の家の人が触った紙をめくってするのが気持ち悪い。〈60 歳代・女性〉
- ・20～30 歳代の若い方の出会いの企画はあるが、40 歳代、50 歳代の出会いの場、もしくは業種交流の場がないので、結婚にも至らない。介護職に就いているが、職員の人員不足（給与面が安く辞めてしまう。仕事がハード）である。そのため、仕事の負担が増え、辞めてしまう人数が増える。少子高齢化も踏まえ、これから先の介護職の担い手を維持するためにも市から金銭的援助が得られないのでしょうか。これ以上、介護現場が逼迫状態になってほしくないです。自分の老後が心配になります。〈40 歳代・女性〉
- ・2040 年には南魚沼市で 4 割、魚沼市で 5 割減少という人口推計がある。市のマンパワーの確保という意味でも、早急に両市の統合とゴミ処理施設の再協議の検討を願いたい。〈60 歳代・男性〉
- ・40 代、50 代の者が結婚をしない。お一人様が多く、少子化につながっていると思います。何か対策はないのでしょうか。一人暮らしが多くなり、いずれは家が

- ・ なくなります。空き家対策等々。〈70 歳以上・女性〉
- ・ SNS 等を使って、南魚沼市の魅力をもっとアピールしてほしいです。〈10・20 歳代・男性〉
- ・ あらゆる分野でのデジタル化が進行中かと思いますが、今後もどんどん進めてください。〈40 歳代・男性〉
- ・ イベントの PR 不足。せっかく色々なイベントを企画しても知らない人が多い。もったいない。市のホームページでも大々的に PR したほうが良い。〈40 歳代・女性〉
- ・ お互いがお互いに愛情（認める、労う、受け入れる）を注ぐことができれば、愛情の器が満たされ、自分以外の人にも愛情を注ぐ力が備わり、心が健康になれる人が増えると思うが、不足しているように思う。個人で頑張れ、ではなく、一人で頑張らない方法とか、何か少し気にかけることで、市民一人一人の意識が変わり、南魚沼市の人間性が魅力的なものになるといい。人が良くて移住したと聞いたことがある。〈40 歳代・女性〉
- ・ この地で暮らし続けたいと思う若い世代が増えることを望みます。人と人がどう繋がっていけるかが大切だと考えています。〈60 歳代・女性〉
- ・ ごみ袋も有料なのに、常会に入らないとごみ捨て場が使えないのはどうなのかと思う。常会の役員や会計は、仕事しながらこなすには負担が重く、もし親の代から市に住んでいなければ、新しくこの市に住みたいとは思えなかったと思う。移住者の定住を妨げていると思う。集金の作業などがあるが、自分のお金にするわけでもないのに、頭を下げて渋々払ってもらふ煩わしさと思うと、将来的にもっと都会的な、常会のような持ち回りのシステムがない場所に住みたいと思う。せめて何もわからないのに「はい、次はあなたの番」と丸投げされるのではなく、それを見れば聞かなくてもわかるようなマニュアルがほしい。〈30 歳代・女性〉
- ・ デジタル化が進むのは便利でとても良いけれど、高齢者の一人暮らしや、日中の高齢者だけの時など、災害など何か緊急なことがあった時に、デジタルだけに頼るのはいかがなものでしょうか。スマホすら持たない高齢者もいるし、使いこなすのも大変なのに、「市のホームページ」やら「LINE」「X」「Facebook」での緊急時の情報は伝わるのでしょうか。〈40 歳代・女性〉
- ・ デジタル化が進めば、色々便利になると思うが、インターネットやパソコンの知識などが無い人が、無理してするのは危険だと思います。ミスはゼロにはできないかもしれませんが、人がミスをした時にエラーが出るような仕組みとか、大きなミスを事前に防げるようなシステムに費用をかけるとか。安全ならデジタル化は歓迎です。便利ですし。不満みたいになってしまってますみません。古布のリサイクルとかとても助かっています。雪道の運転が怖い以外はとても快適で、暮らしやすいところだと思っています。〈40 歳代・女性〉
- ・ デジタル化が進んでいく中ですが、なかなかついていけないところがある。独身者が多いので、出会いの場を作って欲しい。〈70 歳以上・女性〉
- ・ デジタル化についてですが、スマホでさえ自由自在に活用できず、電話とメールができればよしと思っている者には、全てデジタル化へと進められることは困ります。〈70 歳以上・女性〉
- ・ デジタル化も大切ですが、60 代以上はデジタルでなくとも利用可能なようにもしておいてほしい。〈60 歳代・女性〉
- ・ テレビのニュースをよく見るが「将来の人口消滅可能自治体」になっていない（現在）。これからも魚沼市、十日町市などのような人口消滅予想（可能）と報道されないで済むように、市として婚活行事などいろいろなことに取り組んでほしい。男女共同参画社会が実現すべく、市議員や市職員の役職における女性の比率を大幅に増加していけたらと願います。市議員や市職員内の大卒の比率が少なすぎる。女性市長がそろそろ誕生しても良いのでは。〈60 歳代・男性〉
- ・ とにかく人口減の解消を。〈50 歳代・男性〉
- ・ とにかく無駄をなくして予算を節約してほしい。将来の少子高齢化を見据えてコンパクトシティを目指す。南魚沼市にある資源は自然だと思います。自然を守りながら観光開発し、客を呼び、観光立市となる。円安なので、市特産のコシヒカリやスイカなどを輸出する。魚野川の土手を整備し、六日町から浦佐まで自転車で周回できるようにして自転車で観光客を呼び込む。〈60 歳代・男性〉
- ・ ふるさと納税があるうちに借金を減らして持続可能な財政基盤を確立してください。大崎地区は市内で最も働く場が少なく、流出人口の多い地域だと思います。企業誘致により働く場を確保してもらいたい。〈60 歳代・男性〉
- ・ ふるさと納税をうまく活用して、地域の魅力を上げていって下さい。〈30 歳代・男性〉
- ・ もっと、地域を分析して子どもや移住者へのフォローサービスを考えないと先はない。現在の市議や行政は、目先や自分ことしか考えていない。もっと、先の地域の未来を考えるべき。〈40 歳代・男性〉
- ・ より良いまちづくりに努めてください。〈50 歳代・男性〉
- ・ 駅や市内の防犯カメラの数を増やしてほしいです。街灯が少なく夜は真っ暗な場所が多いので、危険なことが見過ごされていることがあると思います。〈30 歳代・女性〉
- ・ 塩沢に力を入れすぎ。市政が頑張ってくれていることは感じられるが、特に何かと言われると難しいかもしれない。総合的には満足に近い。学校教育に関して、五十沢小学校の歴代の校長先生は、よい先生に恵まれて感謝しています。クマ出没と通学の事がとても心配です。河川敷の刈り払いも分かりますが、通学路にも放置された畑もありますし、稲刈り以降は畦道の刈り払いがされないところが多くあります。通学路の刈り払いをお願いしたいです。また、持ち主が管理のできない場合は、通学路に関しては刈り払いができる条例の制定をお願いしたいです。〈40 歳代・男性〉
- ・ 塩沢方面に税金を多用するのであれば、使用した金額に応じて、六日町、大和の税率を変更してほしい。不便な思いをして収めている税金が、一地区に多用されている現状です。六日町、大和にも IC があり、車両や人の出入りがある状況なのに不便（買い物や運動）すぎる。これ以上、塩沢に投資したところで、観光客はそれほど増えないので、他のことに使用してほしい。学校にももっと税金を使用し、子どもの運動や勉強しやすい環境を作してほしい。〈40 歳代・男性〉
- ・ 花火の番付が市報に入ってこなかったことを知らない

- い人が多かった。市報に入れて欲しい。〈50 歳代・女性〉
- ・企業不足なのでしょうか、若い人達が増えて、人口減少を何とか止めて欲しいです。まだ間に合うのではないのでしょうか。〈60 歳代・女性〉
 - ・魚沼市から結婚を機に引っ越してきました。魚沼市と比べると、地域活性化にすごく力を入れていて驚きました。農業も若い人が多く、PR も盛んですごいなと思っています。皆様の努力で南魚沼市が住みやすい、魅力的な地域となっていると思うと、本当に素晴らしいなと感じます。毎日ありがとうございます。これからもよろしくお願いします。〈30 歳代・女性〉
 - ・計画が実現し、今よりも住みやすい南魚沼市になることを期待しています。〈40 歳代・男性〉
 - ・元旦の能登の震災を振り返り、南魚沼は土砂崩れや雪崩などのリスクが潜んでいる。今後予想されている首都直下型地震のことも考え、危険個所の整備や消防団へのさらなる装備の充実、周辺自治体との連携等、計画を示してもらいたい。〈30 歳代・男性〉
 - ・個人的には少子化が一番の問題です。自分達の子どもが地元に残れる教育、就職に市から力を入れてもらえるとうれしいです。〈60 歳代・男性〉
 - ・交通安全対策費の中に、「交通安全教室を（公財）南魚沼交通安全協会に委託して実施します」という項目がありますが、外部委託しなければできない教室であれば別ですが、市の交通指導員が実施すれば部外委託する必要はなく経費削減につながると思慮される。〈70 歳以上・男性〉
 - ・行政・個人に対し、スピーディに対応してほしい。〈60 歳代・男性〉
 - ・高校を卒業し、一度南魚沼を離れた人達が「戻ってきたい」と思えるような市になってほしいと願っています。私の同級生も約半数ほどは、南魚沼から離れてしまっています。30 代くらいになって「子どもを育てるならばふるさとで」と思えるようになるために、子どもを育てやすい南魚沼市になってほしいと思いますし、子ども達にとっても魅力のある南魚沼であれば嬉しいです。また、自分自身のこれからを考えていった際、雪深い南魚沼で老後を迎えることへの不安感が強いです。資源としての雪を大切にしながらも、生活しやすいまちづくりが進むと嬉しいです。課題は多いと思いますが、市政に関わる皆さんのおかげで、今の市は成り立っていると思います。感謝をお伝えするとともに、これから大いに期待をしています。よろしくお願いします。〈30 歳代・男性〉
 - ・高齢化が進み、子ども若者が減っています。若者が生活しやすい、暮らしやすいまちづくりを優先していただければと思います。これといった画期的な施策は思い当たりませんが、地道な事業業務の積み重ねが大切ではないかと思います。堅実な行政に民間のアイデア、活力を加えて魅力あるまちづくりを進めていただきたいと思います。〈60 歳代・男性〉
 - ・高齢者も大切だが、人口減少は避けられないため、若者、子どもに対して考えてほしい。移住には雪問題がネックになる。住み慣れた市民でも悩まされている。〈40 歳代・女性〉
 - ・今後の人口減少と環境の変化にどう対応するか。デジタル化は、個人情報を守るのか。〈70 歳以上・男性〉
 - ・今後人口減少が加速していくが、県外や他市町村から移住しやすいまちづくりがさらに必要かと思います。〈60 歳代・男性〉
 - ・最近、子どもの減少化、空家等が多く見られる。市としても、これらの対策に力を入れてほしい。〈70 歳以上・男性〉
 - ・子どもが住みやすく大好きだと、大人になっても言える南魚沼であってください。〈40 歳代・女性〉
 - ・子どもが少なく、育っても市外に出て行く。高齢者が家に残って最後は空き家になる。地域外から、移住しにくい環境に思える。過疎地域周辺の有害獣が多く見られる。対策を。家混みでは有害獣で大騒ぎするのに。南魚沼市も同じに思います。山際の整備をする人がいないなあと思う。便利なところに人は勝手に住む。不便なところに住む人に「愛の手を」。〈50 歳代・男性〉
 - ・子どもが増える市政を。〈60 歳代・女性〉
 - ・子どもの数を増すようにしてほしい。バス、タクシーなどが廃れないようにしてほしい。豪雪地帯のため、冬でも住みやすいまちづくりをしてほしい。都市に行かなくても、働ける環境を増やしてほしい。〈30 歳代・男性〉
 - ・子育て支援は充実していると思いますが、基本的に産んでから理解しました。もっと若者向けに子育て支援の情報を発信できれば良いと思います。〈30 歳代・女性〉
 - ・市のため、市民のため、頑張ってください。〈70 歳以上・女性〉
 - ・市の発展と古き良き物を引き継いでいくことを上手く同時進行させていって欲しいです。それには若い人達の力が必要なので、支援もお願いしたいと思います。〈60 歳代・女性〉
 - ・市の魅力を市民が実感するのは、第一に「目に見える化」です。インフラ、デジタル化、施設等の誘致など、「変わったな」と分かりやすいことを進めていただきたいです。第二は「目に見えにくい変化」です。人材拡充、環境整備、医療、福祉など、手入れをしても市民に実感しにくいものは、分かりやすく広く伝えていく必要があるかと思っています。設問に「南魚沼市の魅力や誇り」とあります。それを答えるためには、他市、他地域と比べ、本市の自然、行政、生活、人、町などがどの程度良いのかを市民が知る必要があります。米、自然、温泉など、昔から誇ってきたもののみにみつまでもすがることなく、新しい魅力、新しい誇りを生み出してほしい。そのためにも、子ども、若手を支援してほしいと切に願います。少子高齢化は逆手に取れば、若者を励ます大人達が多い環境とも言えます。高齢者の力を新しい芽、若葉のために向けていくような「未来ある市政」をお願いします。〈30 歳代・男性〉
 - ・市外に向けてのアピールが下手だと感じる。結び場（南魚沼市事業創発拠点 MUSUBI-BA）等の動画も見ているが、声が聞こえにくいなど、そもそも録画状態が悪いなどが見えるので、もっと編集の仕方を考えた方がいいと思う。ゴミ収集も大和は小出の方へ回収され、湯沢のゴミは塩沢に回収されるというのも変な話だと思います。分別が間違っている、市役所職員がそれで大丈夫と言ってしまうので、田舎特有のおおらかさではなく、きちんと職員教育を管理職へもしていかないと良くならないと思う。〈40 歳代・女性〉

- ・市外へ出た元住民が、南魚沼市のことを自慢できるような施策・情報を提供できるようにして欲しい。それはいずれ何かの形で市へ還元されるはず。〈50 歳代・男性〉
- ・市政の取組など、やろうとしていることがあるのは分かりますが、実際に実現しているか分からない。中小企業の一社員がどんなに一生懸命働いても給料は上がりず生活は大変です。若者が地元に残れる環境が大切だと思います。〈50 歳代・女性〉
- ・市内全域に防災行政無線を導入してほしいです。災害時の情報発信のほかにも、防災・防犯・交通などの情報を随時発信してほしいです。〈40 歳代・女性〉
- ・市報の表紙は以前の写真が良かった。人の表情がよく伝わってきて、温かみのあるところが楽しかったです。〈50 歳代・男性〉
- ・市報は紙でなく、Web にできる人は Web に切り替える。〈60 歳代・男性〉
- ・市報みなみ魚沼や他の配布物を今まで通り、月 2 回に戻して頂きたい。月 1 回だと各情報の伝わりが遅すぎるため。〈60 歳代・男性〉
- ・私にとって南魚沼市はとても住み心地が良く、自然豊かな暮らしができていてとても満足しています。ただ、人口減少や少子高齢化については不安が残ります。都会とは違う価値観で、人口は少なくとも社会インフラを維持していけるよう、皆で協力して支え合っていけたら良いと思います。〈40 歳代・女性〉
- ・自然の良さに打ち勝つ財源がなさすぎる。企業も少なく、子育て支援、若者支援に手を抜きすぎるため、少子高齢化が進みどんどん都会に行ってしまう。真剣に取り組んでほしい。〈60 歳代・女性〉
- ・自分が知らないだけかもしれないが、市に対する意見や要望を伝える場がない。市報に載っているが、実名を出さないといけないので躊躇してしまうし、そこまでするのなら別に意見は言わなくてよいかと諦めている。自分の同級生や若い人達が離れていき、少子化が進むのも無理ないと思ってしまう。〈30 歳代・女性〉
- ・若い世代が定住、移住したい環境を作してほしい(子育てしやすい等)。ファミレス(ガスト)のような子育て、子連れで行けるお店を誘致してほしい。出産費用を全額出してほしい。保育料を 0 歳から無料にしてほしい。〈40 歳代・男性〉
- ・若者の意見が聞ける、通る場を作ってください。年配の方の意見も情報としては大事ですが、若い方達の意見も聞いてあげてください。六日町のお祭りは、やる気のなさを感じますし、盛り上がり不足。花火大会も、南魚沼市で 1 つにして盛大な花火大会にしてほしいです。観光客も増えるように、自然をメインにした何か場所があると良いと思います。〈40 歳代・女性〉
- ・若者より高齢者の方が、活気があるので、若い世代が魅力を感じる市にして欲しいです。〈40 歳代・女性〉
- ・住みにくい。病院が少ない。専門医が少ない。上下水道代が他の市町村に比べて高すぎる。指定ゴミ袋が高い。〈30 歳代・女性〉
- ・住みよいまちづくりは当然ですが、若者が住みよいまちづくり、若者に魅力あるまちづくり。〈60 歳代・女性〉
- ・住んでいる人がそれぞれの思いで暮らせる南魚沼市へ。〈70 歳以上・男性〉
- ・少子化、人口減少に不安を感じています。規模が小さくなくても工夫して行政サービスを低下させず、住みづらさをなるべく感じさせずに暮らせるまちづくりをお願いします。新聞などへも、県内他の地域に負けずに市の良さをもっと PR し、自信を持てるよう情報を発信して欲しいです。例えば、日報など地域欄へ、他の地域よりも掲載量・回数が少ないと思うのです。〈70 歳以上・女性〉
- ・色々なことが値上げしているけど、少しずつでよいから値下げして欲しいです。長岡駅や新潟駅が進化しているみたいに、浦佐駅なども進化してほしいと思いました。熊を心配しなくてもよいまちづくりをしてほしいです。大変なことはたくさんあると思いますが、住みやすく楽しい南魚沼市にしたいです。頑張ってください。〈10・20 歳代・女性〉
- ・心配な点はいくつかあるものの、住み続けてきたこの街の良さを感じています。若い世代が街を盛り上げようとしている様子も感じます。観光資源を生かして、さらに素晴らしい街になっていけるように、自分も頑張りたいと思います。〈40 歳代・女性〉
- ・新幹線の駅があり、大きな病院もあり、大学もある浦佐地区をもっと盛り上げてほしいです。〈40 歳代・男性〉
- ・人口が増え魅力ある南魚沼市になってほしいです。〈70 歳以上・女性〉
- ・人口減少の加速化と若者の流出、南魚沼市に魅力がない。何とか人の気持ちを惹きつける魅力のある都市となるのが早急の提案と思います。成功例のある都市を手本にするなど。せめて小・中学生の給食費を無料にする。出産費用を無料にする。確かな移住対策をして住みたいと思わせる環境づくりが必須。企業誘致をしても、人口減、特に若者がリターンする気になる娯楽、楽しみなどなど、とにかく魅力ある南魚沼市を考えることが喫緊の課題と思う。高校生の孫二人は地元におそらく定着しないと思われる。とても残念であります。〈70 歳以上・女性〉
- ・人口減少は仕方ありませんが、住み続けられる、または帰ってきたい場所であって欲しいです。この自然環境は南魚沼市の魅力です。今問題になっている太陽光パネルなど、山などに絶対に配置しないで欲しい。〈50 歳代・性別その他〉
- ・人口減少は避けられないので、組織、事業サービスをいかにスリム化して、継続できるよう模索する必要があると思う。これから廃止縮小する事柄が発生すると思うので、少し時間をかけてでも丁寧な説明を望む。なぜなら、昨今の説明会は結論ありきのように感じてしまうから。南魚沼の基幹産業の農業に従事する人が減少(休耕田の増加)に対しどう対応していくのか注視していきたい。〈50 歳代・男性〉
- ・人口減少への対策。〈60 歳代・男性〉
- ・人口減少傾向は止まることはない。この傾向に逆らう施策ではなく、人口減少を見据えた考えで 5 年から 10 年後を考えることが現実的ではないでしょうか。教育環境が悪いのか、学校の教育レベルが低いかわからないが、長岡の「米百俵」精神のような市民全体で教育レベルを向上させるような施策が必要ではないでしょうか。〈60 歳代・男性〉
- ・数年後消滅自治体にならないよう、若者、子育て世帯に支援を願いたい。山間部は木が伸び、草がボーボー。野獣からの被害を避けるため、整備を希望。〈60 歳代・女性〉

- ・政策の中で子育て支援は手厚く行われていると思う。しかし、私たち世代の中でも独身者が多く、若者への政策もバランスよく行っていくことが大切と思う。今後、少子化による人口減少がさらに進んでくる。ここにも今以上に力を入れていく必要がある。南魚沼市にある観光資源の活用 PR をもっと積極的に行ってほしい。歴史的な偉人の活用など、他の地域ではいろいろなものがあるが、南魚沼市はいまいちだと思う。南魚沼市にある道の駅のもっと有効的な活用を望む。立地場所の良さを考え、温泉施設の併設など観光客の呼び込みが必要と思う。南魚沼市は住みにくいところとは思わない。今ある資源をもっと活用し、柔軟な考えで市政を運営していただきたい。〈50 歳代・男性〉
- ・税金が極端に上がらないで欲しい。市政のムダ使いがないか、第三者が監査して、不正がないかチェックする体制（裏金作りなど問題外）。〈60 歳代・男性〉
- ・税金が高すぎる。市税をもう少し、もっといっぱい安くしてほしい。定年後の給与引き上げが必要。〈60 歳代・女性〉
- ・税金減らす。水道代減らす。市役所職員、消防職員の教育。紙の印刷物は減らす。市報とかチラシ。市議会議員を減らす。〈40 歳代・男性〉
- ・水道料金の値下げを希望。市役所職員のレベルの低さとモラルの低さの改善。3 歳児未満の保育料無料希望。保育施設の拡充。旧塩沢、旧六日町、旧大和町、全てを南魚沼市として考え、どこかの地域のみに偏った紹介は控えてほしい。テレビで市民は見ています。市民が快適に暮らせるよう、偏った政策ではなく、そして取り組むべき所の見直しをしてほしいです。未来を考えた政策や観点・視点を市民に向けてほしいです。〈30 歳代・女性〉
- ・雪に苦勞しない移住先の紹介や相談窓口があればよい。〈50 歳代・男性〉
- ・他の町と同じように SNS（メールや LINE）で情報（地震や災害等）を発信してほしい。〈60 歳代・男性〉
- ・男女ともに未婚者が多く、親で楽しんでいる方々が、これから親が亡くなって 1 人で暮らしていく将来を思うと、この地域に何軒の家が残るのだろうかと不安に感じる。〈60 歳代・女性〉
- ・地域づくりは、やりたいものがやれ、では広がらない。行政区など小さな単位のつながりを強化する仕掛けがあってもよいと考えます。インフラ整備可能な範囲での居住を考えれば、ゆるやかな行政区再編が必要です。市民サービスの向上に取り組む市職員の皆様には感謝申し上げます。必要以上の丁寧さは不要です。勤務時間内にやれることに取り組む働き方を市が率先してほしい。意思決定の場や様々な場が男性で占められないように願います。〈60 歳代・女性〉
- ・都会にはなれないのだから「田舎らしいスマートな田舎」を目指したら良いのではないのでしょうか。〈50 歳代・男性〉
- ・冬になると、灯油代がかかるので、補助金が出ると助かります 〈50 歳代・女性〉
- ・湯沢町や魚沼市の方が、広報を見ても魅力を感じる。〈40 歳代・女性〉
- ・南魚沼市の取組(市政は何をしているのか)が見えてこない。新しいことを始めない感じがしている。お米の美味しさと自然に囲まれたいいところ。生活に不便はない。〈50 歳代・女性〉
- ・南魚沼市はふるさと納税が多い自治体です。それだけ他地域から魅力的に感じられる地域なのだと思います。その利益を未来に向けた様々な事柄に投資してほしいと思います。〈50 歳代・女性〉
- ・南魚沼市は生まれたところなので愛着もありますが、約 40 年生きてきて、湯沢町や魚沼市、十日町市などより市民にお金の負担がかかっているように思います。子育てにかかるお金、新築住宅への補助、ゴミ袋代など、他の市の人から、南魚沼市は高いね、補助が出ないよね、と言われたことがあります。私が知らないだけで、南魚沼市でもやっていることがあれば申し訳ありません。市民の声が、市長、上の方達へ届くことを願っています。〈30 歳代・女性〉
- ・南魚沼市をこれからも魅力あふれる市にするために、専門家を入れてデコ入れしてもらった方がいい。里山を整備して都会から気軽に遊びに来られる、自然に触れられる場所づくり。米だけに頼らないで、南魚沼の美味しいものを作ってアピールする。誰も作り手のいない畑を利用して作物作り。医療施設の平均化、大和は基幹病院の他が縮小され不便になる。体験型宿泊施設を作り、小中高生の合宿、修学旅行の呼び込み。ゴミ施設の充実、素晴らしいものができれば環境にも良い。他県から見学にも来てもらえる。知名度も上がる。〈60 歳代・女性〉
- ・南魚沼市長が出身の地域だけに目を向けることなく、他の地域の活動も活性化されるようにしてほしい。廃棄物処理施設を国際大学の近くに設立しようとする計画をやめてほしい。市の HP やポスターで、農業を支援する画像を見ました。なぜモデルの男性たちはヤンキー風なのでしょうか。実際に従事している方だと思いますが、イメージが良くないな、農業に従事する人はヤンキーばかりなのか、と思いました。〈30 歳代・女性〉
- ・日本全国災害が多く発生しています。災害に対する備え等が市民に見えにくい。予算面での充実を望む（備蓄等）。〈70 歳以上・女性〉
- ・年寄りの情報が少ない。例えば近くのサークル、体操教室など、回覧板などで知らせてもらってもいいのだが。若者向けのディスポート南魚沼の案内は充実していると思います。A コープなどお店がなくなったので、車に乗れなくなったら近くにお店がないので不安。〈70 歳以上・女性〉
- ・年々多様化となり大変な事が多くなってくる世の中ではあるが、臨機応変に頑張って（楽しんで）ほしい。〈60 歳代・女性〉
- ・納税者として税金が大切に使われるよう、皆様の意識をさらに高めていただき、本当にいいまちにできるようお願いいたします。〈60 歳代・男性〉
- ・農業をしていない、子どももない、病院に行かない人間からすると、市政の変化や恩恵を全く感じない。冬期間は冬用タイヤ、暖房、除雪などお金が掛かることが多いので、費用補助などがあると助かります。バイクを所有していますが、軽自動車税をキャッシュレス決裁（ペイペイ）で支払えるのはとても良いですが、車検の際の納税証明書を市役所に取りに行くのは意味がなく、無駄である。だったらコンビニで払ったほうがよいわけで、キャッシュレス決裁の意味がないため、決済後に納税証明書を発行してほしい。会社を休むまたは中抜けして取りに行くのはたいへんである。〈40 歳代・男性〉
- ・犯罪が起きないように（窃盗）注意してほしい。窃

盗に対して捜査結果を被害者に伝えてほしい。何年か前家庭用の新品の除雪機を盗まれ、警察にすぐに通報しましたがそのまま連絡が全くない。〈70 歳以上・女性〉

- ・変えて行くべき政策と守って行くべき政策を明確に。〈70 歳以上・男性〉
- ・防災、人探し等の防災スピーカーを設置。若い人は SNS を活用するが老人は知らない。〈60 歳代・男性〉
- ・民生委員の選び方について、地域差はあると思いますが、あまりにも上から目線の方が多いような気がします。相談しにくい、しないという方が多いです。人格者の方々ばかりでしょうが、もう少し弱者の立場に立って物事を考えてくださる方々を選んで欲しいと思います。頭で考えるのではなく、心で接する気持ちが必要だと思います。市に言うことじゃないことは承知していますが、市長さんの頭の隅に置いていただければと、かすかな期待です。〈70 歳以上・女性〉
- ・市役所庁舎をコンパクトにして、新しくしたほうが良いと思います。現在の庁舎は暗いと思います。〈60 歳代・男性〉
- ・最近、南魚沼市に引っ越してきました。米が美味しい、自然が豊か、雪が多いという印象がありました。しかし、いざ住んでみて生活していると、アジア系の外国人を多く見かけます。新潟市に住んでいる時よりもかなり多く見ます。ここに来て一番驚いたことはこれです。一応感想として記入しました。また、交通量も多いことから、国道沿いにお店を増やすこともよいのではないかなと思う（例えばスターバックス、チェーン店、ラーメン屋など）。〈30 歳代・男性〉
- ・少子高齢化のスピードが異常に早いと感じる。人口減少に早く対応し、若者が定住できるような行政施策を施してほしい。大胆でユニーク、二番煎じでない発想でこの難局を乗り越えて、地域の発展と安心安定を構築してもらいたい。昔は数百名を出産し、子どもを育て、都会に送り出す地域であった。東京や都会の人口を増加させるだけの地域ではなく、若者の定住に本腰を入れて取り組んでほしい。若者が就労可能な場所の確保。工場や国県の庁舎誘致などに力を入れて起死回生を願う体制作りを期待したい。大型店舗法の施行により地域の個人商店が消滅し軽自動車運転以上の交通手段を持たない高齢者や障害者の生活が本当に大変となってしまった。移動販売者や御用聞きを担う個人業者に対して、補助や企業補助をする施策が必要ではないか。高速インターが3か所、新幹線停車駅が2駅もあるのに、この地域に金が落ちない。ここは通過地域で、大勢で利用可能な宿泊施設や昼食場所がない。これに注目して起業する会社がないのかと感じる。気の利いたファミリーレストランがないなど、住んでみて違和感がある。〈70 歳以上・男性〉
- ・市制 20 周年フェスで「打首獄門同好会」の「日本の米は世界一」を聴きたかったです。市のアンセムになる気がします。我が市が招聘せずして、どこが呼ぶのか。〈40 歳代・男性〉
- ・全体的なレベル UP。他市に住んで見て、他市に比べて、いなか市である。市報すらドンクサイ。〈40 歳代・男性〉
- ・使命感を持って働いてくださる議員さんはいますか。市議だけではなく、県議も同様。道の駅でも、隣県の長野県、群馬県より全くおしやれではない。発信

力が弱い。せっかく良いものがあったってもアピールできていないので、人が集まらない。観光客も、住む人も。市税や水道料が高い。人口が減っているので、ますます値上げが予測される。教育に関しても、新潟県の中でも最低レベル。勉強する人がおかしい、悪だという特殊な地域。教育を充実しなければ人材が育たず、未来はない。〈40 歳代・女性〉

◆市長・市職員・窓口・議会

- ・私の妻は中国人です。市役所にも行くのですが、いつも窓口業務で職員の話が日本語でよくわからないと言っています。私の妻の場合、中国語を話せる職員がいると助かると思います。〈60 歳代・男性〉
- ・75 才の高齢者です。どこの課にお邪魔しても職員の皆さんには大変親切丁寧に対応していただきます。これにはいつも感謝しております。問 16（あなたが考える南魚沼市の魅力や誇り）には記入しなかったけど、南魚沼市職員が誇りです。〈70 歳以上・男性〉
- ・オンラインに片寄り過ぎていて感じる。対面あつてのオンライン。対面の充実を切に望みます。土曜日、祝日の窓口相談等、全ての業務手続き。〈60 歳代・男性〉
- ・お悔やみ窓口の創設。死亡届を提出したら、窓口で全ての手続きが完了するようになったらいいと思う。六日町地区について田中町ロクセイサービス車庫脇より入る十二沢川にかかる木造の橋が通行止めになっているが、簡易なバリケードをまたいで渡っている人が多々いる。対処してもらいたい。この先も通行止めが続くのか発信してもらいたい。〈60 歳代・女性〉
- ・何でも機械になり、年を取るとついていけません。〈70 歳以上・女性〉
- ・広報および Web にて取り組み開始の記載があったので窓口申請に行ったが、職員数名で対応してくれるも把握できておらず、さらに書類もできていないので、「月内に電話連絡をするのでまた来週してください」とのこと。月末になっても連絡がないので、翌月しばらくして窓口に伺ってみると、「Web に申請書をアップしたら電話しようと思っていた」とのこと。広報した以上、その時点で書類は用意しておくべきだし、連絡期限を約束したのなら待っている利用者には内容に関わらず連絡するべき。最初の来所から1ヶ月以上待つことになった。〈50 歳代・女性〉
- ・市役所職員の対応能力の低さ。事務的な対応は仕方ないが、知識の低さや、対応力の低さに疑問を感じる。あの程度の仕事しかできないのであれば、採用を民間に委託するとか、各部署に民間人を置いての方が良いと思う。雇用の大きな課題の一つではあるが、市役所職員の給与と仕事のスキルを考えれば、完全なる不一致と言われても仕方ないのではないかな。ルール等、理不尽な対応は面倒かもしれないが、今のままでは、南魚沼市は危険な状態であると思う。〈30 歳代・男性〉
- ・時代の変化へ順応に対応し、スピード感のある市政運営を願います。守られていない民間企業は必死です。守られている市職員の意識向上を願います。書きたくありませんでしたが、このタイミングでしたので。以前、市役所へ教えて欲しいことがあり、電話で問い合わせた際、職員の知識不足、対応が非常に残念としか言えませんでした。あれから残念な市だな、と思っています。民間企業だったらどうなっ

ているでしょう。必死に取り組んでください。〈40 歳代・男性〉

- ・ 職員の対応について、特に市民病院のこと。一見、親切に対応していると思われますが、規則やマニュアルを堅持することが強く、患者に寄り添う姿勢が悪いと感じます。1 回だけではありません。別の場面で別の職員でも同じような気分を何回か味わいました。具合が悪い状態で受診するのですから、規則やマニュアル通りで押し通すのではなく、心のこもった対応を望みます。規則やマニュアルも大切ですが、それは分かっても、なお言いたい。〈70 歳以上・女性〉
- ・ 設問 4（デジタル化が進んでほしいと思う市民サービス）について、インターネット、スマホをやっていない。〈70 歳以上・男性〉
- ・ 選挙のデジタル化を希望する。〈40 歳代・女性〉
- ・ 窓口でのプライバシー面など魚沼市と比べすごく劣っている。衝立もなく顔も声も筒抜け。介護保険の認定、スピード感、対応、考え方など他の市町村と比べ不便さを感じる。横との情報交換がないのか。ずっと変わらず南魚沼市でいることに不幸と思うこともあります。〈50 歳代・男性〉
- ・ 地域包括支援センターの窓口対応をもう少し親身になって欲しい。高齢者、子育て支援をもっと充実して欲しい。〈60 歳代・女性〉
- ・ 南魚沼市の市民サービスのデジタル化が早く進んでほしいです。〈70 歳以上・女性〉
- ・ 南魚沼市職員の皆様、いつも市民のためにご尽力いただき本当にありがとうございます。家族共々、安心して暮らしております。今後も高齢化に向け、基礎検診など健康づくりがありがたいです。また介護が始まった時にすぐに相談できることも助かります。若い世代に頼らずになるべく自立してどの世代も元気で明るく暮らせるように自分も努力、協力したいと考えています。大変お忙しいと思いますが、職員の皆様がお元気で楽しくお仕事できますことを心より願っております。〈50 歳代・女性〉
- ・ 問 4 のデジタル化について、アナログの世界も、良いところがいっぱいある。そのやり方、考え方をひとつは表の世界に。〈70 歳以上・女性〉
- ・ 役所の窓口の対応で高齢者に対して特にはっきり聞きやすく（大声ではなく）、ゆっくり分かりやすい言葉で対応していただけたらと思うことがあります。それだけでなく一般の方々は、慣れない話をしに窓口に行くと思うので。お忙しいとは思いますが。〈50 歳代・男性〉
- ・ 様々な手続きの簡略化。ペーパーレス化。だれにとってもわかりやすい説明と情報伝達の迅速化を望みます。職員の方々の日頃の献身と努力、心づかいに感謝致しております。〈40 歳代・女性〉
- ・ 市役所の職員の対応が非常に不愉快。分からないことを聞きに行っているのに理解されず、難しく説明され、結局分らない。寄り添う態度も全く感じられない。非常に偉そうに見える。土日の営業もしてほしい。仕事を休んでまで行って手続きをしなければいけない。休んで行ったのに手続きが完了せず、また行かなければいけないこともある。観光の振興と言っているだけで、集客するアイデアがなさすぎる。もっとできることはあると思う。年寄りの意見よりも、今の若い世代の意見を多く取り入れて、観光事業に力を入れるべきだと思う。観光事業で成り

立つ地域の割には、やり方が下手だと思う。他の集客できている地域をモデルにしてもいいから、改革すべきだと思う。お年寄りが買い物しやすいシステムを作してほしい。車がないと買い物できない場所に住んでいたり、外出が難しい人でも買い物ができるように。〈40 歳代・女性〉

- ・ 市役所は市一番の優良な勤務先。職員は誇りを持って職務に励んでほしい。職員の一番の市への貢献は、少子高齢化にあえぐ現状を少しでも改善することです。そのためにはパートナーを得て子どもを作り（不可能な方は無論除外）、活気を起こし、商業や関連業を盛んにすることが求められます。家庭を持つと市に求められる施策が身近に感じられ、理解が深まり、生きた運用が図られます。自分がどう生を受け、どう老いるかを問うと、市職員は使命を理解できるでしょう。皆さん素晴らしい方々です。〈70 歳以上・男性〉
- ・ 担当者に提案したことがあるが、その後の処理は、不明（不通）である。何らかの対応は必要だと思います。〈60 歳代・男性〉
- ・ 市政懇談会では他人の目があり、なかなか本音を言えないので、この場で書きます。あと市長の市政の会での態度が少し高圧的に感じ、ネガティブな意見を言いづらい空気があります。何のための市政報告会なのかを一度考えてポジティブな意見、ネガティブな意見の両方をきちんと汲み取ってもらいたいです。この地区の問題で一番感じるのは、買い物難民がいるということです。市長は移動スーパーなどを他の地区に導入したりして考えているようでしたが私は交通の整備が必要なのではないかと思います。市民バスの上手な運用を考えてください。〈50 歳代・男性〉
- ・ 現在起きている「国難」について、市議、市長、県議、代議士等々、意見を持って、主義主張を健全たる態度で示し、実行していく政治家は、この市内、県内に不在なのでしょうか。歴史を見れば、国内不安時に必ず中央に「越後人」が存在し、名前を残しています。先人と同じことをするだけで、少しは国も変わると私は信じています。〈50 歳代・男性〉
- ・ 出身地よりも行政が近く感じられて良い。市長さんのフットワークが軽くてイメージアップに繋がっていると思う。ご苦労もあると思いますが、職員の皆様も引き続き頑張ってください。〈50 歳代・女性〉
- ・ 大変忙しいとは思いますが、市長を先頭に全国にトップセールスをしていただきたい。市長にはそのバイタリティがあるはずです。期待しています。〈60 歳代・男性〉
- ・ たくさんある中で最も重要な少子化及び人口減少の課題について、30 年前から問題視されていたが、多くの政治家は次の選挙のために 3 年間の施策しか考えていない。残りの 1 年は選挙のための、それも 1～2 割程度しか実行できない公約、私は政治家としてはもっと苦しみ、現実の問題点、そして少なくとも 30 年先のことを考えていただきたい。他の市町村と比較し、当該市は名誉と生活を糧にしている市議が最も多くいるのではないかと思われる。よって、将来性のある若い人が南魚沼市の未来を考えることを目的とした未来塾を開設し、南魚沼市が発展する方向性を見つけていただきたい。70、80 年代の考えでは将来性に欠け、この課題の方向性を見いだせなかったことの責任は大きい。幸い新潟県内での消滅市町村に現時点では指定されなかったが、50 歳

以下の人達が現在の安心感を全て捨て、30年後を考え生き残りをかけた政策をしていただきたい。一番大事なことは、できないことを考えないことではないでしょうか。南魚沼市が存続するために臨むこととして一部参考に。都内と海外の不動産会社の動向チェック、仕事の働き方の変化によりテレワークに伴うオフィスビル需要を取り入れる施策。人口減少では工場誘致は人手が不足、テレワークは都内だけでなく海外からの企業誘致が可能。温泉、雪、自然環境は絶対に魅力である。雪を利用した考え方について、雪による企業、個人の冷房設備等の普及。目的は二酸化炭素削減と電気料金との費用対効果を図り、利用者が雪を資源として購入していただけるような発想。除雪は厄介者ではなくお金になる。このことで南魚沼市が見本を示し、近くの県内外の雪の少ない工業地帯、農業等が利用するような仕組みを構築し、事業として国に働きかけていただきたい。市長は自分の時間ができないが、議員は何を考えているかわからない。もっと頑張っていたきたい。まだ沢山あります。満足感を捨て発想の転換を図り未来の南魚沼市の繁栄を期待する施策を望みます。
〈70歳以上・男性〉

- ・南魚沼市議会における議員の態度は市民から見ても疑問。何度か市議会の傍聴に行かせていただきましたが、居眠りやヤジなど、本当に議員なのかと疑問に思います。他の議員が発言している時になぜ横からヤジを飛ばすのか。小学生でも他の人が発言している最中は静かにしろと習っています。南魚沼市議会議員の一部の議員は、小学生以下のモラルしか持ち合わせていないのでしょうか。〈40歳代・男性〉
- ・市議会議員人数が多すぎるため、予算がないのに無駄なお金を使っている。市議を何期かやると海外視察を行っているが、税金の無駄遣いである。市役所は市民にはお願いするが、市民の願いは一切聞かない。昔から体質は変わらない。〈70歳以上・男性〉

◆アンケート

- ・6つの政策分野についてわからない事だらけでした。デジタル化が進んでいるが高齢者はついていけない。〈60歳代・女性〉
- ・アンケートについては必要なところだけのようですが、実行、順番、予算のことは全く分かりません。人口減少について、生活保護を基準として2～3倍の収入で楽しく暮らせるまちにする。公共料金を今の2分の1、3分の1にする。同じく、年金給付も下げる。労働賃金を2分の1、3分の1に下げて、企業誘致を進める。仕事場は増える。人口は増える。地番での売り上げには限界があります。主たるエネルギーを基準として、「南魚沼国」(独立国)にしよう。各単価を下げれば企業誘致は進む。〈70歳以上・男性〉
- ・アンケート回答にあたり、市政の活動全般について知り得ている内容が乏しく予算等の詳細もその妥当性や結果についての検証にも至っていないため「どちらともいえない」と言うあいまいな回答になりました。今後取り組んでいただきたいこととして記したものは、今後の少子高齢化・人口減少に伴う対策として、施設の維持にかかわる予算の収入をどのようにするかという考えをもとに、観光・雇用・移住などに力を入れていただきたいと考えました。加えて、上下水道代とごみ対策など直接生活に密着したものが気になりました(上下水道代が高い)。魅力ある街にするためには、やはりインフラの整備が

必要と考えます。例えば、GCR((ゴールデンサイクルルート)。お勤めのコースは車両との並走・舗装の不備など、魅力あるコースに思えません。インフラの視点が観光になりましたが、これに限らず各公共施設の維持も同様に整備する必要があると思います。〈60歳代・男性〉

- ・こういったアンケートをスマホで回答できるようにしたら、若い人は答えやすいのではないのでしょうか。返信用封筒は、封がしやすいようにシールが付いているとありがたいです。〈30歳代・女性〉
- ・このアンケートが無駄にならないようにお願いします。郵送料も安くはないですね。〈40歳代・女性〉
- ・このアンケートについて、高齢者にとって教育、子育てなど身近に感じない事柄は記入しにくかったのも、年代別にアンケートを取ったら良いのではと思いました。〈70歳以上・女性〉
- ・このアンケートの参考資料の事業名の下に詳細が記入されている項目については、どんなことを実施予定なのか分かり、評価がしやすいが、事業名だけでは、当事者でないと評価ができない。アンケートが面倒。よく見直してほしい。戸籍謄本もコンビニで印刷可能にしてほしい。保育園の出欠や連絡がLINEでもできるようにしてほしい。市報の病院だよりは、年1～2回でよいのではないか。六日町雪まつりを再開するために、会場をスキー場や雪の多い山の麓にしたらかどうか。地元から離れた友人が里帰りした際、雪まつりが無いことを悲しんでいた。数年前に比べて色々なイベントが増えて嬉しい。今後も期待している。地盤沈下の調査結果を市報で示してほしい。ふれあい広場(ぞうさん公園)によくごみがそのままになっている。各自持ち帰るよう、小中学校から指導してほしい。〈30歳代・女性〉
- ・このアンケートは、あまり効果はないと思う。市政に詳しい関心がある関係者など、関わっている方はいろいろなことに意見等があり、すぐに評価ができると思うが、子育てが終わる、年金暮らしとなると何かと行政との接点がなく、アンケートにははっきりとした評価は出せない。他の方も私の意見と同じとは思いますが、ほぼ同じと考えています。もっと、行政、政治に関心を持たなくてはいけないと思いますが、幸せボケですね。結婚、異性に興味が無い、出産人数が少ない、保育所、小学校から、家族はいいよ、子育ては楽しい、など、子ども達に働きかける。少子化は補助金、お金の問題ではない。大人になれない大人が多い。〈60歳代・女性〉
- ・このアンケートは、これからの人にしていただいた方が良かった。70に近い私にはちょっと無理です。20代から55歳ぐらいの人達に。コロナ禍もあり、市が静かになった気がします。これからはまた賑やかな市に戻ってもらいたい。テレビなど見てみると、南魚沼市にも小さくてもいろいろな個人の店があります。市の観光をテレビでアピールを。〈60歳代・女性〉
- ・このアンケートは、参考資料を見ながら時間をかけて熟読してどれくらいの方が回答しているのか疑問です。私はサラッと読みながら回答していますので、私が回答したものは、信用度は低いです。アンケートをもっと簡略化してほしいです。私は市外から南魚沼市に移り住み、南魚沼市の精神科病院で勤務しております。社会的入院によって退院できない患者様が複数いらっしゃいます。精神障害者が利用できる集合住宅などを増やして欲しいです。充実した商業施設が殆どなく、お金は貯

まる一方ですが、若者が行くような商業施設が少なく、この地は若者にあまり魅力を感じないかと思えます（ウィンタースポーツが好きの方は魅力を感じているようです）。地元の方だけ残って他の若者は移っていく一方かと思えます。これは企業側の問題ではありますが、私が働く病院は、看護師の平均の給料を下回り、昇給はほぼ皆無です。医療者不足が叫ばれていますが、この待遇では若者は少し羽を休めて短期間で市外に飛び立っていくかと思えます。学生の奨学金だけではなく、働いているものにもお金をを出していただければモチベーションが上がると思えます。実現可能性が低いことをペラペラと意見していますが、参考にしていただけたら幸いです。
〈10・20 歳代・男性〉

- ・まちづくりアンケートは初めてのことでしたが、行政の姿勢が感じられ、年寄りが期待しています。親の代から、父から、冬は出稼ぎに行っていた話をよく聞きました。スキー場ができて、今までの流れを感じます。〈70 歳以上・女性〉
- ・何も希望がもてない。魅力が全くない。〈60 歳代・男性〉
- ・何を言っても変わらないから言わない。〈60 歳代・女性〉
- ・高齢者にわかりやすい説明（理解するのに時間がかかる）。〈70 歳以上・男性〉
- ・今回お送りいただいた資料を拝見し、改めて市政について理解が深まりました。同時に意識の低さ、あまり考えていないことも痛感しました。回答する際に判断基準が難しく悩みました（他市町村との比較等）。多くの情報が氾濫する中で、どのように伝えていくか課題の一つと捉えます。今後、もう少し積極的に情報を入手したり、関わっていききたいと思いました。若者が誇りとやりがいを持って生活できる南魚沼市、高齢者が安心して暮らせる南魚沼市の実現を願っています。〈60 歳代・女性〉
- ・参考資料があっても難しくよくわかりませんでした。もう少し年齢を考えて人選してほしいと思えます。〈70 歳以上・女性〉
- ・参考資料だけでは分かりづらく見にくかったです。あまり意味のないアンケートに思えました。アンケートの費用を他に使った方が良かったと思えました。〈40 歳代・男性〉
- ・市政にあまり関心がなく、アンケートの参考資料の内容がよく理解できませんでした。令和6年度予算額と記載がありましたが、前年度のものや、市外のものなど、比較するようなものがなかったので、どんな判断というのか、解釈したら良いのか分らず、

アンケートを記入させていただきました。事業名の項目がたくさんあり、こんなにも多大な事業により地域づくりがなされているのだと感心いたしました。そして、市政への関心のなさを痛感いたしました。私のような市政に関心がない者にも分かるような、やさしい施策をお願いします。県外から南魚沼市へ移住して約 10 年経ちますが、冬（雪のある生活）の過ごし方、本当に毎年頭を抱えています。雪が降らないとできないことも色々あります（雪遊びなど楽しいこと）が、除雪や室内等でも遊べる場所が少ない。通行止めになったりすることは懸念されるところでもあります。自分がもう少し高齢になった時、この地域で暮らしていけるかどうか少し不安もありますが、今できることを地域に少しでも貢献できるよう、考え、行動していきたいと思いました。
〈40 歳代・女性〉

- ・市政のことを聞かれても正直ピンと来ません。それより問 12、13 のような暮らしやすさ、暮らしにくさから行政として何が必要かを考えていただきたいです。県外に出た息子、娘たちは就職、結婚しても南魚沼市に帰ってきません。仕事がないからです。出産するにも病院を選ぶこともできません。1 つしかありません。子どもへの支援も大事ですが、その親世代が住みたくするような施策をお願いします。
〈50 歳代・女性〉
- ・市総合計画の内容については、分からない部分が多く回答に苦慮しました。計画の予算額を提示されても全て理解できている方はいるかどうか疑問に思います。一般市民レベルに合わせた設問内容にするとかの一考が必要と考えます。〈70 歳以上・男性〉
- ・市民のためにいつもありがとうございます。アンケートは自分に関わりがない分野の事は資料をみても理解しづらいです。それと交流会を年何回とかあると予算額と比較しやすいかなと思いました。古くても良いものはありますし、その土地にしかないもの。新技術も組み込んで住みよい市になることを期待しております。〈40 歳代・女性〉
- ・75 才以上になると、文章を読み、理解するのがわずらわしい。気持がなえるので、さっと見ただけです。ゴメンナサイ。〈70 歳以上・女性〉
- ・質問項目が多過ぎる。〈60 歳代・男性〉
- ・生きづらい世の中になって、日本中、もちろん地方もですが、先が見えず、何も言ったり、思ったりする気力がありません。〈40 歳代・男性〉
- ・特にこれと言って不満はありません。〈60 歳代・男性〉

IV 資料

調査票

はじめに、あなた自身についてお聞きします。

あてはまるものを 1 つ選んで、番号に○をつけてください。

(1) 性別を教えてください。

- 1 男 2 女 3 その他・回答しない

(2) 年齢を教えてください。

- 1 10 歳代 2 20 歳代 3 30 歳代 4 40 歳代
1 50 歳代 2 60 歳代 3 70 歳以上

(3) お住まいの地域(地区)を教えてください。

- 1 東地区 5 城内地区 9 上田地区
2 浦佐地区 6 大巻地区 10 塩沢地区
3 大崎地区 7 五十沢地区 11 中之島地区
4 薮神地区 8 六日町地区 12 石打地区

(4) 南魚沼市に何年お住まいですか。

- 1 3 年未満 2 3 年以上 5 年未満 3 5 年以上 10 年未満
4 10 年以上 20 年未満 5 20 年以上

(5) ご家族の構成を教えてください。

- 1 一人暮らし 2 二世帯同居 3 兄弟姉妹と同居
4 夫婦2人のみ 5 三世帯同居 6 その他()

(6) お仕事を教えてください。(兼業の場合は、主たる収入の仕事に○)

- 1 勤めている(常勤) 5 家事専業
2 勤めている(パート・アルバイト・嘱託) 6 学生
3 自営(農林水産業) 7 無職
4 自営(商工業・サービス業) 8 その他()

(7) 通勤・通学先(仕事をしている場所・学校等の場所)を教えてください。

- 1 南魚沼市内 5 1~4 以外の新潟県内()
2 魚沼市 6 群馬県
3 湯沢町 7 その他()
4 十日町市 8 通勤・通学していない

南魚沼市のまちづくり全般についてお聞きします。

問 1 南魚沼市では「第 2 次南魚沼市総合計画」により 6 つの政策分野ごとに以下のよう
なまちづくりを進めています。

あなたは、次の 1～33 の項目について、十分に取組が進められていると思いま
すか。

あてはまるもの(1～5 段階)を 1 つずつ選んで、
番号に○をつけてください。

※()内の数字は、同封の参考資料の該当ページです。

		そう 思う	そ ど ち ら か と い う と	い ど ち ら と も い え な い	そ ど ち ら か と い う と	そ う 思 わ な い
保健・医療・福祉	1 ころとからだの健康づくりの推進(P.6) 基礎健診、住民健診、予防接種助成、母子保健など	1	2	3	4	5
	2 地域完結型保健医療体制の充実(P.6) 市立病院運営・整備、健診施設整備、看護師修学支援など	1	2	3	4	5
	3 子育て環境の充実(P.7) 保育園運営、学童保育、児童手当、子ども医療費助成など	1	2	3	4	5
	4 障がい者福祉の充実(P.8) 各種助成(医療費・手当・交通費助成等)、自立支援など	1	2	3	4	5
	5 高齢者福祉・介護の充実(P.8) 高齢者生活支援、介護保険、長寿医療、シルバー人材活用など	1	2	3	4	5
	6 地域で支えあう福祉の充実(P.9) 社会福祉協議会・民生児童委員活動支援、生活保護など	1	2	3	4	5
	教育・文化	7 学校教育の充実(P.10) 特色ある学校づくり、小中学校施設・給食センター整備など	1	2	3	4
8 生涯学習の充実(P.11) 講座・イベント等の開催、施設整備など		1	2	3	4	5
9 地域文化の振興(P.12) 文化財保全活用、活動団体支援など		1	2	3	4	5
10 生涯スポーツの推進(P.12) イベント等の開催、スポーツ施設整備・運営など		1	2	3	4	5
11 地域・家庭教育の充実(P.13) ほのぼのの広場事業、心豊かな子育て教室など		1	2	3	4	5
12 子ども・若者やその家族への支援の充実(P.13) 相談支援、来所・学習支援、心の教室相談員配置など		1	2	3	4	5
13 地域に根ざした野外・環境教育の推進(P.13) 学校・家庭・地域の連携活動、講座等の開催など		1	2	3	4	5
環境共生	14 自然環境の保全(P.14) 環境保全、里山再生、活動支援、森林整備など	1	2	3	4	5
	15 循環型社会の推進(P.15) ごみ減量化推進、ごみ・し尿処理施設管理更新など	1	2	3	4	5
	16 省エネルギーの推進と新エネルギーへの転換(P.16) 雪氷冷熱・太陽光・バイオマスの活用など	1	2	3	4	5
	17 生活環境の向上(P.16) 地盤沈下対策、公害対策、有害鳥獣対策など	1	2	3	4	5

		そう 思う	そ ど ち ら か と い う と	い ど ち ら と も	そ ど ち ら か と い う と	そ う 思 わ な い
都市 基盤	18 計画的な土地利用の推進(P.17) 国土調査、都市公園整備、斎場管理、まちなみ景観づくりなど	1	2	3	4	5
	19 ひとにやさしいまちづくり(P.17) 路線・市民バス運行、幹線・生活道路整備、道路除雪など	1	2	3	4	5
	20 住環境の整備(P.18) 克雪住宅補助、住宅リフォーム補助など	1	2	3	4	5
	21 上下水道の整備(P.19) 上下水道整備、浄化槽設置、施設更新など	1	2	3	4	5
産業 振興	22 農業の振興(P.20) 土地改良、農業施設整備、生産者支援など	1	2	3	4	5
	23 林業の振興(P.21) 林道整備、木質バイオマス活用、除間伐支援など	1	2	3	4	5
	24 観光の振興(P.21) 観光 PR・イベント補助、施設管理、活動団体支援など	1	2	3	4	5
	25 商工業の振興(P.22) 商工会支援、中小企業支援、地場産業支援、事業創出支援など	1	2	3	4	5
	26 雇用の促進(P.22) 職業訓練、企業誘致、人材確保支援など	1	2	3	4	5
行財 政改 革・ 市民 参画	27 行財政運営の効率化(P.23) 行政改革大綱・財政計画推進、行政評価、庁舎整備など	1	2	3	4	5
	28 協働のまちづくり(P.23) 行政区支援、地域コミュニティ支援など	1	2	3	4	5
	29 災害に強い安全と安心のまちづくり(P.24) 緊急時情報伝達体制強化、防火体制、空家対策、河川維持修繕など	1	2	3	4	5
	30 情報化の推進(P.24) GIS整備、行政システム管理、マイナンバーカード交付など	1	2	3	4	5
	31 交流の推進と国際化(P.25) 友好都市との相互訪問、近隣都市との広域連携など	1	2	3	4	5
	32 共感と共生のまちづくり(P.25) 人権啓発活動、男女共同参画の推進など	1	2	3	4	5
	33 総合的な人口減少対策の推進(P.25) 移住・定住促進、関係人口の創出など	1	2	3	4	5

問2 上記「問1」の項目1～33の中で、今後、特に南魚沼市が力を入れて取り組むべきことはどれですか。5つまで選んで□の中に番号を記入してください。

--	--	--	--	--

問3 あなたは、南魚沼市の市民サービスについてどう感じていますか。

1～5 の項目ごとに、あてはまるもの(1～5 段階)を 1つずつ選んで、番号に○をつけてください。		そう 思う	そ ど ち ら か と い う と	い ど ち ら と も	そ ど ち ら か と い う と	そ う 思 わ な い
1	窓口や電話での対応などが適切で親切である	1	2	3	4	5
2	必要な書類や情報などが入手しやすい	1	2	3	4	5
3	わからないことなどの問合せや相談がしやすい	1	2	3	4	5
4	市民の意見や考えが伝わりやすい	1	2	3	4	5
5	市役所の窓口は利用しやすい	1	2	3	4	5

問4 あなたが、デジタル化が進んでほしいと考える南魚沼市の市民サービスは何ですか。

あてはまるものをすべて選んで、番号に○をつけてください。

行政の窓口・手続き	1	マイナンバーカードによる申請・届出等の行政手続きの簡素化
	2	オンライン※1で申請・届出などができる仕組みの拡充
	3	オンラインで公共施設やサービス、各種講座、イベントなどの予約ができる仕組みの拡充
	4	行政窓口の円滑化(書かない窓口、ワンストップ窓口など)
	5	行政窓口での手数料や使用料等の支払いのキャッシュレス決済化※2
	6	行政の窓口・手続きに関するその他 ()
防災・福祉・健康	7	SNS を活用した災害・避難などの緊急情報の迅速かつ正確な発信
	8	オンラインで様々な問い合わせや相談ができる仕組みの導入
	9	オンラインで健康相談や保健師の指導などを受けられる仕組みの導入
	10	防災・福祉・健康に関するその他 ()
教育・その他の分野	11	オンラインで参加できる市主催の生涯学習の講座や学習会等の拡充
	12	学校における動画や音声などを活用したデジタル教材の拡充
	13	スマートフォンなどのデジタル機器や SNS などのアプリの使い方が学べる機会の拡充
	14	学校における情報モラル教育やプログラミング教育の拡充
	15	市内外の若い世代に向けた移住定住につながる情報発信の充実
	16	公共データ(個人情報含まない)の公開(オープンデータ化)による市政の透明化や地域経済の活性化
	17	教育・その他の分野に関するその他 ()

※1 オンライン:スマートフォンやパソコンなどの電子機器でインターネットに接続された状態

※2 キャッシュレス決済化:クレジットカードやスマートフォンの決済アプリなど、現金以外で決済できるようになること

南魚沼市の市政全般についてお聞きます。

問5 あなたは、市政に関心がありますか。

あてはまるものを 1つ選んで、番号に○をつけてください。

- | | |
|-------------|------------|
| 1 たいへん関心がある | 3 あまり関心がない |
| 2 少しは関心がある | 4 全く関心がない |

問6 あなたは、市政に関する情報を何から得ていますか。

あてはまるものを すべて選んで、番号に○をつけてください。

- | | |
|----------------|-------------------|
| 1 市報みなみ魚沼 | 6 新聞 |
| 2 市公式ウェブサイト | 7 地域情報誌 |
| 3 市公式フェイスブック | 8 窓口や電話等で直接問い合わせる |
| 4 市の担当部署からの郵便物 | 9 特にない |
| 5 FM ゆきぐに | 10 その他() |

問7 あなたは、「市報みなみ魚沼」を読んでいますか。

あてはまるものを 1つ選んで、番号に○をつけてください。

- | | | |
|------------|-------------|------------|
| 1 いつも読んでいる | 2 ときどき読んでいる | 3 全く読んでいない |
|------------|-------------|------------|

問8 上記「問7」で「1 いつも読んでいる」「2 ときどき読んでいる」を選んだ方にお聞きます。

「市報みなみ魚沼」について、(1)～(5)の項目ごとに、あてはまるものを 1つずつ選んで、番号に○をつけてください。

(1) 「市報みなみ魚沼」をどのような媒体で読んでいますか

- | | | |
|--------|------------------|--------------------------|
| 1 紙の冊子 | 2 スマホやパソコンなど電子媒体 | 3 紙の冊子とスマホやパソコンなど電子媒体の両方 |
|--------|------------------|--------------------------|

(2) 「市報みなみ魚沼」の読みやすさ

- | | | |
|---------|-------------|---------|
| 1 読みやすい | 2 どちらともいえない | 3 読みにくい |
|---------|-------------|---------|

(3) 「市報みなみ魚沼」は必要な情報を得ることができるか

- | | | |
|-------|-------------|--------|
| 1 できる | 2 どちらともいえない | 3 できない |
|-------|-------------|--------|

(4) 「市報みなみ魚沼」の情報量の多さ

- | | | |
|------|----------|-------|
| 1 多い | 2 ちょうどよい | 3 少ない |
|------|----------|-------|

(5) 「市報みなみ魚沼」の総合的な満足度

- | | |
|-------------|-------------|
| 1 非常に満足している | 4 やや満足していない |
| 2 やや満足している | 5 全く満足していない |
| 3 どちらともいえない | |

南魚沼市の地域づくり活動についてお聞きます。

問9 あなたは、市内全域 12 地区を単位として設置されている「地域づくり協議会」(まちづくり協議会、ふるさと協議会)を知っていますか。

あてはまるものを 1 つ選んで、番号に○をつけてください。

※「地域づくり協議会」の詳細は、同封の参考資料(P.31)をご参照ください。

- 1 知っている(事業に参加している・したことがある)
- 2 知っている(事業に参加したことはない)
- 3 あまり知らない
- 4 全く知らない

問 10 あなたは、行政区や地域での行事や地域づくりの活動に関心がありますか。

あてはまるものを 1 つ選んで、番号に○をつけてください。

- 1 たいへん関心がある
- 2 少しは関心がある
- 3 あまり関心がない
- 4 全く関心がない

南魚沼市でのあなたの暮らしについてお聞きます。

問 11 南魚沼市に住むようになった理由・きっかけはどのようなことですか。

もっともあてはまるものを 1 つ選んで、番号に○をつけてください。

- 1 親の代(またはそれ以前)から住んでいる
- 2 結婚・独立
- 3 親や家族の都合
- 4 仕事・通学の都合
- 5 希望する土地・住宅があった
- 6 自然環境がよい
- 7 生活環境がよい
- 8 その他()

問 12 南魚沼市は暮らしやすいと思いますか。

あてはまるものを 1 つ選んで、番号に○をつけてください。

- 1 暮らしやすい
- 2 どちらかといえば暮らしやすい
- 3 どちらともいえない
- 4 どちらかといえば暮らしにくい
- 5 暮らしにくい

問 13 南魚沼市で暮らす上で、暮らしにくさや不安を感じていることがありますか。もっともあてはまるものを 1 つ選んで、番号に○をつけてください。

- 1 医療・介護
- 2 子育ての支援
- 3 子どもの教育環境
- 4 少子高齢化
- 5 雇用・収入
- 6 職場における人間関係
- 7 地域における人間関係
- 8 自然災害・気候変動
- 9 人口の減少
- 10 犯罪や交通事故
- 11 その他()
- 12 大きな不安はない

問 14 働く環境として、南魚沼市に魅力を感じますか。
 あてはまるものを 1 つ選んで、番号に○をつけてください。
 また、その理由を 1 つ選んで、番号に○をつけてください。

- 1 働く環境として 2 働く環境として 3 どちらともいえない
 魅力を感じる 魅力を感じない



「働く環境として魅力を感じる」理由	「働く環境として魅力を感じない」理由
1 雇用の場が多い	1 雇用の場が少ない
2 正規職員の求人が多い	2 正規職員の求人が少ない
3 能力を活かせる仕事や職種が多い	3 能力を活かせる仕事や職種が少ない
4 将来性のある企業が多い	4 将来性のある企業が少ない
5 給与水準が高い	5 給与水準が低い
6 仕事と子育ての両立がしやすい	6 仕事と子育ての両立が難しい
7 やりたい仕事や職種がある	7 やりたい仕事や職種がない
8 起業・創業がしやすい	8 起業・創業が難しい
9 その他()	9 その他()

問 15 南魚沼市に将来も住み続けたいと思いますか。
 あてはまるものを 1 つ選んで、番号に○をつけてください。
 また、その理由を 1 つ選んで、番号に○をつけてください。

- 1 住み続けたい 2 将来は市外に移りたい 3 どちらともいえない



「住み続けたい」理由	「将来は市外に移りたい」理由
1 医療機関や福祉が充実している	1 医療機関や福祉が不足している
2 子育てがしやすい	2 子育てがしにくい
3 自然環境がよい	3 自然環境が厳しい
4 通勤・通学に便利	4 通勤・通学に不便
5 買い物がしやすい	5 買い物がしにくい
6 働く場に魅力がある	6 働く場に魅力がない
7 近所づきあいがしやすい	7 近所づきあいが難しい
8 住み慣れて愛着がある	8 家族・親族が市外にいる
9 その他()	9 その他()

結婚・出産・育児についてお聞きます。(50 歳未満限定)

問 16 あなたは、現在、結婚していますか。

あてはまるものを 1 つ選んで、番号に○をつけてください。

- 1 現在は結婚していないし、これまで結婚したこともない → 問17 へ
- 2 現在は結婚していないが、以前結婚していたことがある → 問17 へ
- 3 現在、結婚している → 問19 へ

問17 「問16」で「1 現在は結婚していないし、これまで結婚したこともない」「2 現在は結婚していないが、以前結婚していたことがある」を選んだ方にお聞きます。

結婚について、あなたの気持ちをお聞かせください。

あてはまるものを 1 つ選んで、番号に○をつけてください。

- 1 結婚したい
- 2 出会いやタイミングがあれば、結婚を考えたい
- 3 結婚するつもりはない

問18 「問16」で「1 現在は結婚していないし、これまで結婚したこともない」「2 現在は結婚していないが、以前結婚していたことがある」を選んだ方にお聞きます。

あなたが結婚について考えたとき、どのようなことが気になりますか。

あてはまるものを すべて選んで、番号に○をつけてください。

- 1 お金を自由に使えるか
- 2 職業を自由に選べるか
- 3 仕事や勉強の時間を自由に取れるか
- 4 余暇や遊びの時間を自由に取れるか
- 5 住む場所が制約されないか
- 6 自分の生活リズムや生活スタイルを保てるか
- 7 ファッションや食物などの好み制限されないか
- 8 自由な人生設計ができるか
- 9 出会いの場がない
- 10 相談する場がない
- 11 その他()
- 12 気になることはない

南魚沼市についてご記入ください。

問19 あなたが考える南魚沼市の魅力や誇りを「ひと言」で教えてください。

--

最後に、南魚沼市へのご意見などがありましたら下欄にご記入ください。

以上でアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。

ご記入いただいた、このアンケート調査票は、同封の返信用封筒に入れ、

令和6年 **7月31日(水)**までにご投函ください。(切手を貼る必要はありません。)

集計結果

(1)性別を教えてください。

	人	%
男性	454	46.3
女性	515	52.6
その他・回答しない	8	0.8
不明	3	0.3
計	980	100.0

(2)年齢を教えてください。

	人	%
10 歳代	13	1.3
20 歳代	52	5.3
30 歳代	124	12.7
40 歳代	189	19.3
50 歳代	136	13.9
60 歳代	220	22.4
70 歳以上	244	24.9
不明	2	0.2
計	980	100.0

男性 人	男性 %	女性 人	女性 %
10	2.2	3	0.6
24	5.3	27	5.2
43	9.5	80	15.5
85	18.7	100	19.4
63	13.9	71	13.8
108	23.8	112	21.7
120	26.4	122	23.7
1	0.2	0	0.0
454	100.0	515	100.0

(3)お住まいの地域(地区)を教えてください。

	人	%
東地区	59	6.0
浦佐地区	85	8.7
大崎地区	43	4.4
藪神地区	42	4.3
城内地区	66	6.7
大巻地区	61	6.2
五十沢地区	63	6.4
六日町地区	248	25.3
上田地区	51	5.2
塩沢地区	129	13.2
中之島地区	74	7.6
石打地区	57	5.8
不明	2	0.2
計	980	100.0

	人	%
大和地域	229	23.4
六日町地域	438	44.7
塩沢地域	311	31.7

(4)南魚沼市に何年お住まいですか。

	人	%
3 年未満	33	3.4
3 年以上 5 年未満	13	1.3
5 年以上 10 年未満	42	4.3
10 年以上 20 年未満	77	7.9
20 年以上	814	83.1
不明	1	0.1
計	980	100.0

(5)ご家族の構成を教えてください。

	人	%
一人暮らし	79	8.1
二世代同居	473	48.3
兄弟姉妹と同居	11	1.1
夫婦2人のみ	214	21.8
三世代同居	166	16.9
その他	32	3.3
不明	5	0.5
計	980	100.0

(6)お仕事を教えてください。(兼業の場合は、主たる収入の仕事)

	人	%	男性 人	男性 %	女性 人	女性 %
勤めている(常勤)	413	42.1	220	48.5	187	36.3
勤めている(パート・アルバイト・嘱託)	161	16.4	48	10.6	112	21.7
自営(農林水産業)	48	4.9	39	8.6	9	1.7
自営(商工業・サービス業)	67	6.8	40	8.8	26	5.0
家事専業	94	9.6	1	0.2	92	17.9
学生	12	1.2	7	1.5	5	1.0
無職	166	16.9	92	20.3	73	14.2
その他	16	1.6	7	1.5	9	1.7
不明	3	0.3	0	0.0	2	0.4
計	980	100.0	454	100.0	515	100.0

(7)通勤・通学先(仕事をしている場所・学校等の場所)を教えてください。

	人	%
南魚沼市内	555	56.6
魚沼市	32	3.3
湯沢町	40	4.1
十日町市	14	1.4
それ以外の新潟県内	21	2.1
群馬県	1	0.1
その他	11	1.1
通勤・通学していない	201	20.5
不明	105	10.7
計	980	100.0

問1 南魚沼市では「第2次南魚沼市総合計画」により6つの政策分野ごとに以下のようなまちづくりを進めています。あなたは、次の1～33の項目について、十分に取組が進められていると思いますか。

		人	そう 思う	ど ち ら か と い う と	い え な い	ど ち ら と も	ど ち ら か と い う と	ど ち ら か と い う と	不 明	計
保健・医療・福祉	1 こころとからだの健康づくりの推進	226	429	225	55	27	18	980		
	2 地域完結型保健医療体制の充実	118	318	312	135	79	18	980		
	3 子育て環境の充実	155	319	320	101	59	26	980		
	4 障がい者福祉の充実	132	299	396	91	39	23	980		
	5 高齢者福祉・介護の充実	134	318	320	130	58	20	980		
	6 地域で支えあう福祉の充実	111	300	398	107	41	23	980		
教育・文化	7 学校教育の充実	134	372	335	79	35	25	980		
	8 生涯学習の充実	96	315	401	104	39	25	980		
	9 地域文化の振興	99	266	427	127	32	29	980		
	10 生涯スポーツの推進	114	341	358	104	40	23	980		
	11 地域・家庭教育の充実	115	332	372	94	40	27	980		
	12 子ども・若者やその家族への支援の充実	104	259	415	116	57	29	980		
	13 地域に根ざした野外・環境教育の推進	86	255	452	115	40	32	980		
環境共生	14 自然環境の保全	113	325	358	112	42	30	980		
	15 循環型社会の推進	136	347	333	102	34	28	980		
	16 省エネルギーの推進と新エネルギーへの転換	106	260	380	154	52	28	980		
	17 生活環境の向上	91	229	410	154	68	28	980		
都市基盤	18 計画的な土地利用の推進	94	238	419	145	59	25	980		
	19 ひとにやさしいまちづくり	127	291	295	175	68	24	980		
	20 住環境の整備	105	262	393	128	65	27	980		
	21 上下水道の整備	150	367	312	81	48	22	980		
産業振興	22 農業の振興	127	278	386	115	41	33	980		
	23 林業の振興	84	269	429	123	46	29	980		
	24 観光の振興	113	275	359	147	59	27	980		
	25 商工業の振興	83	226	456	138	48	29	980		
	26 雇用の促進	83	206	407	170	84	30	980		
	行財政改革・市民参画	27 行財政運営の効率化	82	209	474	118	55	42	980	
28 協働のまちづくり		87	252	455	102	44	40	980		
29 災害に強い安全と安心のまちづくり		114	279	374	126	56	31	980		
30 情報化の推進		83	245	444	137	39	32	980		
31 交流の推進と国際化		95	272	430	114	32	37	980		
32 共感と共生のまちづくり		75	211	484	129	39	42	980		
33 総合的な人口減少対策の推進		83	146	360	222	134	35	980		

		計	不明	そう 思わ ない	どちらか という と	そう 思わ ない	どちらか という と	そう 思 う	そう 思 う	%
保健・医療・福祉	1 ところとからだの健康づくりの推進	100.0	1.8	2.8	5.6	23.0	43.8	23.1	23.1	
	2 地域完結型保健医療体制の充実	100.0	1.8	8.1	13.8	31.8	32.4	12.0	12.0	
	3 子育て環境の充実	100.0	2.7	6.0	10.3	32.7	32.6	15.8	15.8	
	4 障がい者福祉の充実	100.0	2.3	4.0	9.3	40.4	30.5	13.5	13.5	
	5 高齢者福祉・介護の充実	100.0	2.0	5.9	13.3	32.7	32.4	13.7	13.7	
	6 地域で支えあう福祉の充実	100.0	2.3	4.2	10.9	40.6	30.6	11.3	11.3	
教育・文化	7 学校教育の充実	100.0	2.6	3.6	8.1	34.2	38.0	13.7	13.7	
	8 生涯学習の充実	100.0	2.6	4.0	10.6	40.9	32.1	9.8	9.8	
	9 地域文化の振興	100.0	3.0	3.3	13.0	43.6	27.1	10.1	10.1	
	10 生涯スポーツの推進	100.0	2.3	4.1	10.6	36.5	34.8	11.6	11.6	
	11 地域・家庭教育の充実	100.0	2.8	4.1	9.6	38.0	33.9	11.7	11.7	
	12 子ども・若者やその家族への支援の充実	100.0	3.0	5.8	11.8	42.3	26.4	10.6	10.6	
	13 地域に根ざした野外・環境教育の推進	100.0	3.3	4.1	11.7	46.1	26.0	8.8	8.8	
環境共生	14 自然環境の保全	100.0	3.1	4.3	11.4	36.5	33.2	11.5	11.5	
	15 循環型社会の推進	100.0	2.9	3.5	10.4	34.0	35.4	13.9	13.9	
	16 省エネルギーの推進と新エネルギーへの転換	100.0	2.9	5.3	15.7	38.8	26.5	10.8	10.8	
	17 生活環境の向上	100.0	2.9	6.9	15.7	41.8	23.4	9.3	9.3	
都市基盤	18 計画的な土地利用の推進	100.0	2.6	6.0	14.8	42.8	24.3	9.6	9.6	
	19 ひとにやさしいまちづくり	100.0	2.4	6.9	17.9	30.1	29.7	13.0	13.0	
	20 住環境の整備	100.0	2.8	6.6	13.1	40.1	26.7	10.7	10.7	
	21 上下水道の整備	100.0	2.2	4.9	8.3	31.8	37.4	15.3	15.3	
産業振興	22 農業の振興	100.0	3.4	4.2	11.7	39.4	28.4	13.0	13.0	
	23 林業の振興	100.0	3.0	4.7	12.6	43.8	27.4	8.6	8.6	
	24 観光の振興	100.0	2.8	6.0	15.0	36.6	28.1	11.5	11.5	
	25 商工業の振興	100.0	3.0	4.9	14.1	46.5	23.1	8.5	8.5	
	26 雇用の促進	100.0	3.1	8.6	17.3	41.5	21.0	8.5	8.5	
行財政改革・市民参画	27 行財政運営の効率化	100.0	4.3	5.6	12.0	48.4	21.3	8.4	8.4	
	28 協働のまちづくり	100.0	4.1	4.5	10.4	46.4	25.7	8.9	8.9	
	29 災害に強い安全と安心のまちづくり	100.0	3.2	5.7	12.9	38.2	28.5	11.6	11.6	
	30 情報化の推進	100.0	3.3	4.0	14.0	45.3	25.0	8.5	8.5	
	31 交流の推進と国際化	100.0	3.8	3.3	11.6	43.9	27.8	9.7	9.7	
	32 共感と共生のまちづくり	100.0	4.3	4.0	13.2	49.4	21.5	7.7	7.7	
	33 総合的な人口減少対策の推進	100.0	3.6	13.7	22.7	36.7	14.9	8.5	8.5	

問2 上記「問1」の項目1～33の中で、今後、特に南魚沼市が力を入れて取り組むべきことはどれですか。

		人	%
保健・医療・福祉	1 ころとからだの健康づくりの推進	119	12.1
	2 地域完結型保健医療体制の充実	216	22.0
	3 子育て環境の充実	355	36.2
	4 障がい者福祉の充実	102	10.4
	5 高齢者福祉・介護の充実	320	32.7
	6 地域で支えあう福祉の充実	87	8.9
教育・文化	7 学校教育の充実	188	19.2
	8 生涯学習の充実	37	3.8
	9 地域文化の振興	26	2.7
	10 生涯スポーツの推進	59	6.0
	11 地域・家庭教育の充実	66	6.7
	12 子ども・若者やその家族への支援の充実	229	23.4
	13 地域に根ざした野外・環境教育の推進	39	4.0
環境共生	14 自然環境の保全	126	12.9
	15 循環型社会の推進	93	9.5
	16 省エネルギーの推進と新エネルギーへの転換	93	9.5
	17 生活環境の向上	162	16.5
都市基盤	18 計画的な土地利用の推進	71	7.2
	19 ひとにやさしいまちづくり	295	30.1
	20 住環境の整備	97	9.9
	21 上下水道の整備	73	7.4
産業振興	22 農業の振興	151	15.4
	23 林業の振興	52	5.3
	24 観光の振興	127	13.0
	25 商工業の振興	72	7.3
	26 雇用の促進	237	24.2
行財政改革・市民参画	27 行財政運営の効率化	44	4.5
	28 協働のまちづくり	29	3.0
	29 災害に強い安全と安心のまちづくり	227	23.2
	30 情報化の推進	35	3.6
	31 交流の推進と国際化	16	1.6
	32 共感と共生のまちづくり	21	2.1
	33 総合的な人口減少対策の推進	361	36.8

問3 あなたは、南魚沼市の市民サービスについてどう感じていますか。

人	そう思う	どちらかという そう思う	どちらかとも いえない	どちらとも そう思わない	どちらかという そう思わない	不明	計
窓口や電話での対応などが適切で親切である	249	367	261	58	29	16	980
必要な書類や情報などが入手しやすい	132	327	380	93	31	17	980
わからないことなどの問合せや相談がしやすい	142	305	354	110	50	19	980
市民の意見や考えが伝わりやすい	55	150	489	171	96	19	980
市役所の窓口は利用しやすい	183	350	292	96	46	13	980

%	そう思う	どちらかという そう思う	どちらかとも いえない	どちらとも そう思わない	どちらかという そう思わない	不明	計
窓口や電話での対応などが適切で親切である	25.4	37.4	26.6	5.9	3.0	1.6	100.0
必要な書類や情報などが入手しやすい	13.5	33.4	38.8	9.5	3.2	1.7	100.0
わからないことなどの問合せや相談がしやすい	14.5	31.1	36.1	11.2	5.1	1.9	100.0
市民の意見や考えが伝わりやすい	5.6	15.3	49.9	17.4	9.8	1.9	100.0
市役所の窓口は利用しやすい	18.7	35.7	29.8	9.8	4.7	1.3	100.0

問4 あなたが、デジタル化が進んでほしいと考える南魚沼市の市民サービスは何ですか。

		人	%
行政の窓口・手続き	マイナンバーカードによる申請・届出等の行政手続きの簡素化	390	39.8
	オンラインで申請・届出などができる仕組みの拡充	339	34.6
	オンラインで公共施設やサービス、各種講座、イベントなどの予約ができる仕組みの拡充	299	30.5
	行政窓口の円滑化(書かない窓口、ワンストップ窓口など)	375	38.3
	行政窓口での手数料や使用料等の支払いのキャッシュレス決済化	232	23.7
	行政の窓口・手続きに関するその他	43	4.4
防災・福祉・健康	SNS を活用した災害・避難などの緊急情報の迅速かつ正確な発信	456	46.5
	オンラインで様々な問い合わせや相談ができる仕組みの導入	298	30.4
	オンラインで健康相談や保健師の指導などを受けられる仕組みの導入	248	25.3
	防災・福祉・健康に関するその他	69	7.0
教育・その他の分野	オンラインで参加できる市主催の生涯学習の講座や学習会等の拡充	160	16.3
	学校における動画や音声などを活用したデジタル教材の拡充	163	16.6
	スマートフォンなどのデジタル機器や SNS などのアプリの使い方が学べる機会の拡充	213	21.7
	学校における情報モラル教育やプログラミング教育の拡充	271	27.7
	市内外の若い世代に向けた移住定住につながる情報発信の充実	370	37.8
	公共データ(個人情報は含まない)の公開(オープンデータ化)による市政の透明化や地域経済の活性化	181	18.5
	教育・その他の分野に関するその他	37	3.8

問5 あなたは、市政に関心がありますか。

	人	%
たいへん関心がある	139	14.2
少しは関心がある	536	54.7
あまり関心がない	257	26.2
全く関心がない	27	2.8
不明	21	2.1
計	980	100.0

問6 あなたは、市政に関する情報を何から得ていますか。

	人	%
市報みなみ魚沼	845	86.2
市公式ウェブサイト	288	29.4
市公式フェイスブック	41	4.2
市の担当部署からの郵便物	168	17.1
FM ゆきぐに	146	14.9
新聞	212	21.6
地域情報誌	112	11.4
窓口や電話等で直接問い合わせる	72	7.3
特になし	62	6.3
その他	21	2.1

問7 あなたは、「市報みなみ魚沼」を読んでいますか。

	人	%
いつも読んでいる	609	62.1
ときどき読んでいる	301	30.7
全く読んでいない	59	6.0
不明	11	1.1
計	980	100.0

問8 上記「問7」で「1 いつも読んでいる」「2 とときどき読んでいる」を選んだ方にお聞きします。

(1)「市報みなみ魚沼」をどのような媒体で読んでいますか

	人	%
紙の冊子	848	93.2
スマホやパソコンなど電子媒体	13	1.4
紙の冊子とスマホやパソコンなど電子媒体の両方	42	4.6
不明	7	0.8
計	910	100.0

(2)「市報みなみ魚沼」の読みやすさ

	人	%
読みやすい	460	50.5
どちらともいえない	414	45.5
読みにくい	30	3.3
不明	6	0.7
計	910	100.0

(3)「市報みなみ魚沼」は必要な情報を得ることができるか

	人	%
できる	571	62.7
どちらともいえない	318	34.9
できない	18	2.0
不明	3	0.3
計	910	100.0

(4)「市報みなみ魚沼」の情報量の多さ

	人	%
多い	70	7.7
ちょうどよい	750	82.4
少ない	82	9.0
不明	8	0.9
計	910	100.0

(5)「市報みなみ魚沼」の総合的な満足度

	人	%
非常に満足している	120	13.2
やや満足している	499	54.8
どちらともいえない	215	23.6
やや満足していない	62	6.8
全く満足していない	12	1.3
不明	2	0.2
計	910	100.0

問9 あなたは、市内全域 12 地区を単位として設置されている「地域づくり協議会」(まちづくり協議会、ふるさと協議会)を知っていますか。

	人	%
知っている(事業に参加している・したことがある)	153	15.6
知っている(事業に参加したことはない)	240	24.5
あまり知らない	331	33.8
全く知らない	232	23.7
不明	24	2.4
計	980	100.0

問 10 あなたは、行政区や地域での行事や地域づくりの活動に関心がありますか。

	人	%
たいへん関心がある	126	12.9
少しは関心がある	477	48.7
あまり関心がない	307	31.3
全く関心がない	53	5.4
不明	17	1.7
計	980	100.0

問 11 南魚沼市に住むようになった理由・きっかけはどのようなことですか。

	人	%
親の代(またはそれ以前)から住んでいる	654	66.7
結婚・独立	167	17.0
親や家族の都合	48	4.9
仕事・通学の都合	54	5.5
希望する土地・住宅があった	11	1.1
自然環境がよい	18	1.8
生活環境がよい	5	0.5
その他	5	0.5
不明	18	1.8
計	980	100.0

問 12 南魚沼市は暮らしやすいと思いますか。

	人	%
暮らしやすい	145	14.8
どちらかといえば暮らしやすい	403	41.1
どちらともいえない	215	21.9
どちらかといえば暮らしにくい	141	14.4
暮らしにくい	55	5.6
不明	21	2.1
計	980	100.0

問 13 南魚沼市で暮らす上で、暮らしにくさや不安を感じていることがありますか。

	人	%
医療・介護	237	24.2
子育ての支援	43	4.4
子どもの教育環境	33	3.4
少子高齢化	168	17.1
雇用・収入	120	12.2
職場における人間関係	8	0.8
地域における人間関係	29	3.0
自然災害・気候変動	83	8.5
人口の減少	85	8.7
犯罪や交通事故	4	0.4
その他	73	7.4
大きな不安はない	76	7.8
不明	21	2.1
計	980	100.0

問 14 働く環境として、南魚沼市に魅力を感じますか。

	人	%
働く環境として魅力を感じる	113	11.5
働く環境として魅力を感じない	441	45.0
どちらともいえない	387	39.5
不明	39	4.0
計	980	100.0

「働く環境として魅力を感じる」理由 (n=働く環境として魅力を感じる 113)

	人	%
雇用の場が多い	19	16.8
正規職員の求人が多い	2	1.8
能力を活かせる仕事や職種が多い	8	7.1
将来性のある企業が多い	3	2.7
給与水準が高い	2	1.8
仕事と子育ての両立がしやすい	25	22.1
やりたい仕事や職種がある	26	23.0
起業・創業がしやすい	7	6.2
その他	19	16.8
不明	2	1.8
計	113	100.0

「働く環境として魅力を感じない」理由 (n=働く環境として魅力を感じない 441)

	人	%
雇用の場が少ない	101	22.9
正規職員の求人が少ない	24	5.4
能力を活かせる仕事や職種が少ない	37	8.4
将来性のある企業が少ない	32	7.3
給与水準が低い	179	40.6
仕事と子育ての両立が難しい	14	3.2
やりたい仕事や職種がない	38	8.6
起業・創業が難しい	2	0.5
その他	10	2.3
不明	4	0.9
計	441	100.0

問 15 南魚沼市に将来も住み続けたいと思いますか。

	人	%
住み続けたい	520	53.1
将来は市外に移りたい	192	19.6
どちらともいえない	249	25.4
不明	19	1.9
計	980	100.0

「住み続けたい」理由 (n=住み続けたい 520)

	人	%
医療機関や福祉が充実している	19	3.7
子育てがしやすい	5	1.0
自然環境がよい	99	19.0
通勤・通学に便利	12	2.3
買い物がしやすい	11	2.1
働く場に魅力がある	3	0.6
近所づきあいがしやすい	14	2.7
住み慣れて愛着がある	310	59.6
その他	41	7.9
不明	6	1.2
計	520	100.0

「将来は市外に移りたい」理由 (n=将来は市外に移りたい 192)

	人	%
医療機関や福祉が不足している	34	17.7
子育てがしにくい	10	5.2
自然環境が厳しい	59	30.7
通勤・通学に不便	8	4.2
買い物がしにくい	26	13.5
働く場に魅力がない	14	7.3
近所づきあいが難しい	11	5.7
家族・親族が市外にいる	9	4.7
その他	20	10.4
不明	1	0.5
計	192	100.0

問 16 あなたは、現在、結婚していますか。(n=50 歳未満 378)

(50 歳未満限定)	人	%
現在は結婚していないし、これまで結婚したこともない	114	30.2
現在は結婚していないが、以前結婚していたことがある	17	4.5
現在、結婚している	240	63.5
不明	7	1.9
計	378	100.0

問17 結婚について、あなたの気持ちをお聞かせください。(n=50 歳未満 「問16」で「1 現在は結婚していないし、これまで結婚したこともない」「2 現在は結婚していないが、以前結婚していたことがある」を選んだ 131)

(50 歳未満限定)	人	%
結婚したい	24	18.3
出会いやタイミングがあれば、結婚を考えたい	75	57.3
結婚するつもりはない	31	23.7
不明	1	0.8
計	131	100.0

問18 あなたが結婚について考えたとき、どのようなことが気になりますか。(n=50 歳未満 「問16」で「1 現在は結婚していないし、これまで結婚したこともない」「2 現在は結婚していないが、以前結婚していたことがある」を選んだ 131)

(50 歳未満限定)	人	%
お金を自由に使えるか	49	37.4
職業を自由に選べるか	25	19.1
仕事や勉強の時間を自由に取れるか	26	19.8
余暇や遊びの時間を自由に取れるか	44	33.6
住む場所が制約されないか	23	17.6
自分の生活リズムや生活スタイルを保てるか	60	45.8
ファッションや食物などの好み制限されないか	16	12.2
自由な人生設計ができるか	34	26.0
出会いの場がない	32	24.4
相談する場がない	10	7.6
その他	7	5.3
気になることはない	12	9.2

問19 あなたにとって、理想的な子どもの数は何人ですか。(n=50 歳未満 378)

(50 歳未満限定)	人	%
5人以上	6	1.6
4人	4	1.1
3人	153	40.5
2人	156	41.3
1人	21	5.6
0人	21	5.6
不明	17	4.5
計	378	100.0

問20 あなたが理想的な子どもの数を実現するために妨げとなる(なりそうな)ことは何ですか。(n=50 歳未満 378)

(50 歳未満限定)	人	%
子育てや教育にお金がかかりすぎる	277	73.3
家が狭い	43	11.4
自分の仕事への影響	152	40.2
職場の理解	85	22.5
配偶者の家事・育児への協力が見込めない	38	10.1
子育てを手助けしてくれる人がいない	61	16.1
子どもを預ける施設が整っていない	69	18.3
年齢的な問題	121	32.0
育児・出産の心理的・肉体的な負担	131	34.7
妊娠・出産・子育てに関する情報不足	39	10.3
その他	21	5.6
妨げとなる(なりそうな)ことは特にない	26	6.9

